
栗東市
子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

令和6年5月

栗東市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査の実施について	1
3. 有効回答件数及び回答率	1
4. 報告書の見方	1
II. 調査対象者の基本属性	2
1. 居住地区	2
2. 対象児童の生年月ときょうだいの人数	3
3. 調査票の回答者	4
4. 回答者の配偶関係	5
5. 子育ての主体者	6
6. 対象児童との同居・近居の状況	7
III. 就学前児童保護者調査の結果	8
1. 子どもの育ちをめぐる環境について	8
2. 宛名のお子さんの両親の就労状況について	16
3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	22
4. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について	39
5. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	47
6. 病気の際の対応について	51
7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	59
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	70
9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	75
10. 市の子育て支援全般について	87
11. 潜在保育士の就労ニーズに関する調査	91
IV. 小学生児童保護者調査の結果	96
1. 子どもの育ちをめぐる環境について	96
2. 保護者の就労状況	104
3. 子育てと仕事との両立について	111
4. 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について	112
5. 宛名のお子さんの病気の際の対応について	122
6. 宛名のお子さんの不定期の一時預かり等事業の利用について	130
7. 市の子育て支援全般について	138
8. 潜在保育士の就労ニーズに関する調査	141
9. 小学生のお子さんにお聞きします	143

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定にあたって、本市における教育・保育事業や子育て支援事業の利用状況や希望を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査の実施について

・就学前児童の保護者

対象者	市内に在住する就学前児童の保護者
実施期間	令和6年2月22日～令和6年3月8日
実施方法	郵送配布、郵送回収及びWeb回答

・小学生児童の保護者

対象者	市内に在住する小学生児童の保護者
実施期間	令和6年2月22日～令和6年3月8日
実施方法	郵送配布、郵送回収及びWeb回答

3. 有効回答件数及び回答率

調査対象	標本数（配布数）	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	2,000	965	48.3%
小学生児童の保護者	1,000	526	52.6%

4. 報告書の見方

(1) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0％を前後することがある。

(2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0％を超えている。なお、複数回答を求める質問についての図表上の表記は、以下のとおりである。

「MA％」（Multiple Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

「2LA％」（2 Limited Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合

「3LA％」（3 Limited Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

(3) 本文中のグラフや数表で、コンピュータ入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

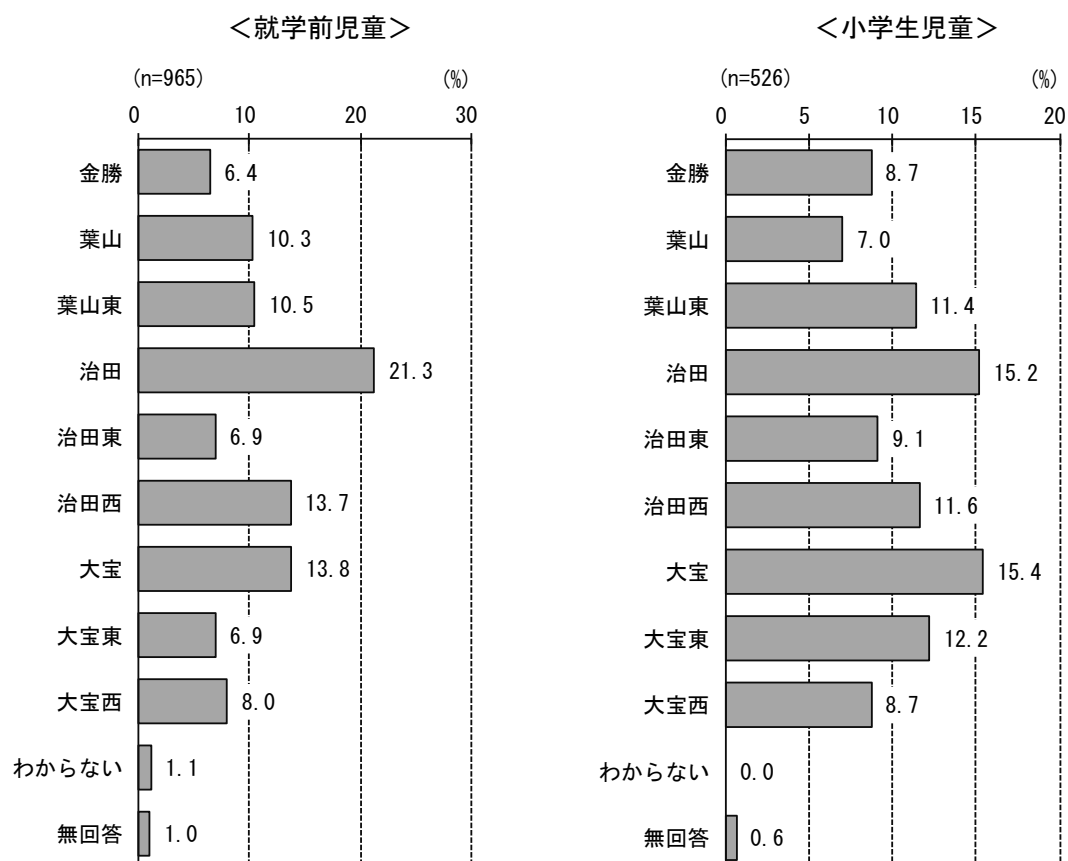
Ⅱ. 調査対象者の基本属性

1. 居住地区

回答者の居住地区は、就学前児童では「治田」が21.3%で最も多く、次いで「大宝」が13.8%、「治田西」が13.7%となっている。

小学生児童では「大宝」が15.4%、「治田」が15.2%、「大宝東」が12.2%となっている。

【図 居住地区】



2. 対象児童の生年月ときょうだいの人数

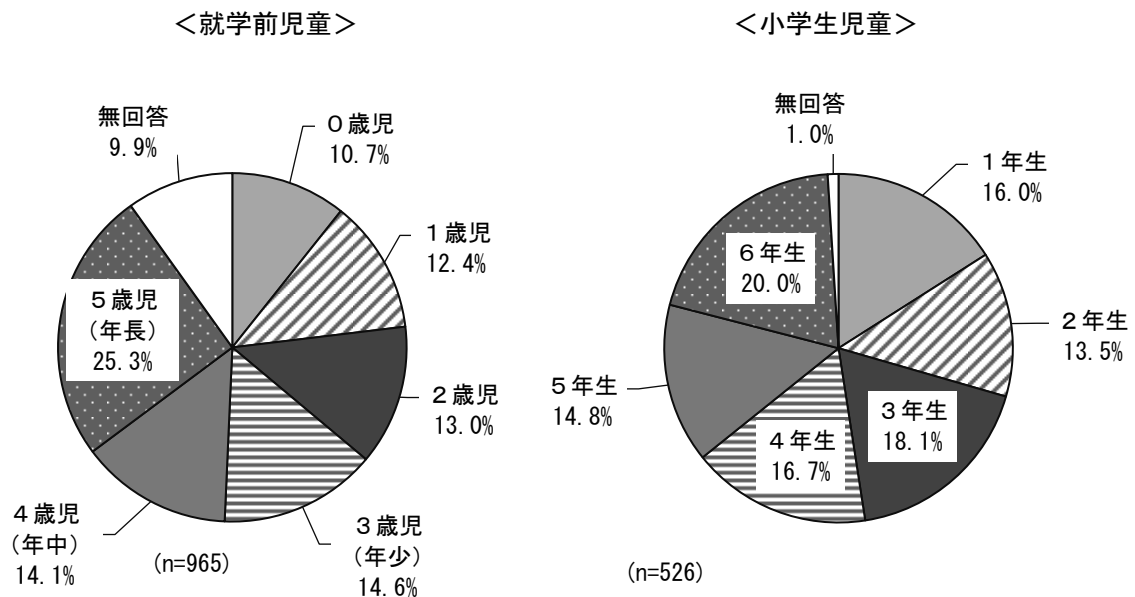
対象児童の年齢は、就学前児童では「5歳児（年長）」が25.3%で最も多く、次いで「3歳児（年少）」が14.6%、「4歳児（年中）」が14.1%となっている。

小学生児童の学年は、「6年生」が20.0%で最も多く、次いで「3年生」が18.1%、「4年生」が16.7%となっている。

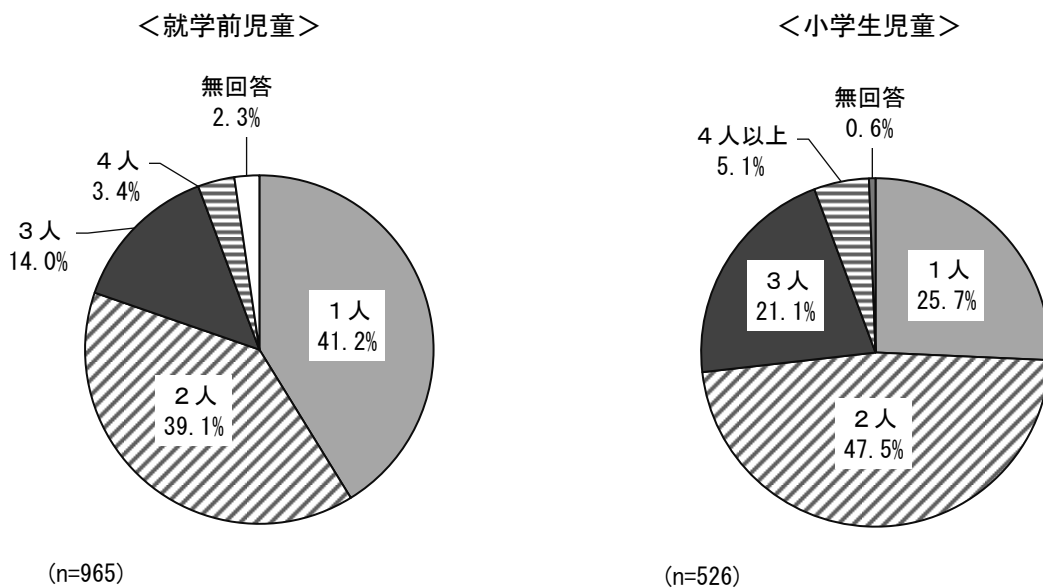
きょうだいの人数は、就学前児童では「1人」が41.2%と最も多く、次いで、「2人」が39.1%、「3人」が14.0%となっている。

小学生児童では「2人」が47.5%と最も多く、次いで「1人」が25.7%、「3人」が21.1%となっている。

【図 調査対象児童の年齢】



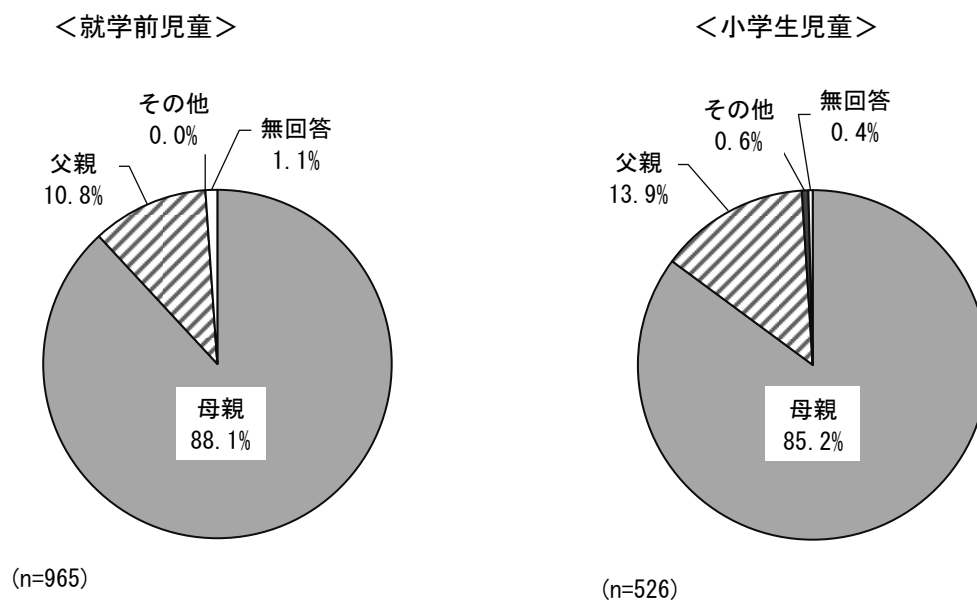
【図 きょうだいの人数】



3. 調査票の回答者

調査票の回答者は、就学前児童では「母親」が 88.1%、「父親」が 10.8%となっている。小学生児童では「母親」が 85.2%、「父親」が 13.9%となっている。

【図 調査票の回答者】



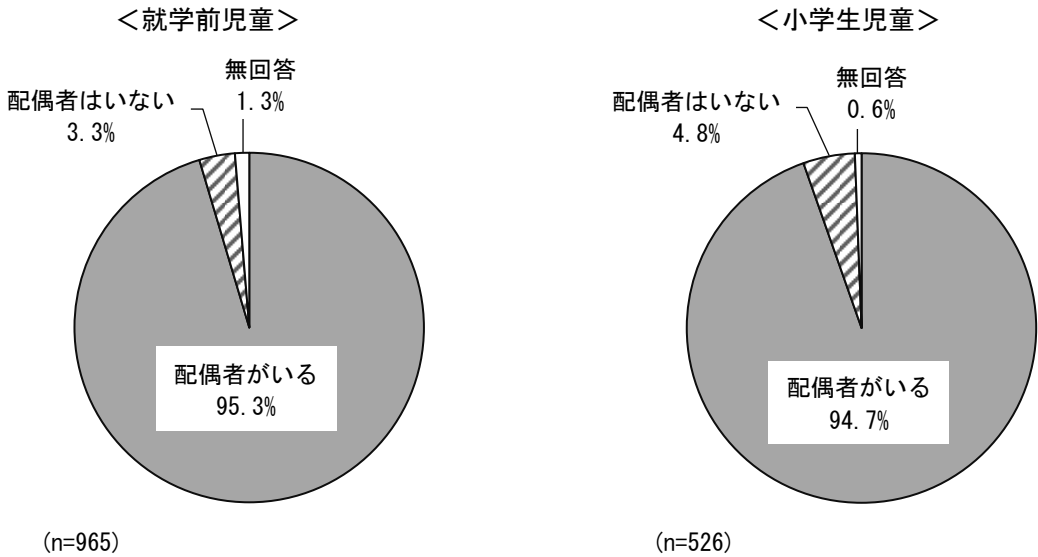
4. 回答者の配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（どちらかに○）

保護者の配偶関係は、就学前児童では「配偶者がいる」が95.3%、「配偶者はいない」が3.3%となっている。

小学生児童では、「配偶者がいる」が94.7%で、「配偶者はいない」が4.8%となっている。

【図 保護者の配偶関係】



【表 保護者の配偶関係】

＜就学前児童＞						＜小学生児童＞					
			配偶者がいる	配偶者はいない	無回答				配偶者がいる	配偶者はいない	無回答
		合計						合計			
全体		965	920	32	13	全体		526	498	25	3
上段/実数		100.0	95.3	3.3	1.3	上段/実数		100.0	94.7	4.8	0.6
下段/%						下段/%					
年齢	0歳児	103	101	2	－	年齢	1年生	84	81	3	－
		100.0	98.1	1.9	－			100.0	96.4	3.6	－
	1歳児	120	116	4	－		2年生	71	67	4	－
		100.0	96.7	3.3	－			100.0	94.4	5.6	－
	2歳児	125	124	1	－		3年生	95	88	6	1
		100.0	99.2	0.8	－			100.0	92.6	6.3	1.1
	3歳児（年少）	141	131	8	2		4年生	88	84	4	－
	100.0	92.9	5.7	1.4		100.0	95.5	4.5	－		
4歳児（年中）	136	131	5	－	5年生	78	75	3	－		
	100.0	96.3	3.7	－		100.0	96.2	3.8	－		
5歳児（年長）	244	234	9	1	6年生	105	100	4	1		
	100.0	95.9	3.7	0.4		100.0	95.2	3.8	1.0		

5. 子育ての主体者

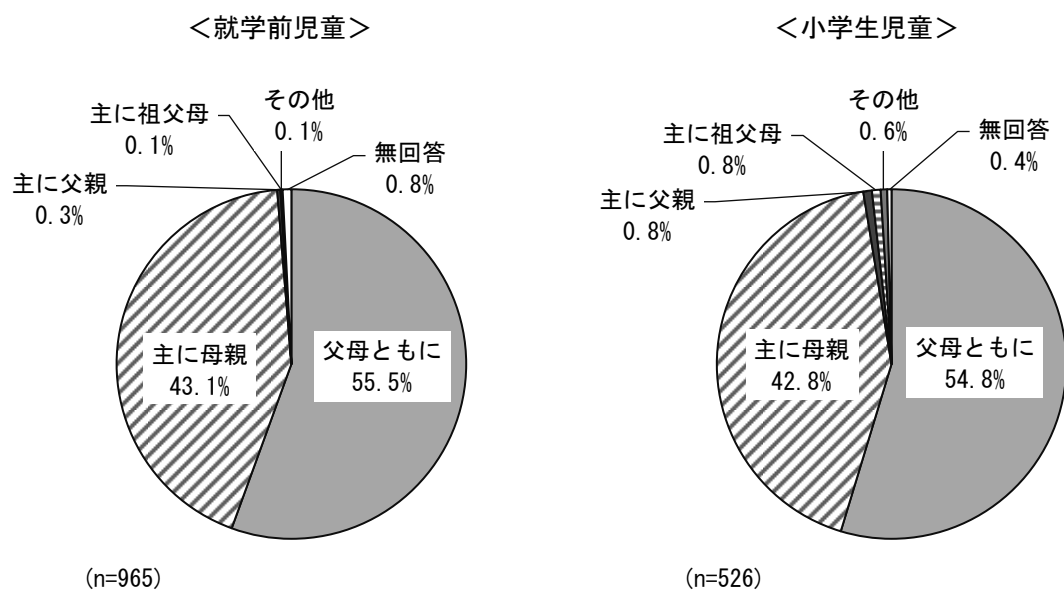
問5 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。(〇はひとつ)

宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

子育ての主体者は、就学前児童では「父母ともに」が 55.5%と最も多く、次いで、「主に母親」が 43.1%となっている。

小学生児童では「父母ともに」が 54.8%と最も多く、次いで、「主に母親」が 42.8%となっている。

【図 子育ての主体者】



6. 対象児童との同居・近居の状況

問6 宛名のお子さんとの同居・近居の状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

続柄は宛名のお子さんからみた関係です。

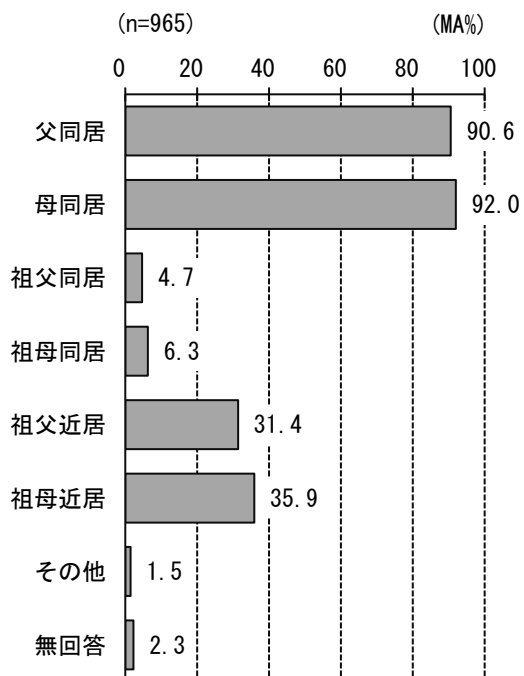
近居：この調査では、自家用車でおおむね30分以内で行き来できる範囲をいいます。

対象児童との同居・近居の状況は、就学前児童では、「母同居」が92.0%と最も多く、次いで、「父同居」が90.6%、「祖母近居」が35.9%、「祖父近居」が31.4%となっている。

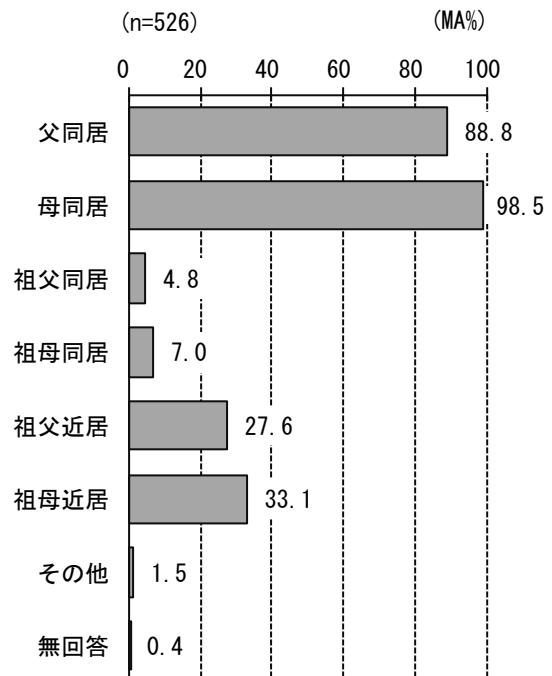
小学生児童では、「母同居」が98.5%と最も多く、次いで、「父同居」が88.8%、「祖母近居」が33.1%、「祖父近居」が27.6%となっている。

【図 対象児童との同居・近居家族】

<就学前児童>



<小学生児童>



Ⅲ. 就学前児童保護者調査の結果

1. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもを見てもらえる親族・知人の有無

問7 宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

問7で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問7-① 祖父母等の親族や友人・知人から受けている子育ての支援は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

問7-② 親族、友人・知人にお子さんをみてもらううえで、心配なことや不安なことはありますか。

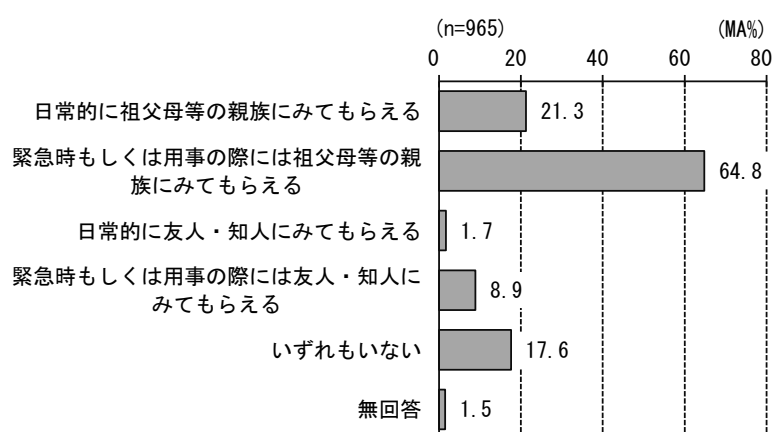
(あてはまるものすべてに○)

子どもを見てもらえる親族・知人の有無では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が64.8%と最も多く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が21.3%、「いずれもない」が17.6%となっている。

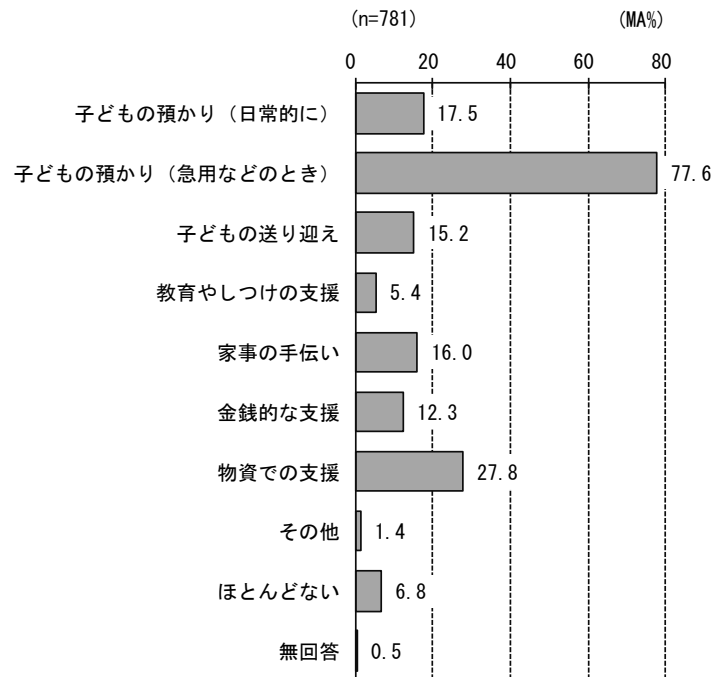
祖父母等の親族や友人・知人から受けている子育ての支援では、「子どもの預かり（急用などのとき）」が77.6%と最も多く、次いで、「物資での支援」が27.8%、「子どもの預かり（日常的に）」が17.5%となっている。

親族、友人・知人にお子さんをみてもらううえで、心配なことや不安なことでは「親族、友人・知人に安心して子どもをみてもらえる」が54.3%と最も多く、次いで、「親族、友人・知人の時間的制約や身体的負担が大きく心配である」が33.3%、「親の立場として、親族、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」が18.7%となっている。

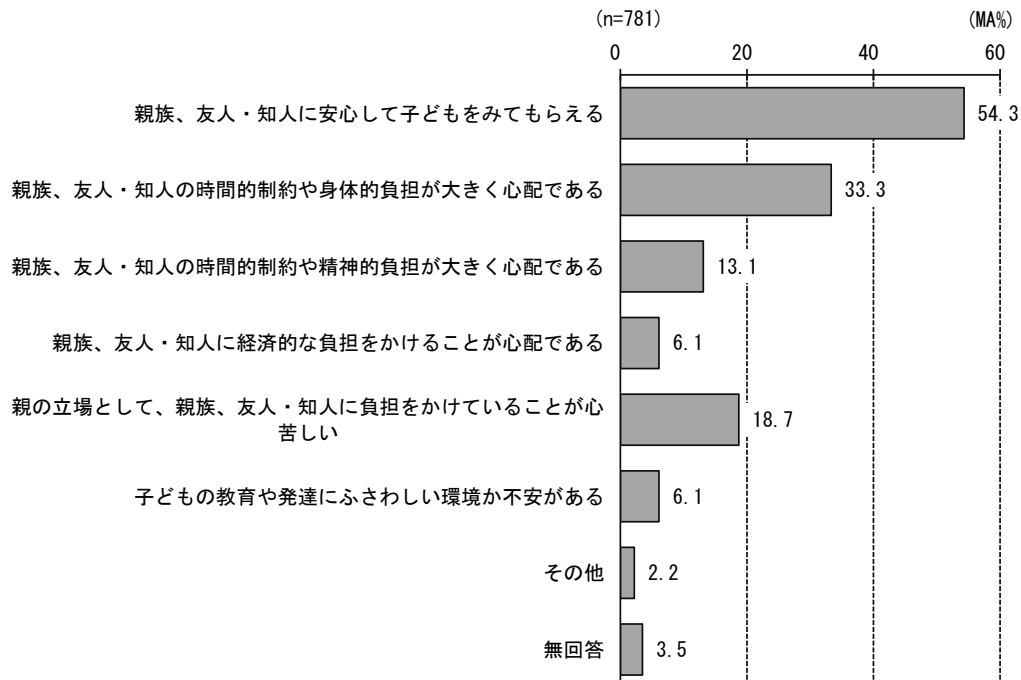
【図 お子さんをみてもらえる親族・知人】



【図 親族や友人・知人から受けている子育ての支援】



【図 心配なことや不安なこと】



(2) 子育てを楽しんでいるか、つらいと感じているか

問8 子育てを楽しんでいると感じることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。(○はひとつ)

問8-① 子育ての楽しみはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

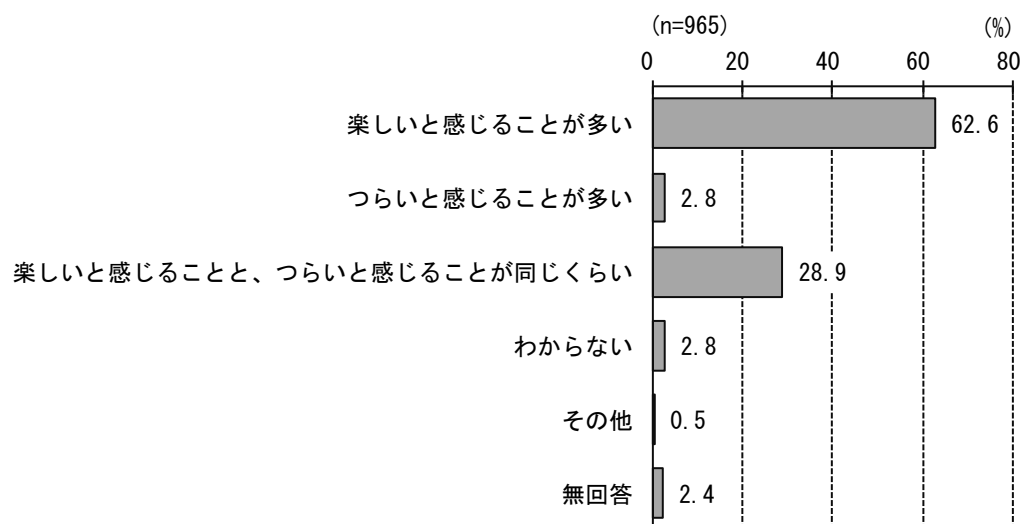
問8-② 子育てについて、特に不安や負担等を感じることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てを楽しんでいると感じるか、つらいと感じるかでは、「楽しいと感じることが多い」が 62.6%と最も多く、次いで、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が 28.9%、「つらいと感じることが多い」、「わからない」がともに 2.8%となっている。

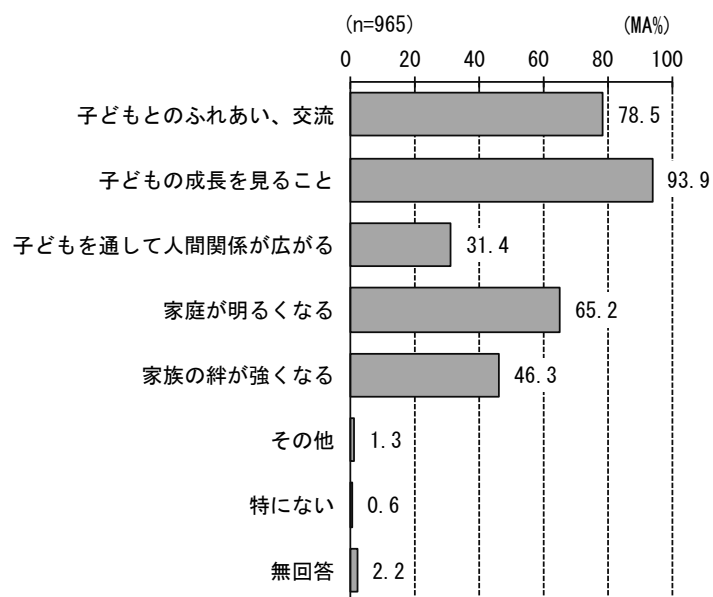
子育ての楽しみでは、「子どもの成長を見ること」が 93.9%、「子どもとのふれあい、交流」が 78.5%、「家庭が明るくなる」が 65.2%となっている。

子育てについて不安や負担に感じることは、「子どもの成長に関すること」が 50.8%、「子育てによる心身の疲れやストレスがたまること」が 37.3%、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が 35.4%、「育児の方法に自信がないこと」が 28.2%となっている。

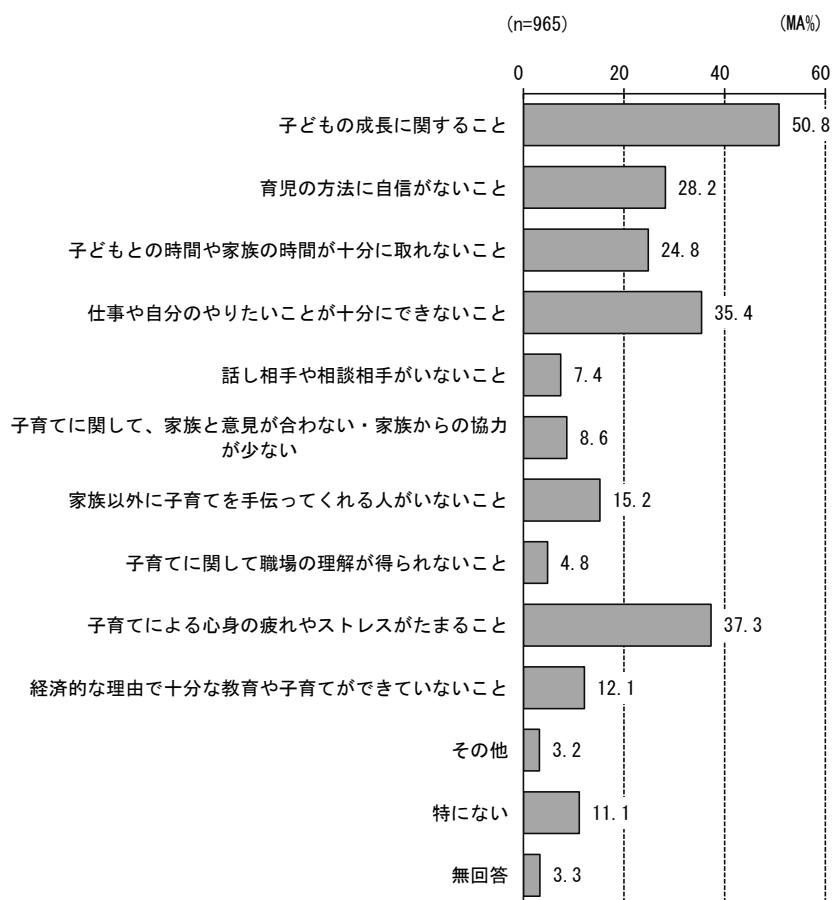
【図 子育てを楽しんでいると感じるか、つらいと感じるか】



【図 子育ての楽しみはどんなことか】



【図 子育てについて特に不安や負担に感じること】



(3) 子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所

問9 宛名のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(どちらかに○)

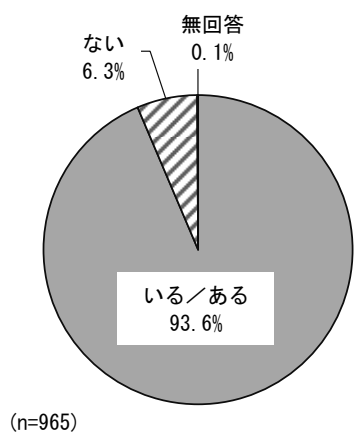
問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問9-① お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰／どこですか。
(あてはまるものすべてに○)

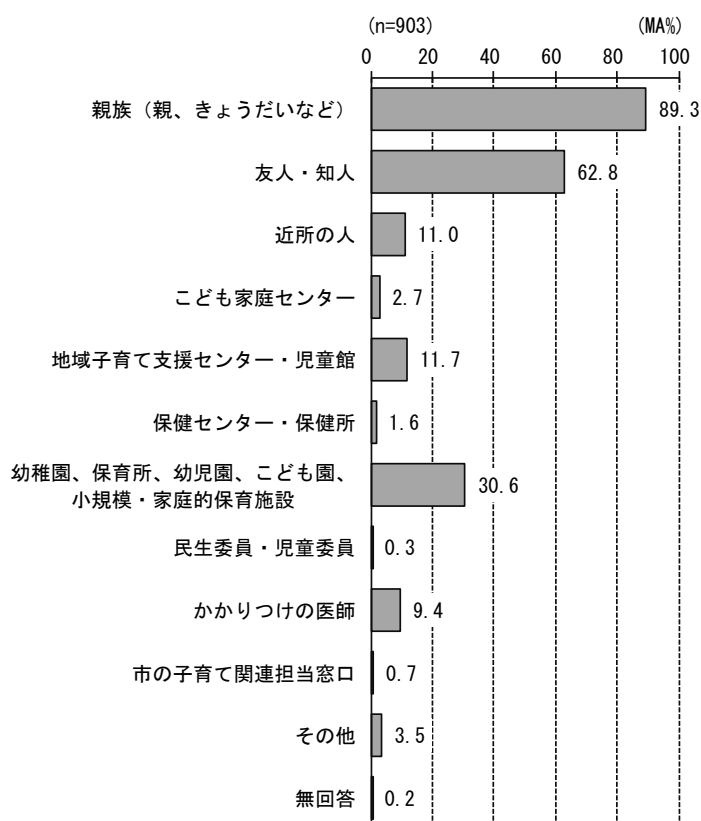
気軽に相談できる人や場所は、「いる／ある」が93.6%、「ない」が6.3%となっている。

子育てに関する相談先は、「親族（親、きょうだいなど）」が89.3%と最も多く、次いで、「友人や知人」が62.8%、「幼稚園、保育所、幼児園、こども園、小規模・家庭的保育施設」が30.6%となっている。

【図 子育ての相談先の有無】



【図 子育ての相談先】

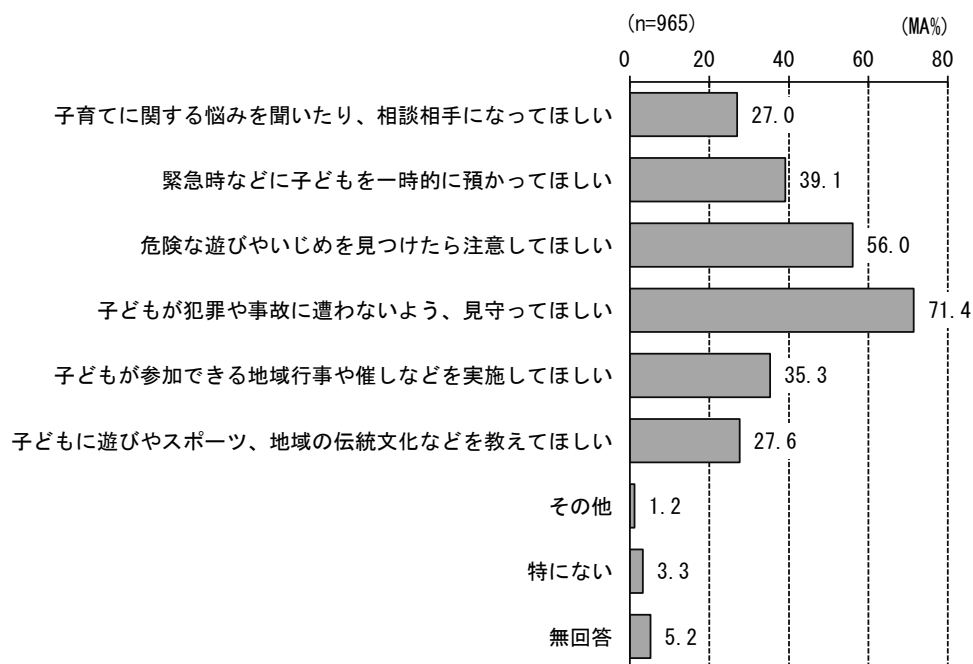


(4) 子育て支援として地域の人に希望すること

問10 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

子育て支援として地域の人に希望することは、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が71.4%と最も多く、次いで、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が56.0%、「緊急時などに子どもを一時的に預かってほしい」が39.1%となっている。

【図 子育て支援として地域の人に希望すること】



（５）子育てに関する情報の入手方法

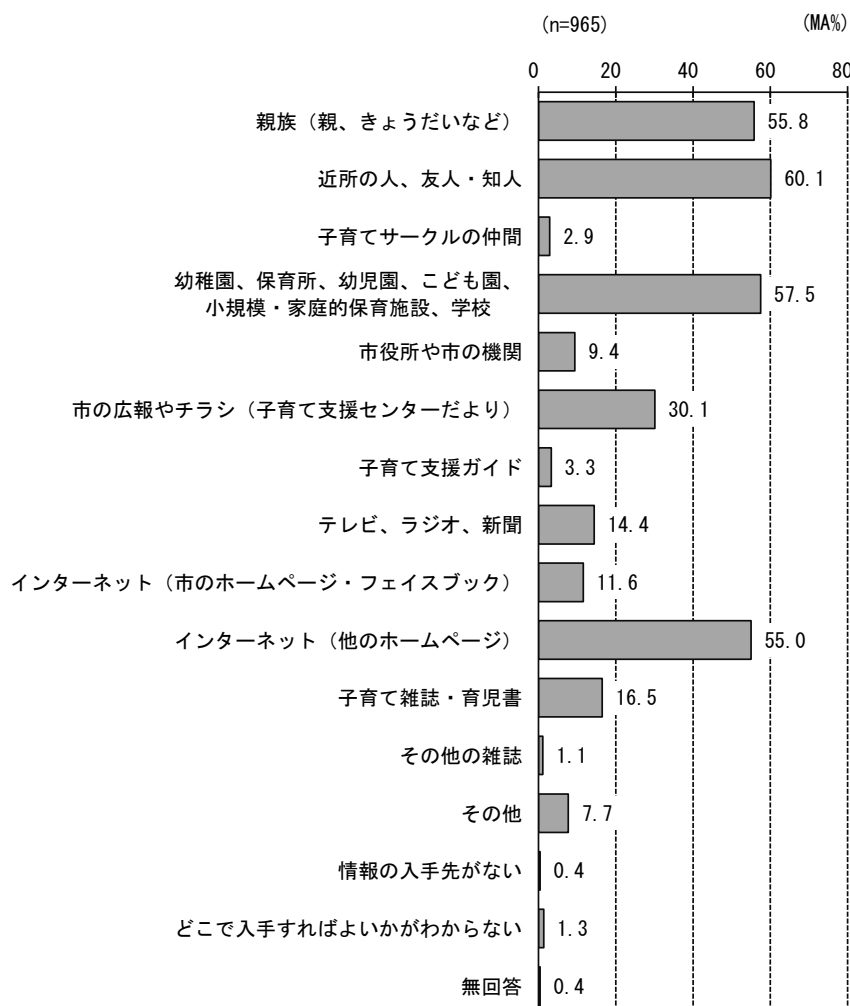
問11 子育てに関する情報の入手方法についておたずねします。《現在》はどのような形で入手されていますか。また《今後》はどのような形を希望されますか。（あてはまるものすべてに○）

子育てに関する情報の入手方法は、現在では、「近所の人、友人・知人」が 60.1%、「幼稚園、保育所、幼児園、こども園、小規模・家庭的保育施設、学校」が 57.5%、「親族（親、きょうだいなど）」が 55.8%となっている。

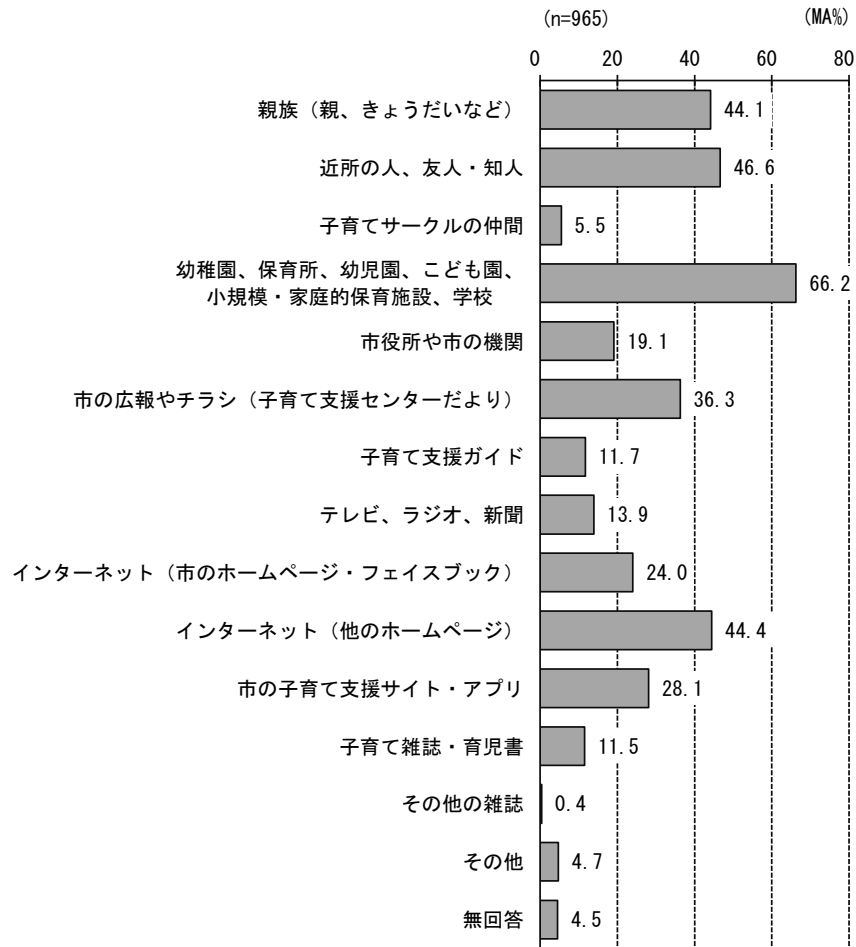
今後では、「幼稚園、保育所、幼児園、こども園、小規模・家庭的保育施設、学校」が 66.2%、「近所の人、友人・知人」が 46.6%、「インターネット（他のホームページ）」が 44.4%となっている。

【図 子育てに関する情報の入手方法】

<現在>



<今後>



2. 宛名のお子さんの両親の就労状況について

(1) 父母の就労状況

問12 宛名のお子さんの両親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（母親、父親それぞれ○はひとつ）

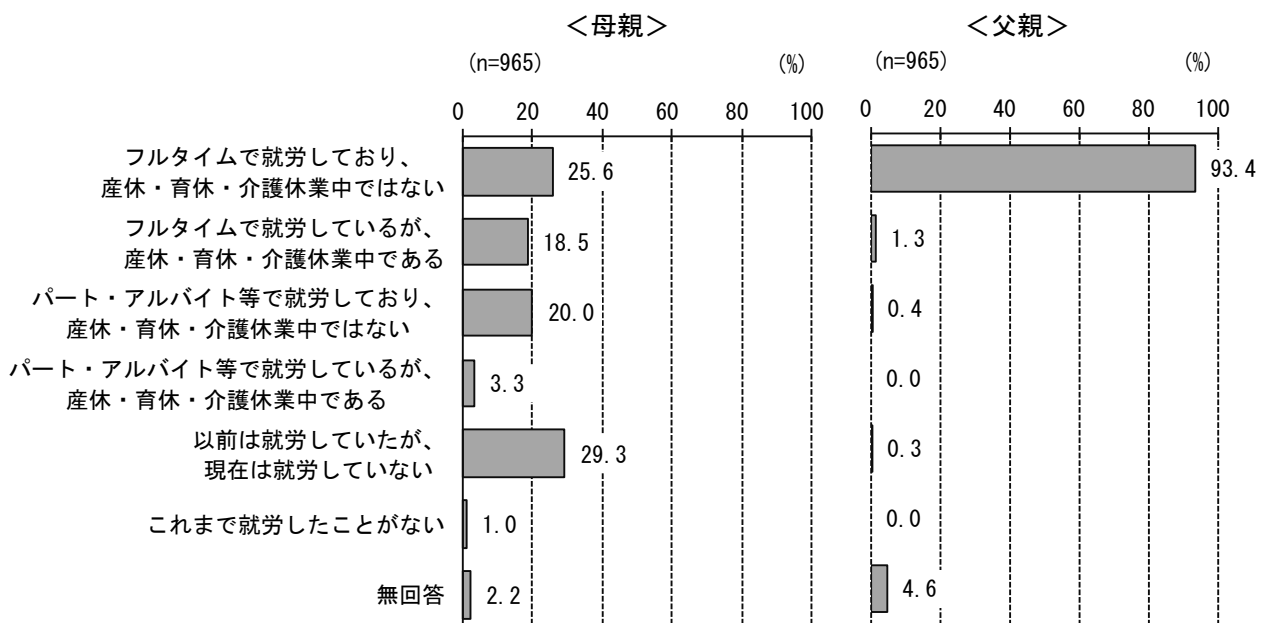
問12で「3」、「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問12-① フルタイムへの転換希望はありますか。（母親、父親それぞれ○はひとつ）

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 29.3%と最も多く、次いで、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 25.6%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 20.0%となっている。父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 93.4%となっている。

母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望」が 50.2%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 35.6%となっている。父親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望」が 75.0%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 25.0%となっている。

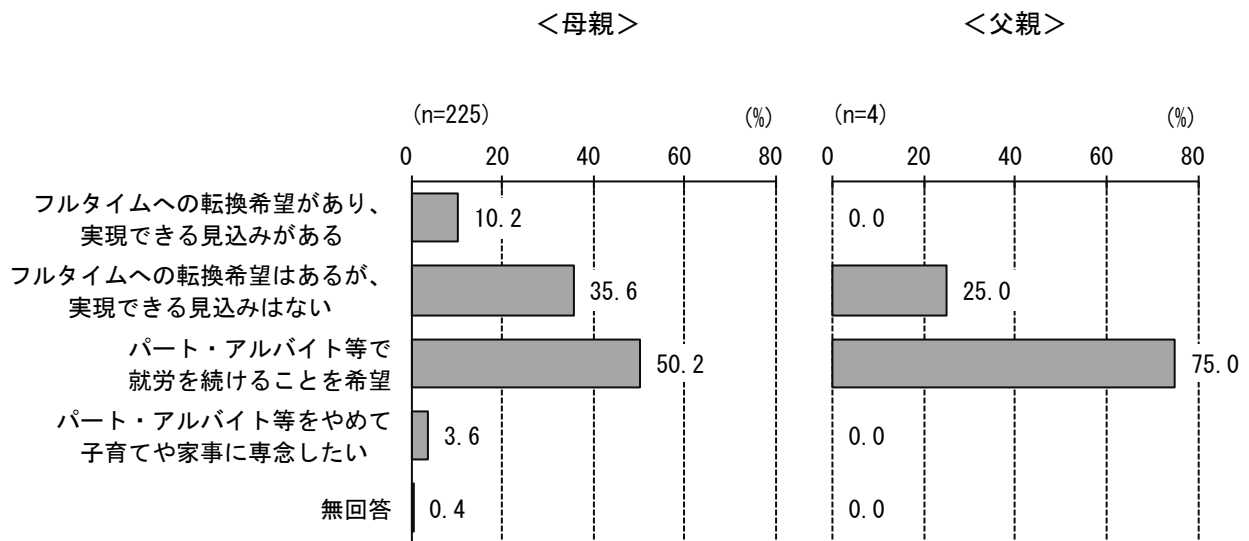
【図 父母の就労状況】



【表 年齢別 母親の就労状況】

			な い	産 休 ・ 育 休 ・ 介 護 休 業 中 で は	フル タイム で 就 労 し て い る 中	が、 産 休 ・ 育 休 ・ 介 護 休 業 中	フル タイム で 就 労 し て い る 中	休 業 中 で は な い	パート ・ アル バ イト 等 で 就 労 中	護 休 業 中 で あ る	し て い る が、 産 休 ・ 育 休 ・ 就 労	は 就 労 し て い ない が、 現 在	以 前 は 就 労 し て い た が、 こ れ ま で 就 労 し た こ と が な い	無 回 答
		合計												
全体	上段/実数	965	247	179	193	32	283	10	21					
	下段/%	100.0	25.6	18.5	20.0	3.3	29.3	1.0	2.2					
年 齢	0歳児	103	4	55	2	9	30	1	2					
		100.0	3.9	53.4	1.9	8.7	29.1	1.0	1.9					
	1歳児	120	19	51	14	3	30	1	2					
		100.0	15.8	42.5	11.7	2.5	25.0	0.8	1.7					
	2歳児	125	35	18	20	5	43	3	1					
		100.0	28.0	14.4	16.0	4.0	34.4	2.4	0.8					
	3歳児（年少）	141	45	18	27	2	43	1	5					
		100.0	31.9	12.8	19.1	1.4	30.5	0.7	3.5					
	4歳児（年中）	136	38	11	38	4	42	1	2					
		100.0	27.9	8.1	27.9	2.9	30.9	0.7	1.5					
	5歳児（年長）	244	75	9	75	7	70	3	5					
		100.0	30.7	3.7	30.7	2.9	28.7	1.2	2.0					

【図 フルタイムへの転換希望】



(2) 就労日数・就労時間

問12「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問12-② 現在の就労状況について、以下の(1)～(6)にお答えください。

◆(1)～(5)は 内に数字でご記入ください。

◆時間、時刻は、必ず24時間表記でご記入ください。(例) 8時00分～18時30分

◆就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

◆在宅ワークなど、通勤時間がない場合は「通勤時間がない」に☑をつけてください。

◆産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたりの就労日数は、母親では、「週5日」が69.0%、「週4日」が12.0%、「週6日」が4.6%となっている。父親では、「週5日」が67.1%、「週6日」が22.9%、「週7日」が4.0%となっている。

1日あたりの就労時間は、母親では、「8時間以上」が51.9%、「7時間」が14.3%、「6時間」が13.1%となっている。父親では、「8時間以上」が89.1%、「7時間」が1.2%、「6時間」が0.3%となっている。

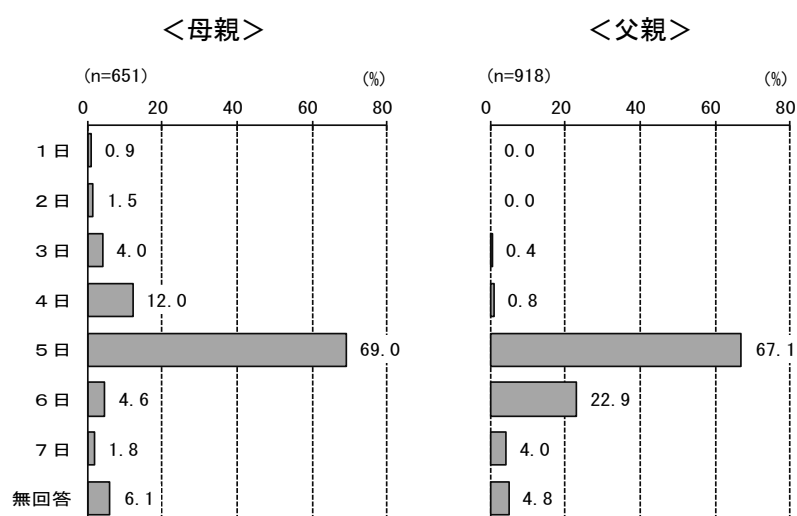
家を出る時刻は、母親では、「8時台」が40.6%、「7時台」が38.9%、「9時台」が7.1%となっている。父親では、「7時台」が44.3%、「6時台」が18.1%、「8時台」が17.2%となっている。

勤務終了時刻は、母親では、「17時台」が39.0%、「16時台」が20.9%、「18時台」が10.9%となっている。父親では、「17時台」が27.8%、「18時台」が18.3%、「19時台」が16.7%となっている。

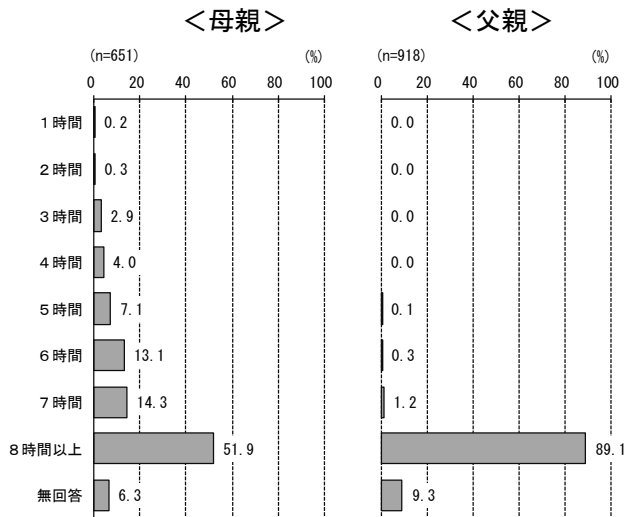
帰宅時刻は、母親では、「18時台」が35.9%、「17時台」が23.8%、「19時台」が8.3%となっている。父親では、「19時台」が21.5%、「18時台」が20.8%、「20時台」が18.0%となっている。

勤務地は、母親では、「市外」が52.1%、「市内」が35.9%、「県外」が7.7%となっている。父親では、「市外」が56.5%、「市内」が25.4%、「県外」が13.4%となっている。

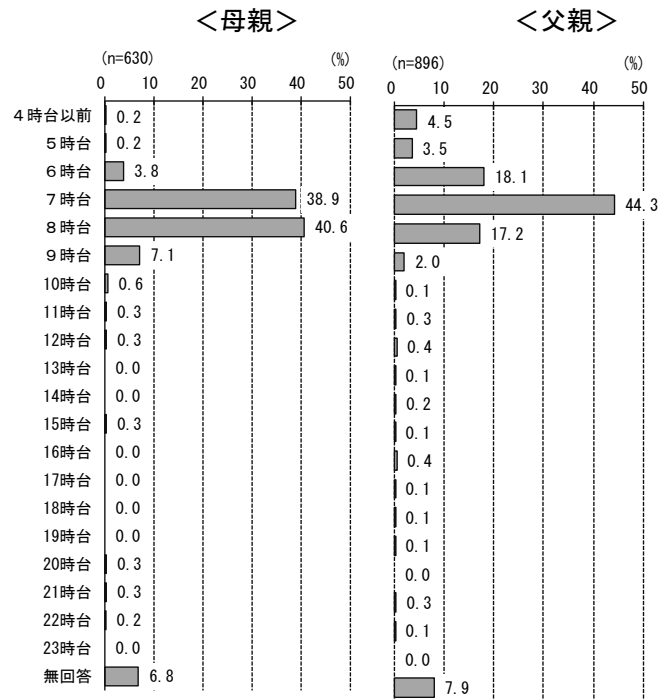
【図 1週あたりの就労日数】



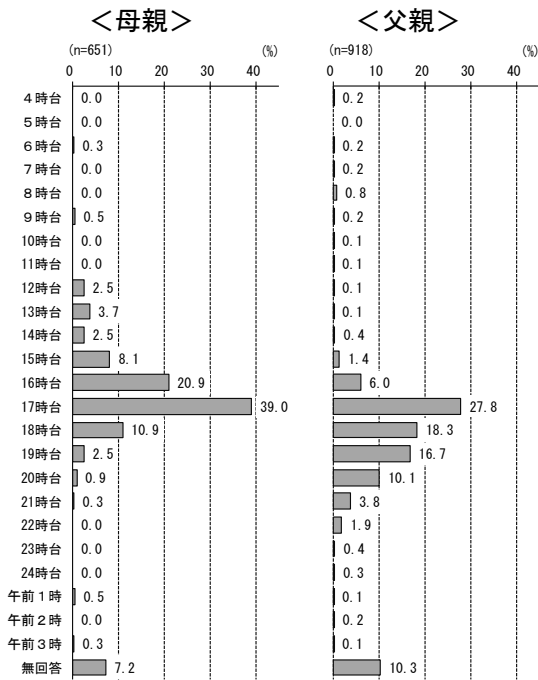
【図 1日あたりの就労時間】



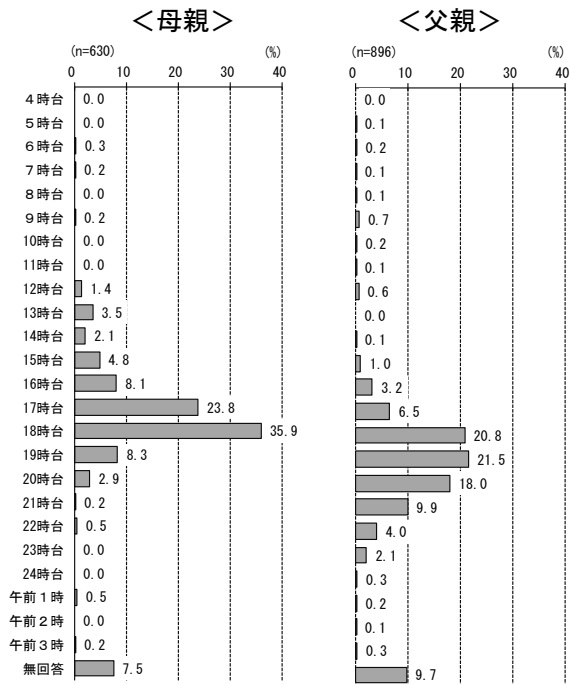
【図 家を出る時刻】



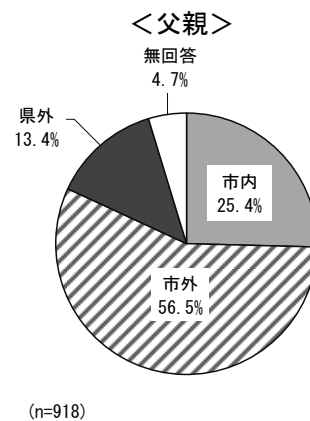
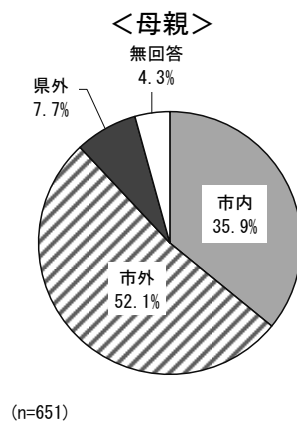
【図 勤務終了時刻】



【図 帰宅時刻】



【図 勤務地】



(3) 非就労者の就労希望

問12 で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます。

問12-③ 就労したいという希望はありますか。(母親・父親それぞれ○はひとつ)

◆「2」を選んだ方は 内に希望する年齢をご記入ください。

問12-③で母親、父親のいずれか、または双方が「1」に○をつけた方にうかがいます。

問12-④ 希望する就労形態をお答えください。(母親・父親それぞれ○はひとつ)

◆「2」を選んだ方は 内に数字でご記入ください。

就労していない父母の就労希望は、母親では、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達したころに就労したい」が47.1%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.7%となっている。父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が66.7%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が33.3%となっている。

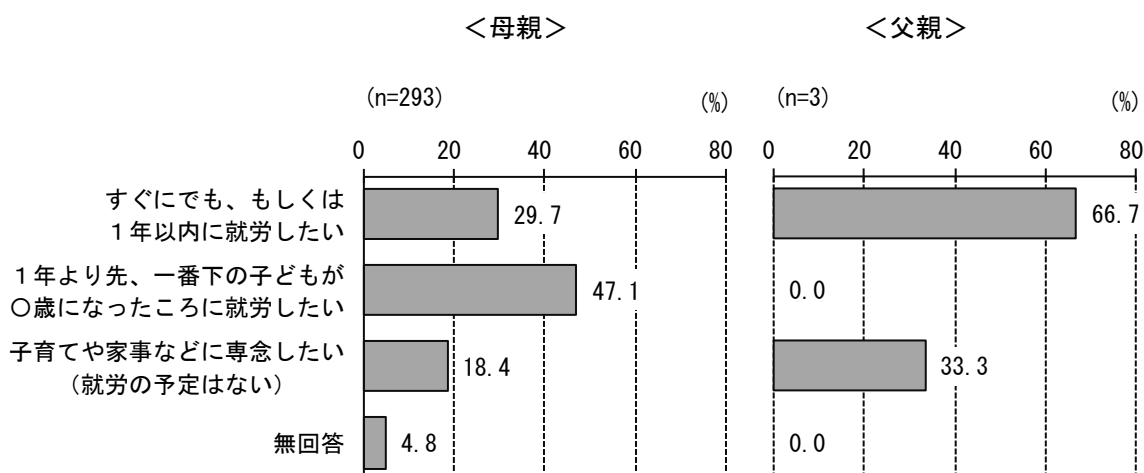
就労したいと思う時の子どもの年齢は、母親では、「3～4歳」が37.0%、「7～8歳」が22.5%、「5～6歳」が20.3%となっている。

希望する就労形態は、母親では、「パート・アルバイト等」が77.0%、「フルタイム」が17.2%となっている。父親では、「フルタイム」が50.0%となっている。

パート・アルバイト等の1週あたりの希望就労日数は、母親では、「週4日」が38.8%、「週3日」が34.3%となっている。

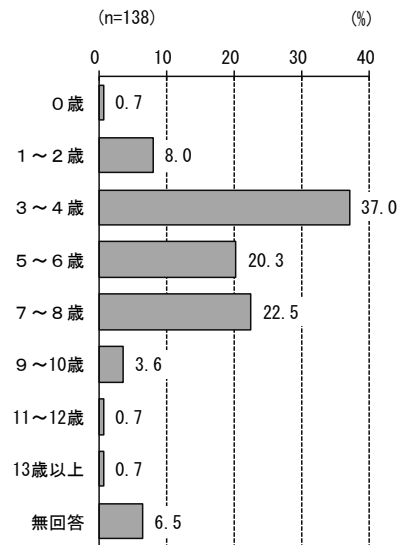
パート・アルバイト等の1日あたりの希望就労時間は、母親では、「4時間」が46.3%、「5時間」が25.4%、「6時間」が20.9%となっている。

【図 非就労者の就労希望】



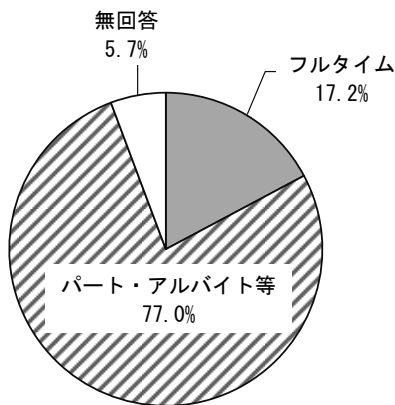
【図 就労したいと思う時の子どもの年齢】

<母親>



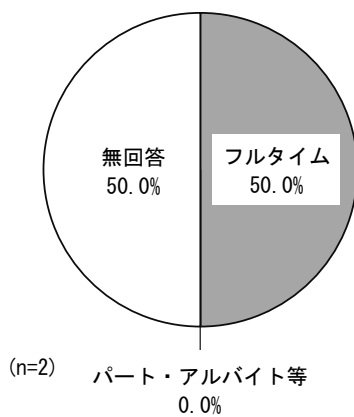
【図 希望する就労形態】

<母親>



(n=87)

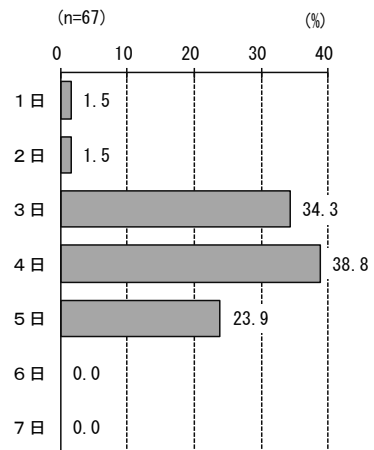
<父親>



(n=2)

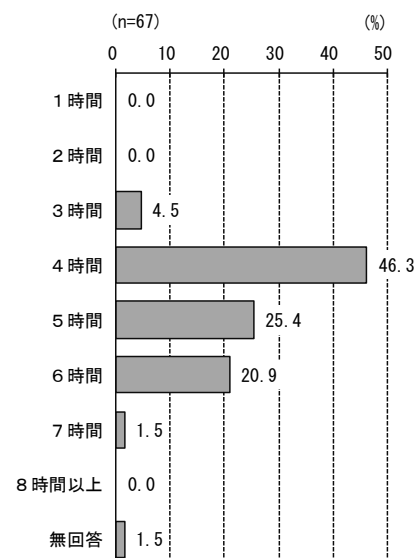
【図 パート・アルバイト等の1週あたりの希望就労日数】

<母親>



【図 パート・アルバイト等の1日あたりの希望就労時間】

<母親>



3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

問13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所、幼児園、こども園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(○はひとつ)

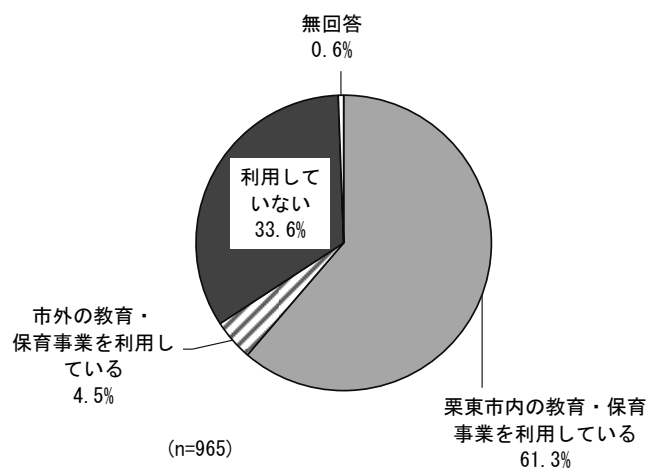
定期的な教育・保育事業の利用状況では、「栗東市内の教育・保育事業を利用している」が61.3%、「利用していない」が33.6%となっている。

子どもの年齢別でみると、0歳児では「利用していない」が95.1%となっているが、4歳児以上では「栗東市内の教育・保育事業を利用している」が90.0%以上となっている。

居住地区別でみると、葉山東では「栗東市内の教育・保育事業を利用している」が74.3%となっている。

母親の就労タイプ別でみると、パート・アルバイト等（休業中含む）では「栗東市内の教育・保育事業を利用している」が81.8%となっている。

【図 定期的な教育・保育事業の利用状況】



【表 年齢別・居住地区別・母親の就労タイプ別 定期的な教育・保育事業の利用状況】

		合計	栗東市 市内の教育・ 保育事業を利用している	市外の教育・ 保育事業を利用している	利用していない	無回答
全体		965 100.0	592 61.3	43 4.5	324 33.6	6 0.6
年齢	0歳児	103 100.0	3 2.9	2 1.9	98 95.1	— —
	1歳児	120 100.0	36 30.0	6 5.0	77 64.2	1 0.8
	2歳児	125 100.0	56 44.8	6 4.8	63 50.4	— —
	3歳児（年少）	141 100.0	81 57.4	10 7.1	50 35.5	— —
	4歳児（年中）	136 100.0	123 90.4	6 4.4	6 4.4	1 0.7
	5歳児（年長）	244 100.0	234 95.9	5 2.0	4 1.6	1 0.4
居住地区	金勝	62 100.0	31 50.0	1 1.6	29 46.8	1 1.6
	葉山	99 100.0	57 57.6	3 3.0	39 39.4	— —
	葉山東	101 100.0	75 74.3	3 3.0	22 21.8	1 1.0
	治田	206 100.0	127 61.7	18 8.7	61 29.6	— —
	治田東	67 100.0	44 65.7	4 6.0	19 28.4	— —
	治田西	132 100.0	73 55.3	5 3.8	54 40.9	— —
	大宝	133 100.0	80 60.2	5 3.8	48 36.1	— —
	大宝東	67 100.0	46 68.7	2 3.0	18 26.9	1 1.5
	大宝西	77 100.0	51 66.2	— —	24 31.2	2 2.6
母親の 就労タイプ	フルタイム （休業中含む）	426 100.0	268 62.9	19 4.5	138 32.4	1 0.2
	パート・アルバイト等 （休業中含む）	225 100.0	184 81.8	14 6.2	27 12.0	— —
	就労していない	293 100.0	129 44.0	8 2.7	154 52.6	2 0.7

（２）平日に栗東市内で定期的に利用している事業

問13で「１．栗東市内の教育・保育事業を利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問13-① 宛名のお子さんは、平日、栗東市内でどのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（○は主なものにひとつ）

◆ご不明な事業については、別紙「用語の定義および利用料の目安等」をご覧ください。

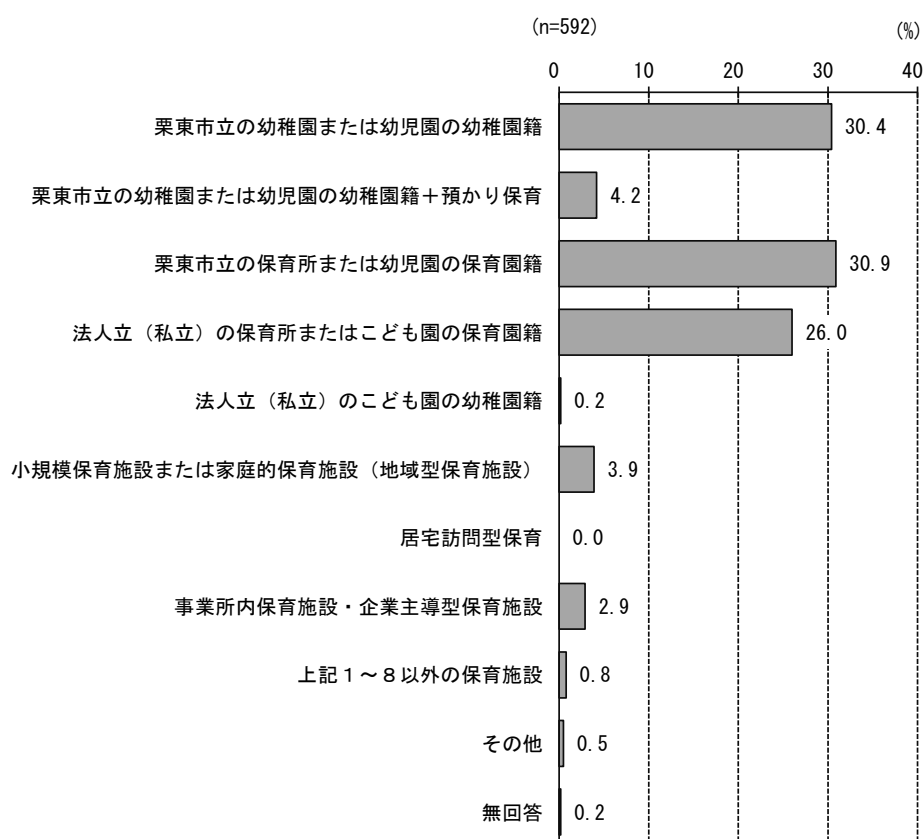
平日に栗東市内で定期的に利用している事業は、「栗東市立の保育所または幼児園の保育園籍」が30.9%、「栗東市立の幼稚園または幼児園の幼稚園籍」が30.4%、「法人立（私立）の保育所またはこども園の保育園籍」が26.0%となっている。

子どもの年齢別でみると、1歳児と2歳児では、「法人立（私立）の保育所またはこども園の保育園籍」、5歳児（年長）では、「栗東市立の幼稚園または幼児園の幼稚園籍」が40.0%以上となっている。

居住地区別でみると、金勝、葉山地区では、「栗東市立の保育所または幼児園の保育園籍」が40.0%以上となっている。大宝東地区では、「法人立（私立）の保育所またはこども園の保育園籍」が50.0%となっている。

母親の就労タイプ別でみると、就労していないでは、「栗東市立の幼稚園または幼児園の幼稚園籍」の割合が86.8%となっている。

【図 栗東市内で利用している平日の定期的な教育・保育事業】



【表 年齢別・居住地区別・母親の就労タイプ別 栗東市内で利用している平日の定期的な教育・保育事業】

			栗東市の幼稚園 の幼稚園	栗東市の幼稚園 の幼稚園	栗東市の幼稚園 の幼稚園	法立（私立） の幼稚園	法人立（私立） の幼稚園	小規模保育施設 または家庭的 保育施設（地域 型保育施設）	居宅訪問型 保育	事業所内保育 施設・企業主 導型保育施設	上記1～8以外 の保育施設	その他	無回答
		合計	園児	園児	園児	園児	園児	園児	園児	園児	園児	園児	園児
全体		592 100.0	180 30.4	25 4.2	183 30.9	154 26.0	1 0.2	23 3.9	- -	17 2.9	5 0.8	3 0.5	1 0.2
年齢	0歳児	3 100.0	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -
	1歳児	36 100.0	3 8.3	2 2.8	5 13.9	16 44.4	- -	6 16.7	- -	4 11.1	- -	1 2.8	- -
	2歳児	56 100.0	2 3.6	- -	20 35.7	25 44.6	- -	5 8.9	- -	2 3.6	- -	2 3.6	- -
	3歳児（年少）	81 100.0	8 9.9	2 2.5	32 39.5	21 25.9	1 1.2	8 9.9	- -	5 6.2	4 4.9	- -	- -
	4歳児（年中）	123 100.0	48 39.0	6 4.9	36 29.3	32 26.0	- -	- -	- -	1 0.8	- -	- -	- -
	5歳児（年長）	234 100.0	98 41.9	16 6.8	74 31.6	40 17.1	- -	1 0.4	- -	3 1.3	1 0.4	- -	1 0.4
居住地区	金勝	31 100.0	12 38.7	2 6.5	15 48.4	- -	- -	1 3.2	- -	1 3.2	- -	- -	- -
	葉山	57 100.0	17 29.8	2 3.5	24 42.1	10 17.5	- -	3 5.3	- -	- -	- -	1 1.8	- -
	葉山東	75 100.0	32 42.7	3 4.0	23 30.7	12 16.0	- -	2 2.7	- -	1 1.3	1 1.3	1 1.3	- -
	治田	127 100.0	33 26.0	5 3.9	49 38.6	29 22.8	- -	6 4.7	- -	4 3.1	1 0.8	- -	- -
	治田東	44 100.0	14 31.8	4 9.1	17 38.6	6 13.6	- -	2 4.5	- -	1 2.3	- -	- -	- -
	治田西	73 100.0	13 17.8	2 2.7	17 23.3	29 39.7	1 1.4	3 4.1	- -	5 6.8	1 1.4	1 1.4	1 1.4
	大宝	80 100.0	28 35.0	2 2.5	15 18.8	33 41.3	- -	- -	- -	1 1.3	1 1.3	- -	- -
	大宝東	46 100.0	10 21.7	1 2.2	7 15.2	23 50.0	- -	2 4.3	- -	3 6.5	- -	- -	- -
	大宝西	51 100.0	18 35.3	4 7.8	14 27.5	10 19.6	- -	3 5.9	- -	1 2.0	1 2.0	- -	- -
母親の就労タイプ	フルタイム（休業中含む）	268 100.0	18 6.7	3 1.1	120 44.8	104 38.8	1 0.4	13 4.9	- -	7 2.6	2 0.7	- -	- -
	パート・アルバイト等（休業中含む）	184 100.0	46 25.0	18 9.8	54 29.3	46 25.0	- -	9 4.9	- -	10 5.4	- -	- -	1 0.5
	就労していない	129 100.0	112 86.8	3 2.3	5 3.9	2 1.6	- -	1 0.8	- -	- -	3 2.3	3 2.3	- -

(3) 平日に市外で定期的にご利用している事業

問13で「2. 市外の教育・保育事業を利用している」に○をつけた方にうかがいます。

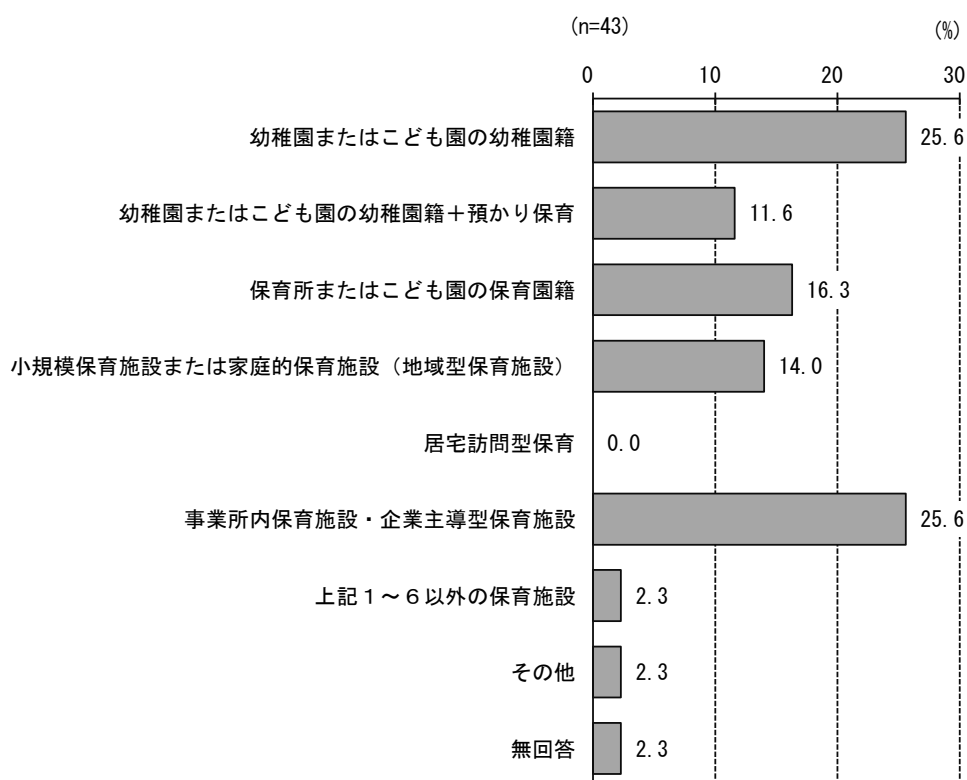
問13-② 宛名のお子さんは、平日、市外でどのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(○は主なものにひとつ)

平日に市外で定期的にご利用している事業では、「幼稚園またはこども園の幼稚園籍」、「事業所内保育施設・企業主導型保育施設」がそれぞれ 25.6%、「保育所またはこども園の保育園籍」が 16.3%となっている。市内に比べて「事業所内保育施設・企業主導型保育施設」の利用割合が高くなっている。

子どもの年齢別でみると、4歳児（年中）では、「幼稚園またはこども園の幼稚園籍」が 66.7%となっている。

母親の就労タイプ別でみると、就労していないでは、「幼稚園またはこども園の幼稚園籍」が 87.5%となっている。

【図 市外で利用している平日の定期的な教育・保育事業】



【表 年齢別・居住地区別・母親の就労タイプ別 市外で利用している平日の定期的な教育・保育事業】

			の幼稚園 またはこども 園	育の幼稚園 または預かりも 保園	の保育所 またはこども 園	型家庭的 保育施設 (地域は)	小規模 模保施設 または	居宅訪問 型保育	事業主 導型保 育施設 ・企	施設上 記1～ 6以外 の保育	その他	無 回 答
		合計										
全体		43	11	5	7	6	-	-	11	1	1	1
上段/実数		100.0	25.6	11.6	16.3	14.0	-	-	25.6	2.3	2.3	2.3
年 齢	0歳児	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	1歳児	6	1	-	2	2	-	-	1	-	-	-
		100.0	16.7	-	33.3	33.3	-	-	16.7	-	-	-
	2歳児	6	-	2	1	-	-	-	3	-	-	-
		100.0	-	33.3	16.7	-	-	-	50.0	-	-	-
	3歳児(年少)	10	-	-	3	1	-	-	4	1	-	1
居 住 地 区		100.0	-	-	30.0	10.0	-	-	40.0	10.0	-	10.0
	4歳児(年中)	6	4	-	-	2	-	-	-	-	-	-
		100.0	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-
	5歳児(年長)	5	2	2	-	-	-	-	-	-	1	-
		100.0	40.0	40.0	-	-	-	-	-	-	20.0	-
	金勝	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
母 親 の 就 労 地 区	葉山	3	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-
		100.0	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	-
	葉山東	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-
	治田	18	5	3	1	3	-	-	4	1	-	1
		100.0	27.8	16.7	5.6	16.7	-	-	22.2	5.6	-	5.6
	治田東	4	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-
母 親 の 就 労 地 区		100.0	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-
	治田西	5	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-
		100.0	-	20.0	40.0	-	-	-	40.0	-	-	-
	大宝	5	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-
		100.0	40.0	-	-	60.0	-	-	-	-	-	-
	大宝東	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		100.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
母 親 の 就 労 地 区	大宝西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	フルタイム (休業中含む)	19	2	-	6	3	-	-	6	1	-	1
母 親 の 就 労 地 区		100.0	10.5	-	31.6	15.8	-	-	31.6	5.3	-	5.3
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	14	2	4	1	2	-	-	5	-	-	-
		100.0	14.3	28.6	7.1	14.3	-	-	35.7	-	-	-
母 親 の 就 労 地 区	就労していない	8	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		100.0	87.5	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-

(4) 利用している平日の定期的な教育・保育事業の頻度（利用日数・利用時間）

問13で「1」、「2」に○をつけた方にうかがいます。

問13-③ 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。

①利用日数、②利用時間をお答えください。(内に数字で記入)

◆時間は、必ず24時間表記でご記入ください。(例) 8時30分～18時00分

◆日によって時間が異なる場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

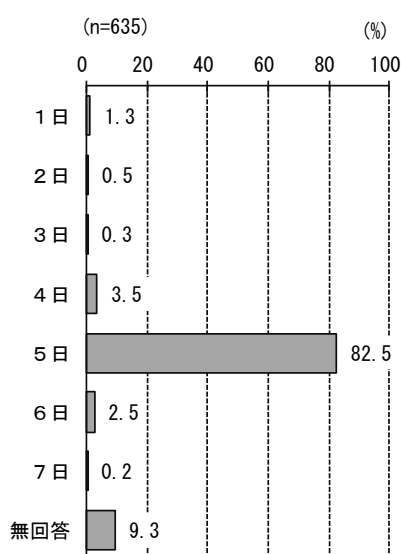
平日の定期的な教育・保育事業の利用日数は、「週5日」が82.5%と最も多く、次いで、「週4日」が3.5%となっている。

平日の定期的な教育・保育事業の利用時間は、「10時間以上」が24.3%と最も多く、次いで、「9時間」が16.5%、「8時間」が15.9%となっている。

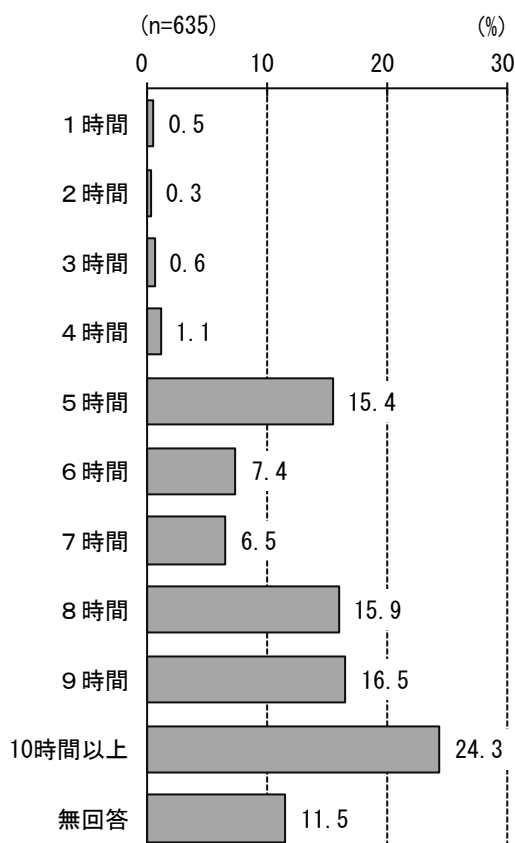
平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間帯は、「8時台」が54.3%と最も多く、次いで、「9時台」が21.6%、「7時台以前」が12.6%となっている。

平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間帯は、「17時台」が24.9%と最も多く、次いで、「18時台」が18.6%、「16時台」が18.3%となっている。

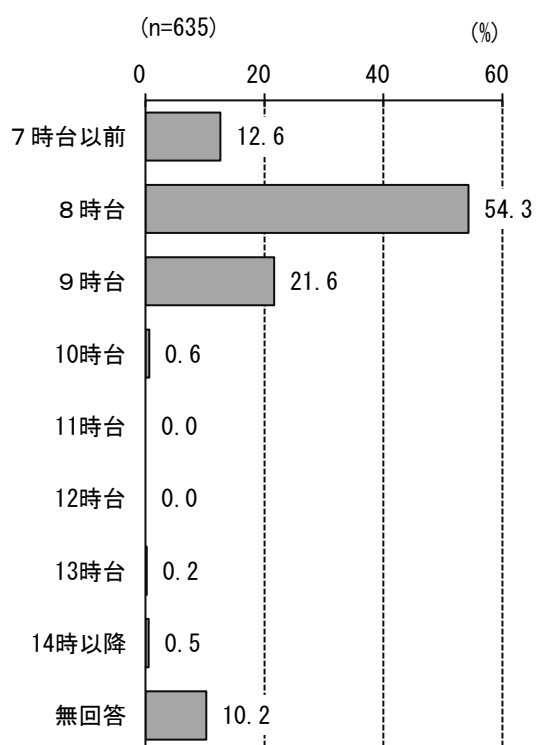
【図 1週あたりの利用日数】



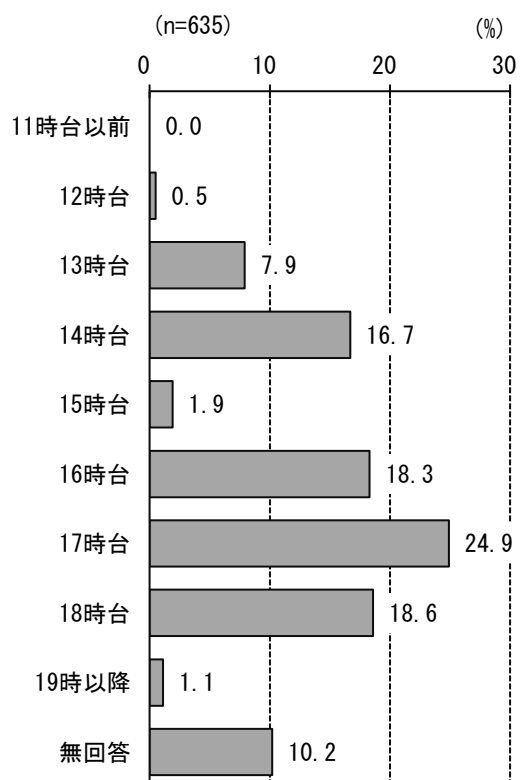
【図 1日あたりの利用時間】



【図 利用開始時間】



【図 利用終了時間】



(5) 利用していない理由

問13で「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

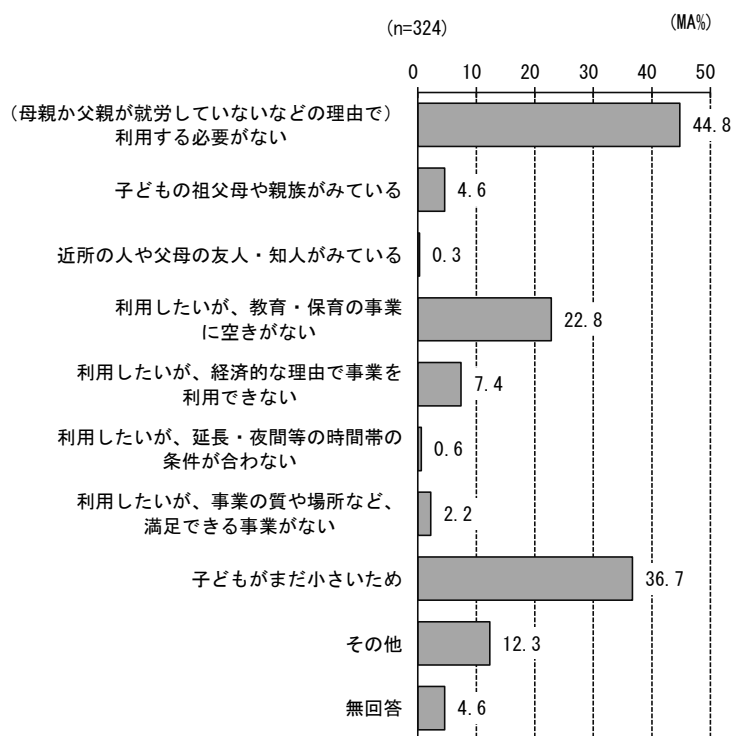
問13-④ 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

◆「8」を選んだ方は 内に年齢もご記入ください。

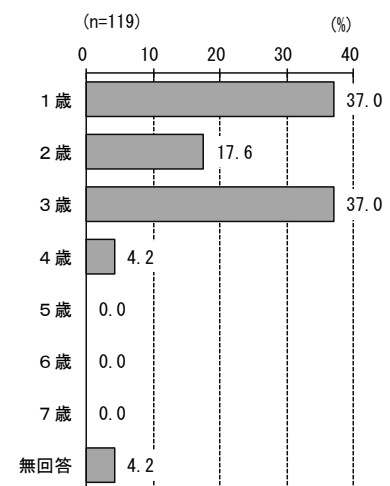
利用していない理由は、「(母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が44.8%と最も多く、次いで、「子どもがまだ小さいため」が36.7%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」が22.8%となっている。

利用したい子どもの年齢は、「1歳」と「3歳」でそれぞれ37.0%となっている。

【図 利用していない理由】



【図 利用したい子どもの年齢】

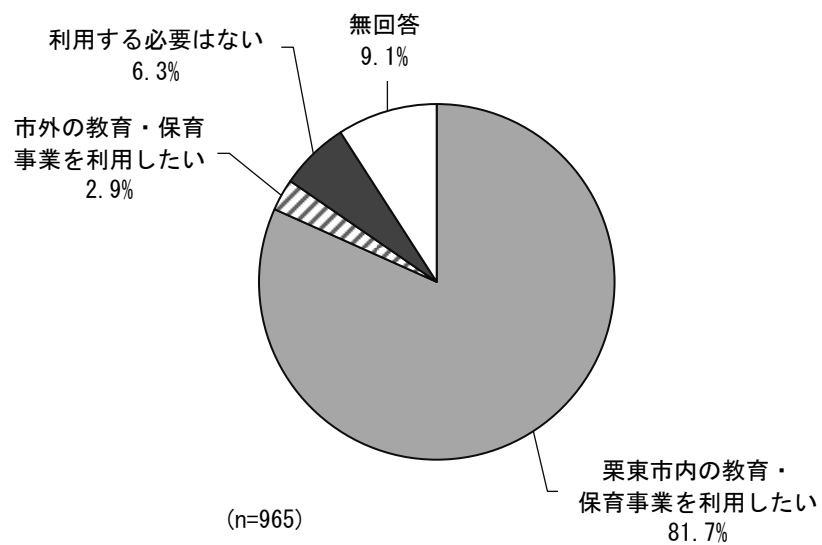


(6) 平日の教育・保育事業として幼稚園や保育施設等を定期的に利用したいか

問14 現在、利用している・利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、問13-①や問13-②に示す事業を定期的に利用したいですか。(○はひとつ)

平日の教育・保育事業として幼稚園や保育施設等を定期的に利用したいかでは、「栗東市内の教育・保育事業を利用したい」が81.7%、「利用する必要はない」が6.3%となっている。

【図 平日の教育・保育事業として幼稚園や保育施設等定期的に利用したいか】



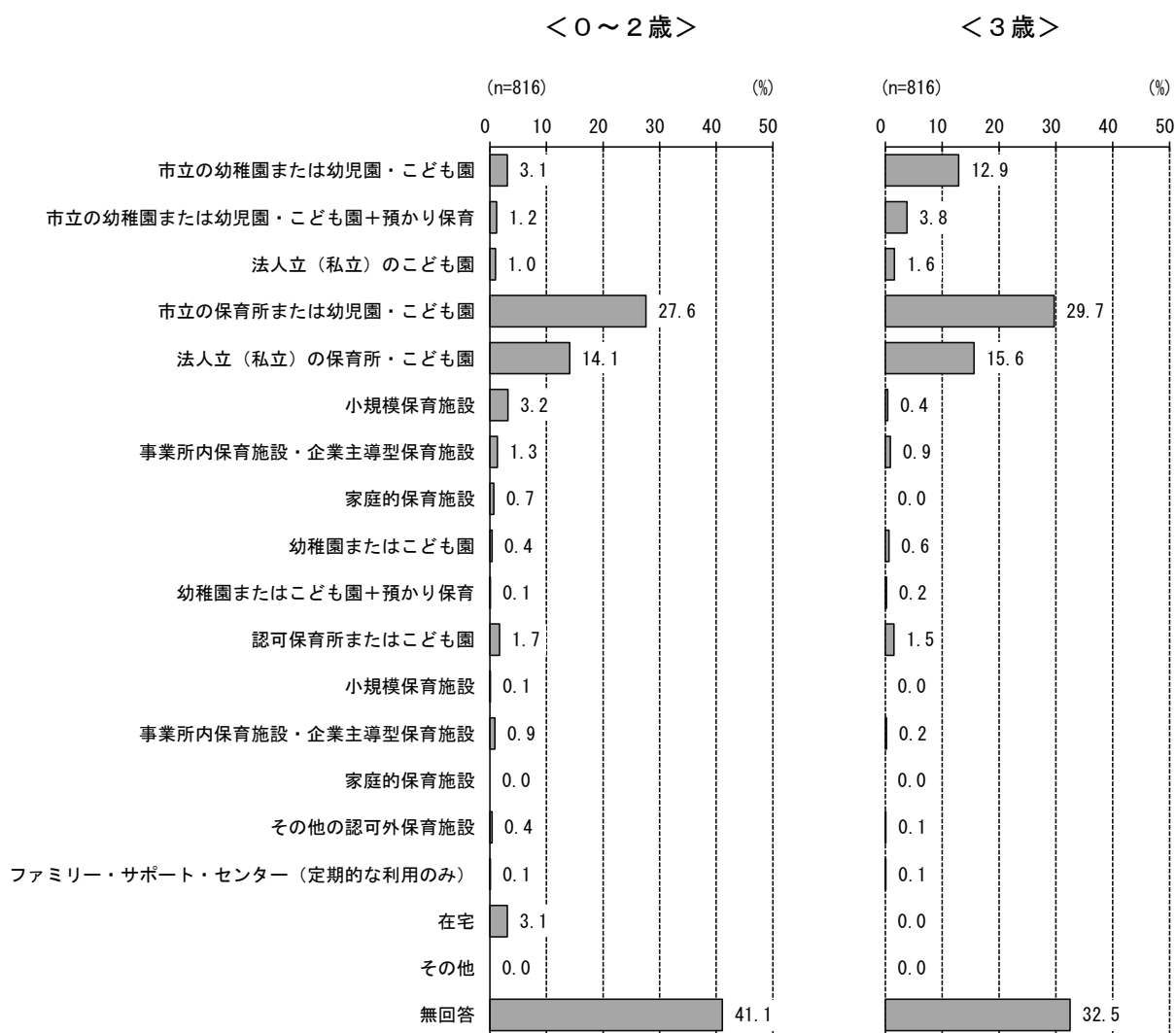
(7) 平日の教育・保育事業として定期的にご利用したいと思う事業

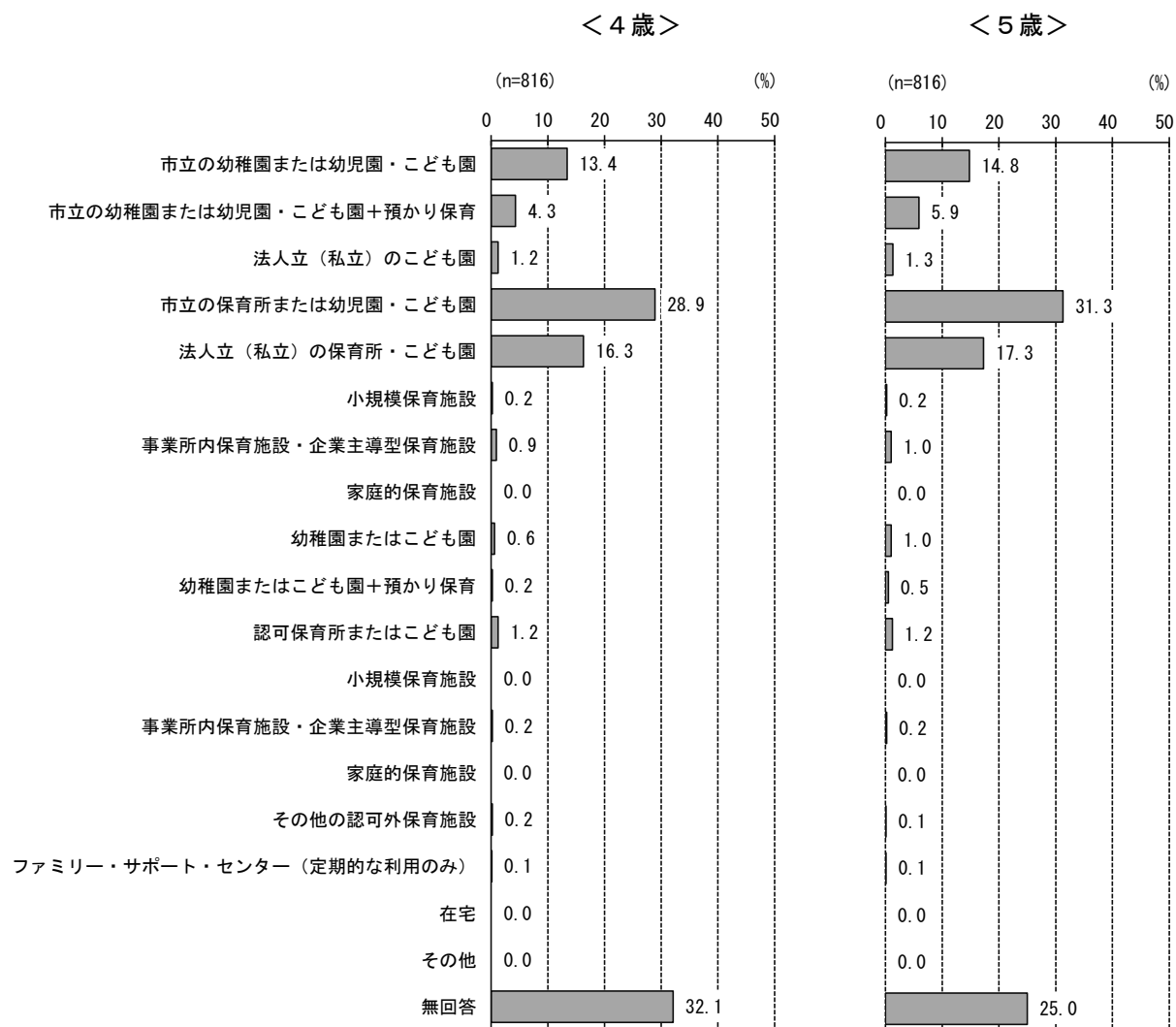
問14で「1」、「2」に○をつけた方にうかがいます。

問14-① 現在、利用している・利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、定期的にご利用したいと思う事業は何ですか。お子さんの年齢ごとに希望する事業を下欄〔事業選択肢〕の中から選び、「第1希望」「第2希望」欄に番号でご記入ください。

平日の教育・保育事業として定期的にご利用したいと思う事業は、第一希望では0～2歳が、「市立の保育所または幼稚園・こども園」が27.6%と最も多く、次いで、「法人立（私立）の保育所・こども園」が14.1%となっている。3歳では、「市立の保育所または幼稚園・こども園」が29.7%と最も多く、次いで、「法人立（私立）の保育所・こども園」が15.6%となっている。4歳では、「市立の保育所または幼稚園・こども園」が28.9%と最も多く、次いで、「法人立（私立）の保育所・こども園」が16.3%となっている。5歳では、「市立の保育所または幼稚園・こども園」が31.3%と最も多く、次いで、「法人立（私立）の保育所・こども園」が17.3%となっている。

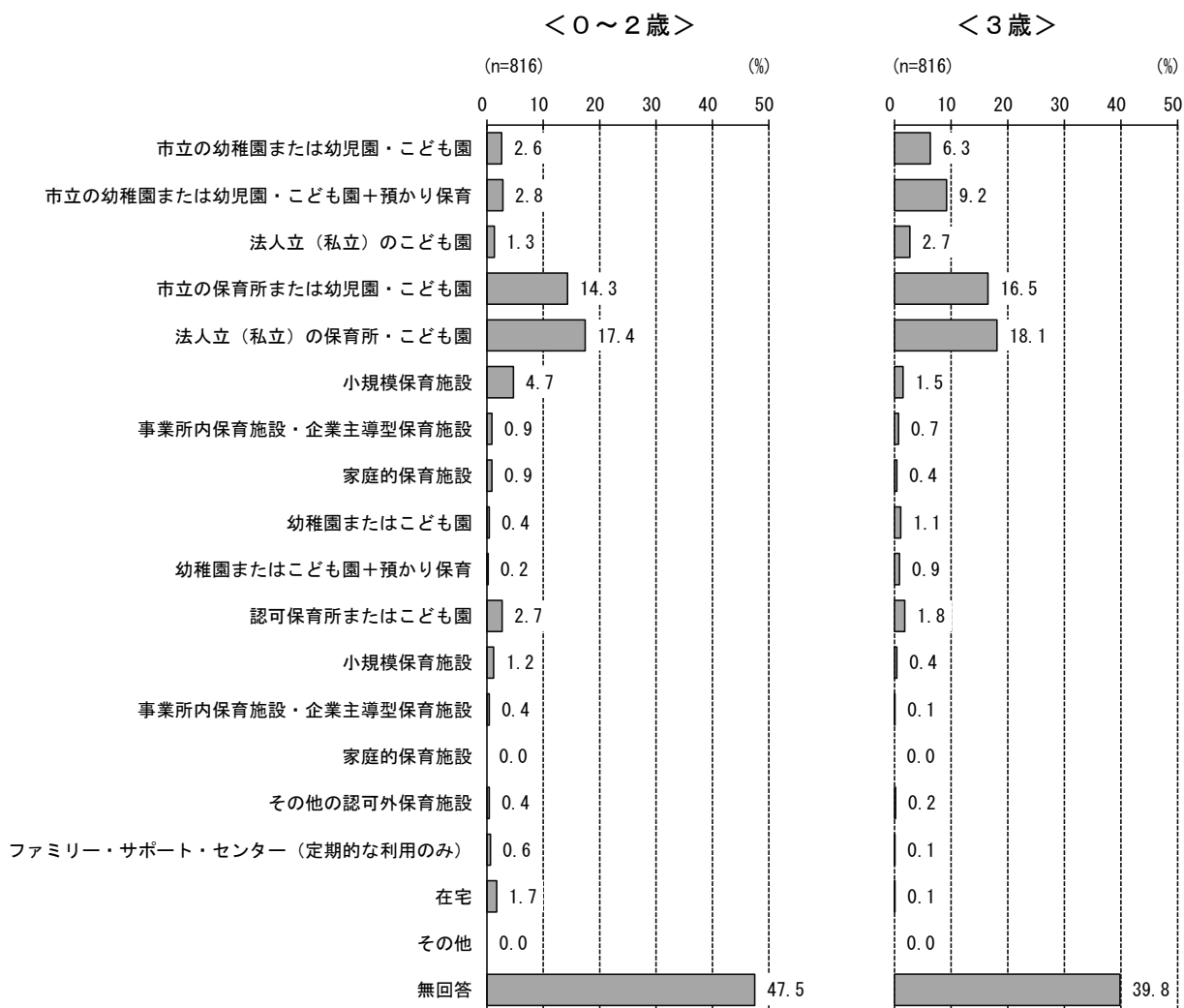
【図 平日の教育・保育事業として定期的にご利用したいと思う事業（第一希望）】



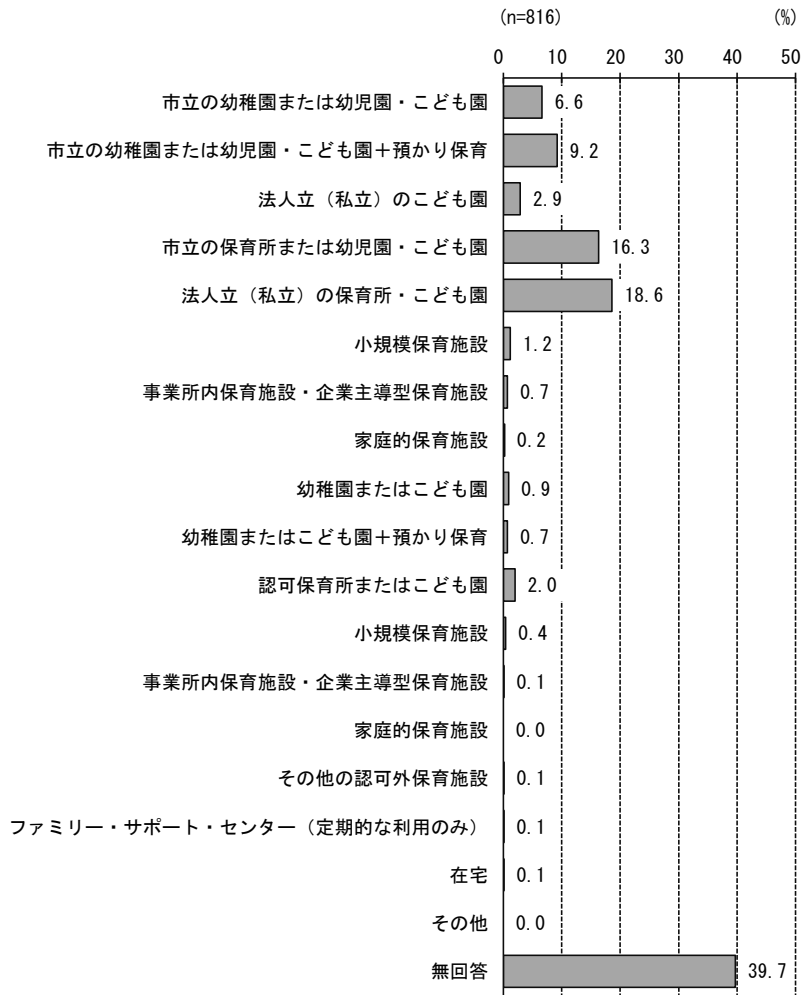


平日の教育・保育事業として定期的にご利用したいと思う事業は、第二希望では0～2歳が、「法人立（私立）の保育所・こども園」が17.4%と最も多く、次いで、「市立の保育所または幼稚園・こども園」が14.3%となっている。3歳では、「法人立（私立）の保育所・こども園」が18.1%と最も多く、次いで、「市立の保育所または幼稚園・こども園」が16.5%となっている。4歳では、「法人立（私立）の保育所・こども園」が18.6%と最も多く、次いで、「市立の保育所または幼稚園・こども園」が16.3%となっている。5歳では、「法人立（私立）の保育所・こども園」が19.9%と最も多く、次いで、「市立の保育所または幼稚園・こども園」が18.4%となっている。

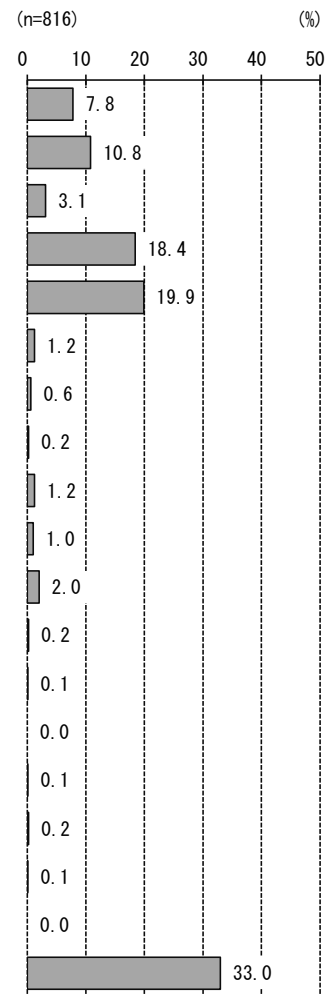
【図 平日の教育・保育事業として定期的にご利用したいと思う事業（第二希望）】



< 4 歳 >



< 5 歳 >



（８）平日の定期的な教育・保育事業の希望利用日数・利用時間

問14で「１」、「２」に○をつけた方にうかがいます。

問14-② 平日の定期的な教育・保育事業について、希望としてはどのくらい利用したいですか。

①希望日数、②希望時間をお答えください。（ 内に数字で記入）

◆時間は、必ず24時間表記でご記入ください。（例）8時30分～18時00分

問14で「１」、「２」に○をつけた方にうかがいます。

問14-③ 時短勤務等の制度を利用した場合、希望としてはどのくらい利用したいですか。

①希望日数、②希望時間をお答えください。（ 内に数字で記入）

◆時間は、必ず24時間表記でご記入ください。（例）8時30分～18時00分

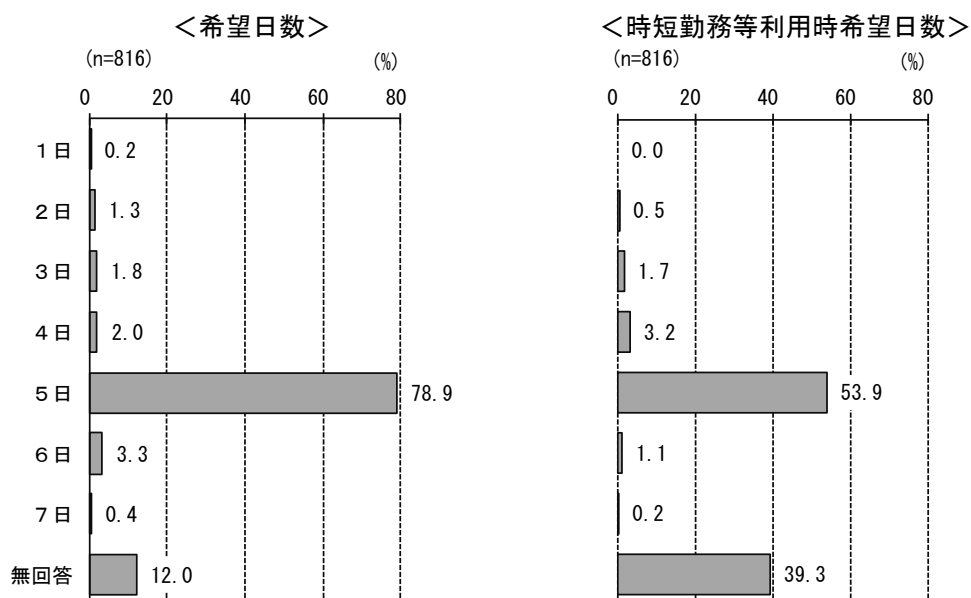
平日の定期的な教育・保育事業の希望利用日数は、「週５日」が78.9%、「週６日」が3.3%となっている。時短勤務等利用時の希望日数は、「週５日」が53.9%、「週４日」が3.2%となっている。

平日の定期的な教育・保育事業の希望利用時間は、「10 時間以上」が33.2%、「８時間」が15.6%、「９時間」が13.7%となっている。時短勤務等利用時の希望時間は、「８時間」が17.2%、「９時間」が12.3%、「10 時間以上」が11.9%となっている。

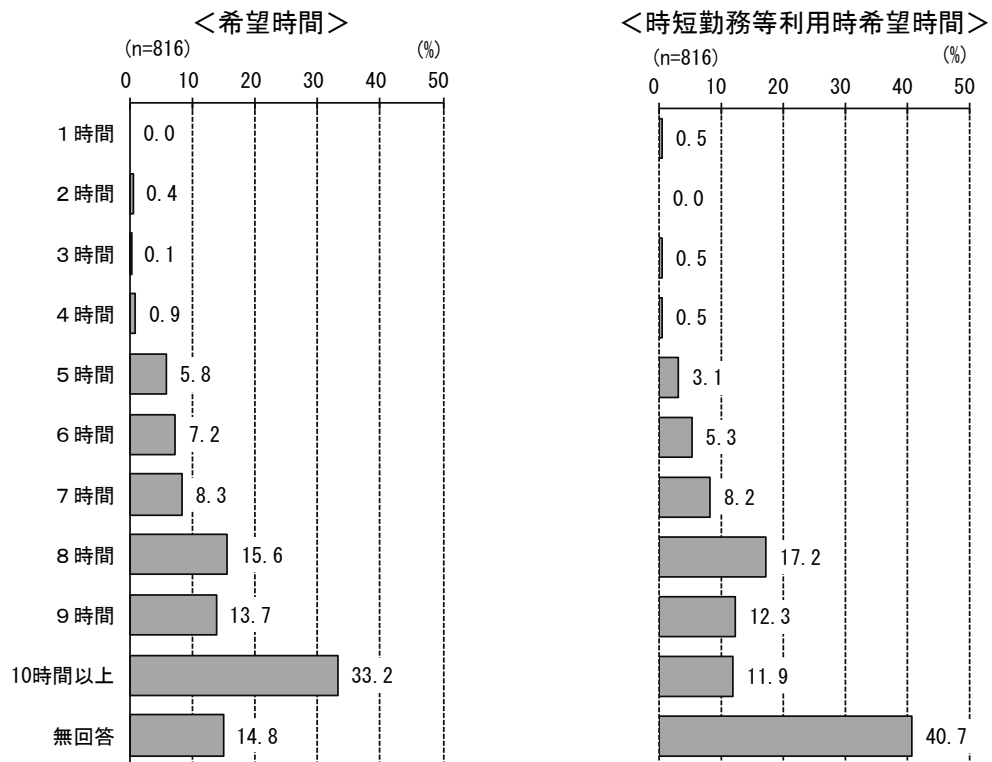
平日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間は、「８時台」が49.5%、「９時台」が18.8%、「７時台」が17.0%となっている。時短勤務等利用時の希望開始時間は、「８時台」が37.1%、「９時台」が14.7%、「７時台」が7.0%となっている。

平日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間は、「18 時台」が26.5%、「17 時台」が20.7%、「16 時台」が16.5%となっている。時短勤務等利用時の希望終了時間は、「16 時台」が20.7%、「17 時台」が17.4%、「18 時台」が9.2%となっている。

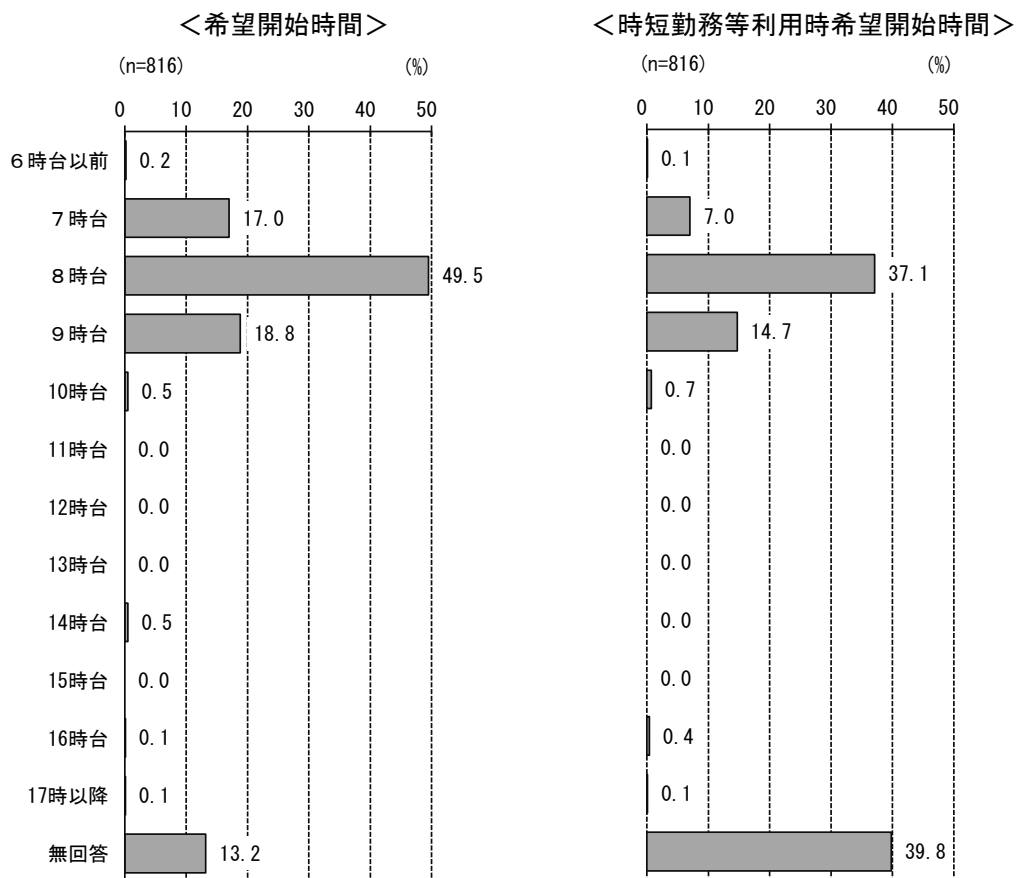
【図 １週あたりの利用日数】



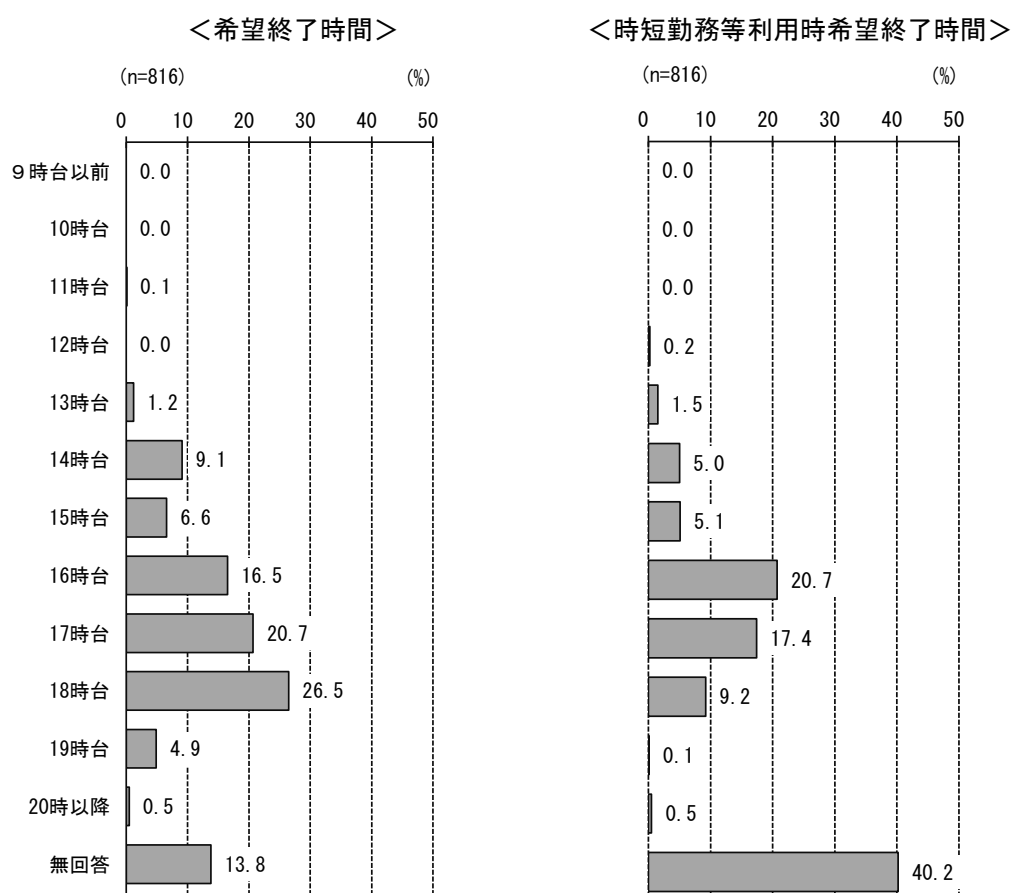
【図 1日あたりの利用時間】



【図 利用開始時間】



【図 利用終了時間】



4. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問15 宛名のお子さんは、現在地域子育て支援センター、児童館、ひだまりの家を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

◆利用されている場合は、 内におおよその利用日数(頻度)をご記入ください。

◆「1. 地域子育て支援センター」、「2. 児童館」を利用されている場合、普段利用している児童館の名称に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

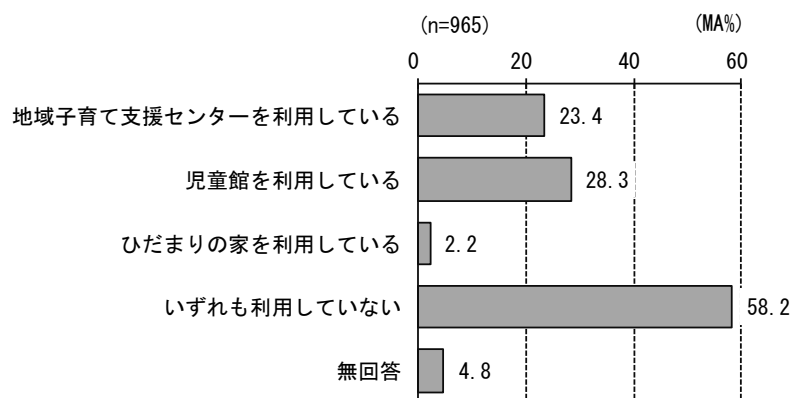
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「いずれも利用していない」が 58.2%と最も多く、次いで、「児童館」が 28.3%となっている。

地域子育て支援拠点事業の週あたりの利用日数は、「地域子育て支援センター」、「児童館」、「ひだまりの家」でそれぞれ「週1日」が一番多くなっている。

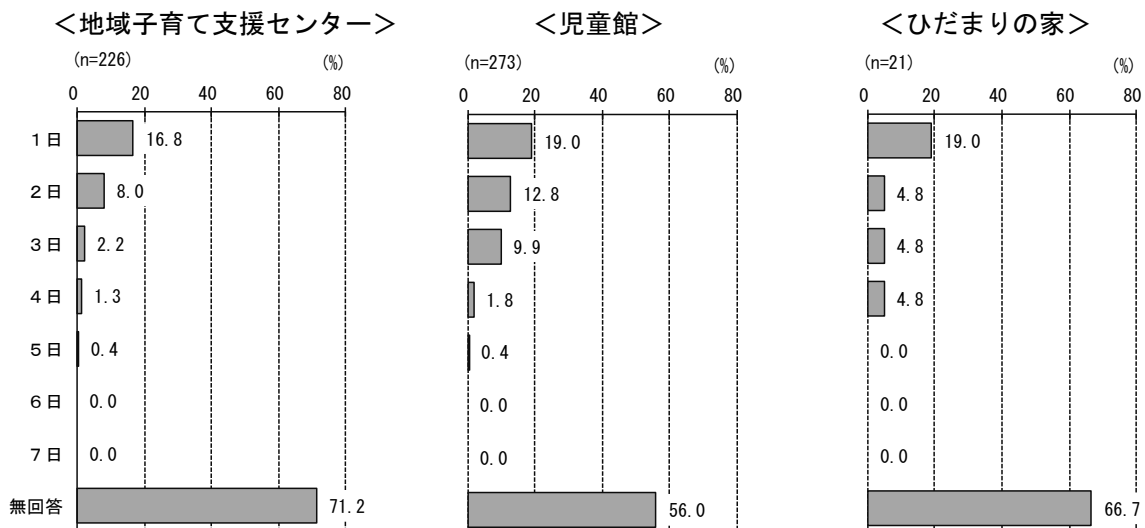
地域子育て支援拠点事業の1ヶ月あたりの利用日数は、「地域子育て支援センター」、「児童館」、「ひだまりの家」でそれぞれ「月1日」が一番多くなっている。

普段利用している児童館では、「治田東児童館」が 18.0%、「大宝東児童館」が 17.1%、「治田西児童館」が 10.0%となっている。

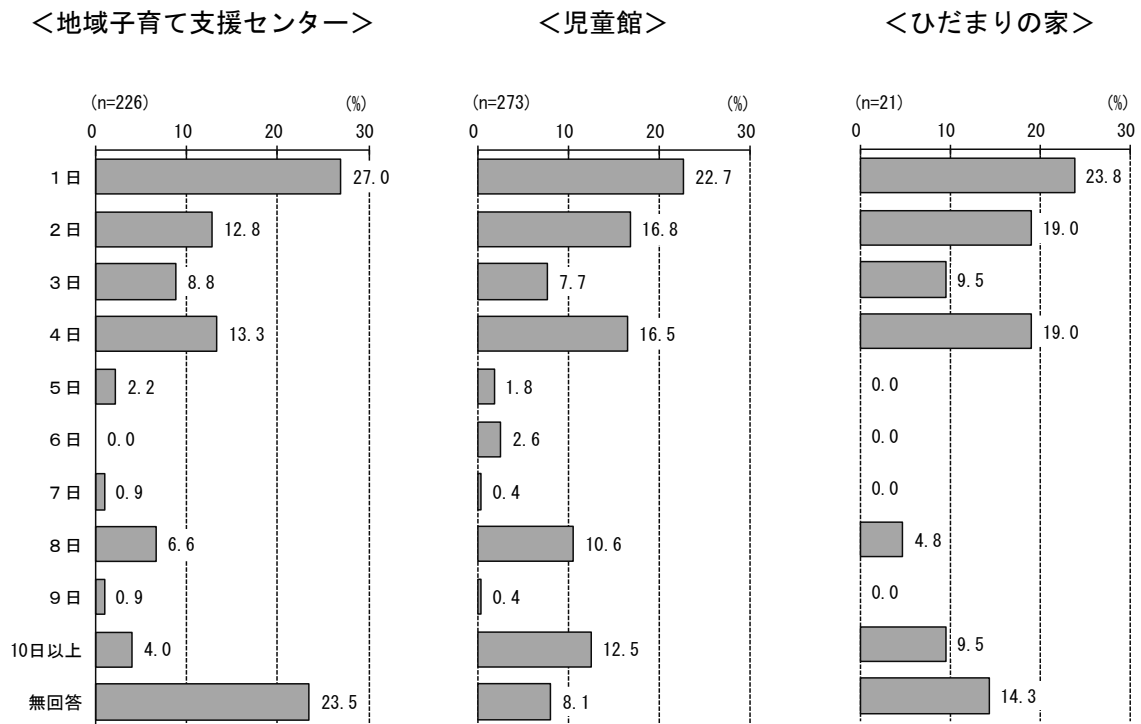
【図 地域子育て支援拠点事業の利用状況】



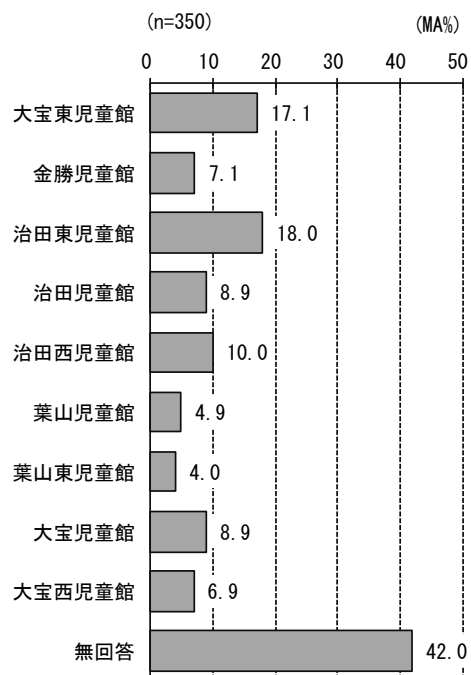
【図 1週あたりの地域子育て支援拠点事業の利用日数】



【図 1ヶ月あたりの地域子育て支援拠点事業の利用日数】



【図 利用している児童館の名称】



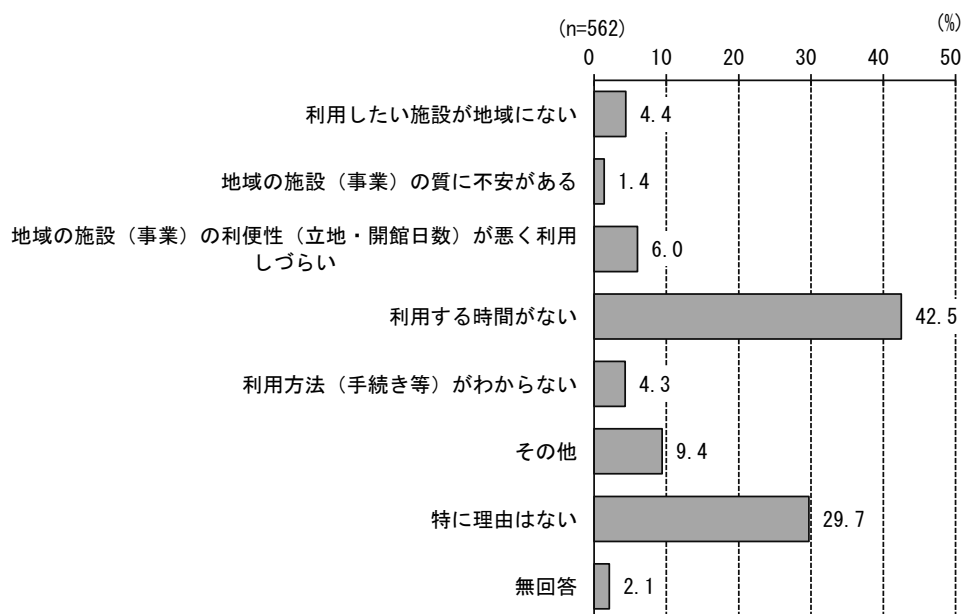
（２）利用していない理由

問15で「４．いずれも利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問15-① 現在、利用していない理由は何ですか。（○はひとつ）

利用していない理由は、「利用する時間がない」が 42.5%と最も多く、次いで、「特に理由はない」が 29.7%となっている。

【図 利用していない理由】



(3) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問16 問15の地域子育て支援センター、児童館、ひだまりの家について、現在は利用していないが、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(○はひとつ)

問16で「1」、「2」に○をつけた方にうかがいます。

問16-① 希望としてはどれくらい利用したいですか。

◆選択した事業について、おおよその希望日数(頻度)を 内にご記入ください。

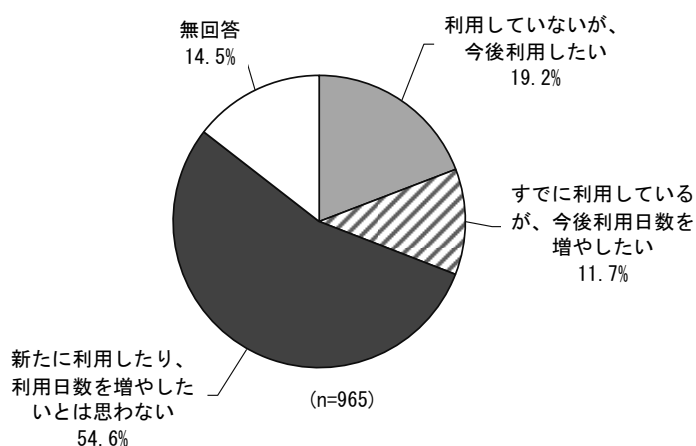
地域子育て支援拠点事業の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 54.6%と最も多く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」が 19.2%となっている。

利用する施設は、「児童館」が 78.5%と最も多く、次いで、「地域子育て支援センター」が 44.3%となっている。

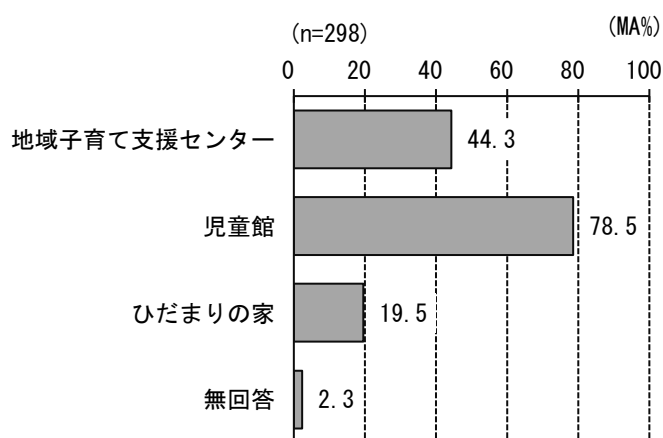
地域子育て支援拠点事業の週あたりの希望利用日数は、「地域子育て支援センター」、「児童館」、「ひだまりの家」でそれぞれ「週1日」が一番多くなっている。

地域子育て支援拠点事業の1か月あたりの希望利用日数は、「地域子育て支援センター」、「児童館」、「ひだまりの家」でそれぞれ「月4日」が一番多くなっている。

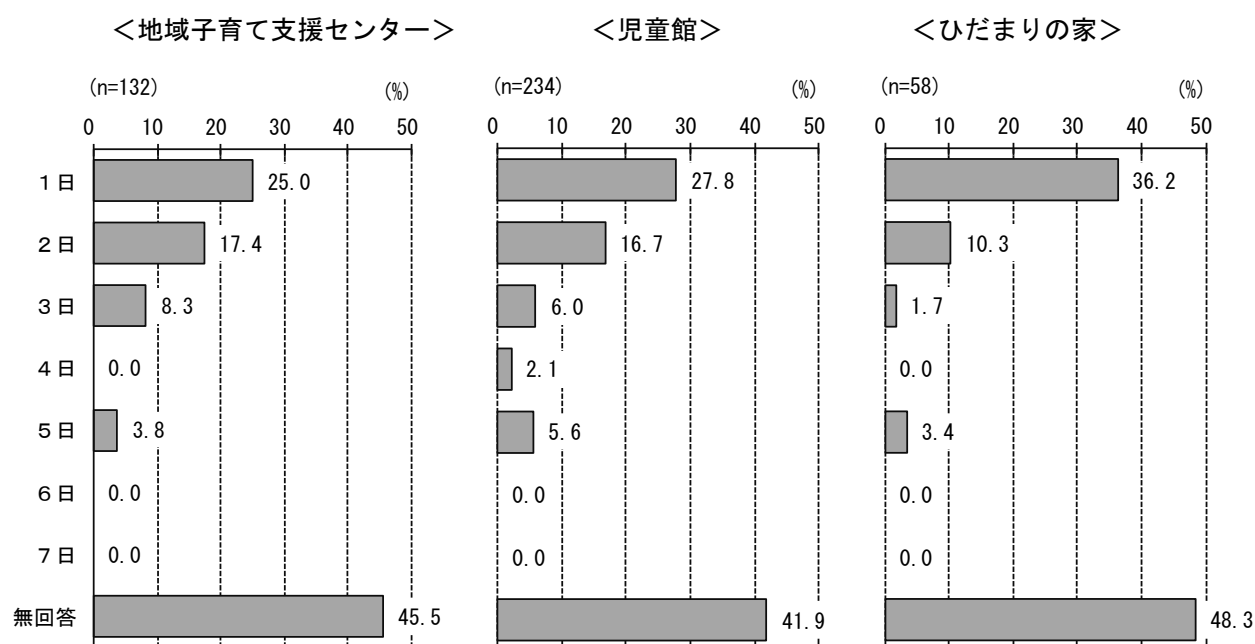
【図 地域子育て支援拠点事業の利用希望】



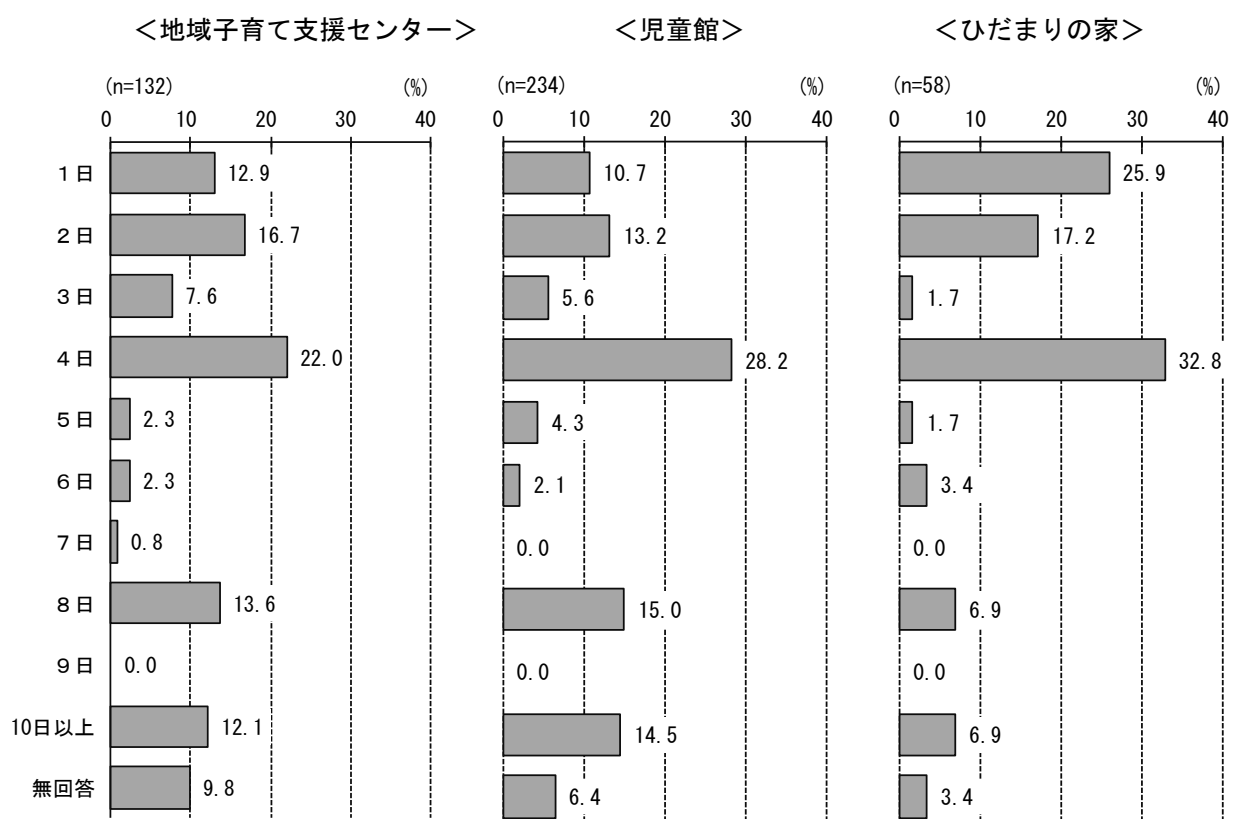
【図 希望する施設】



【図 1 週あたりの地域子育て支援拠点事業の希望利用日数】



【図 1 か月あたりの地域子育て支援拠点事業の希望利用日数】



【表 年齢別・居住地区別・母親の就労タイプ別 地域子育て支援拠点事業の利用希望】

		合計	後利用 したい ないが、 今	やが、す し、で たい今に い後利 利用し て日数 いる増	は用新 思日た わ数を ない増 やした たり、 いと利	無 回 答
全体		965	185	113	527	140
上段/実数 下段/%		100.0	19.2	11.7	54.6	14.5
年 齢	0歳児	103	42	19	32	10
		100.0	40.8	18.4	31.1	9.7
	1歳児	120	23	21	57	19
		100.0	19.2	17.5	47.5	15.8
	2歳児	125	29	19	64	13
		100.0	23.2	15.2	51.2	10.4
	3歳児（年少）	141	20	11	86	24
		100.0	14.2	7.8	61.0	17.0
	4歳児（年中）	136	22	17	81	16
		100.0	16.2	12.5	59.6	11.8
	5歳児（年長）	244	27	19	158	40
		100.0	11.1	7.8	64.8	16.4
居 住 地 区	金勝	62	11	6	36	9
		100.0	17.7	9.7	58.1	14.5
	葉山	99	17	11	60	11
		100.0	17.2	11.1	60.6	11.1
	葉山東	101	23	10	52	16
		100.0	22.8	9.9	51.5	15.8
	治田	206	40	20	109	37
		100.0	19.4	9.7	52.9	18.0
	治田東	67	7	7	44	9
		100.0	10.4	10.4	65.7	13.4
	治田西	132	27	20	70	15
		100.0	20.5	15.2	53.0	11.4
	大宝	133	36	12	71	14
		100.0	27.1	9.0	53.4	10.5
	大宝東	67	8	11	40	8
		100.0	11.9	16.4	59.7	11.9
	大宝西	77	15	16	34	12
		100.0	19.5	20.8	44.2	15.6
母 親 の 就 労 タイプ	フルタイム （休業中含む）	426	84	36	247	59
		100.0	19.7	8.5	58.0	13.8
	パート・アルバイト等 （休業中含む）	225	47	17	131	30
		100.0	20.9	7.6	58.2	13.3
	就労していない	293	50	58	142	43
		100.0	17.1	19.8	48.5	14.7

(4) 事業の認知度・利用度、利用意向について

問17 下の①～⑬の事業の(1)認知度・利用度、(2)利用意向についてお答えください。

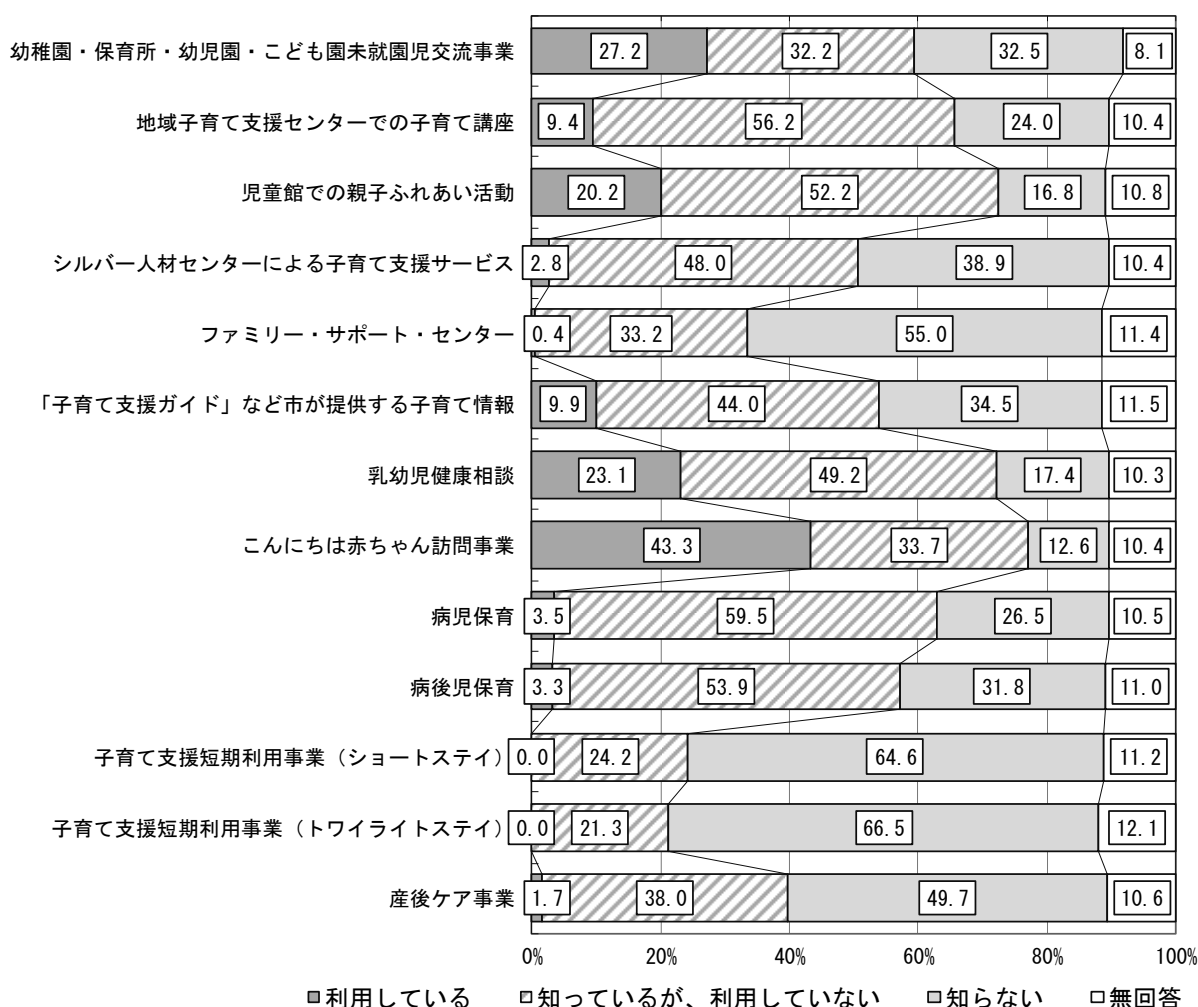
(○はひとつずつ)

事業の認知度・利用度については、「利用している」のは「こんにちは赤ちゃん訪問事業」が43.3%と最も多く、次いで、「幼稚園・保育所・幼児園・こども園未就園児交流事業」が27.2%となっている。

事業の利用意向では、「利用したい」は「幼稚園・保育所・幼児園・こども園未就園児交流事業」が58.0%、「児童館での親子ふれあい活動」が48.9%、『子育て支援ガイド』など市が提供する子育て情報」が45.0%となっている。

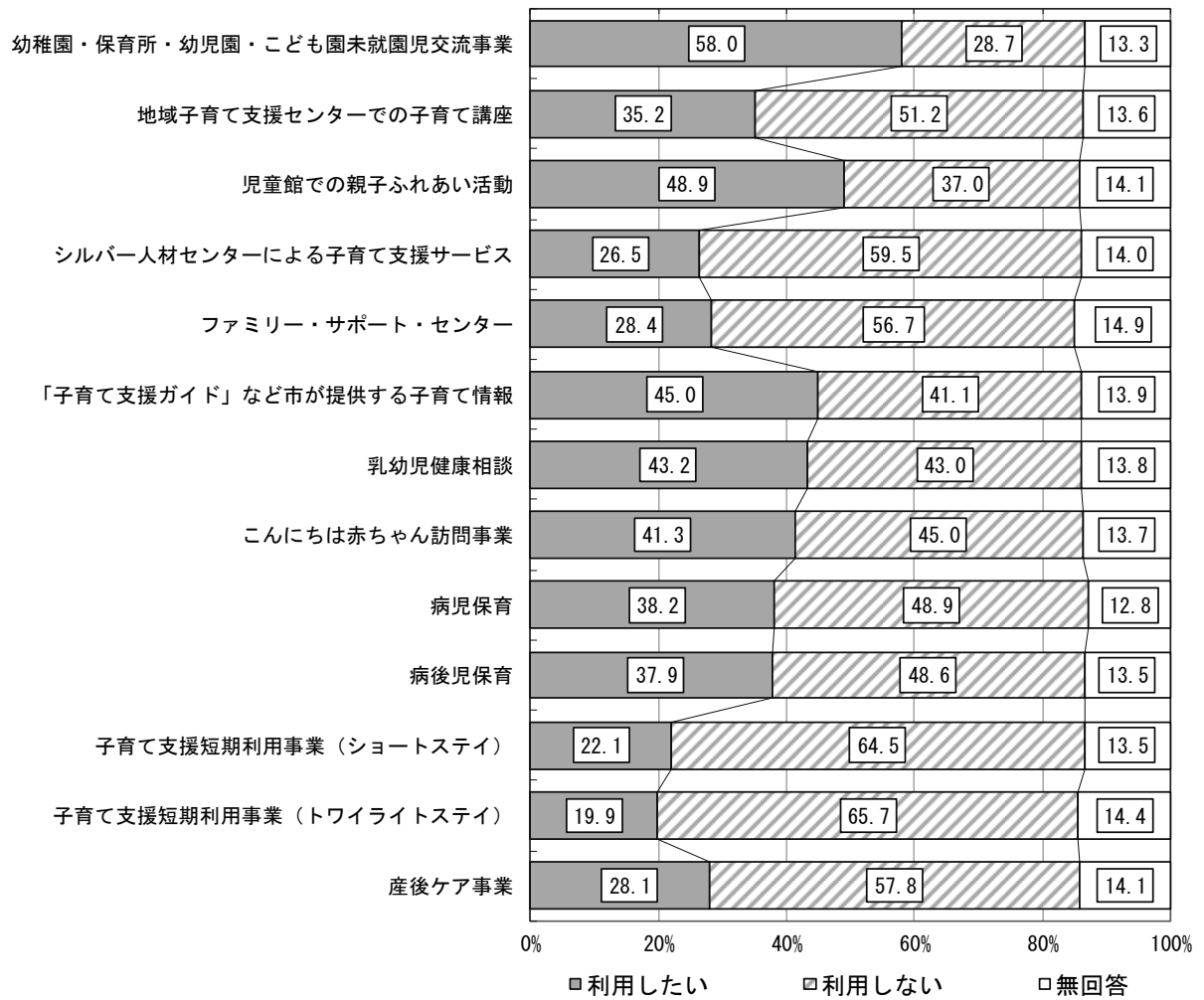
【図 事業の認知度・利用度】

(n=965)



【図 事業の利用意向】

(n=965)



5. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○はひとつ）

◆希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間表記でご記入ください。

（例）8時30分～18時00分

◆これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

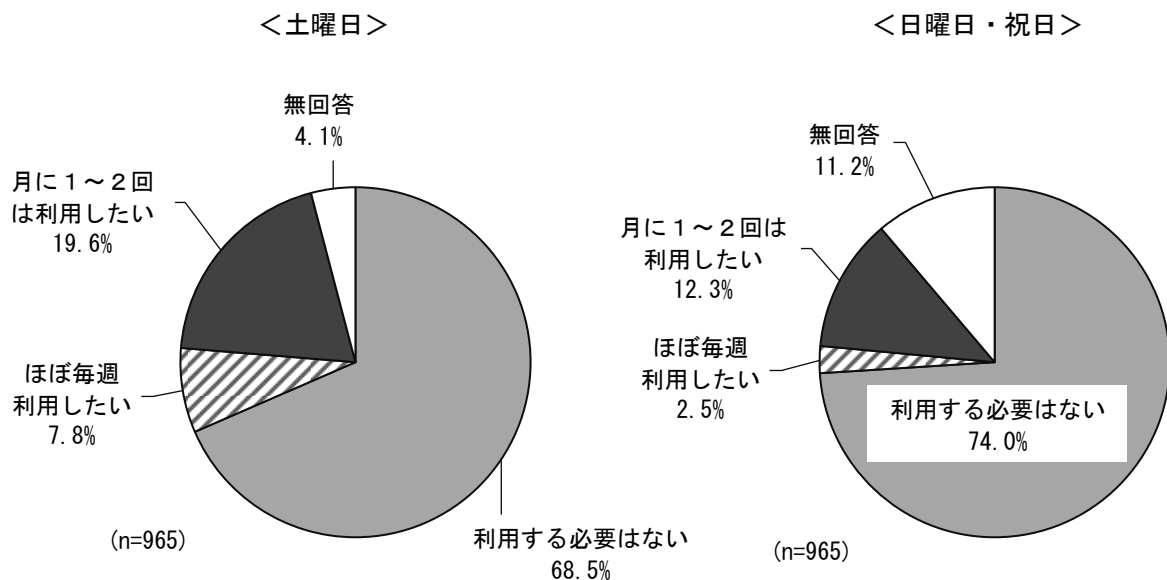
◆定期的な教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、幼児園、こども園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

定期的な教育・保育事業の利用希望は、土曜日では、「利用する必要はない」が 68.5%と最も多く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が 19.6%、「ほぼ毎週利用したい」が 7.8%となっている。日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が 74.0%と最も多く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が 12.3%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.5%となっている。

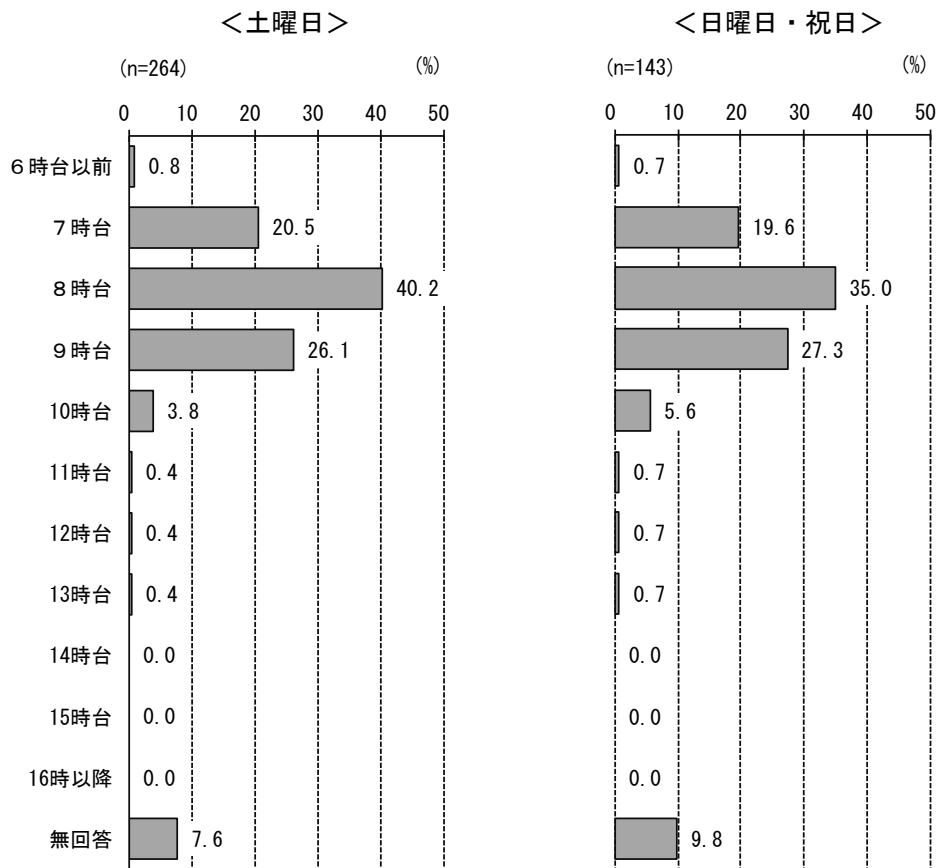
希望開始時間は、土曜日では、「8時台」が 40.2%と最も多く、次いで、「9時台」が 26.1%、「7時台」が 20.5%となっている。日曜日・祝日では、「8時台」が 35.0%と最も多く、次いで、「9時台」が 27.3%、「7時台」が 19.6%となっている。

希望終了時間は、土曜日では、「18時台」が 28.0%と最も多く、次いで、「17時台」が 26.9%、「16時台」が 17.4%となっている。日曜日・祝日では、「18時台」が 31.5%と最も多く、次いで、「17時台」が 30.1%、「16時台」が 9.8%となっている。

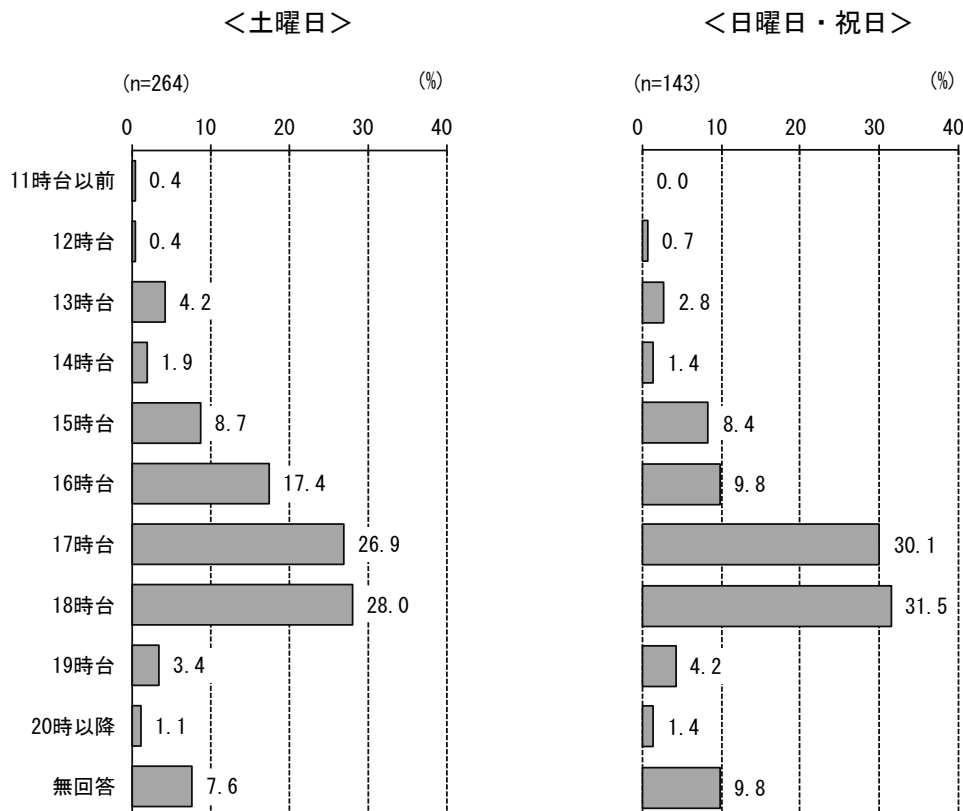
【図 定期的な教育・保育事業の利用希望】



【図 利用開始時間】



【図 利用終了時間】



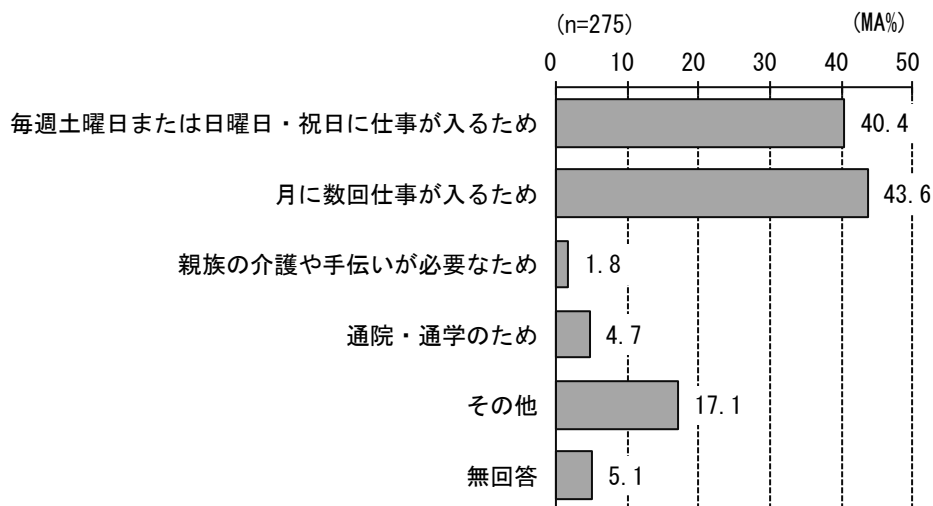
（２）土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望の理由

問 18（１）または（２）で、「２」、「３」に○をつけた方にうかがいます。

問 18-① 利用したい理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望の理由では、「月に数回仕事が入るため」が43.6%、「毎週土曜日または日曜日・祝日に仕事が入るため」が40.4%となっている。

【図 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望の理由】



(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

現在、「幼稚園または幼児園、こども園の幼稚園籍」を利用されている方にうかがいます。

問19 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

◆希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間表記でご記入ください。(例) 8時30分～18時00分

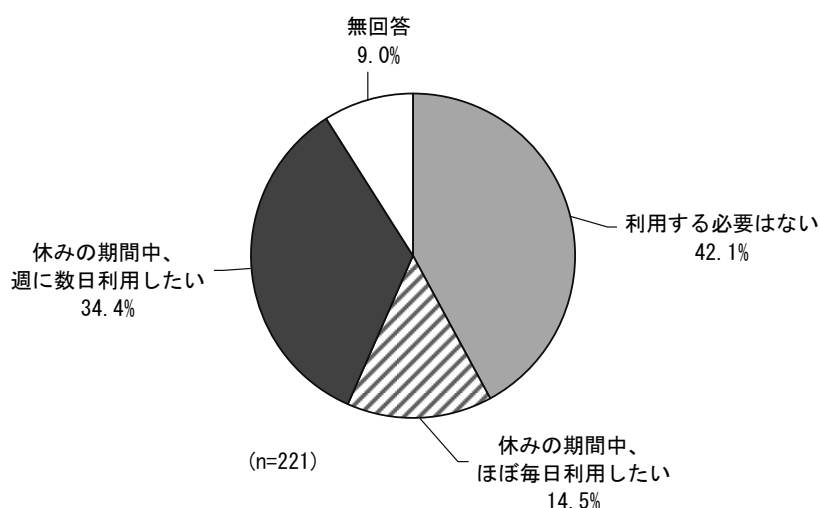
◆なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が 42.1%と最も多く、次いで、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 34.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 14.5%となっている。

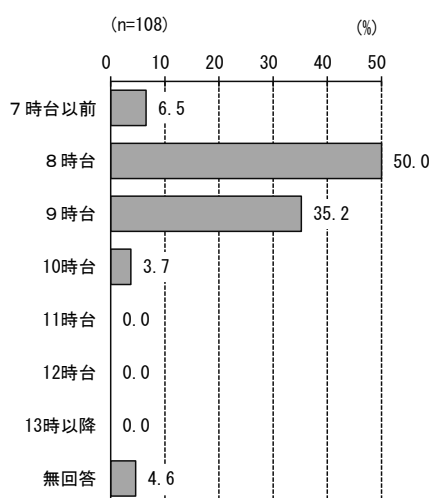
希望開始時刻は、「8 時台」が 50.0%と最も多く、次いで、「9 時台」が 35.2%となっている。

希望終了時刻は、「16 時台」が 22.2%と最も多く、次いで、「14 時台」が 18.5%、「15 時台」が 16.7%となっている。

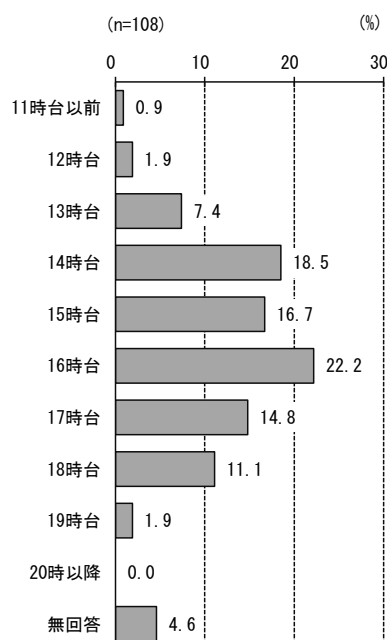
【図 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望】



【図 利用開始時間】



【図 利用終了時間】



6. 病気の際の対応について

(1) 病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと

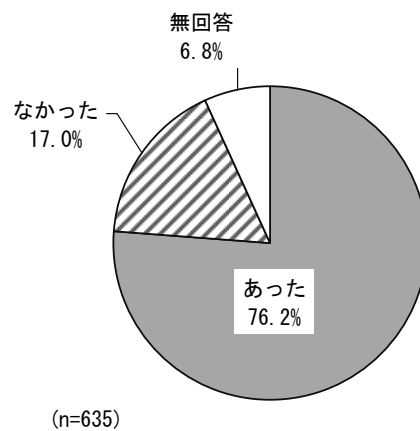
問13で「1」または「2」に○をつけた方（平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方）に
うかがいます。

問20 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった
ことはありましたか。（どちらかに○）

病気等で教育・保育事業が利用できなかったことは、「あった」が76.2%、「なかった」が17.0%となっている。

年齢別でみると、2歳児で、「あった」が88.7%となっている。

【図 病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと】



【表 年齢別 病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと】

			あ っ た	な か っ た	無 回 答
		合計			
全体		635	484	108	43
		100.0	76.2	17.0	6.8
年 齢	0歳児	5	3	2	—
		100.0	60.0	40.0	—
	1歳児	42	31	7	4
		100.0	73.8	16.7	9.5
	2歳児	62	55	5	2
		100.0	88.7	8.1	3.2
	3歳児（年少）	91	70	15	6
		100.0	76.9	16.5	6.6
	4歳児（年中）	129	99	21	9
		100.0	76.7	16.3	7.0
	5歳児（年長）	239	180	44	15
		100.0	75.3	18.4	6.3

（２）病気等で教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法、対処した際の日数（年間）

問20で、「１．あった」に○をつけた方にうかがいます。

問21 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合の、この１年間の対処方法についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

◆それぞれの日数も 内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウント）

病気等で教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が75.6%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が46.9%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が29.3%となっている。

母親が仕事を休んだ日数は、「年10日以上」が56.8%と最も多く、次いで、「年5日」が13.7%、「年3日」が7.9%、「年7日」が5.5%となっている。

父親が仕事を休んだ日数は、「年5日」が27.3%と最も多く、次いで、「年3日」が18.5%、「年2日」、「年10日以上」がそれぞれ16.7%となっている。

（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数は、「年5日」が30.3%と最も多く、次いで、「年10日以上」が19.7%、「年2日」が16.9%となっている。

母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた日数は、「年10日以上」が55.3%と最も多く、次いで、「年5日」が9.8%となっている。

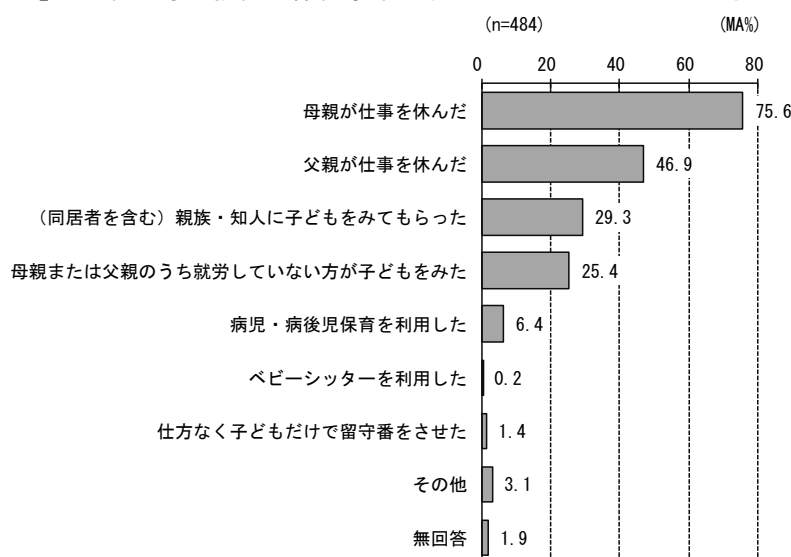
病児・病後児保育を利用した日数では、「年1日」、「年5日」、「年10日以上」がそれぞれ19.4%となっている。

ベビーシッターを利用した日数では、「年1日」が100.0%となっている。

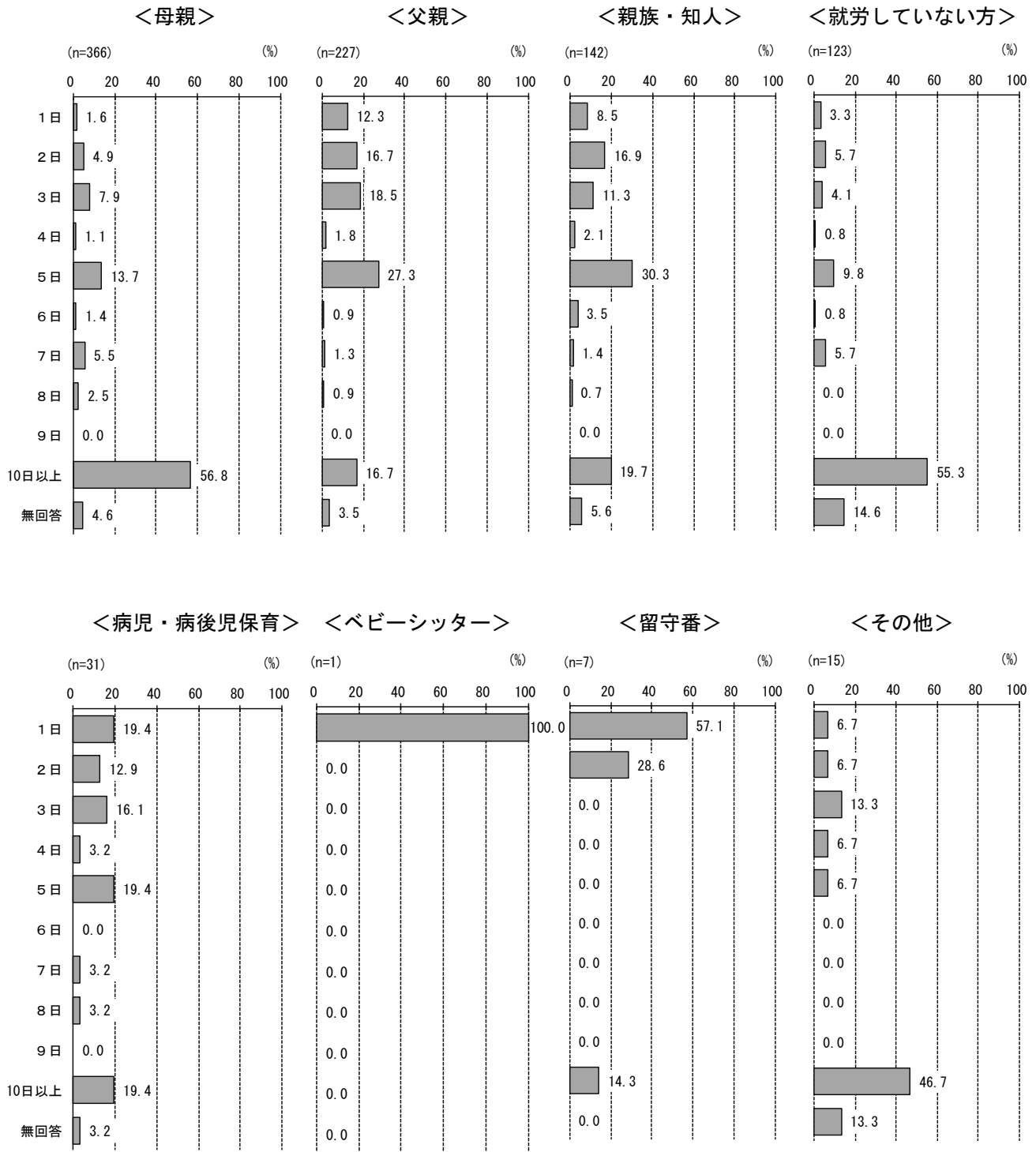
仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数では、「年1日」が57.1%、「年2日」が28.6%となっている。

その他の日数では、「年10日以上」が46.7%、「年3日」が13.3%となっている。

【図 病気等で教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法】



【図 対処した日数】



【表 年齢別・母親の就労タイプ別 病気等で教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法】

			母親が仕事を休んだ	父親が仕事を休んだ	ても・同居者を含む） 族・知人に子どもを もらった	どもをみていない 就労した父親の 母親または父親の 子ども	用した・病後児保 病児・病後児保 用した	したベビーシッター ベビーシッターを 利用	留守番をさせた 仕方なく子ども 留守番をさせた	その他	無回答
		合計									
全体		484	366	227	142	123	31	1	7	15	9
上段/実数 下段/MA%		100.0	75.6	46.9	29.3	25.4	6.4	0.2	1.4	3.1	1.9
年齢	0歳児	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	1歳児	31	29	18	12	2	1	-	-	1	-
		100.0	93.5	58.1	38.7	6.5	3.2	-	-	3.2	-
	2歳児	55	50	38	25	5	7	-	-	4	1
		100.0	90.9	69.1	45.5	9.1	12.7	-	-	7.3	1.8
	3歳児（年少）	70	66	38	26	11	11	1	3	3	1
		100.0	94.3	54.3	37.1	15.7	15.7	1.4	4.3	4.3	1.4
	4歳児（年中）	99	66	46	22	34	5	-	1	1	5
		100.0	66.7	46.5	22.2	34.3	5.1	-	1.0	1.0	5.1
	5歳児（年長）	180	121	66	45	58	6	-	3	5	2
		100.0	67.2	36.7	25.0	32.2	3.3	-	1.7	2.8	1.1
母親の 就労 タイプ	フルタイム （休業中含む）	238	225	150	100	25	21	-	2	7	-
		100.0	94.5	63.0	42.0	10.5	8.8	-	0.8	2.9	-
	パート・アルバイト等 （休業中含む）	156	136	68	39	20	9	1	5	7	5
		100.0	87.2	43.6	25.0	12.8	5.8	0.6	3.2	4.5	3.2
	就労していない	82	2	7	1	75	1	-	-	-	4
		100.0	2.4	8.5	1.2	91.5	1.2	-	-	-	4.9

(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望と利用したい日数

問21で「1. 母親が仕事を休んだ」、「2. 父親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問21-① その際、病児・病後児のための保育施設等を利用したかったですか。(○はひとつ)

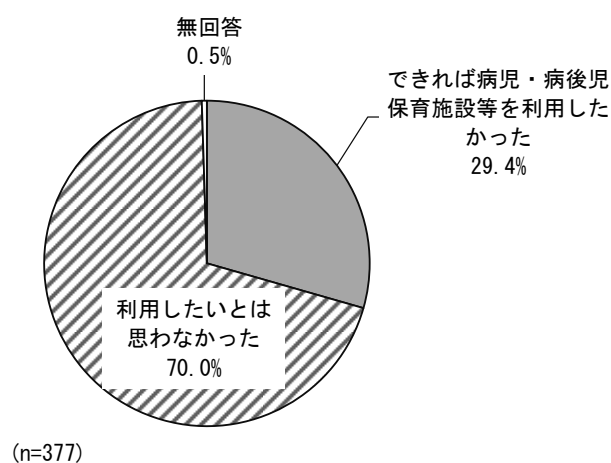
◆「1」を選んだ方は 内に日数をご記入ください。

◆病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前に指定医療機関の受診が必要となります。(栗東市では病後児保育を実施)

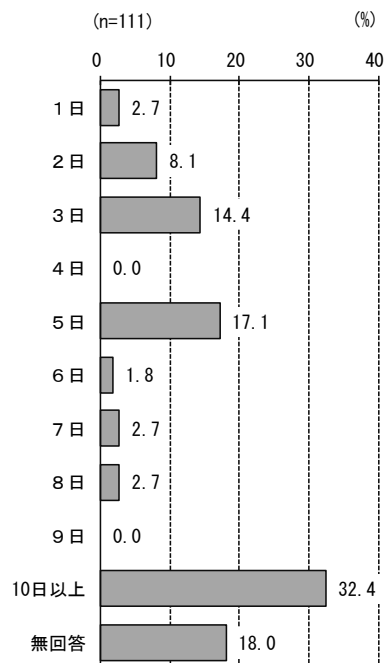
病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わなかった」が 70.0%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が 29.4%となっている。

利用希望日数は、「年 10 日以上」が 32.4%と最も多く、次いで、「年 5 日」が 17.1%、「年 3 日」が 14.4%となっている。

【図 病児・病後児保育施設等の利用希望】



【図 病児・病後児保育施設等の利用希望日数】



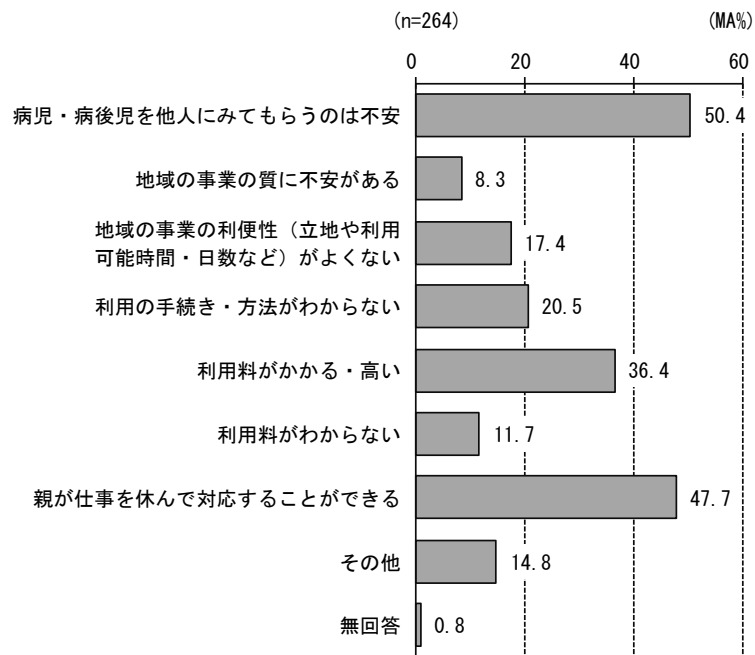
(4) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問21-①で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問21-② そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 50.4%と最も多く、次いで、「親が仕事を休んで対応することができる」が 47.7%となっている。

【図 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由】



（５）父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったか

問21で「3」から「8」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

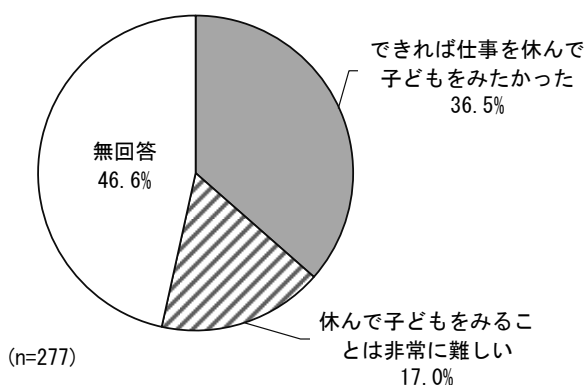
問21-③ その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。
(○はひとつ)

◆「1」を選択した場合は 内に休んで子どもをみたかったおおよその日数をご記入ください。

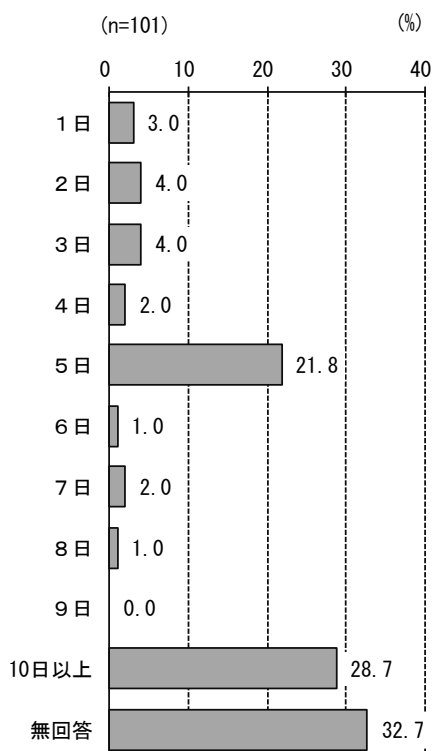
父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったかでは、「できれば仕事を休んで子どもをみたかった」が 36.5%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」が 17.0%となっている。

休んで子どもをみたいと思った日数は、「年 10 日以上」が 28.7%と最も多く、次いで、「年 5 日」が 21.8%、「年 2 日」、「年 3 日」がそれぞれ 4.0%となっている。

【図 父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったか】



【図 父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思った日数】



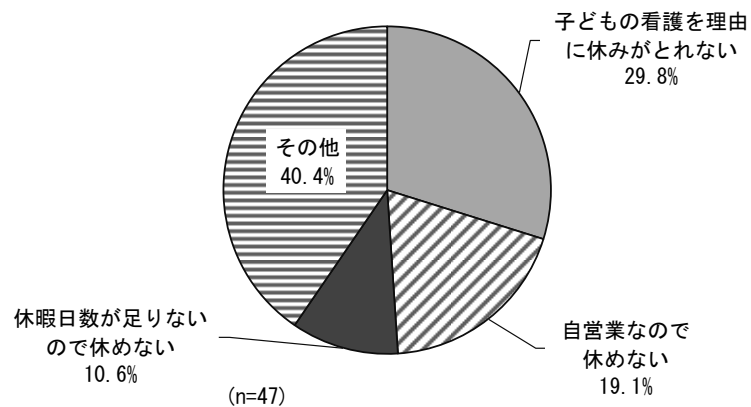
（６）休んで子どもをみることが難しい理由

問21-③ で「２．休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問21-④ そう思われる理由は何ですか。（主なものに○はひとつ）

休んで子どもをみることが難しい理由では、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 29.8%、「自営業なので休めない」が 19.1%となっている。

【図 休んで子どもをみることが難しい理由】



7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

(1) 不定期に利用している教育・保育事業の利用状況

問22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)

◆1年間のおおよその利用日数も 内に数字でご記入ください。

不定期に利用している教育・保育事業は、「利用していない」が78.7%と最も多く、次いで、「一時預かり」が5.8%となっている。

不定期に利用している教育・保育事業の利用日数は、一時預かりでは、「年10日以上」が28.6%、「年2日」が14.3%となっている。

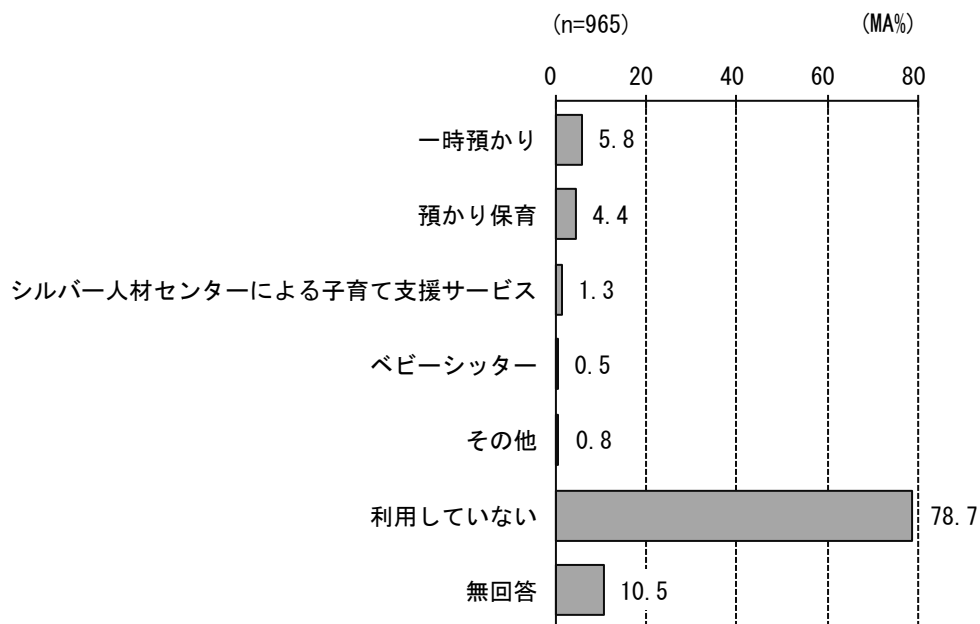
預かり保育では、「年10日以上」が40.5%、「年5日」が14.3%となっている。

シルバー人材センターでは、「年1日」が30.8%、「年3日」、「年5日」がそれぞれ15.4%となっている。

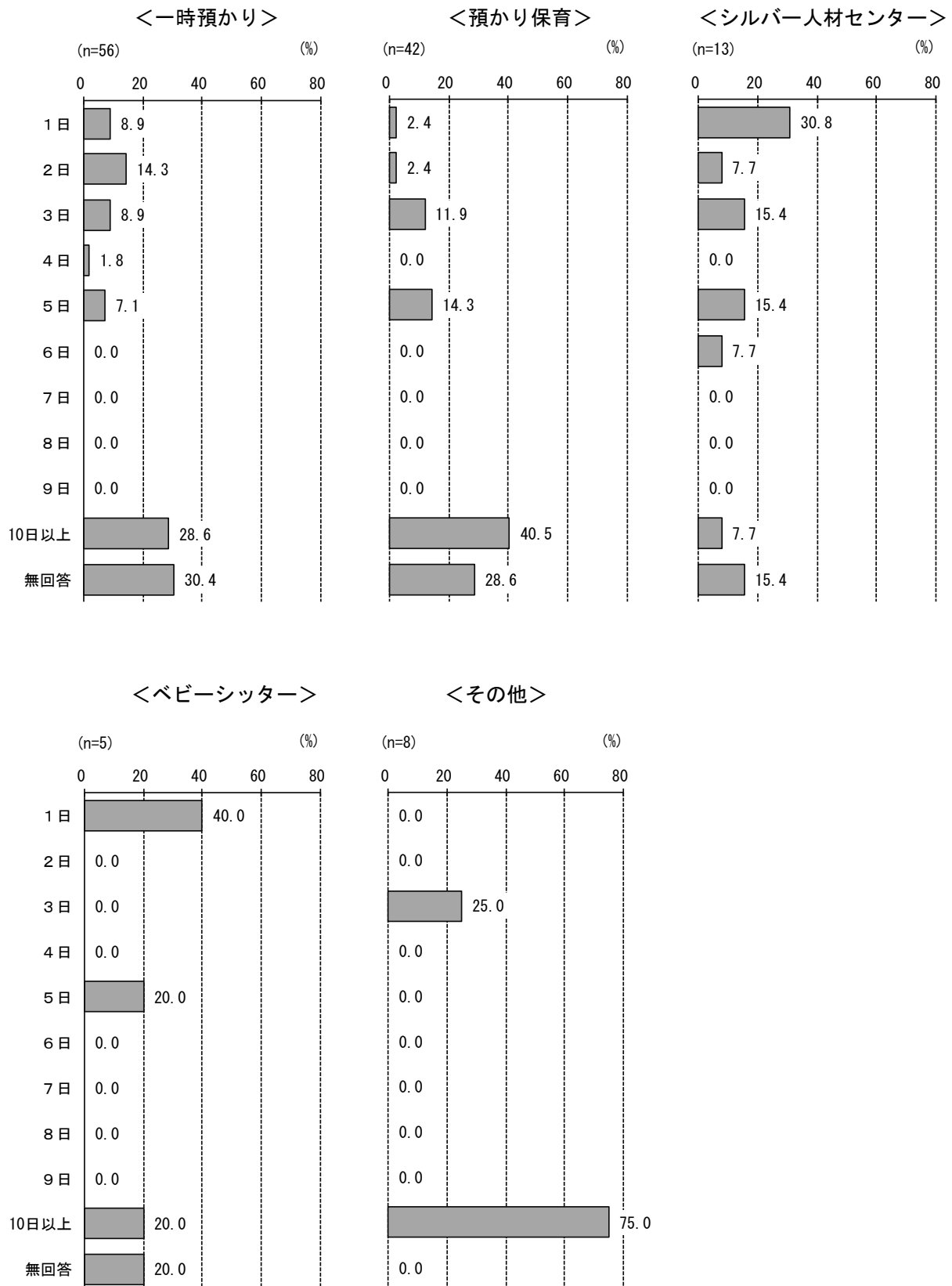
ベビーシッターでは、「年1日」が40.0%となっている。

その他は、「年10日以上」が75.0%となっている。

【図 不定期に利用している教育・保育事業】



【図 不定期に利用している教育・保育事業の利用日数】



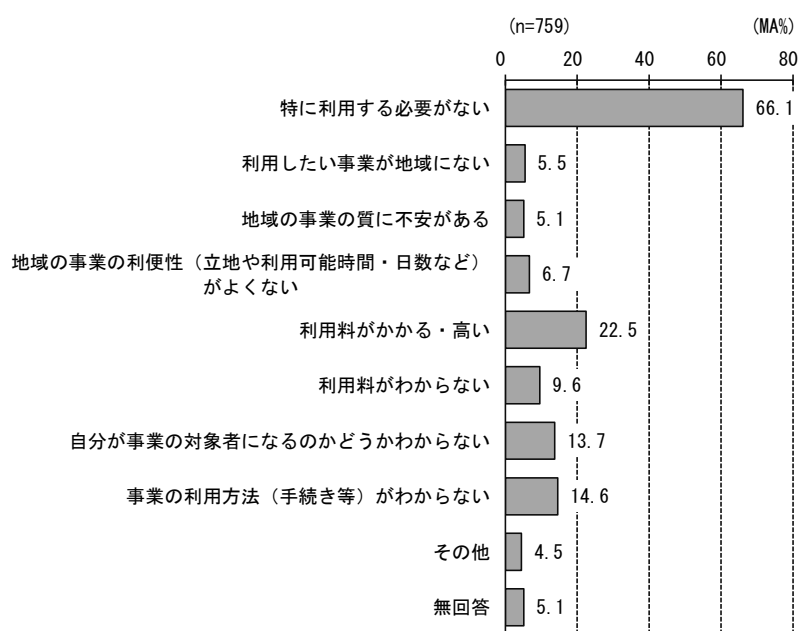
(2) 現在利用していない理由

問22で「6. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問22-① 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 66.1%と最も多く、次いで、「利用料がかかる・高い」が 22.5%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 14.6%、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が 13.7%となっている。

【図 現在利用していない理由】



（３）不定期に利用している教育・保育事業の利用希望

問23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問22のような事業を今後利用したいと思いますか。（どちらかに○）

◆事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問23で「１．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問23-① 利用したい理由は何ですか。また、それぞれ年間何日くらい利用したいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

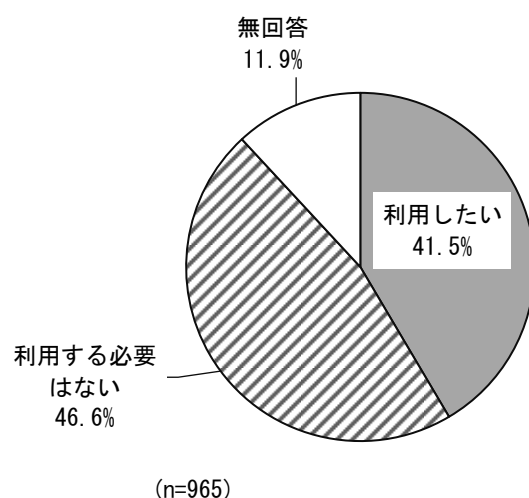
◆選択した目的別に 内に日数をご記入ください。

不定期に利用している教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が 46.6%、「利用したい」が 41.5%となっている。

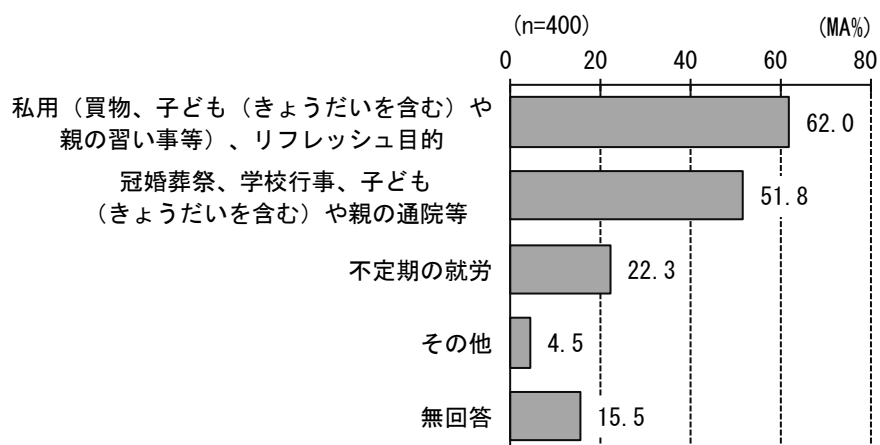
不定期に利用している教育・保育事業の利用希望理由は、「私用（買物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 62.0%と最も多く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等」が 51.8%、「不定期の就労」が 22.3%となっている。

不定期に利用している教育・保育事業の利用希望日数は、「年 10 日以上」が 58.0%と最も多く、次いで、「年 5 日」が 8.0%、「年 3 日」が 5.3%となっている。

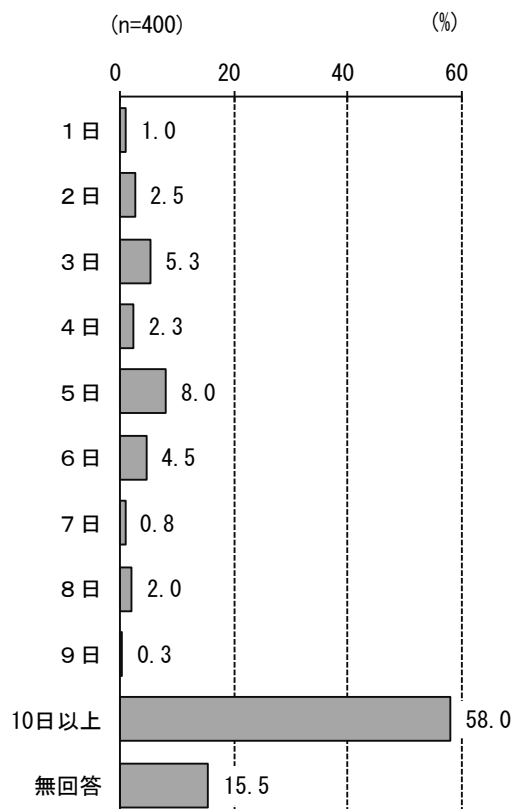
【図 不定期に利用している教育・保育事業の利用希望】



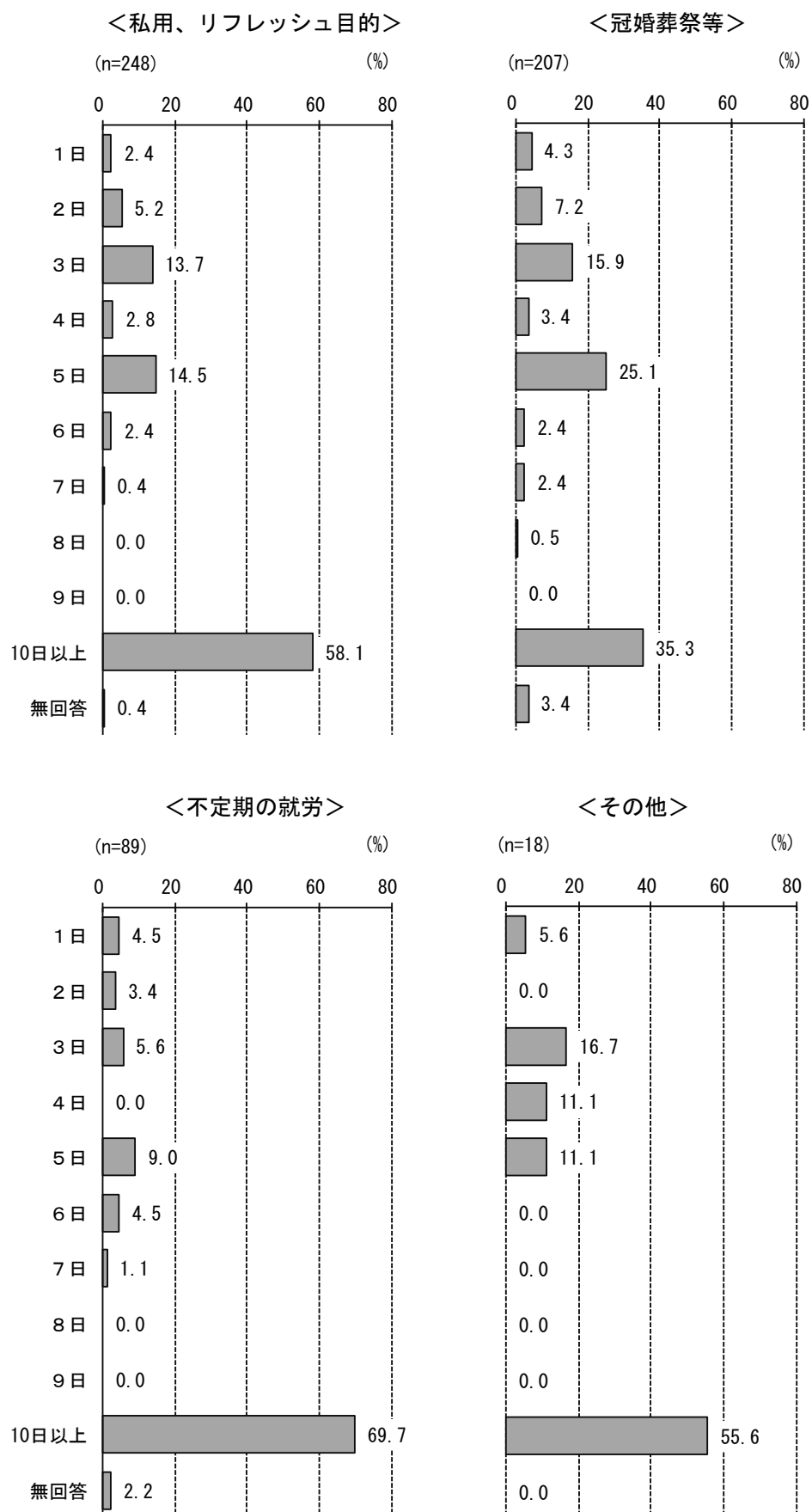
【図 不定期的に利用している教育・保育事業の利用理由】



【図 不定期的に利用している教育・保育事業の利用希望日数】



【図 目的別利用希望日数】



(4) 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか。（どちらかに○）

◆預け先が見つからなかった場合も含みます。

問24で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問24-① この1年間の対処方法についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

◆それぞれの泊数も 内に数字でご記入ください。

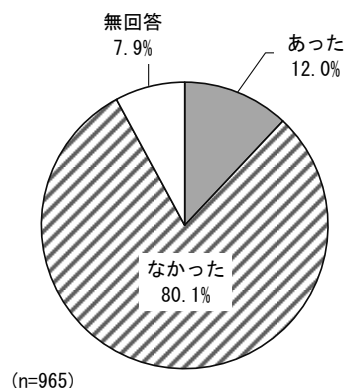
子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことは、「なかった」が80.1%、「あった」が12.0%となっている。

泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対処方法は、「（同居者を含む）親族、友人・知人に見てもらった」が82.8%、「仕方なく子どもを同行させた」が19.8%となっている。

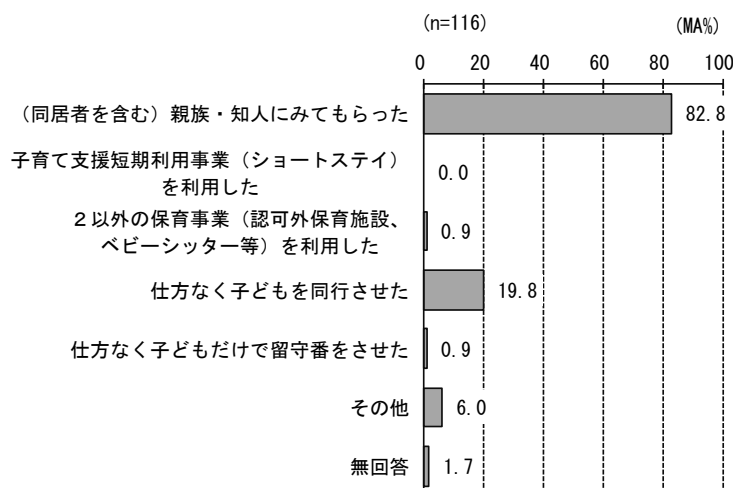
（同居者を含む）親族、友人・知人にみてもらった泊数は、「年1泊」が24.0%と最も多く、次いで「年10泊以上」が19.8%となっている。

仕方なく子どもを同行させた泊数は、「年1泊」が34.8%、「年3泊」、「年5泊」がそれぞれ13.0%となっている。

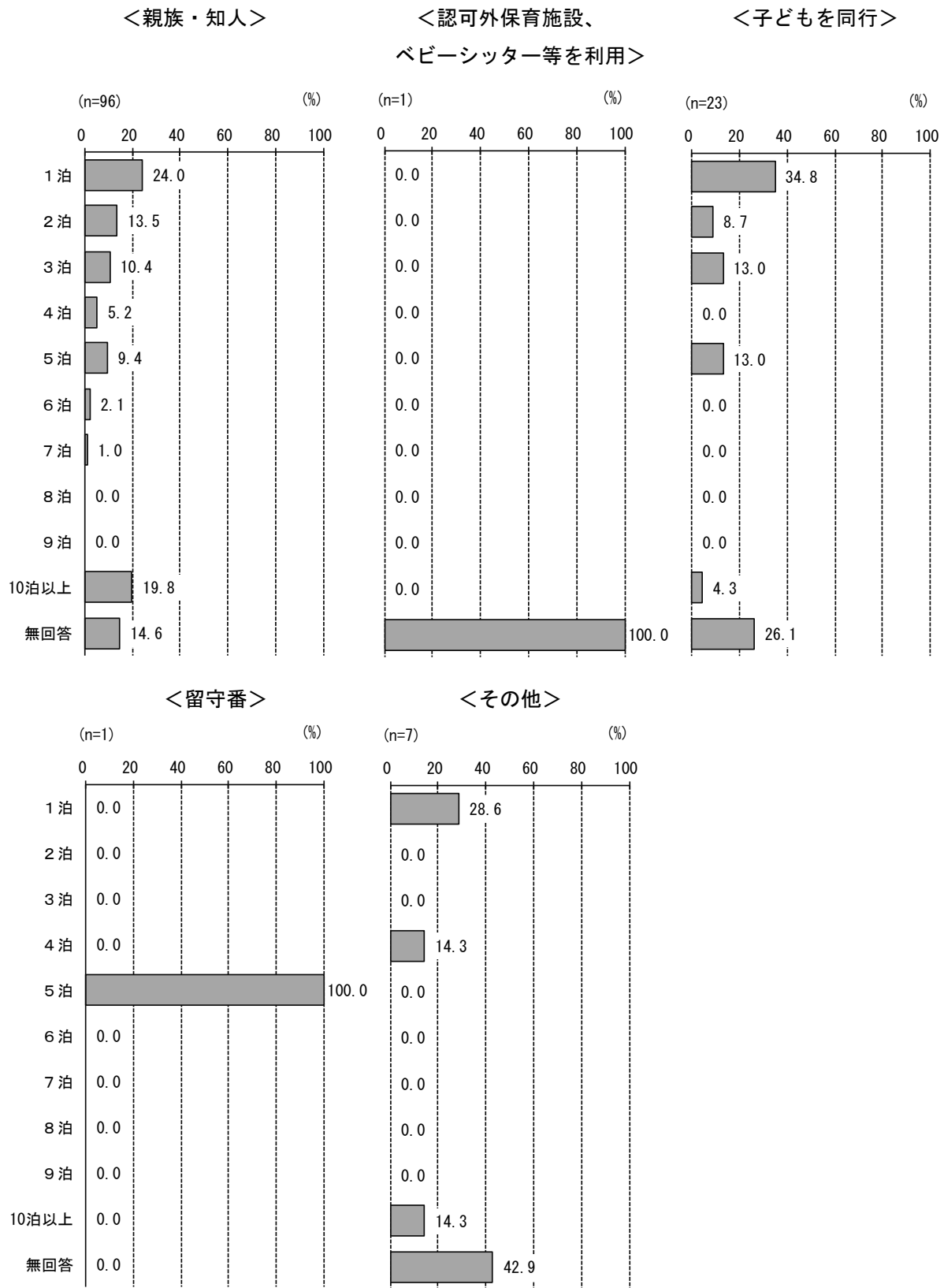
【図 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと】



【図 泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対処方法】



【図 泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった泊数】



(5) ファミリー・サポート・センターの利用希望

問25 ファミリー・サポート・センター事業は、子育てを援助してほしい人（依頼会員）と、子育てを援助したい人（提供会員）がお互いに信頼関係を築きながら、子どもを預けたり、預かったりする子育て援助活動です。ファミリー・サポート・センターがあれば利用したいですか。（どちらかに○）

(1) 依頼会員として

(2) 提供会員として

問25 (1) で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問25-① 利用したい理由は何ですか。また、それぞれ年間何日くらい利用したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

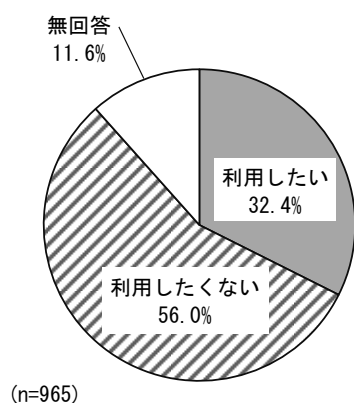
◆選択した目的別に 内に日数をご記入ください。

ファミリー・サポート・センターを依頼会員として利用したいかは、「利用したくない」が56.0%、提供会員として登録したいかでは、「登録したくない」が65.8%となっている。

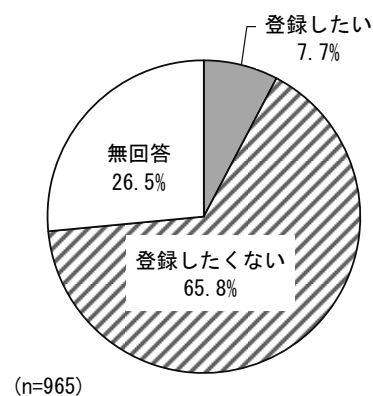
利用したい理由は、「母親・父親の休息」が44.4%、「子どもの急病」が40.3%、「親の通院・急病」が35.1%となっている。

利用希望日数は、産後のサポート、定期的な教育・保育事業、習い事等の送迎、残業や休日出勤時、子どもの急病、親の通院・急病、母親・父親の休息の日数がそれぞれ「年10日以上」の割合が一番多くなっている。

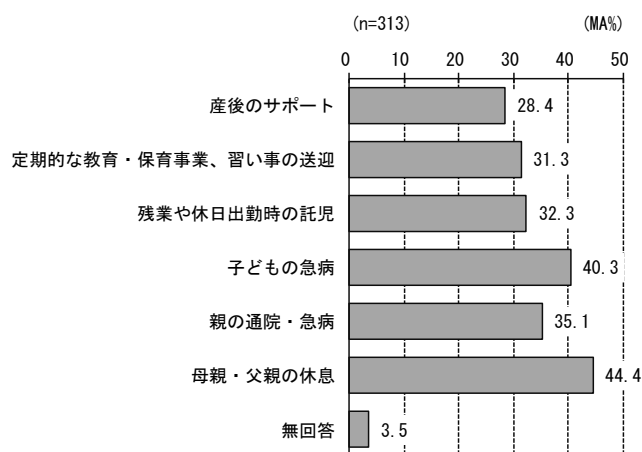
【図 依頼会員としてファミリー・サポート・センターの利用希望】



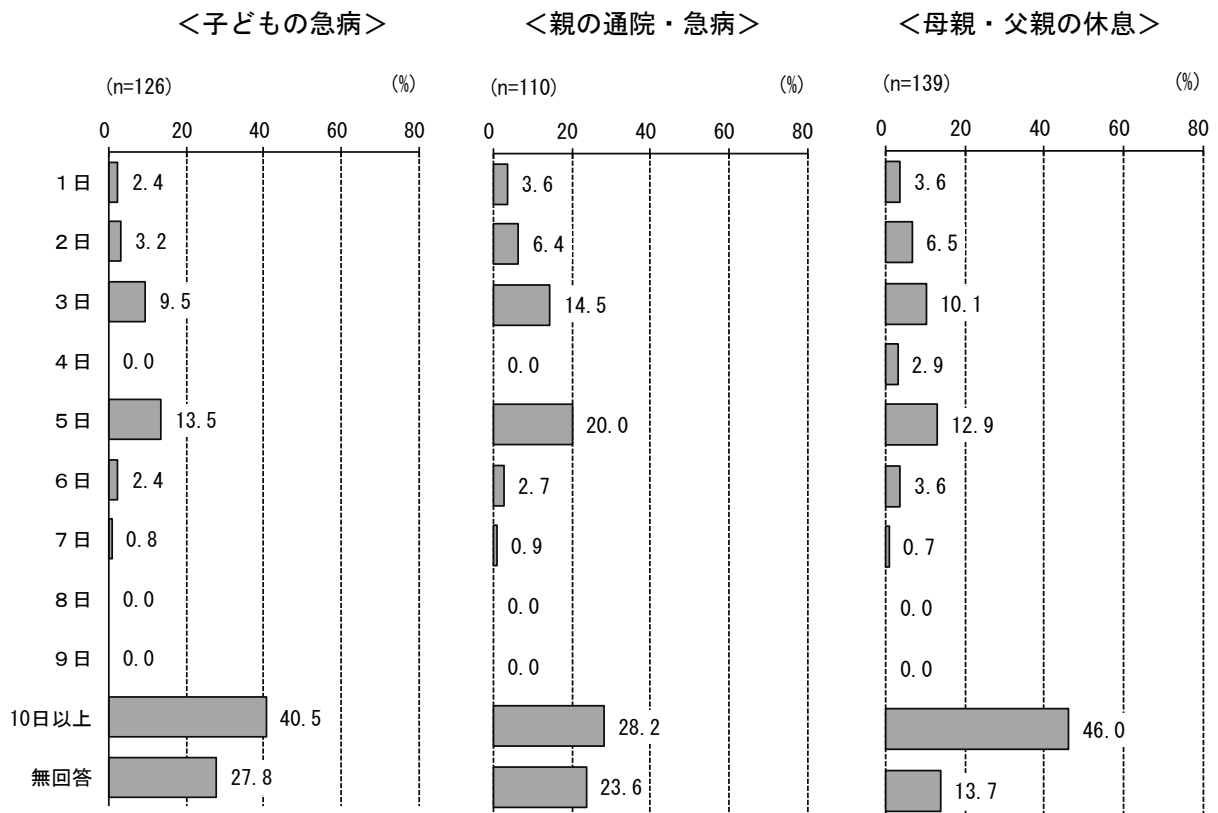
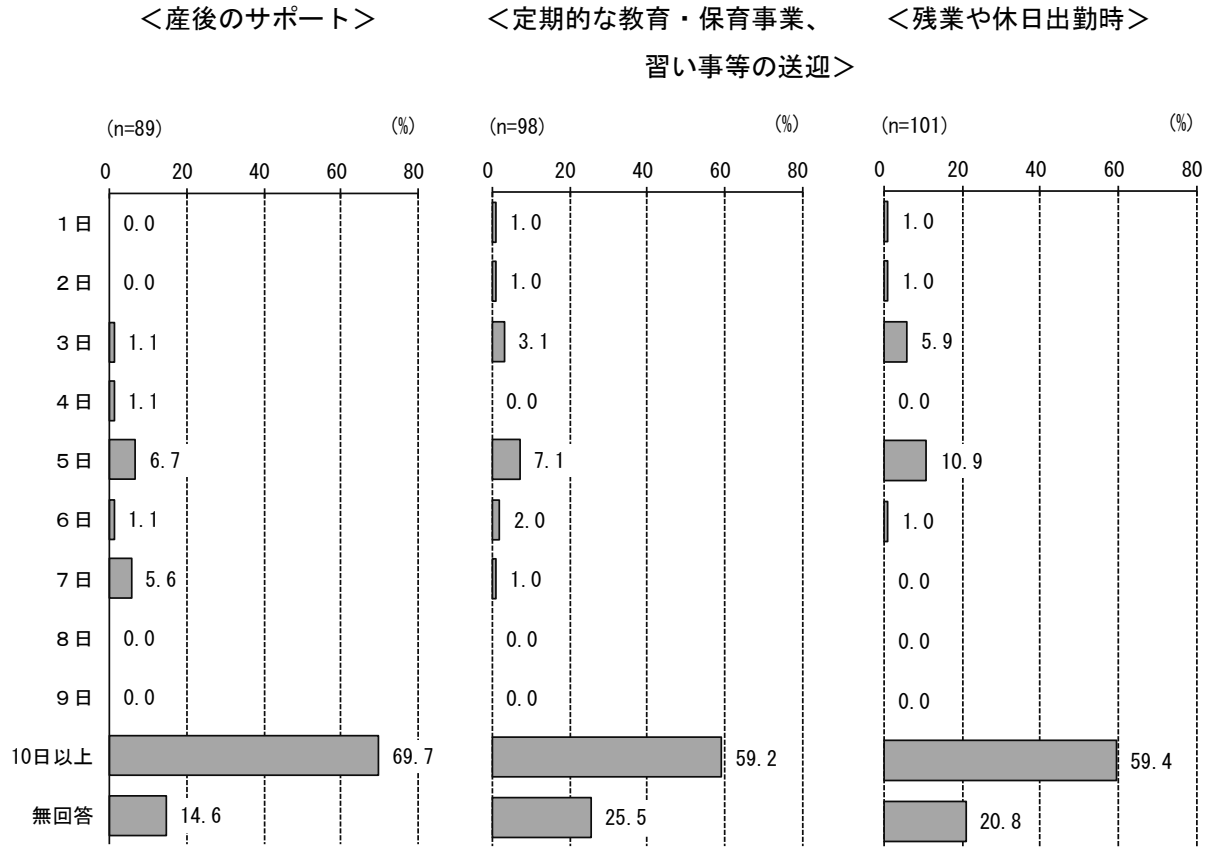
【図 提供会員としてファミリー・サポート・センターの登録希望】



【図 利用したい理由】



【図 目的別利用希望日数】

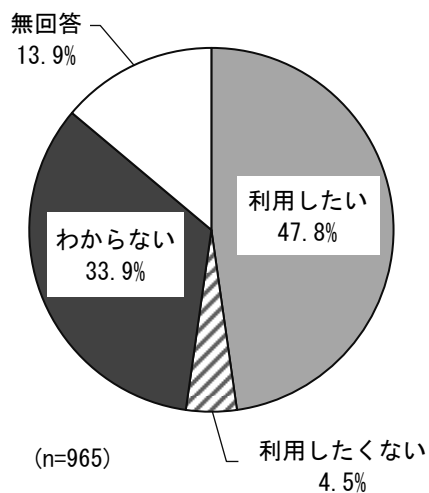


（６）時間単位で柔軟に利用できる通園給付の利用希望

問26 月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付（「こども誰でも通園制度（仮称）」）があれば利用したいですか。（どちらかに○）

時間単位で柔軟に利用できる通園給付の利用希望は、「利用したい」が 47.8%、「わからない」が 33.9%となっている。

【図 時間単位で柔軟に利用できる通園給付の利用希望】



8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望

問27 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

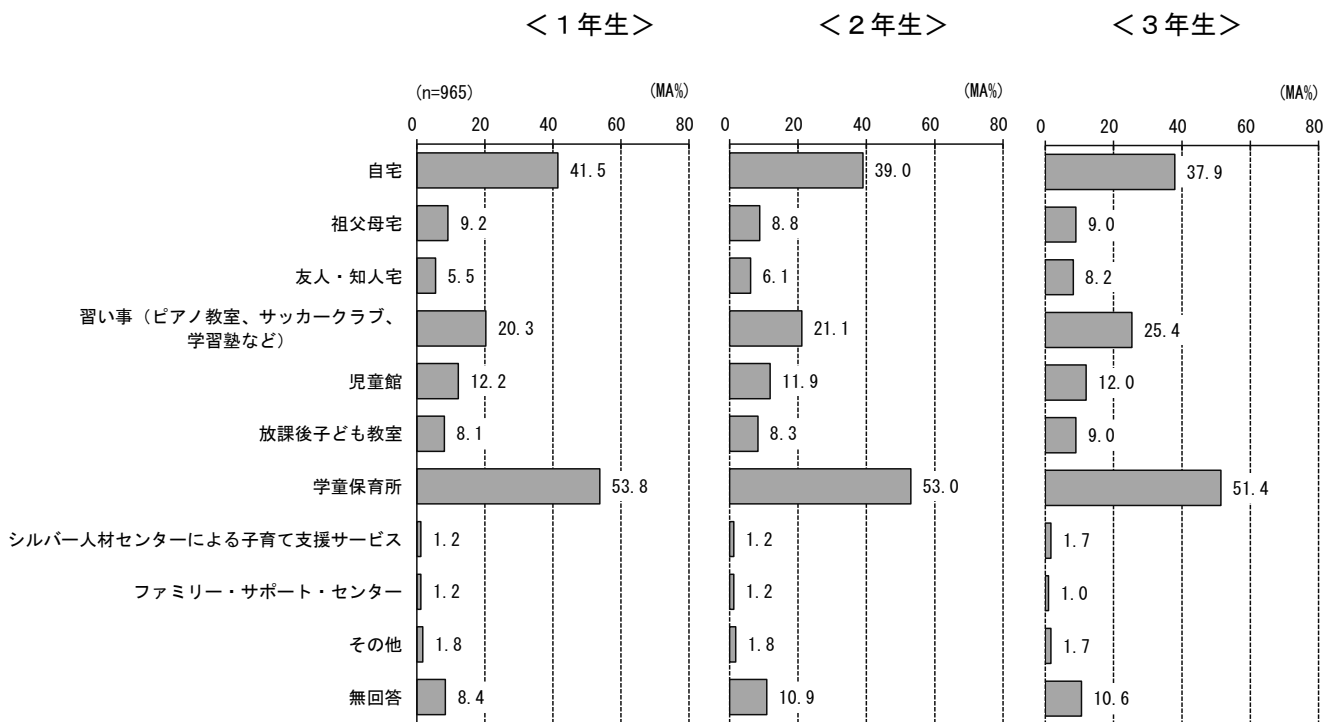
（学年ごとに【選択肢】からあてはまるものをすべて選び、回答欄にご記入ください）

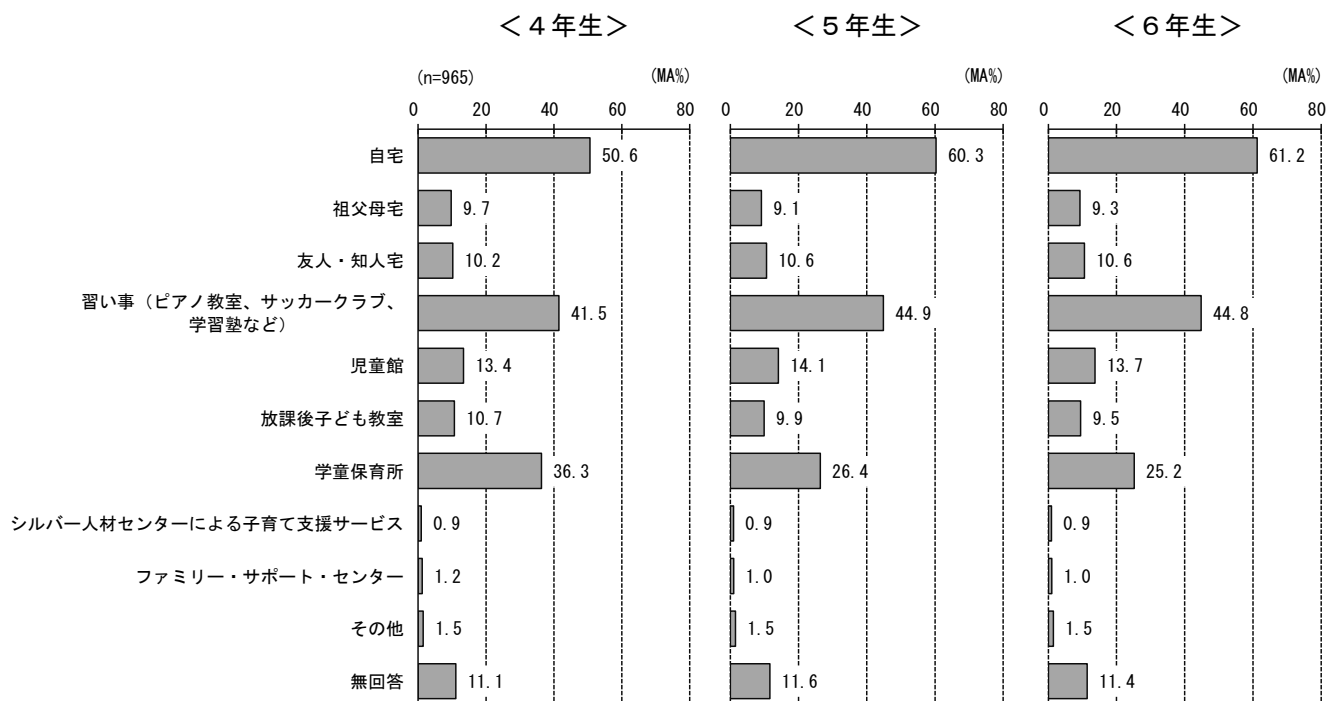
小学校就学後の放課後の過ごし方の希望は、下学年では、「学童保育所」が 50.0%以上で最も多く、次いで、「自宅」の割合が多くなっている。上学年では、「自宅」が 50.0%以上で最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が多くなっている。

希望する時間は、下学年では「～18 時まで」が 52.8%、「～17 時まで」が 23.0%となっている。上学年では、「～18 時まで」が 52.5%、「～19 時まで」が 25.1%となっている。

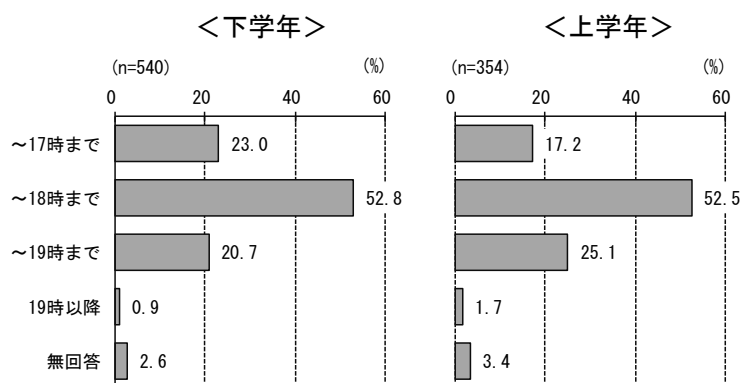
希望する日数は、下学年では、「週 5 日」が 77.6%、「週 3～4 日」が 17.8%となっている。上学年では、「週 5 日」が 73.2%、「週 3～4 日」が 21.5%となっている。

【図 放課後の過ごし方】

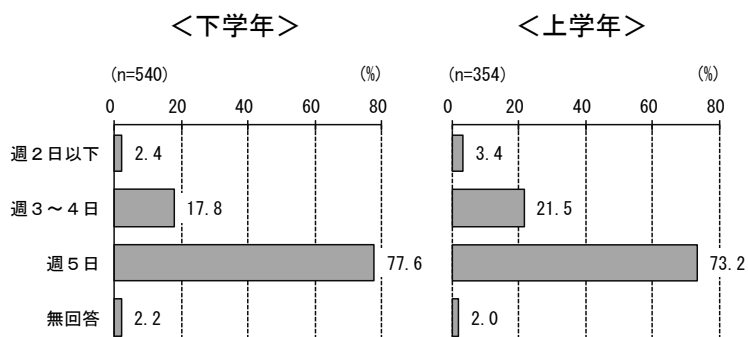




【図 希望する時間】



【図 希望する日数】



(2) 学童保育所の利用希望（土曜日・日曜日・祝日・長期の休暇）

問27-① 宛名のお子さんについて、(1) 土曜日 (2) 日曜日・祝日 (3) 長期の休暇期間（夏休み等）に、学童保育所の利用希望はありますか。（○はひとつずつ）

◆利用したい時間帯を 内に24時間表記でご記入ください。（例）14時30分～18時00分

◆事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用料は運営事業者により異なります。

(1) 土曜日→◆利用料：月額保育料+土曜保育料（目安：300円～500円/日）

(2) 日曜日・祝日→◆現在は実施していません

(3) 長期の休暇期間（夏休み等）

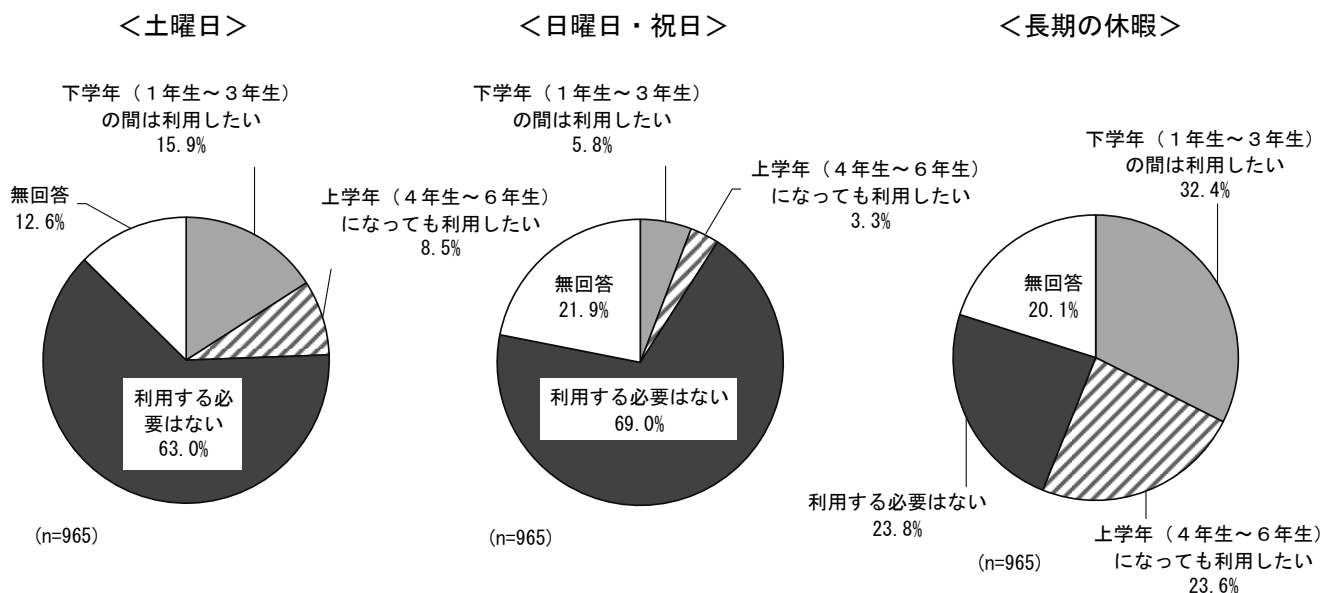
◆現在は通年利用のみ実施。夏休み加算保育料（5,000円～6,000円/期間）

学童保育所の利用希望は、土曜日では、「利用する必要はない」が 63.0%と最も多く、次いで、「下学年（1年生～3年生）の間は利用したい」が 15.9%となっている。日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が 69.0%と最も多く、次いで、「下学年（1年生～3年生）の間は利用したい」が 5.8%となっている。長期の休暇では、「下学年（1年生～3年生）の間は利用したい」が 32.4%、「利用する必要はない」が 23.8%となっている。

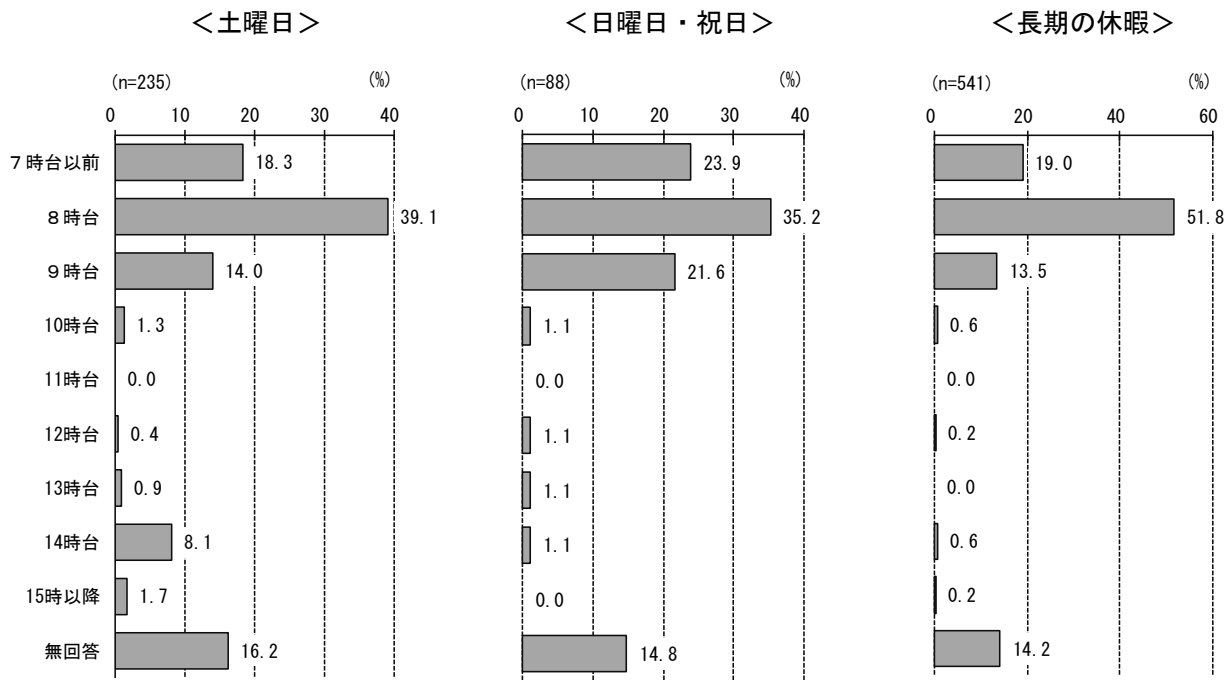
希望利用開始時間は、土曜日では、「8時台」が 39.1%、「7時台以前」が 18.3%となっている。日曜日・祝日では、「8時台」が 35.2%、「7時台以前」が 23.9%となっている。長期の休暇では、「8時台」が 51.8%、「7時台以前」が 19.0%となっている。

希望利用終了時間は、土曜日では、「18時台」が 43.4%、「17時台」が 18.3%、日曜日・祝日では、「18時台」が 38.6%、「17時台」が 28.4%となっている。長期の休暇では、「18時台」が 41.0%、「17時台」が 22.0%となっている。

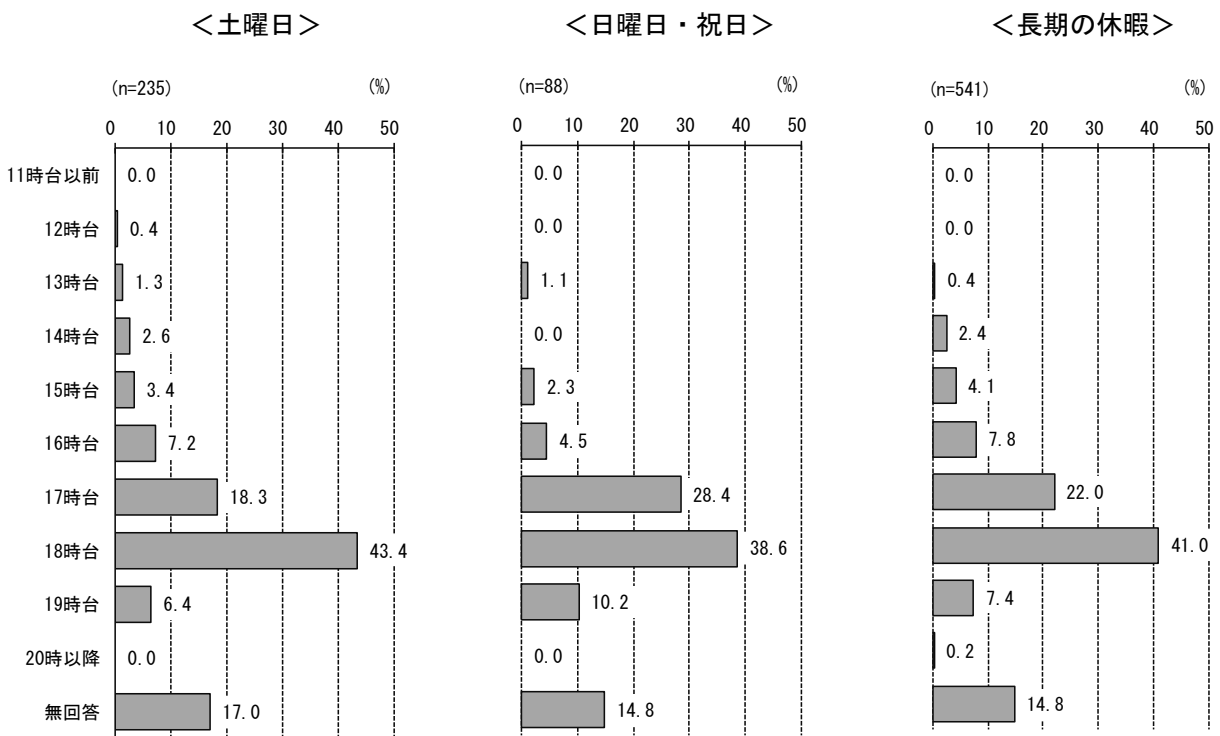
【図 学童保育所の利用希望】



【図 希望利用開始時間】



【図 希望利用終了時間】



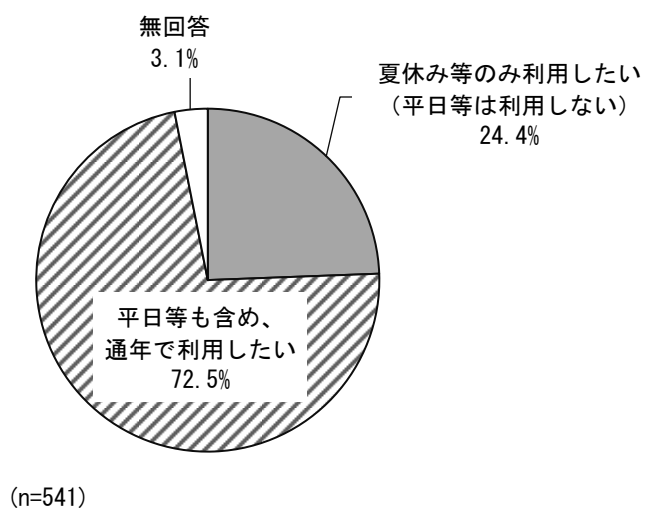
(3) 利用を希望する期間

問27-① (3) で「1、2. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問27-② 利用を希望する期間についてお答えください。(どちらかに○)

利用を希望する期間は、「平日等も含め、通年で利用したい」が 72.5%、「夏休み等のみ利用したい（平日等は利用しない）」が 24.4%となっている。

【図 利用を希望する期間】



9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

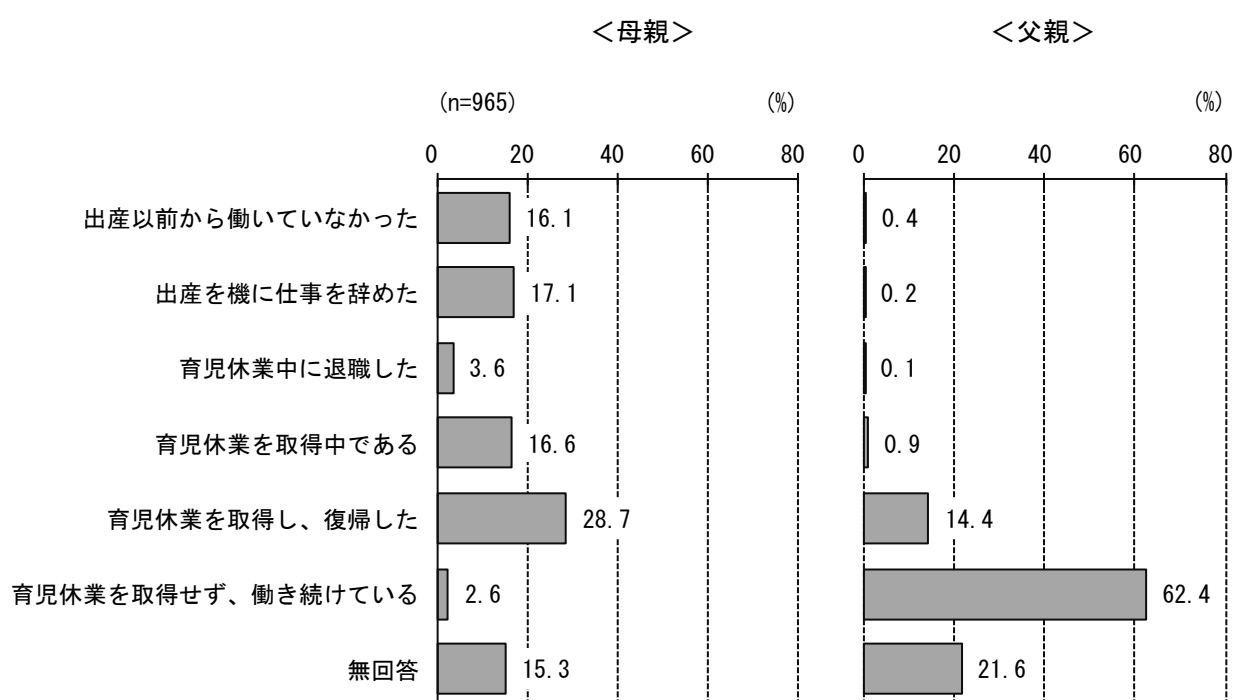
(1) 育児休業の取得状況

問28～問33の設問については、ひとり親家庭の方は母親、父親いずれかのみお答えください。

問28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親、それぞれについてお答えください。(母親、父親それぞれ○はひとつ)

育児休業の取得状況は、母親では、「育児休業を取得し、復帰した」が 28.7%と最も多く、次いで、「出産を機に仕事を辞めた」が 17.1%、「育児休業を取得中である」が 16.6%となっている。父親では、「育児休業を取得せず、働き続けている」が 62.4%と最も多く、次いで、「育児休業を取得し、復帰した」が 14.4%となっている。

【図 育児休業の取得状況】



(2) 就労の継続

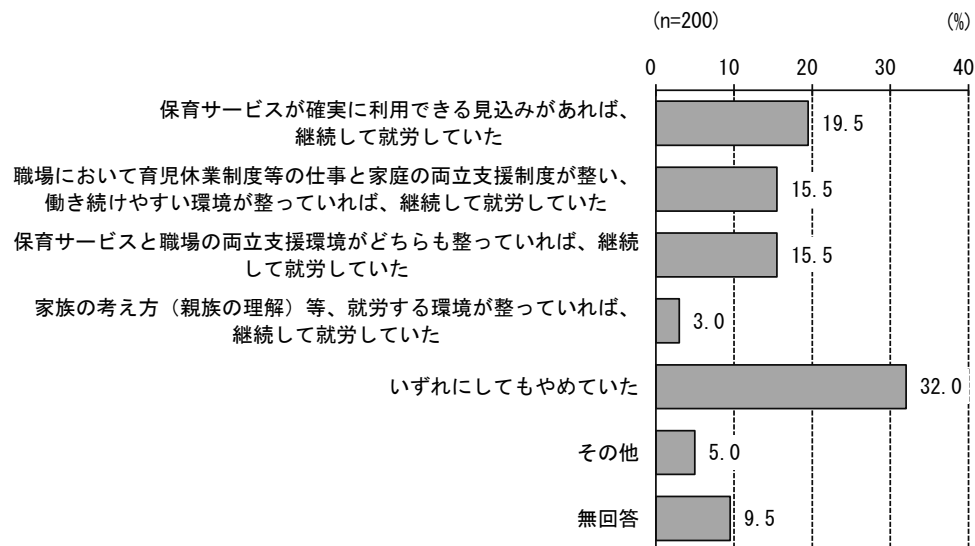
問28で「2. 出産を機に仕事を辞めた」「3. 育児休業中に退職した」に○をつけた方にうかがいます。

問29 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。
(母親、父親それぞれもっともあてはまるものに○はひとつ)

就労の継続は、母親では、「いずれにしてもやめていた」が 32.0%と最も多く、次いで、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」が 19.5%、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」がそれぞれ 15.5%となっている。父親では回答なしとなっている。

【図 就労の継続】

<母親>



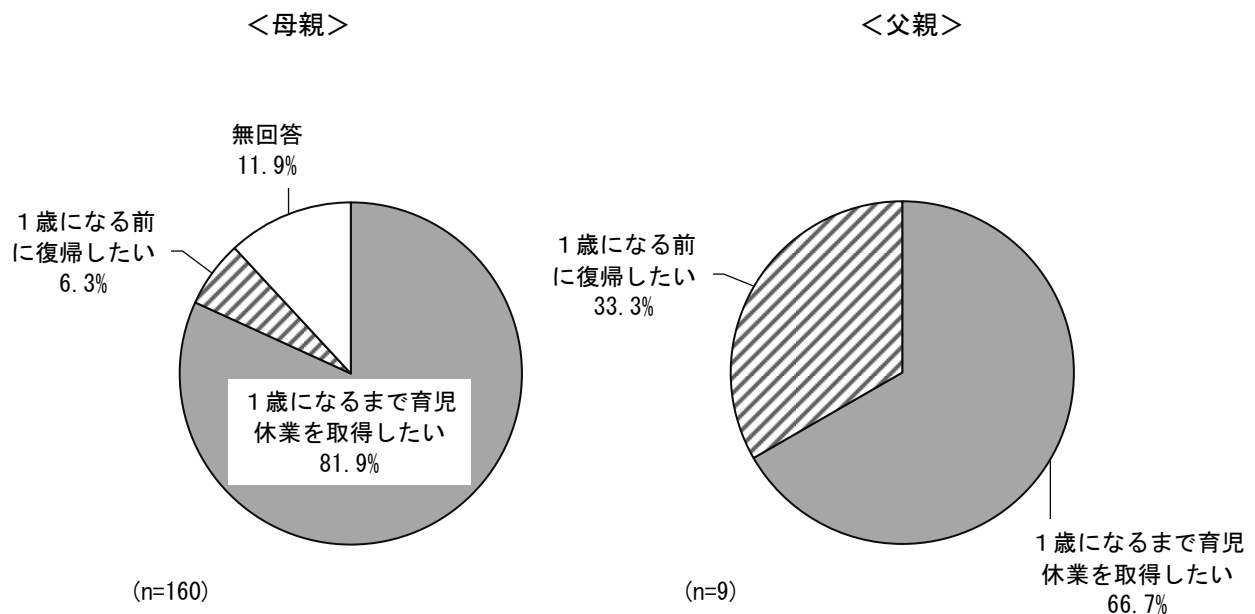
（３）預けられる事業があれば１歳になるまで育児休業を取得するか

問28で「４．育児休業を取得中である」に○をつけた方にうかがいます。

問30 宛名のお子さんが１歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか。（母親、父親それぞれ○はひとつ）

預けられる事業があれば１歳になるまで育児休業を取得するかは、母親では、「１歳になるまで育児休業を取得したい」が81.9%、「１歳になる前に復帰したい」が6.3%となっている。父親では、「１歳になるまで育児休業を取得したい」が66.7%、「１歳になる前に復帰したい」が33.3%となっている。

【図 預けられる事業があれば１歳になるまで育児休業を取得するか】



(4) 育児休業からの職場復帰のタイミング

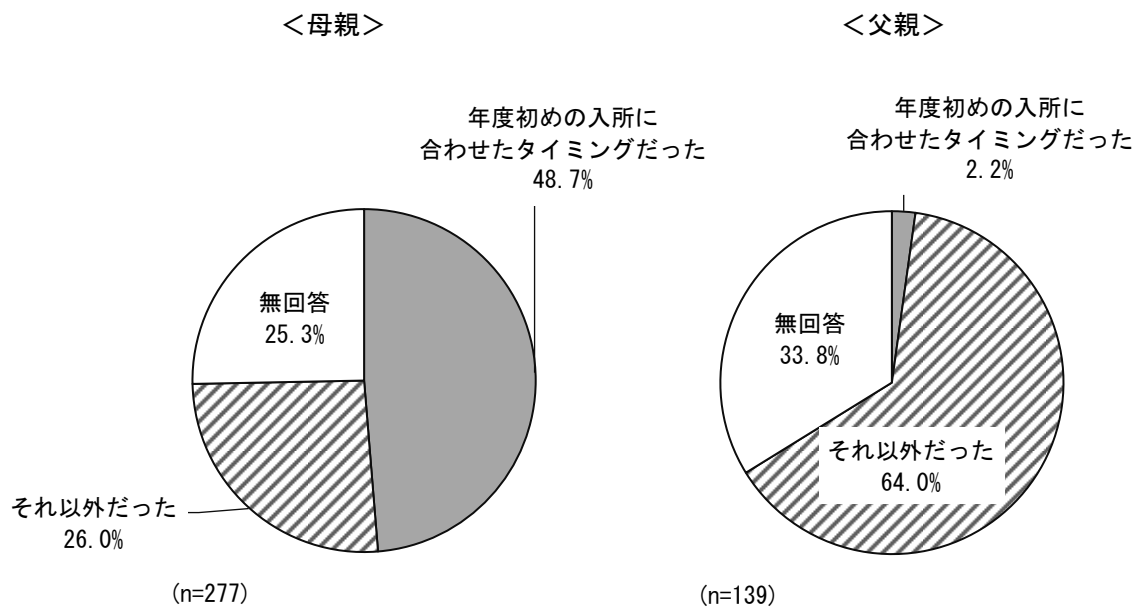
問28で「5. 育児休業を取得し、復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問31 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(母親、父親それぞれ○はひとつ)

◆年度初めで認可保育所入所を希望し、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合や、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合などは「1」を選択してください。

育児休業からの職場復帰のタイミングは、母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が48.7%、「それ以外だった」が26.0%となっている。父親では、「それ以外だった」が64.0%となっている。

【図 職場復帰のタイミング】



(5) 育児休業から復帰した際の子どもの年齢（実際／希望）（職場に復帰した方のみ）

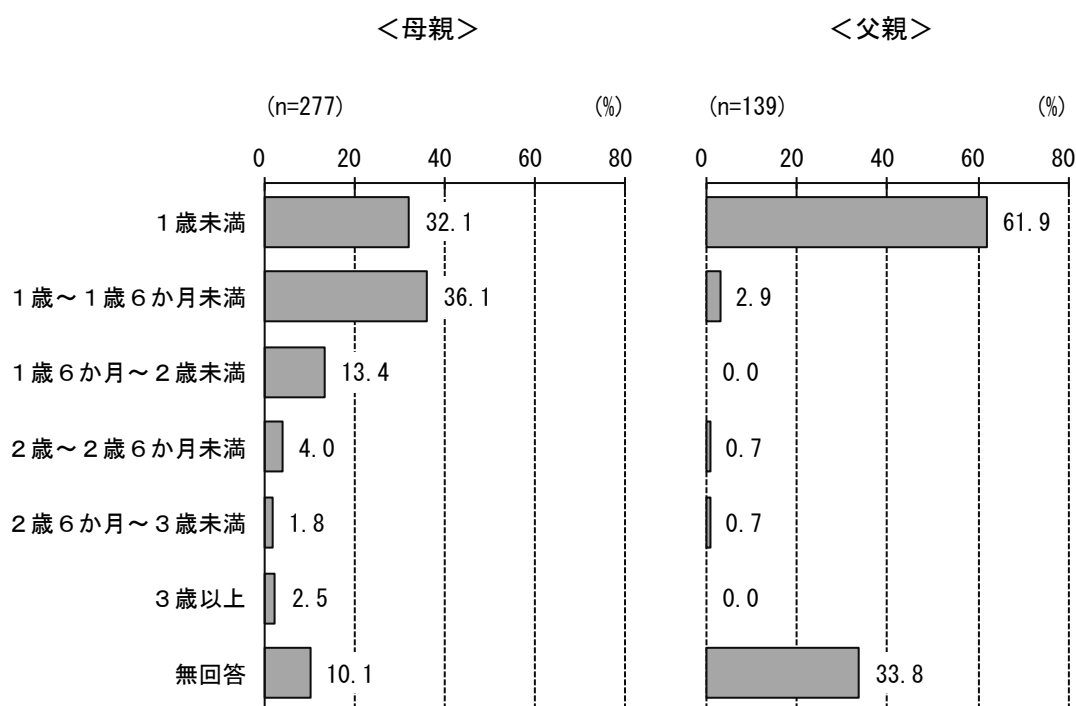
問31-① 育児休業からは、①「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。
 また、②「希望」としては、お子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 (内に数字で記入)

育児休業から復帰したときの子どもの年齢（実際）は、母親では、「1歳～1歳6か月未満」が36.1%と最も多く、次いで、「1歳」が32.1%、「1歳6か月～2歳未満」が13.4%となっている。父親では、「1歳未満」が61.9%と最も多く、次いで、「1歳～1歳6か月未満」が2.9%となっている。

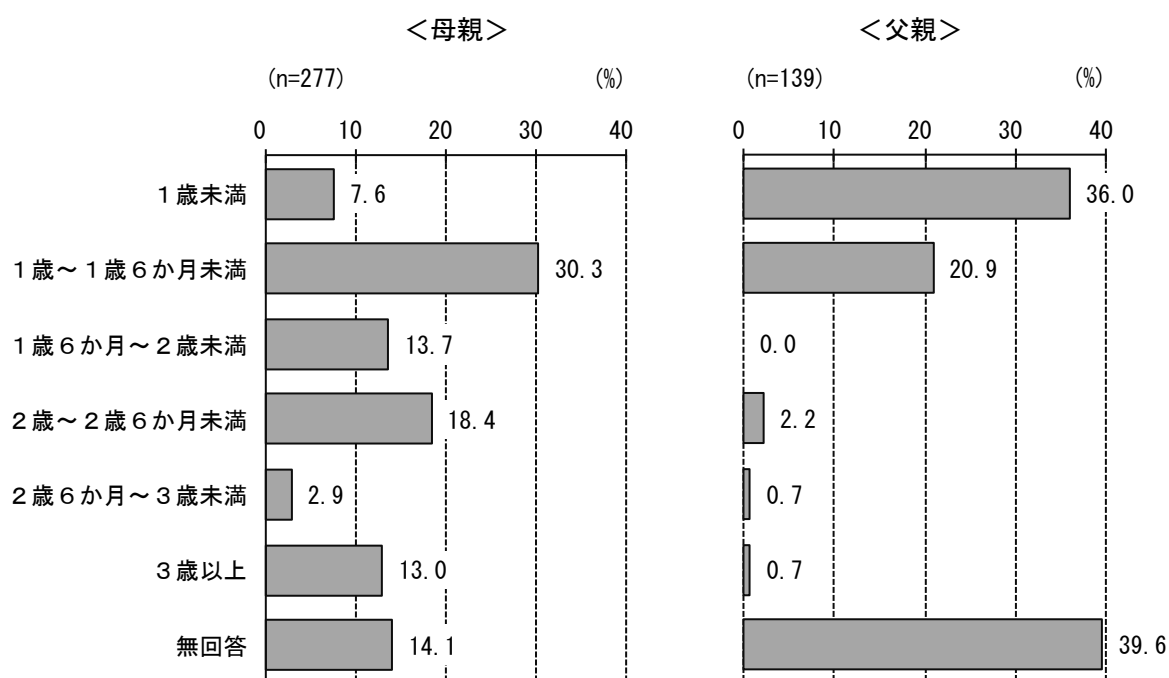
育児休業から復帰するときの子どもの年齢（希望）は、母親では、「1歳～1歳6か月未満」が30.3%と最も多く、次いで、「2歳～2歳6か月未満」が18.4%、「1歳6か月～2歳未満」が13.7%となっている。父親では、「1歳未満」が36.0%と最も多く、次いで、「1歳～1歳6か月未満」が20.9%となっている。

職場復帰の状況は、母親では、「希望より早く復帰」が56.7%と最も多く、次いで、「希望どおり復帰」が19.5%、「希望より遅く復帰」が9.7%となっている。父親では、「希望より早く復帰」が39.6%、「希望どおり復帰」が20.9%となっている。

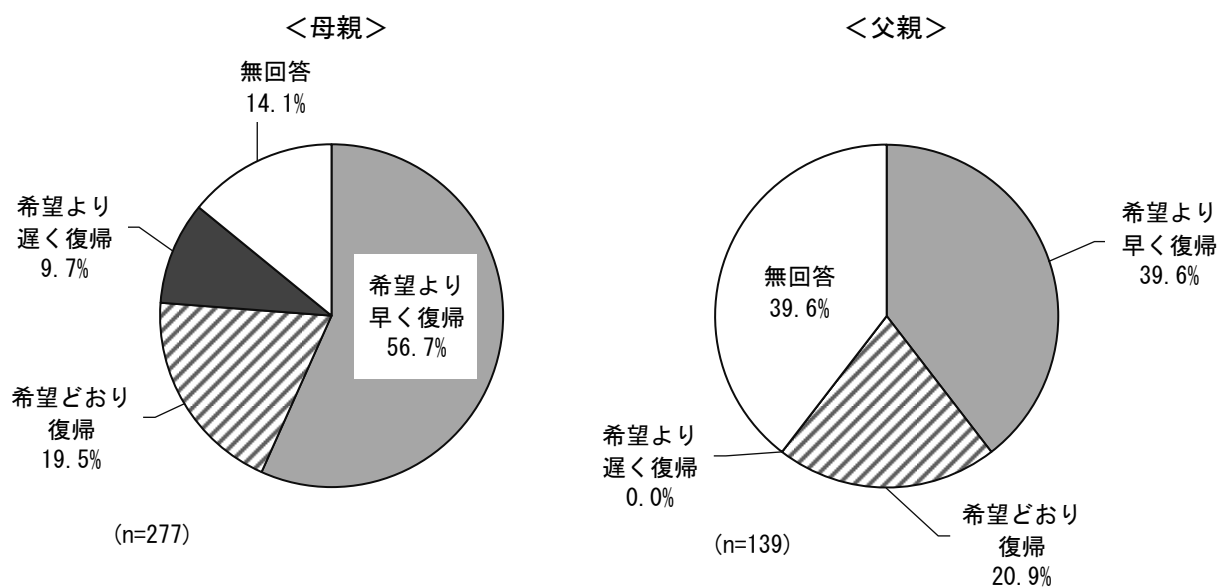
【図 実際の職場復帰の子どもの年齢】



【図 希望の職場復帰の子どもの年齢】



【図 職場復帰の状況】



（６）希望の時期に復帰しなかった理由

問31-①で「希望」より早く復帰した方、「希望」より遅く復帰した方にうかがいます。

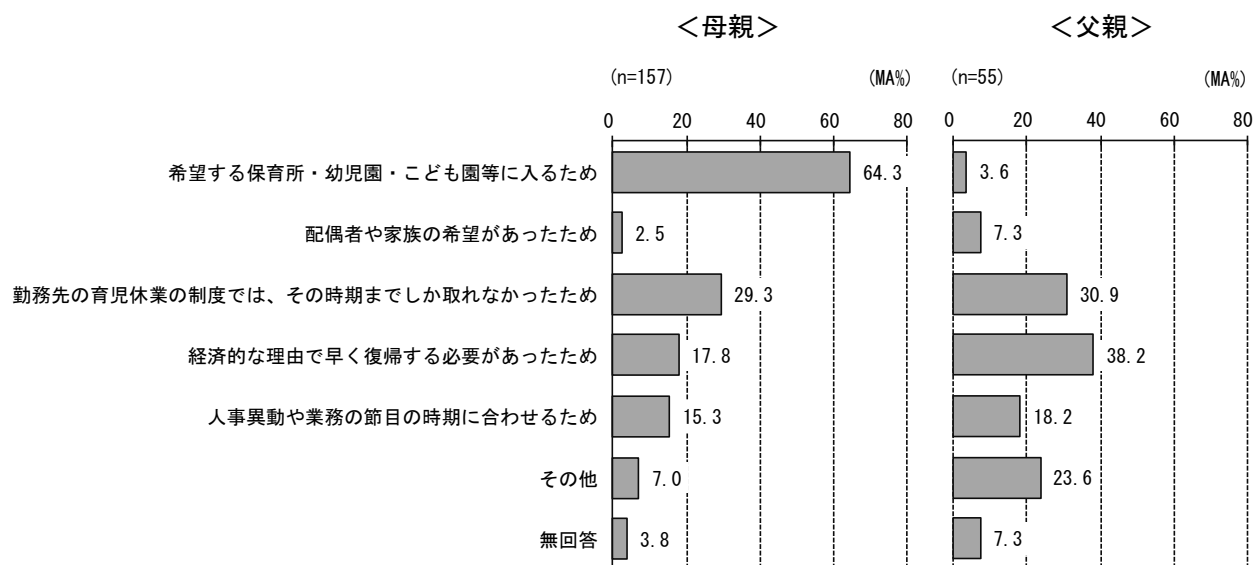
問31-② 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- (A) 「希望」より早く復帰した方
(B) 「希望」より遅く復帰した方

希望より早く復帰した理由は、母親では、「希望する保育所・幼稚園・こども園等に入るため」が 64.3%と最も多く、次いで、「勤務先の育児休業の制度では、その時期までしか取れなかったため」が 29.3%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 17.8%となっている。父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 38.2%と最も多く、次いで、「勤務先の育児休業の制度では、その時期までしか取れなかったため」が 30.9%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 18.2%となっている。

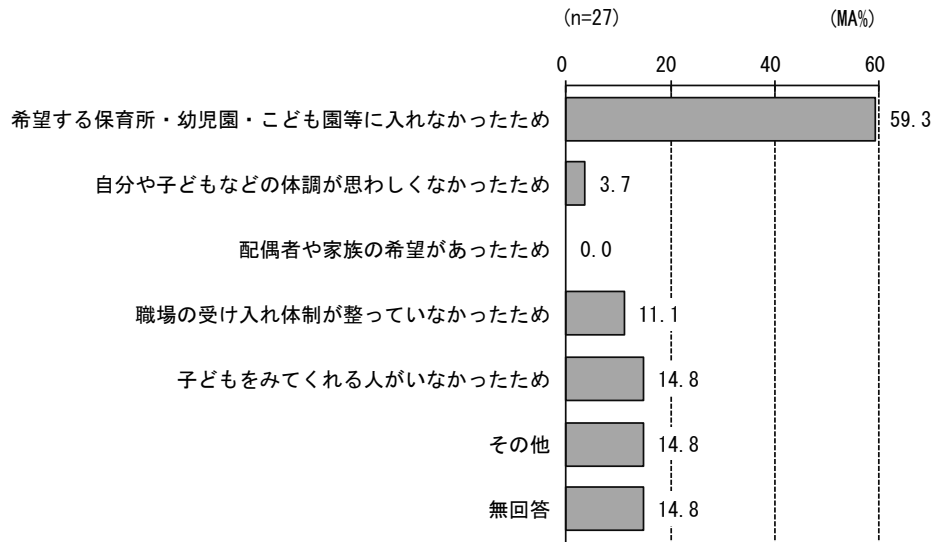
希望より遅く復帰した理由は、母親では、「希望する保育所・幼稚園・こども園等に入れなかったため」が 59.3%、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 14.8%となっている。父親では回答なしとなっている。

【図 希望の時期より早く復帰した理由】



【図 希望の時期より遅く復帰した理由】

<母親>



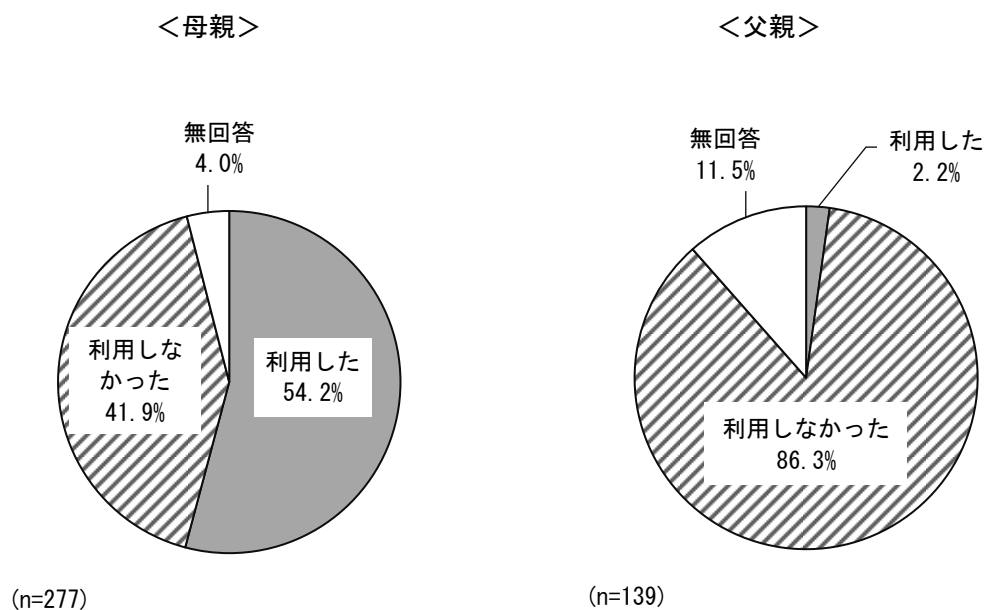
(7) 短時間勤務制度の利用

問31-③ 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(母親、父親それぞれ〇はひとつ)

短時間勤務制度の利用は、母親では、「利用した」が54.2%、「利用しなかった」が41.9%となっている。父親では、「利用しなかった」が86.3%、「利用した」が2.2%となっている。

【図 短時間勤務制度の利用】



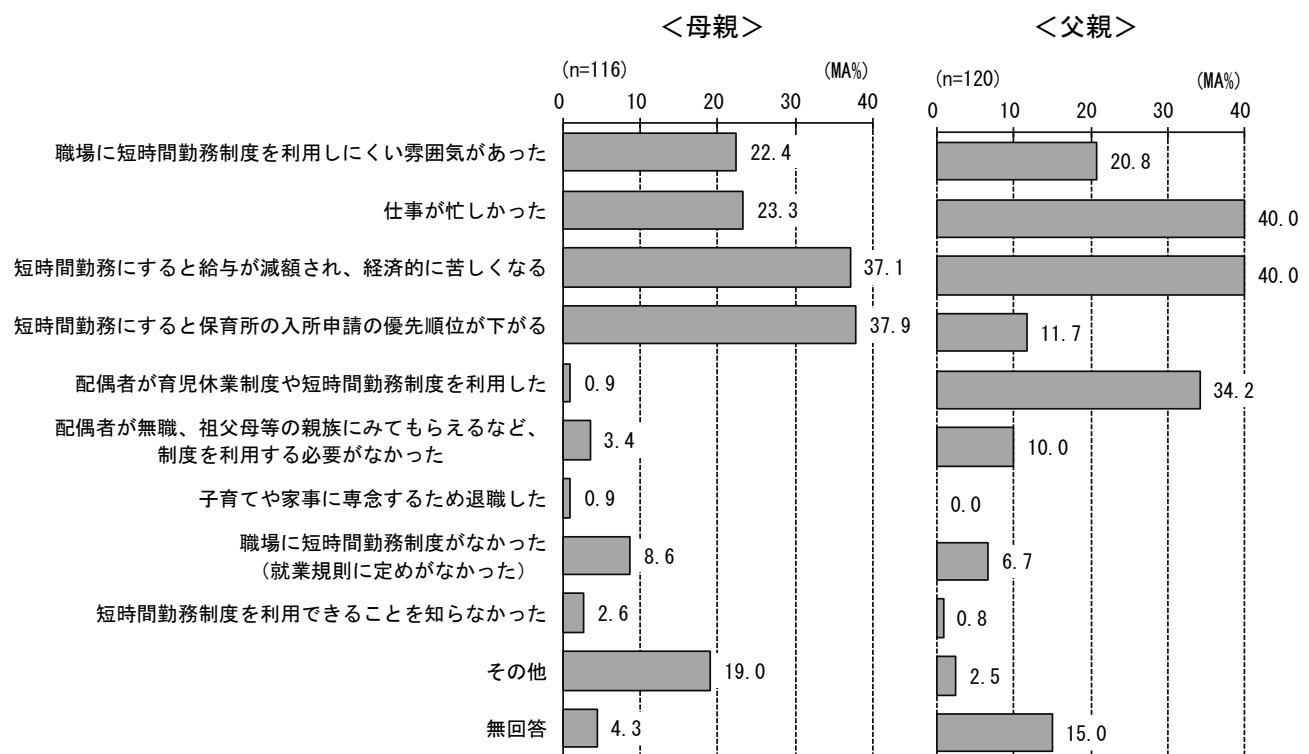
（８）短時間勤務制度を取得しなかった理由

問31-③で「２．利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問31-④ 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

短時間勤務制度を取得しなかった理由は、母親では、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が 37.9%と最も多く、次いで、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 37.1%、「仕事が忙しかった」が 23.3%となっている。父親では、「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」がそれぞれ 40.0%、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が 34.2%となっている。

【図 短時間勤務制度を取得しなかった理由】



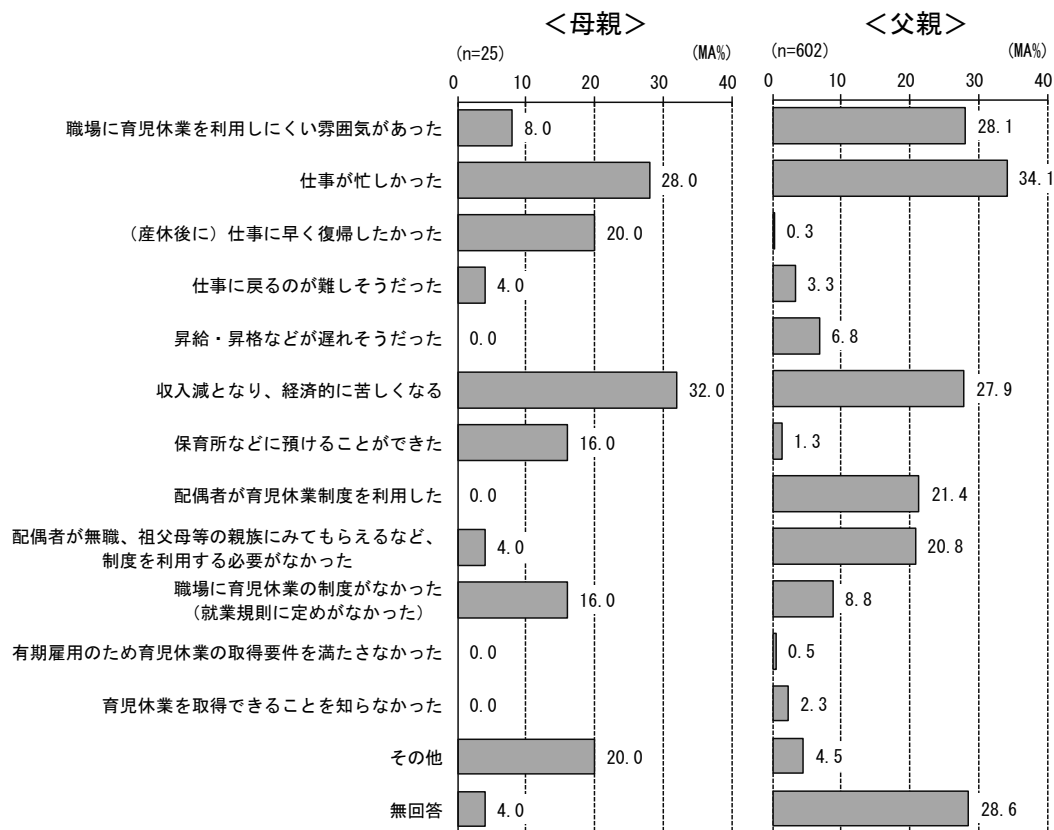
(9) 育児休業を取得しなかった理由

問28で「6. 育児休業を取得せず、働き続けている」に○をつけた方にうかがいます。

問32 取得せず、働き続けている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

育児休業を取得しなかった理由は、母親では、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が32.0%と最も多く、次いで、「仕事が忙しかった」が28.0%、「(産休後に) 仕事に早く復帰したかった」が20.0%となっている。父親では、「仕事が忙しかった」が34.1%と最も多く、次いで、「職場に育児休業を利用しにくい雰囲気があった」が28.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が27.9%となっている。

【図 育児休業を取得しなかった理由】



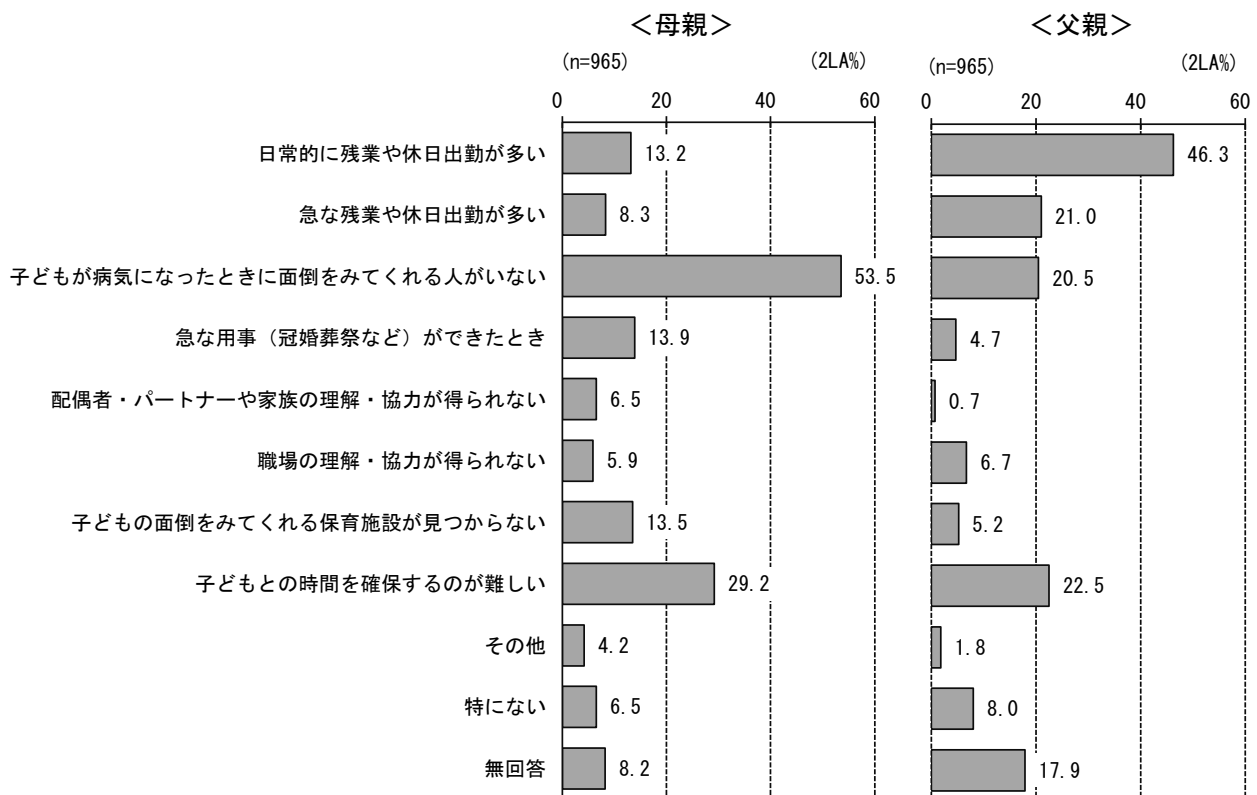
(10) 子育てと仕事の両立で大変だと感じること

問33 子育てと仕事を両立させるうえで大変だと感じることはどのようなことですか。(母親・父親それぞれあてはまるもの2つまでに○)

◆就労していない方は、就労している場合を想定してお答えください。

子育てと仕事の両立で大変だと感じることは、母親では、「子どもが病気になったときに面倒をみってくれる人がいない」が 53.5%、「子どもとの時間を確保するのが難しい」が 29.2%となっている。父親では、「日常的に残業や休日出勤が多い」が 46.3%、「子どもとの時間を確保するのが難しい」が 22.5%となっている。

【図 子育てと仕事の両立で大変だと感じること】



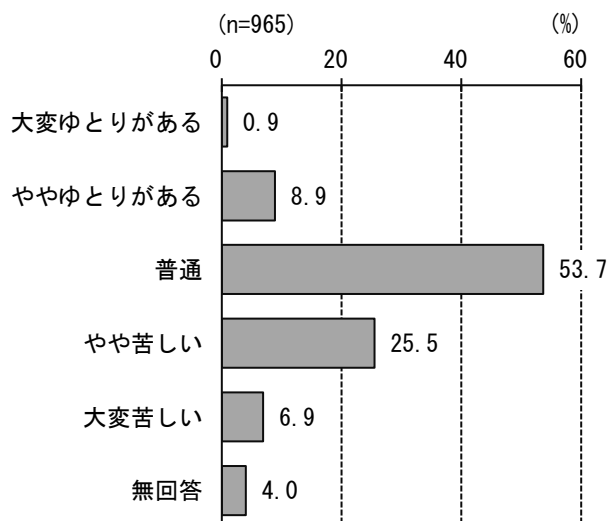
10. 市の子育て支援全般について

(1) 世帯の暮らし向き

問34 あなたの世帯の現在の暮らし向きについてうかがいます。(〇はひとつ)

世帯の暮らし向きは、「普通」が 53.7%と最も多く、次いで、「やや苦しい」が 25.5%、「ややゆとりがある」が 8.9%となっている。

【図 世帯の暮らし向き】

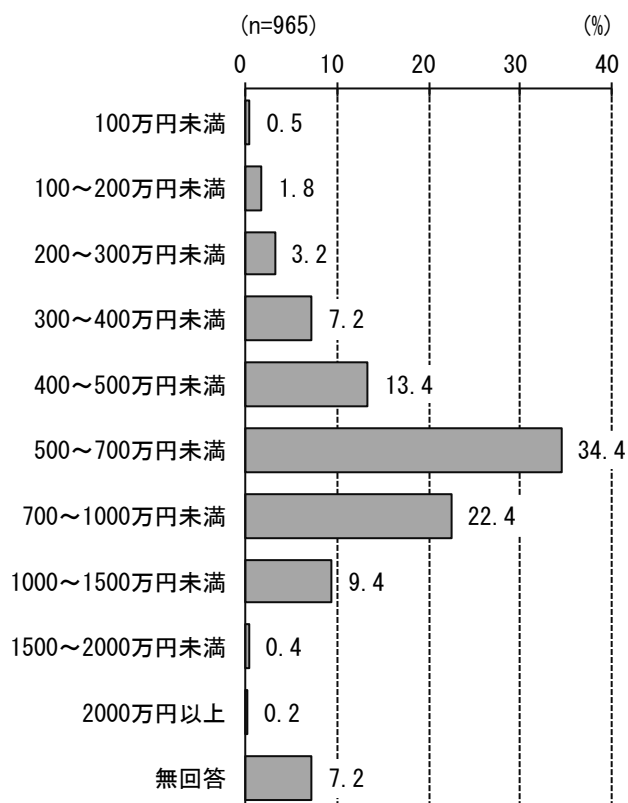


(2) 全世帯員の収入の合計

問35 全世帯員の前年（令和5年1月～12月）の収入の合計額（税込）は、おおよそいくらでしたか。（○はひとつ）

全世帯員の収入の合計は、「500～700万円未満」が34.4%と最も多く、次いで、「700～1000万円未満」が22.4%、「400～500万円未満」が13.4%となっている。

【図 全世帯員の収入の合計】

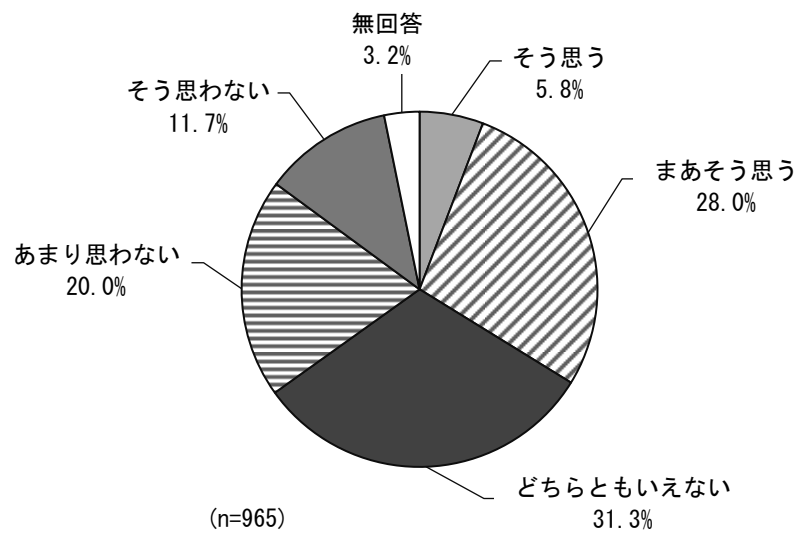


(3) 子育てしやすいまちだと思うか

問36 栗東市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇はひとつ)

子育てしやすいまちだと思うかは、「どちらともいえない」が31.3%と最も多く、次いで、「まあそう思う」が28.0%、「あまり思わない」が20.0%となっている。

【図 子育てしやすいまちだと思うか】

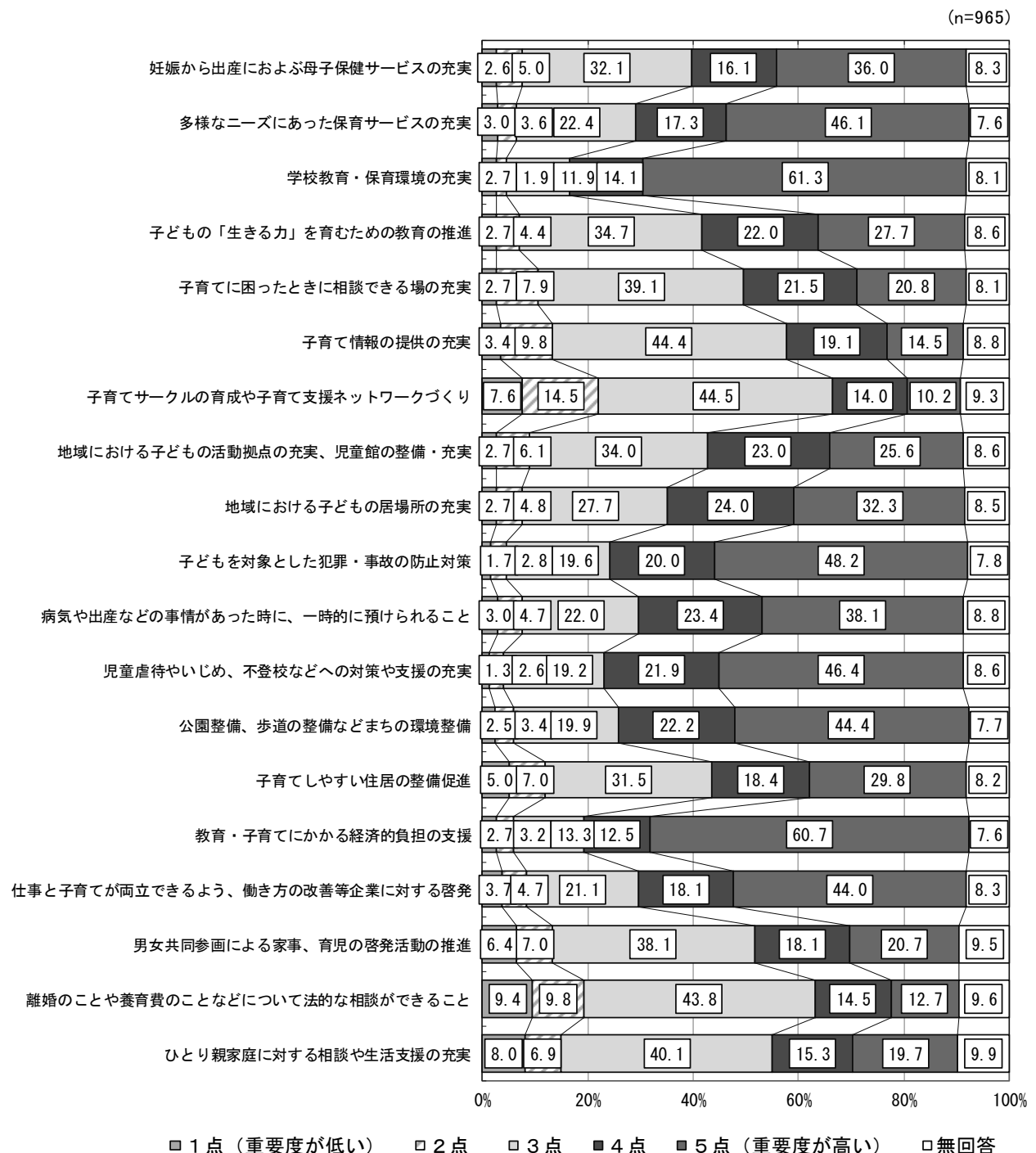


(4) 栗東市に対して望む子育て支援策

問37 栗東市に対して、あなたが望む子育て支援策は何ですか。望む支援策についてそれぞれ1～5段階でお答えください。

栗東市に対して望む子育て支援策は、最も重要度の高い5点の割合が高い順に「学校教育・保育環境の充実」(61.3%)、「教育・子育てにかかる経済的負担の支援」(60.7%)、「子どもを対象とした犯罪・事故の防止対策」(48.2%)となっている。

【図 栗東市に対して望む子育て支援策】



11. 潜在保育士の就労ニーズに関する調査

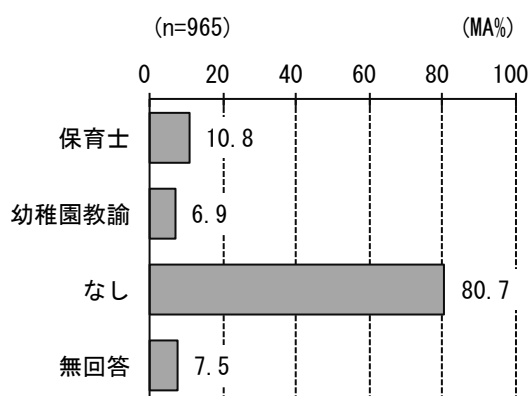
(1) 資格の所持

問39 この調査票にご回答いただいている方およびご家族は以下の資格を所持していますか。

(あてはまるものすべてに○)

資格の所持は、「なし」が 80.7%と最も多く、次いで「保育士」が 10.8%、「幼稚園教諭」が 6.9%となっている。

【図 資格の所持】



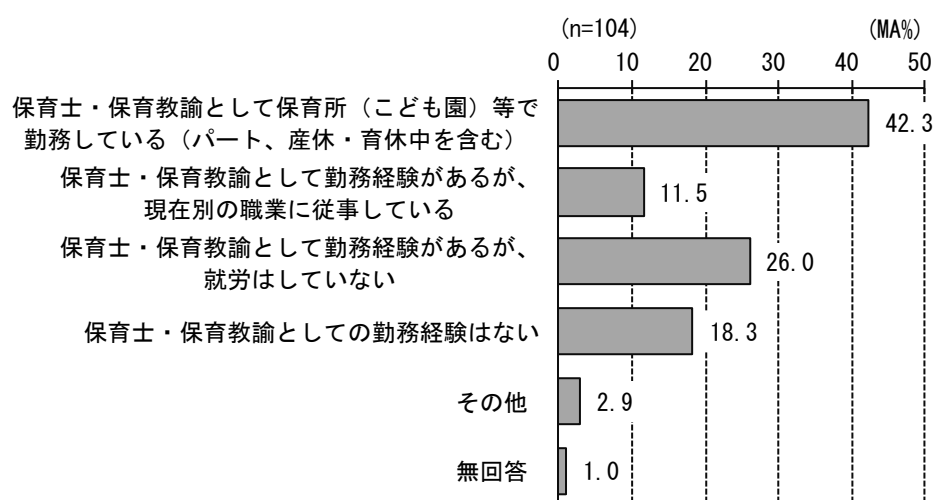
(2) 保育士資格所持者の勤務経験

問39で「1. 保育士」に○をつけた方にうかがいます。

問39-① この調査にご回答いただいている方およびご家族で保育士資格をお持ちの方の勤務経験についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

保育士資格所持者の勤務経験は、「保育士・保育教諭として保育所（こども園）等で勤務している（パート、産休・育休中を含む）」が 42.3%と最も多く、次いで、「保育士・保育教諭として勤務経験があるが、就労はしていない」が 26.0%、「保育士・保育教諭としての勤務経験はない」が 18.3%となっている。

【図 保育士資格所持者の勤務経験】



(3) 保育士・保育教諭として勤務していない理由

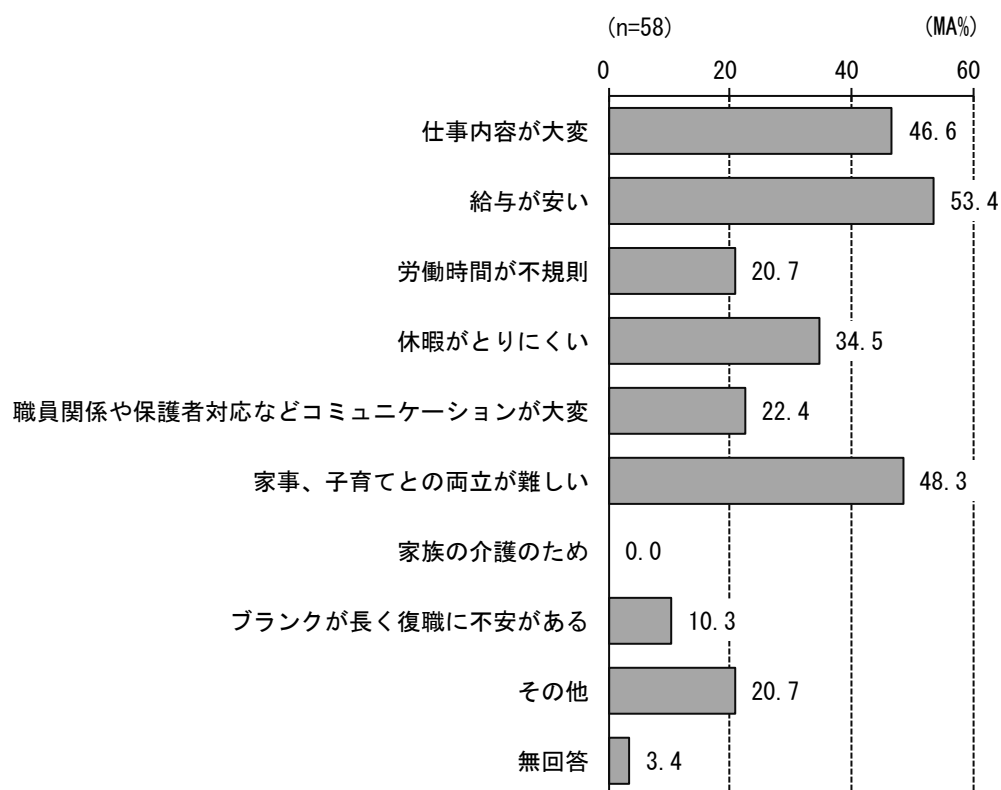
問39-①で「2」「3」「4」に○をつけた方にうかがいます。

問39-② 保育士・保育教諭として勤務していない理由についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

保育士・保育教諭として勤務していない理由は、「給与が安い」が 53.4%と最も多く、次いで、「家事、子育てとの両立が難しい」が 48.3%、「仕事内容が大変」が 46.6%、「休暇がとりにくい」が 34.5%となっている。

【図 保育士・保育教諭として勤務していない理由】



(4) 自由意見

問38 子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

●保育園について

内容	件数
保育料の見直し	31 件
保育園の増設	27 件
一時預かり対応の園を増やしてほしい	20 件
園舎の建て替えをしてほしい	13 件
2 人目以降の妊娠・出産時に上の子を預かってほしい	12 件
保育士の労働環境・待遇改善	11 件
その他	38 件

●子育て支援について ①子育て支援事業内容の改善

内容	件数
他の市に比べて支援が手薄である	44 件
おむつ券 1 万円分の支援では足りない	20 件
支援センター・児童館の開所時間の延長、休日の開所	10 件
産後ケアの充実	9 件
その他	35 件

●子育て支援について ②情報提供・相談支援

内容	件数
子育てに特化した LINE サービスが欲しい	2 件
子ども向けイベントの行事予定表が欲しい	2 件
その他	7 件

●幼稚園について

内容	件数
保育時間の延長、休日保育の実施	8 件
長期休みの際に預けられるようにしてほしい	6 件
プレ幼稚園などを実施してほしい	3 件
その他	2 件

●遊び環境・公共施設等について

内容	件数
公園の整備	43 件
体を動かせる屋内施設をつくってほしい	2 件
その他	3 件

●まちづくり等について

内容	件数
習い事等教育の場を増やしてほしい	5 件
下校時等に警察のパトロールをしてほしい	2 件
その他	7 件

●認定こども園について

内容	件数
川辺こども園新設について規模の縮小、安全への対策、もっと慎重に考えてもらいたい	1 件

●仕事との両立支援について

内容	件数
子どもがいても働きやすい仕事を紹介してほしい	1 件

●小学生について

内容	件数
小学校～中学校の給食費無償化	4 件
トイレを洋式にしてほしい	2 件
教員の負担軽減	2 件
学力向上につながる取り組み	2 件
その他	15 件

●放課後児童クラブについて

内容	件数
利用料の見直し	9 件
長期休暇中に給食を提供してほしい	8 件
学童が少ない	6 件
長期休暇中も利用したい	5 件
高学年になっても利用したい	2 件
その他	6 件

●公共交通について

内容	件数
横断歩道で一時停止しない車が多いので対策してほしい	4 件
歩道の整備	2 件

●医療機関について

内容	件数
子どもの医療費無償化	16 件
夜間に利用できる医療機関がない	10 件
インフルエンザの予防接種費用を補助してほしい	3 件
その他	3 件

●その他

内容	件数
アンケートの質問が多すぎる	10 件
その他	8 件

IV. 小学生児童保護者調査の結果

1. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問7 宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

問7で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問7-① 祖父母等の親族や友人・知人から受けている子育ての支援は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

問7-② 親族、友人・知人にお子さんをみもらううえで、心配なことや不安なことはありますか。

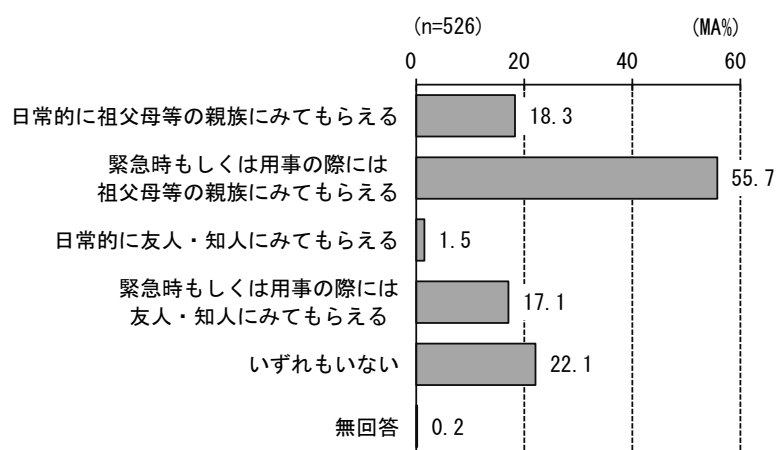
(あてはまるものすべてに○)

子どもをみてもらえる親族・知人の有無では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.7%と最も多く、次いで、「いずれもいない」が22.1%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が18.3%となっている。

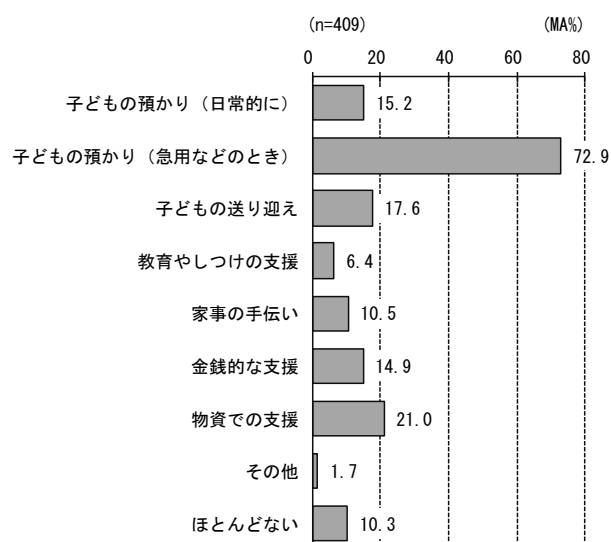
親族や友人・知人から受けている子育ての支援では、「子どもの預かり（急用などのとき）」が72.9%、「物資での支援」が21.0%、「子どもの送り迎え」が17.6%となっている。

心配なことや不安なことでは、「親族、友人・知人に安心して子どもをみてもらえる」が52.6%、「親族、友人・知人の時間的制約や身体的負担が大きく心配である」が27.6%、「親の立場として、親族、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」が21.5%となっている。

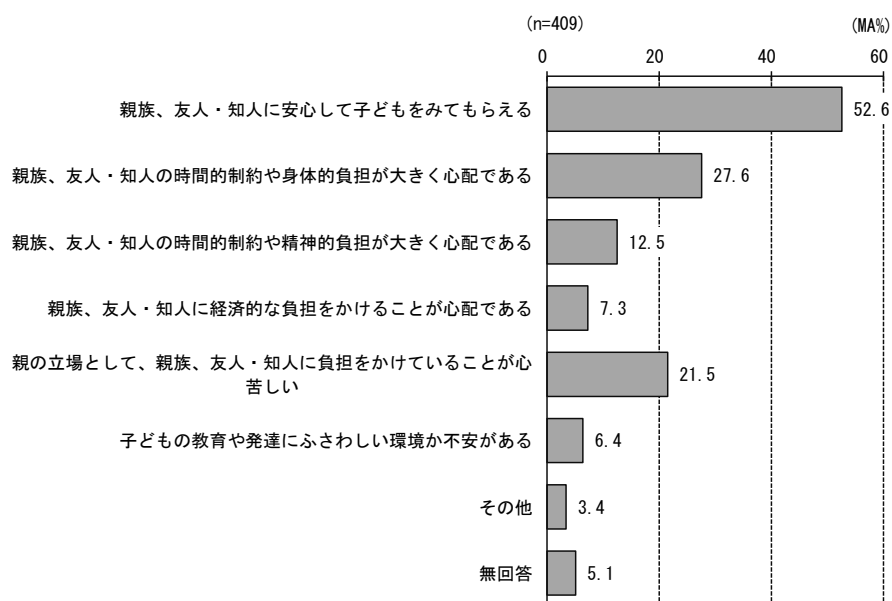
【図 お子さんをみてもらえる親族・知人】



【図 親族や友人・知人から受けている子育ての支援】



【図 心配なことや不安なこと】



(2) 子育てで楽しいと感じるか、つらいと感じるか

問8 子育てを楽しいと感じることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。(○はひとつ)

問8-① 子育ての楽しみはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

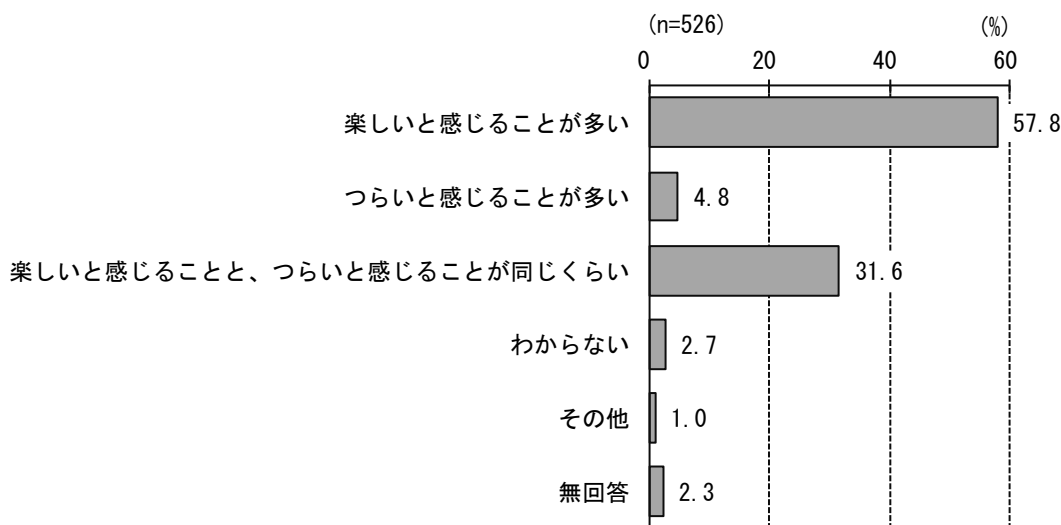
問8-② 子育てについて、特に不安や負担等を感じることで、また気になることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てで楽しいと感じるか、つらいと感じるかでは、「楽しいと感じることが多い」が 57.8%と最も多く、次いで、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が 31.6%、「つらいと感じることが多い」が 4.8%となっている。

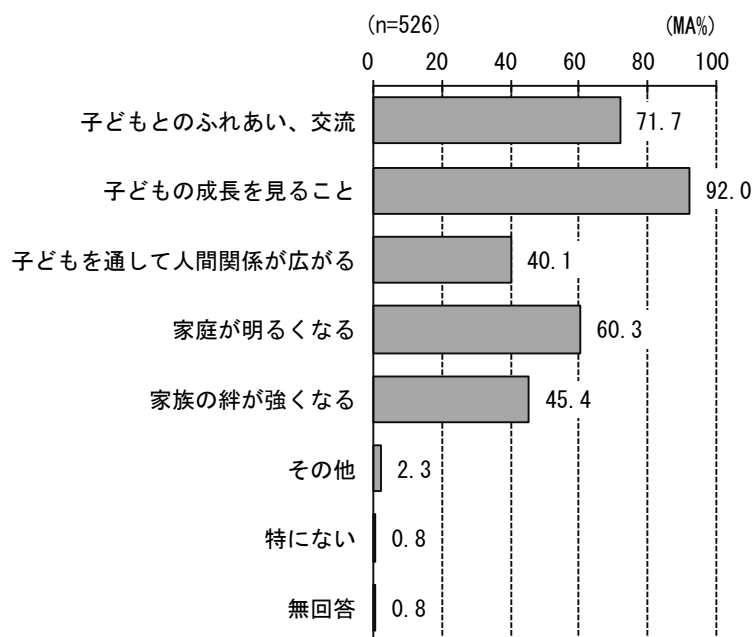
子育ての楽しみはどんなことかでは、「子どもの成長を見ること」が 92.0%、「子どもとのふれあい、交流」が 71.7%、「家庭が明るくなる」が 60.3%となっている。

子育てについて特に不安や負担に感じることで、「子どもの成長に関すること」が 43.3%、「子育てによる心身の疲れやストレスがたまること」が 29.1%、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が 24.3%、「子どもとの時間や家族の時間が十分にとれないこと」が 23.8%、「育児の方法に自信がないこと」が 21.3%となっている。

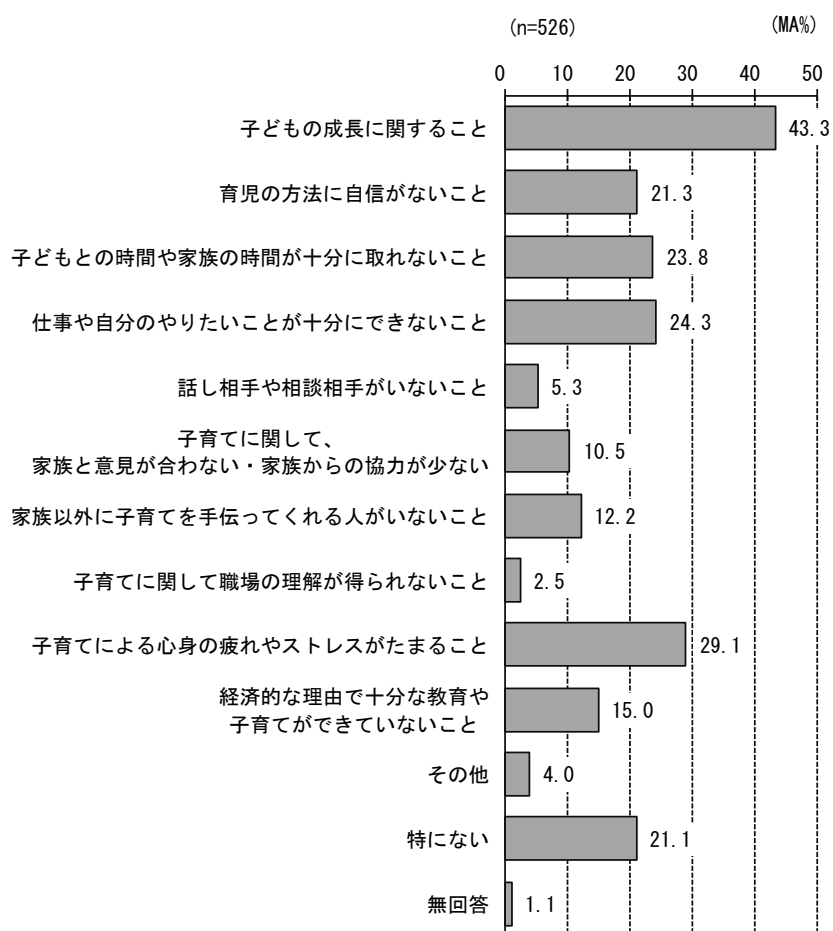
【図 子育てを楽しいと感じるか、つらいと感じるか】



【図 子育ての楽しみはどんなことか】



【図 子育てについて特に不安や負担に感じること】



(3) 子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所

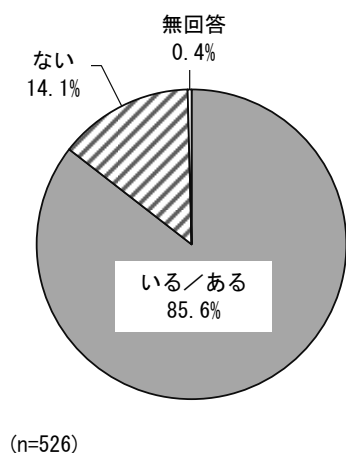
問9 宛名のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(どちらかに○)

問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

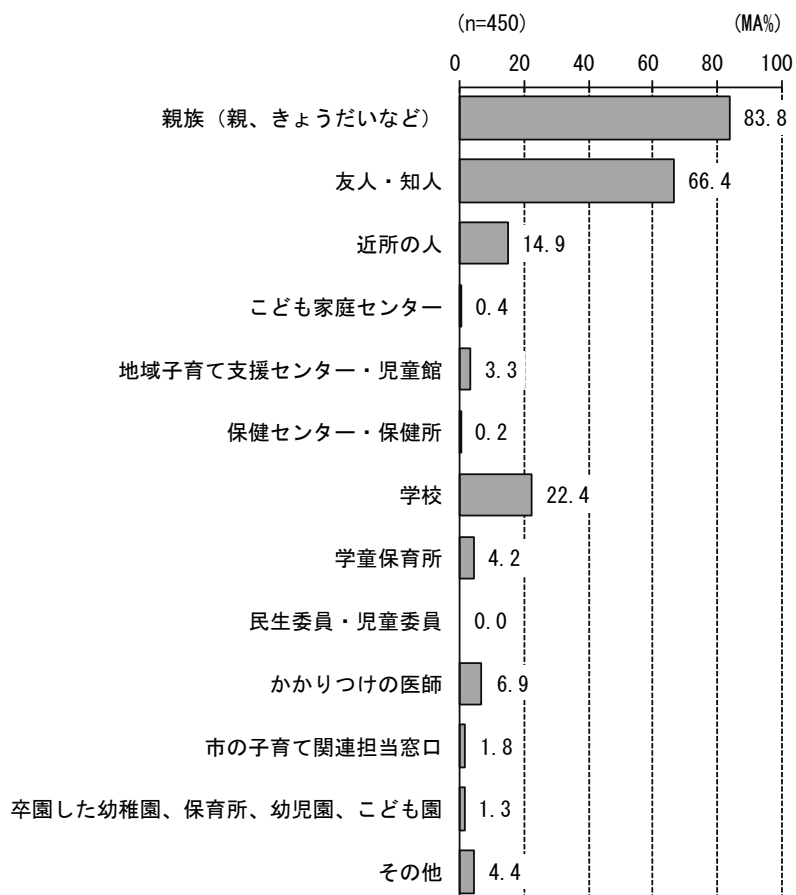
問9-① お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰／どこですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育ての相談先の有無では、「いる／ある」が85.6%、「ない」が14.1%となっている。
子育てに関する相談先では、「親族（親、きょうだいなど）」が83.8%と最も多く、次いで、「友人・知人」が66.4%、「学校」が22.4%、「近所の人」が14.9%となっている。

【図 子育ての相談先の有無】



【図 子育ての相談先】

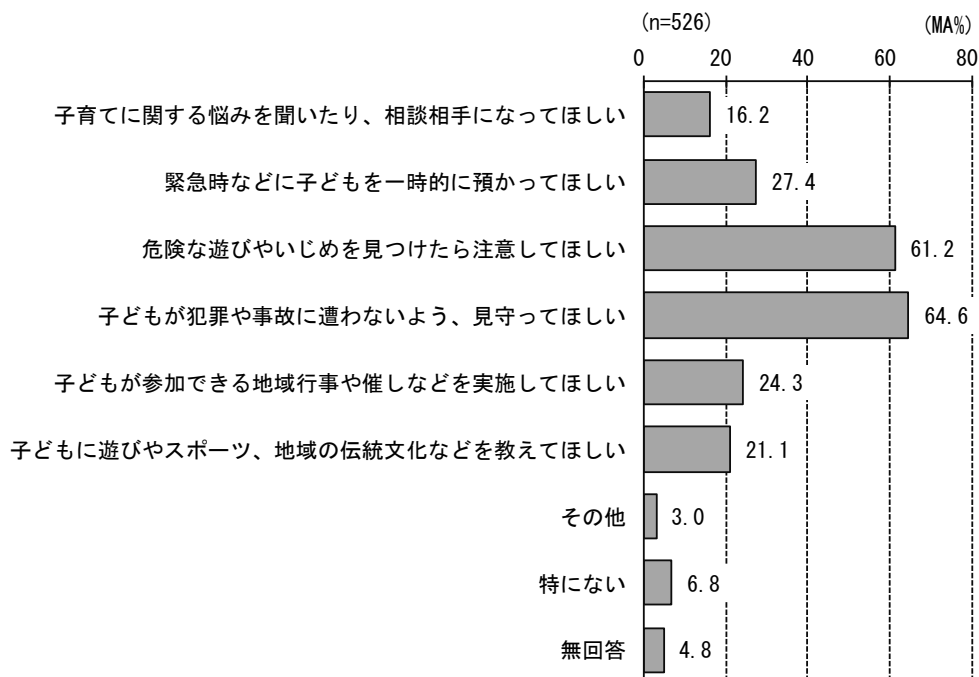


(4) 子育て支援として地域の人に希望すること

問10 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

子育て支援として地域の人に希望することは、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が 64.6%と最も多く、次いで、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が 61.2%、「緊急時などに子どもを一時的に預かってほしい」が 27.4%、「子どもが参加できる地域行事や催しなどを実施してほしい」が 24.3%となっている。

【図 子育て支援として地域の人に希望すること】



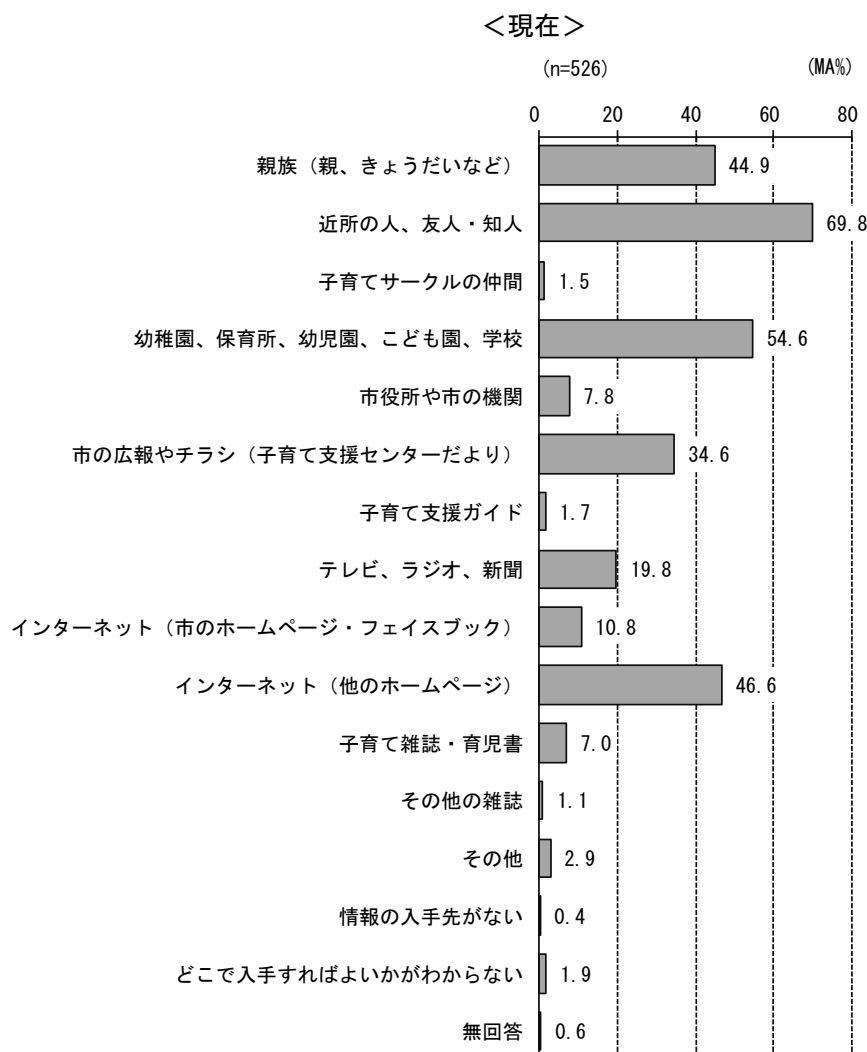
（５）子育てに関する情報の入手方法

問11 子育てに関する情報の入手方法についておたずねします。《現在》はどのような形で入手されていますか。また《今後》はどのような形を希望されますか。（あてはまるものすべてに○）

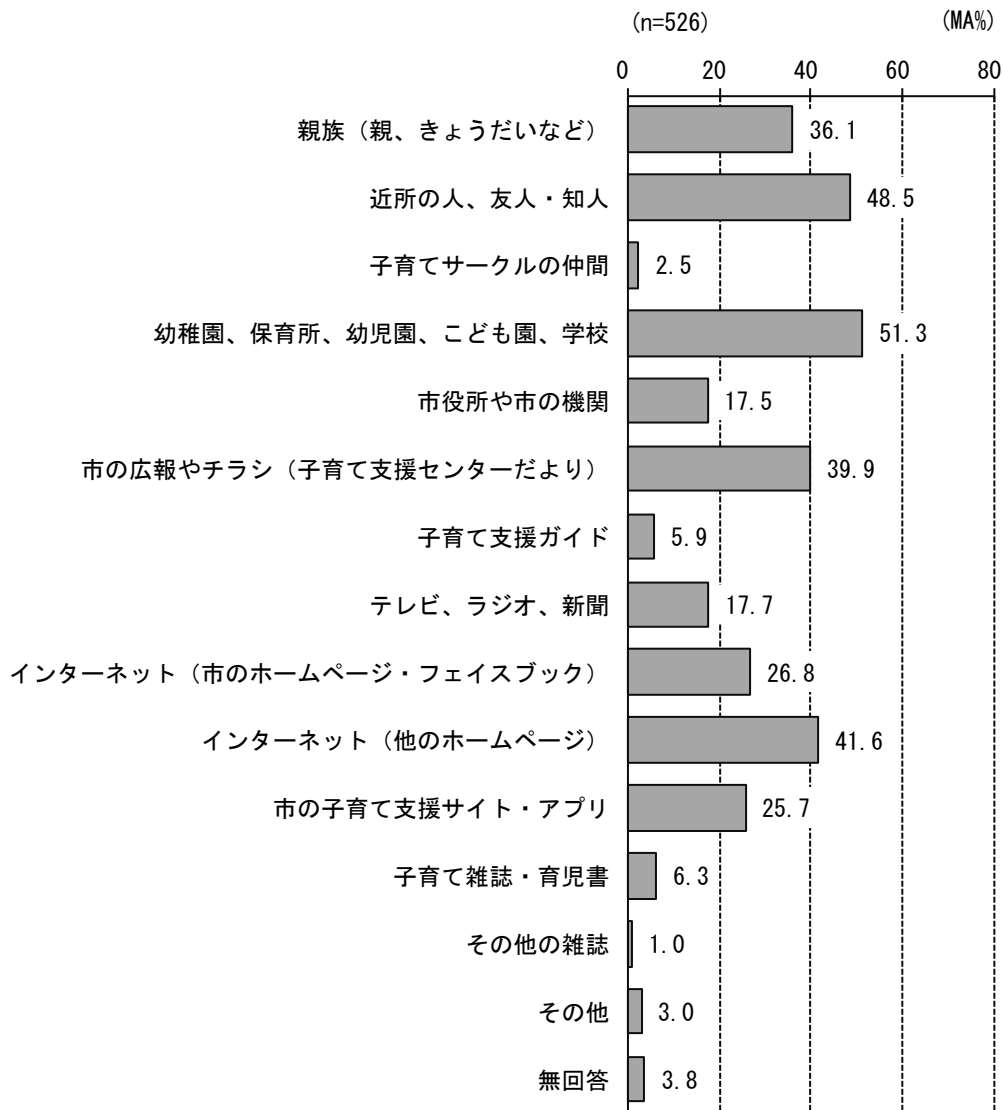
子育てに関する情報の現在の入手方法は、「近所の人、友人・知人」が 69.8%と最も多く、次いで、「幼稚園、保育所、幼児園、こども園、学校」が 54.6%、「インターネット（他のホームページ）」が 46.6%、「親族（親、きょうだいなど）」が 44.9%となっている。

子育てに関する情報の今後の入手方法は、「幼稚園、保育所、幼児園、こども園、学校」が 51.3%と最も多く、次いで、「近所の人、友人・知人」が 48.5%、「インターネット（他のホームページ）」が 41.6%、「市の広報やチラシ（子育て支援センターだより）」が 39.9%となっている。

【図 子育てに関する情報の入手方法】



<今後>



2. 保護者の就労状況

(1) 父母の就労状況

問12から問12-④の設問については、ひとり親家庭の方は母親、父親いずれかのみお答えください。

問12 宛名のお子さんの両親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

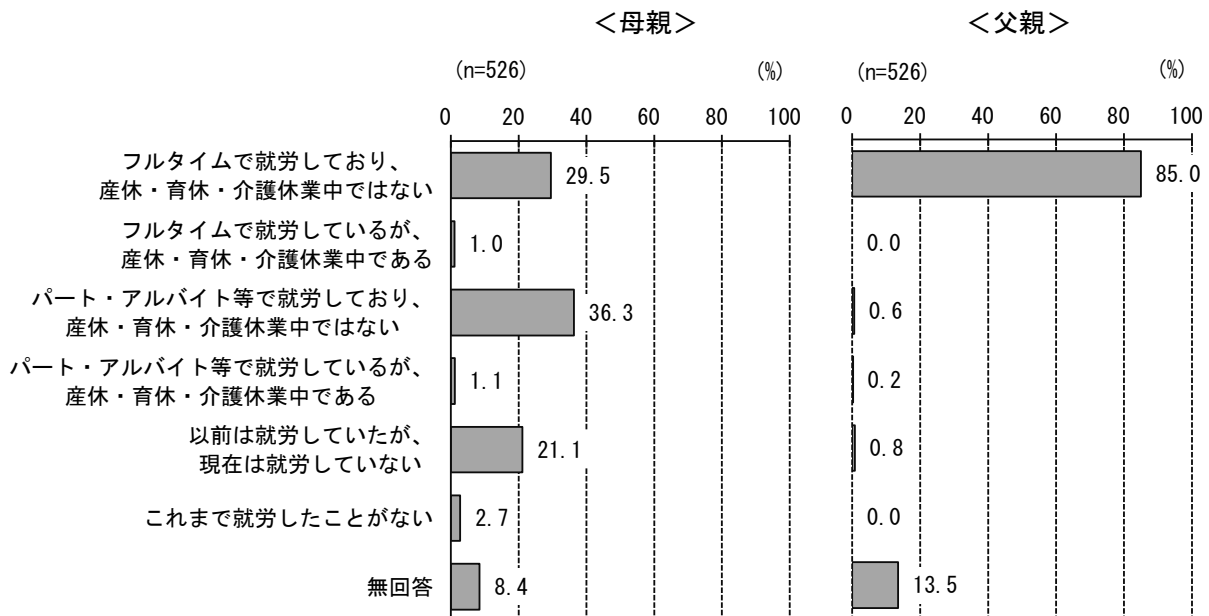
（母親、父親それぞれ〇はひとつ）

◆フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労。

◆パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労。

就労状況は、母親では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が36.3%と最も多く、次いで、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が21.1%となっている。就労状況は、父親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が85.0%となっている。

【図 父母の就労状況】



【表 母親の就労状況】

			中 で は な い	フル タ イ ム で 就 業 中 に あ る	フル タ イ ム で 就 業 中 に あ る	介 護 業 中 に あ る	パート・ アル バ イ ト 等 で 就 業 中 に あ る	パート・ アル バ イ ト 等 で 就 業 中 に あ る	以前は就 業してい たが、現 在は就 業してい ない	これまで 就労した ことがな い	無 回 答
		合計									
全体		上段/実数 下段/%	526 100.0	155 29.5	5 1.0	191 36.3	6 1.1	111 21.1	14 2.7	44 8.4	
年 齢	1年生		84 100.0	26 31.0	1 1.2	32 38.1	2 2.4	14 16.7	2 2.4	7 8.3	
	2年生		71 100.0	17 23.9	2 2.8	29 40.8	－ －	19 26.8	1 1.4	3 4.2	
	3年生		95 100.0	24 25.3	－ －	29 30.5	2 2.1	30 31.6	－ －	10 10.5	
	4年生		88 100.0	27 30.7	1 1.1	32 36.4	－ －	18 20.5	1 1.1	9 10.2	
	5年生		78 100.0	27 34.6	1 1.3	33 42.3	1 1.3	12 15.4	3 3.8	1 1.3	
	6年生		105 100.0	34 32.4	－ －	32 30.5	1 1.0	17 16.2	7 6.7	14 13.3	

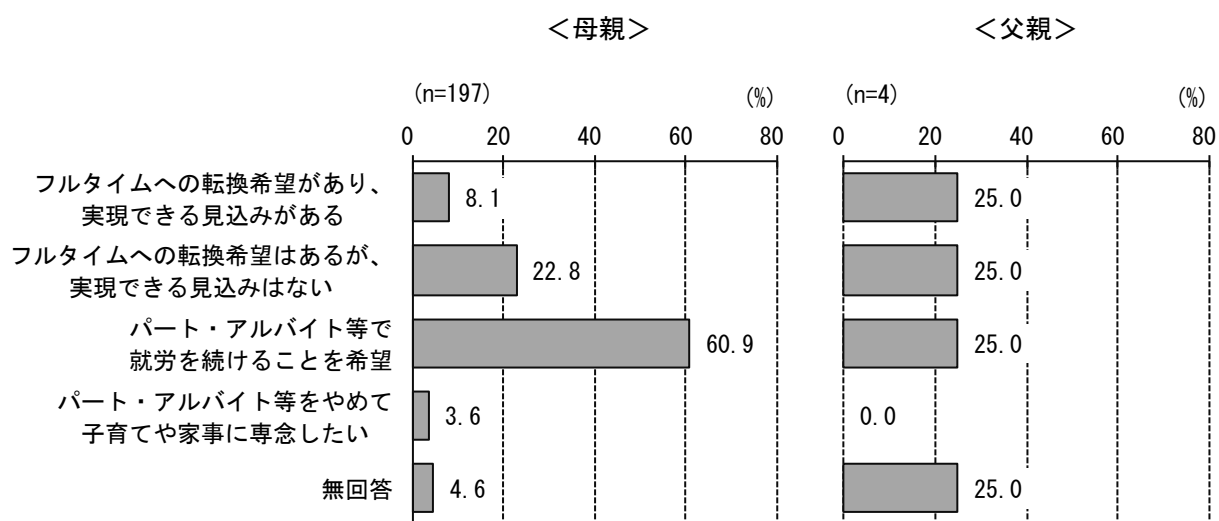
(2) フルタイムへの転換希望（パート・アルバイトの方のみ）

問12で「3」、「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問12-① フルタイムへの転換希望はありますか。（母親、父親それぞれ○はひとつ）

フルタイムへの転換希望は、母親では、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望」が 60.9%と最も多く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 22.8%となっている。父親では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望」がそれぞれ 25.0%となっている。

【図 フルタイムへの転換希望】



(3) 就労日数・就労時間

問12「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問12-② 現在の就労状況について、以下の(1)～(6)にお答えください。

◆(1)～(5)は 内に数字でご記入ください。

◆時間、時刻は、必ず24時間表記でご記入ください。(例) 8時00分～18時30分

◆就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

◆在宅ワークなど、通勤時間がない場合は「通勤時間がない」に☑をつけてください。

◆産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたりの就労日数は、母親では、「週5日」が56.0%と最も多く、次いで、「週4日」が20.4%、「週3日」が10.6%となっている。父親では、「週5日」が70.7%と最も多く、次いで、「週6日」が20.2%、「週7日」が2.2%となっている。

1日あたりの就労時間は、母親では、「8時間以上」が65.3%と最も多く、次いで、「6時間」が7.3%、「4時間」が6.4%となっている。父親では、「8時間以上」が87.4%、「7時間」が3.1%となっている。

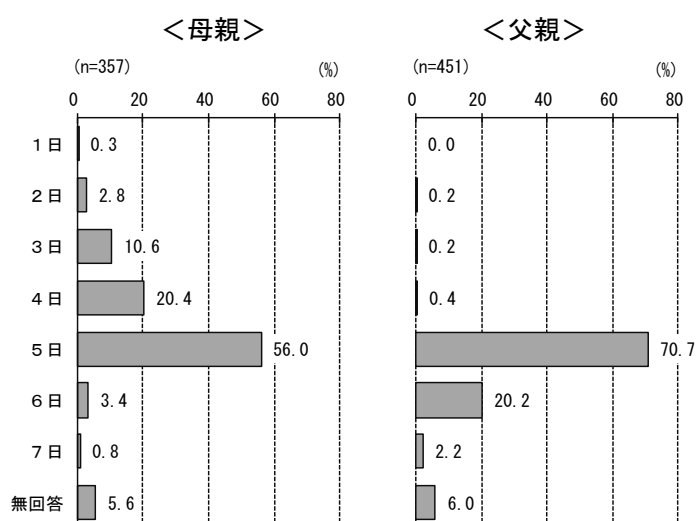
家を出る時刻は、母親では、「8時台」が38.1%と最も多く、次いで、「7時台」が24.3%、「4時以前」が10.6%となっている。父親では、「7時台」が38.9%と最も多く、次いで、「8時台」が19.9%、「6時台」が19.5%となっている。

勤務終了時刻は、母親では、「17時台」が29.4%、「16時台」が14.0%、「15時台」が10.9%となっている。父親では、「17時台」が26.4%、「18時台」が18.6%、「19時台」が16.2%となっている。

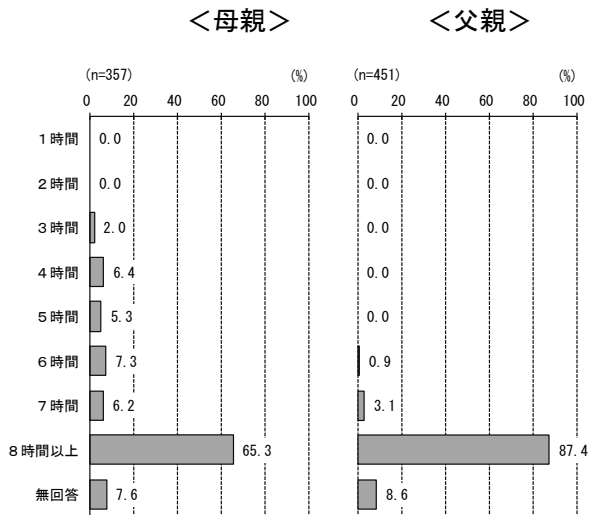
帰宅時刻は、母親では、「18時台」が24.0%と最も多く、次いで、「17時台」が17.0%、「15時台」が11.1%となっている。父親では、「20時台」が19.5%と最も多く、次いで、「19時台」が18.3%、「18時台」が17.8%となっている。

勤務地は、母親では、「市内」が49.9%と、「市外」が40.9%、「県外」が3.9%となっている。父親では、「市外」が50.1%、「市内」が27.1%、「県外」が17.5%となっている。

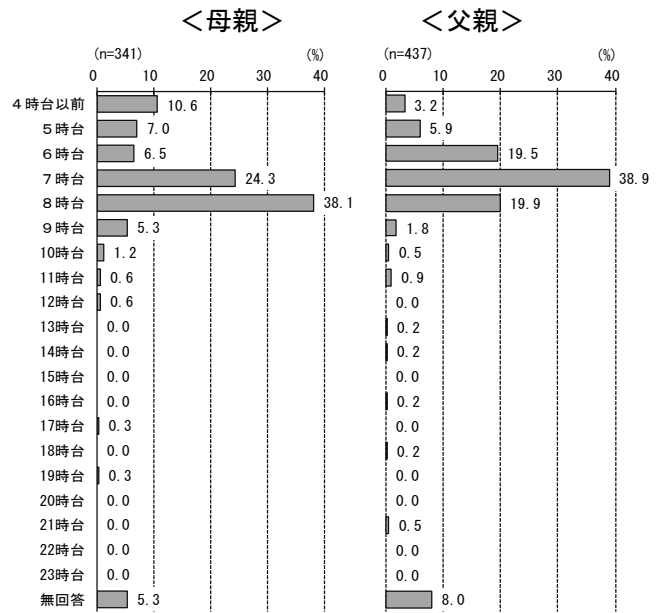
【図 1週あたりの就労日数】



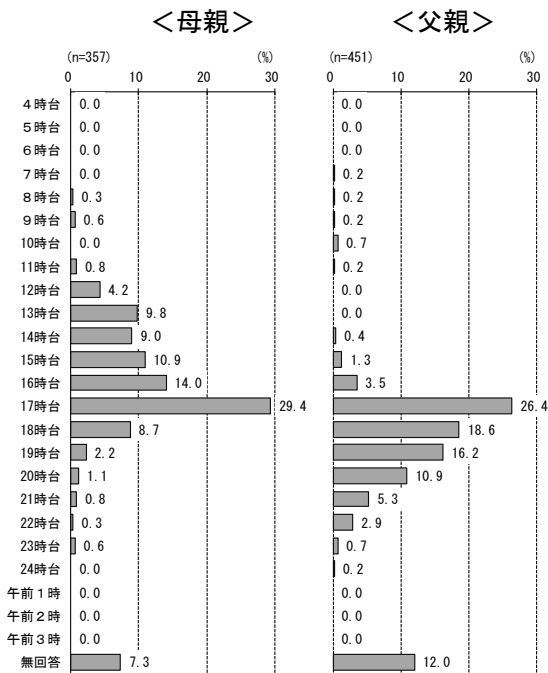
【図 1日あたりの就労時間】



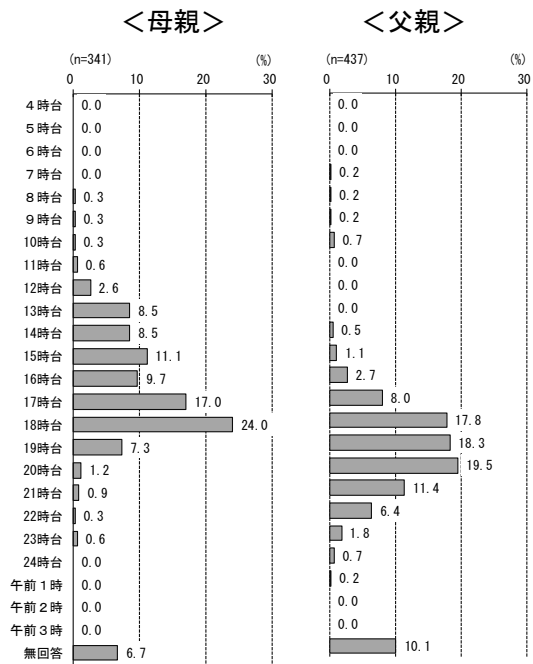
【図 家を出る時刻】



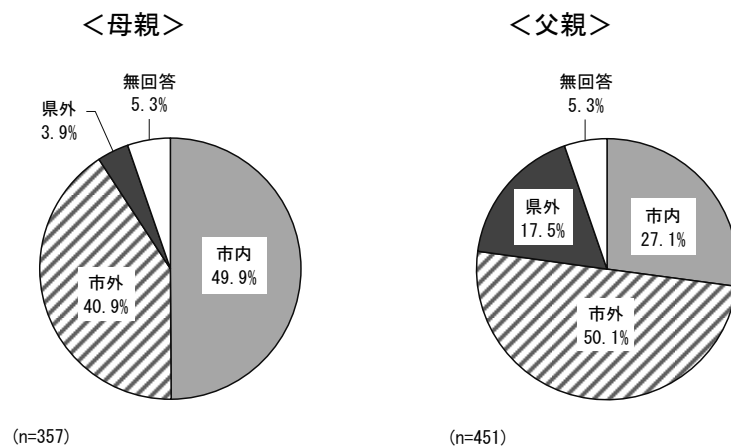
【図 勤務終了時刻】



【図 帰宅時刻】



【図 勤務地】



(4) 非就労者の就労希望

問12 で「5」、「6」(就労していない) に○をつけた方にうかがいます。

問12-③ 就労したいという希望はありますか。(母親・父親それぞれ○はひとつ)

◆「2」を選んだ方は 内に希望する年齢をご記入ください。

問12-③で母親、父親のいずれか、または双方が「1」に○をつけた方にうかがいます。

問12-④ 希望する就労形態をお答えください。(母親・父親それぞれ○はひとつ)

◆「2」を選んだ方は 内に数字でご記入ください。

就労していない父母の就労希望は、母親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が40.8%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が31.2%となっている。父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達したところに就労したい」が25.0%となっている。

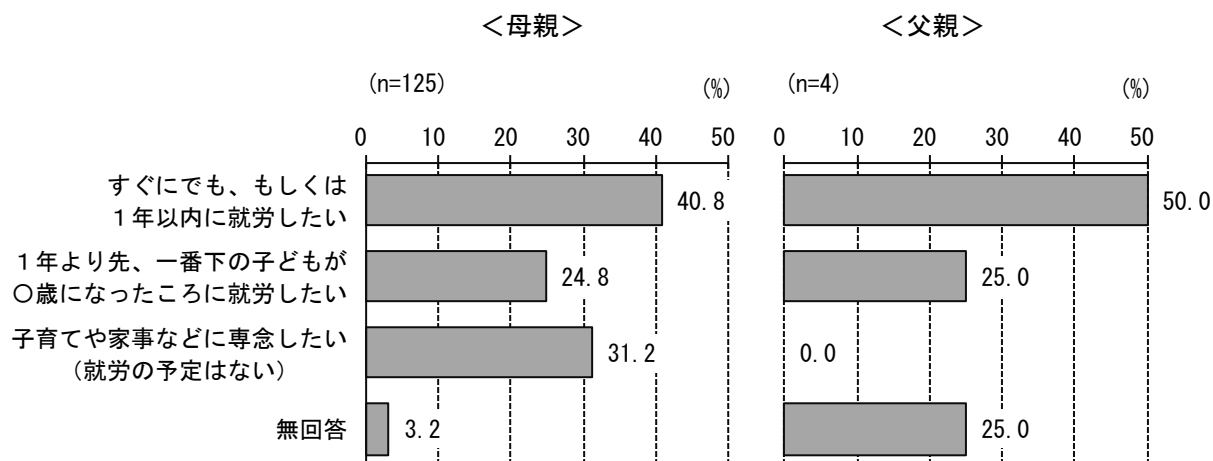
就労したいと思う時の子どもの年齢は、母親では、「11～12歳」が32.3%と最も多く、次いで、「7～8歳」が19.4%となっている。

希望する就労形態は、母親では、「パート・アルバイト等」が86.3%、「フルタイム」が7.8%となっている。父親では、「フルタイム」が100.0%となっている。

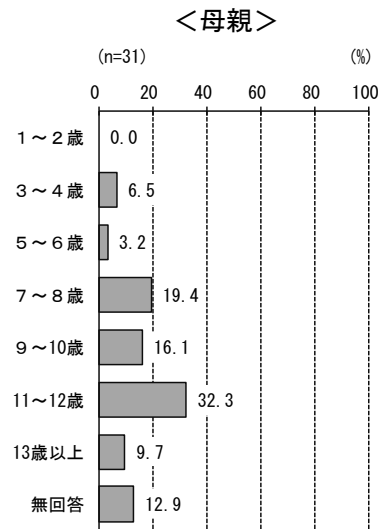
パート・アルバイト等の1週あたりの希望就労日数は、母親では、「週3日」が45.5%、「週4日」が36.4%となっている。

パート・アルバイト等の1日あたりの希望就労時間は、母親では、「5時間」が43.2%、「4時間」が25.0%、「3時間」が13.6%となっている。

【図 非就労者の就労希望】

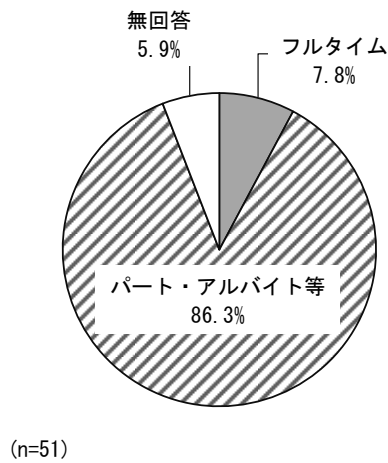


【図 働きたいと思う時の子どもの年齢】



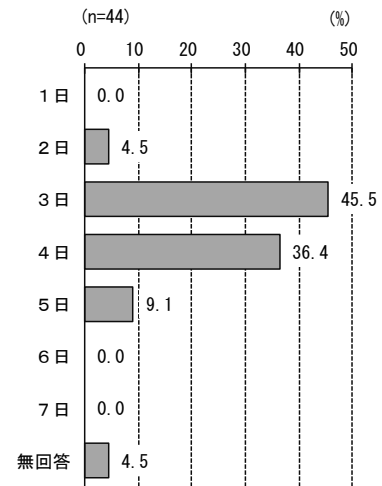
【図 希望する就労形態】

＜母親＞

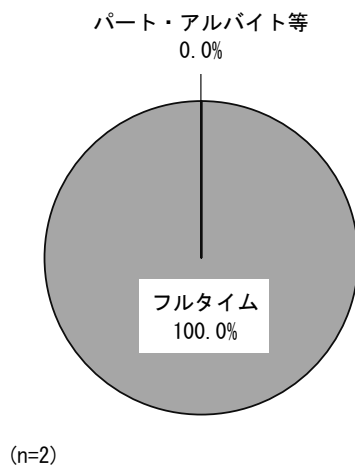


【図 パート・アルバイト等の1週あたりの希望就労日数】

＜母親＞

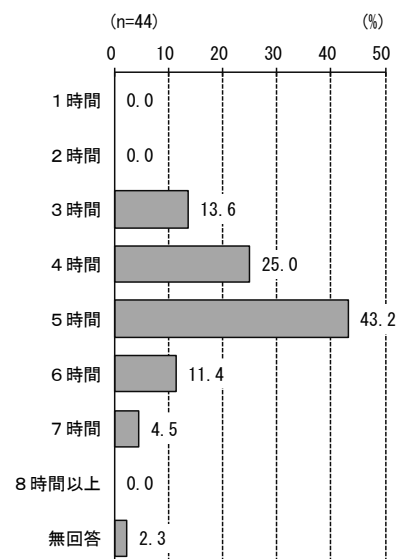


＜父親＞



【図 パート・アルバイト等の1日あたりの希望就労時間】

＜母親＞



3. 子育てと仕事との両立について

(1) 子育てと仕事の両立で大変だと感じること

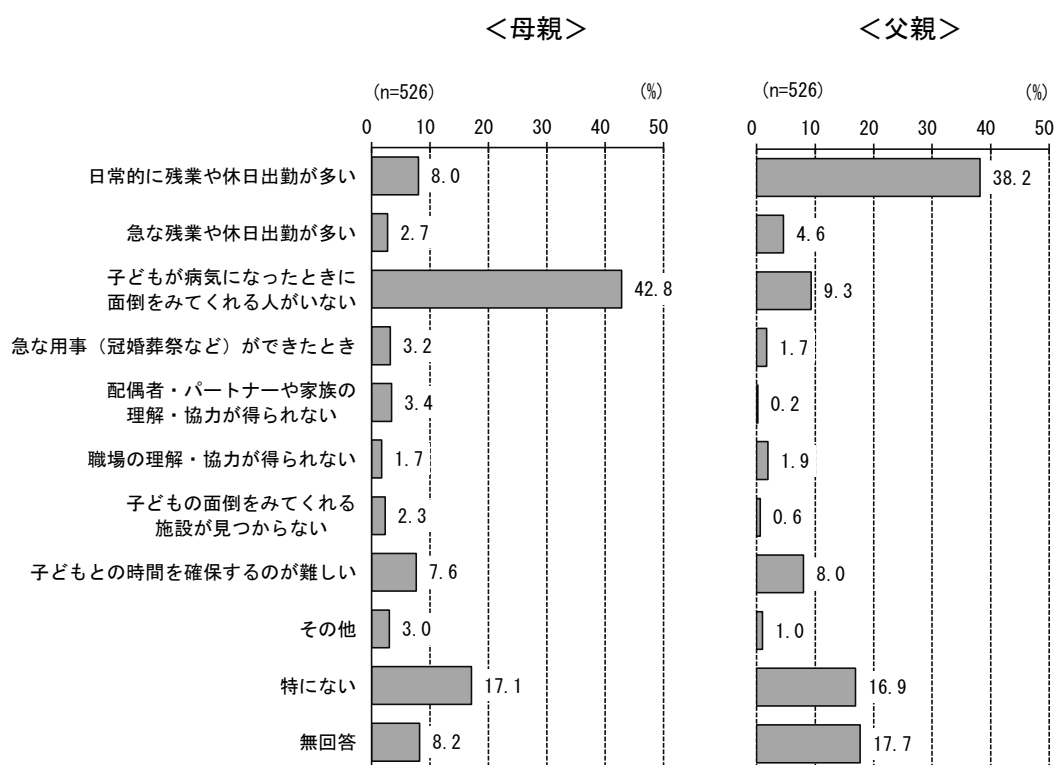
問13 子育てと仕事を両立させるうえで大変だと感じることはどのようなことですか。

(母親、父親それぞれ〇はひとつ)

◆就労していない方は、就労している場合を想定してお答えください。

子育てと仕事の両立で大変だと感じることは、母親では、「子どもが病気になったときに面倒をみってくれる人がいない」が 42.8%と最も多く、次いで、「日常的に残業や休日出勤が多い」が 8.0%となっている。父親では、「日常的に残業や休日出勤が多い」が 38.2%と最も多く、次いで、「子どもが病気になったときに面倒をみってくれる人がいない」が 9.3%となっている。

【図 子育てと仕事の両立で大変だと感じること】



4. 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

(1) 現在の放課後の過ごし方

問14 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

◆それぞれの日数を 内に数字でご記入ください。

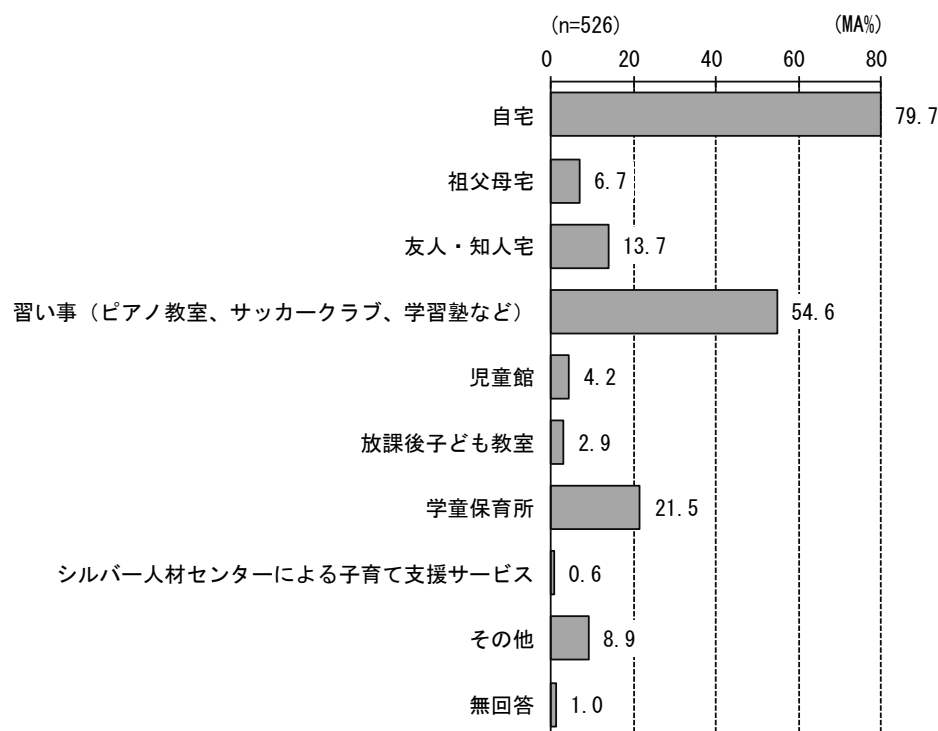
「7. 学童保育所」を選んだ方は、利用している時間も 内に数字でご記入ください。

◆時間は、必ず24時間表記でご記入ください。（例）18時30分

現在の放課後の過ごし方は、「自宅」が 79.7%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 54.6%、「学童保育所」が 21.5%、「友人・知人宅」が 13.7%となっている。

現在の放課後の過ごし方の週あたりの日数は、自宅では、「週 5 日」が 35.6%、祖父母宅では、「週 1 日」が 45.7%、友人・知人では、「週 1 日」が 61.1%、習い事では、「週 3 日」が 31.4%、児童館では、「週 1 日」が 63.6%、放課後子ども教室では、「週 1 日」が 86.7%、学童保育所では、「週 5 日」が 64.6%、シルバー人材センターでは、「週 1 日」が 100.0%、その他では、「週 1 日」が 31.9%とそれぞれ最も多くなっている。

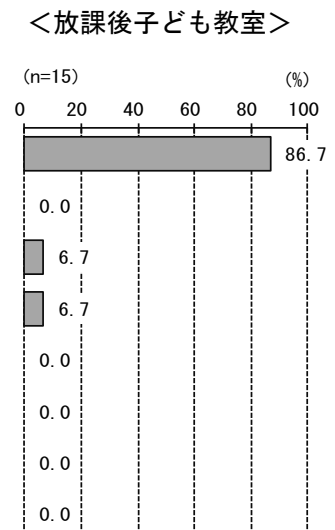
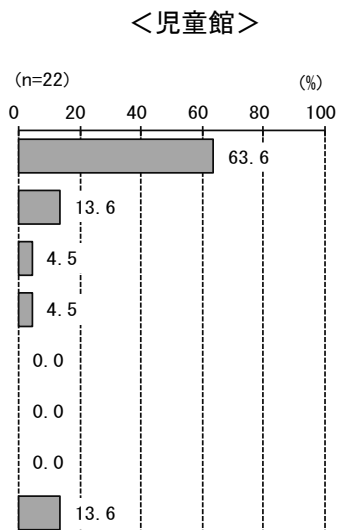
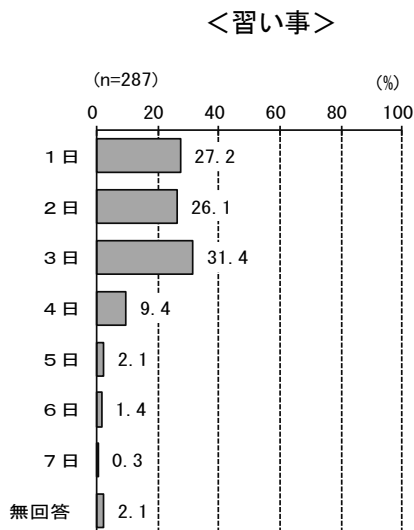
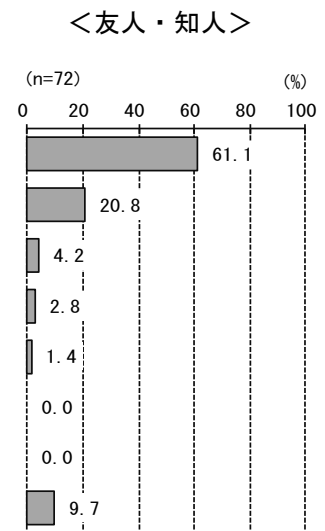
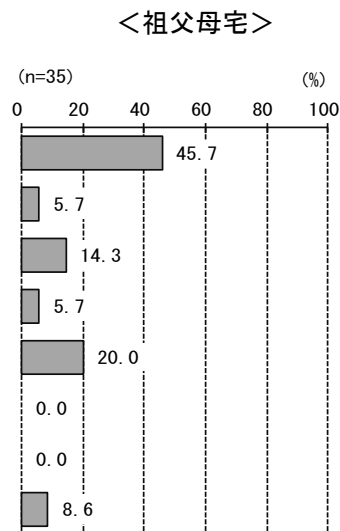
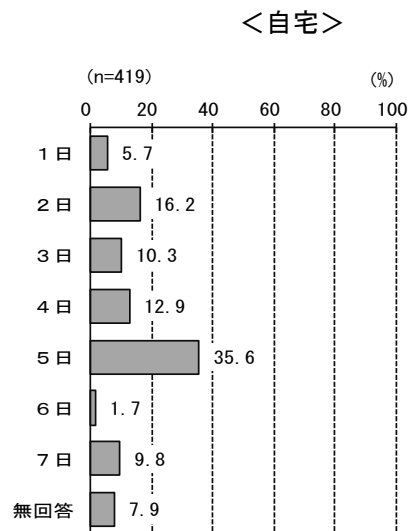
【図 現在の放課後の過ごし方】

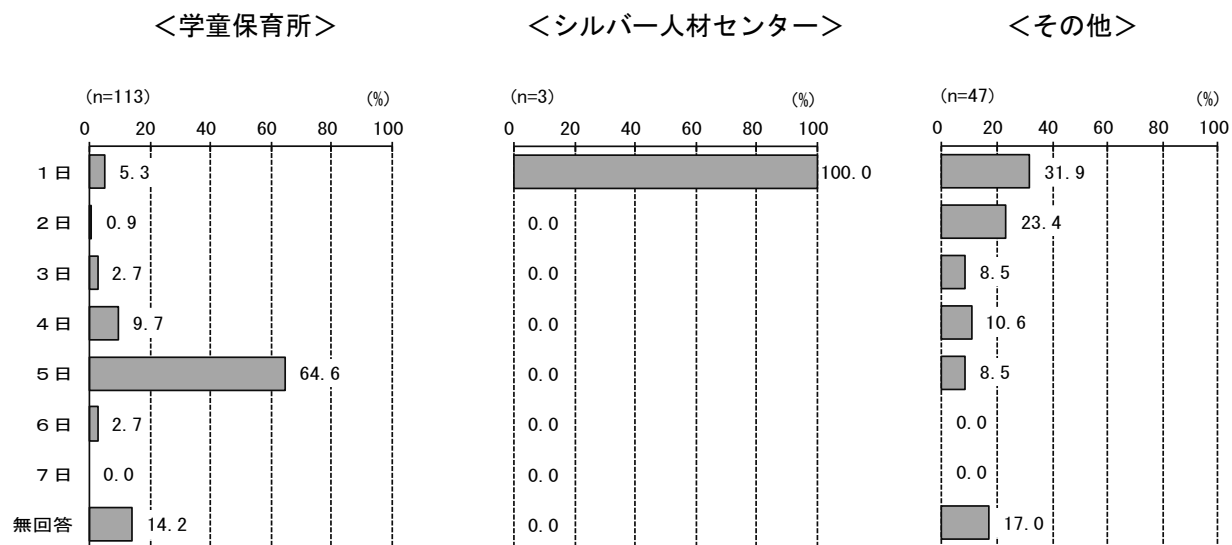


【表 母親の就労タイプ別 現在の放課後の過ごし方】

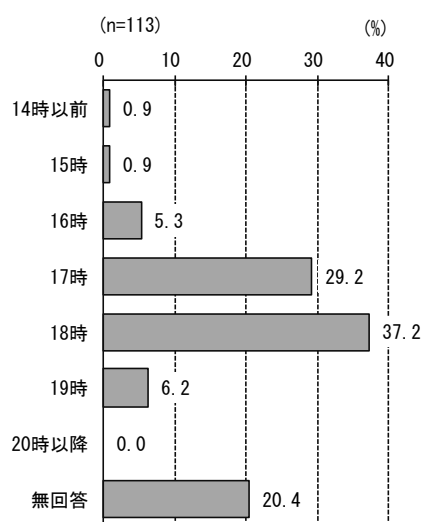
			自宅	祖父母宅	友人・知人宅	塾・サッカークラブ、習い事（ピアノ教室、習字など）	児童館	放課後子ども教室	学童保育所	シルバー人材センターによる子育て支援サークル	その他	無回答
		合計										
全体		526	419	35	72	287	22	15	113	3	47	5
上段/実数		100.0	79.7	6.7	13.7	54.6	4.2	2.9	21.5	0.6	8.9	1.0
下段/MA%												
母親の就労タイプ	フルタイム（休業中含む）	160	92	9	14	65	3	1	72	1	13	1
		100.0	57.5	5.6	8.8	40.6	1.9	0.6	45.0	0.6	8.1	0.6
	パート・アルバイト等（休業中含む）	197	170	18	34	116	8	6	27	1	17	3
		100.0	86.3	9.1	17.3	58.9	4.1	3.0	13.7	0.5	8.6	1.5
就労していない		125	120	3	16	82	9	8	4	1	15	－
		100.0	96.0	2.4	12.8	65.6	7.2	6.4	3.2	0.8	12.0	－

【図 1 週あたりの利用日数】





【図 学童保育所の利用時間帯】

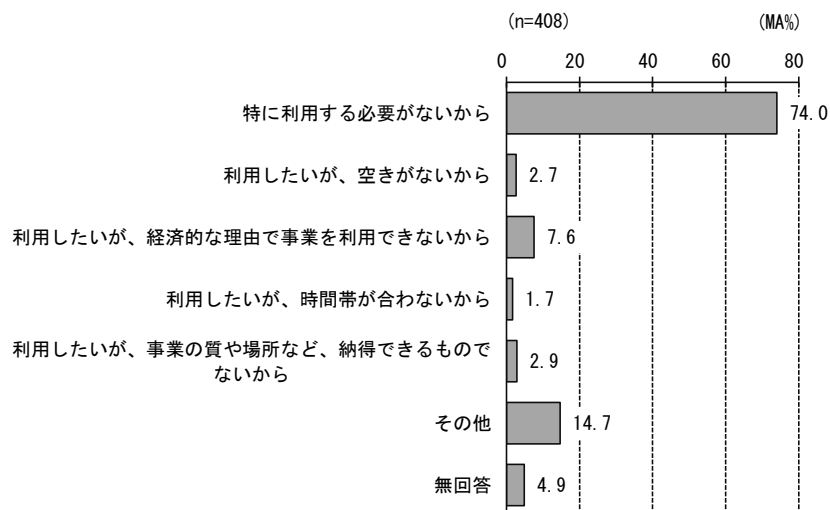


(2) 学童保育所を利用していない理由

問15 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

学童保育所を利用していない理由は、「特に利用する必要はないから」が 74.0%と最も多く、次いで、「その他」が 14.7%、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないから」が 7.6%となっている。

【図 学童保育所を利用していない理由】



(3) 今後の放課後の過ごし方

問16 宛名のお子さんについて、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

◆それぞれの日数を 内に数字でご記入ください。

「7. 学童保育所」を選んだ方は、利用希望時間も 内に数字でご記入ください。

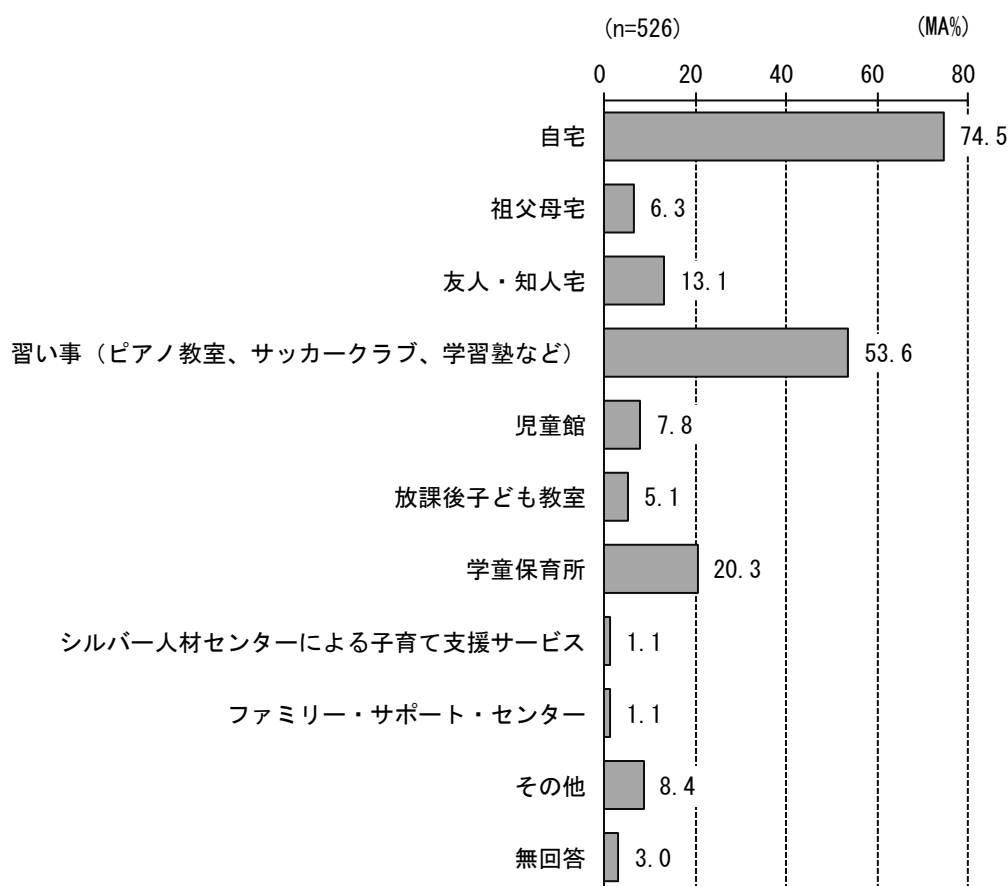
◆時間は、必ず24時間表記でご記入ください。（例）18時30分

◆事業の利用には、一定の利用料がかかります。

今後の放課後の過ごし方は、「自宅」が74.5%と最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が53.6%、「学童保育所」が20.3%、「友人・知人宅」が13.1%となっている。

今後の放課後の過ごし方の週あたりの日数は、自宅では、「週5日」が32.4%、祖父母宅では、「週1日」が33.3%、友人・知人では、「週1日」が50.7%、習い事では、「週3日」が28.4%、児童館では、「週1日」が51.2%、放課後子ども教室では、「週1日」が63.0%とそれぞれ最も多くなっている。

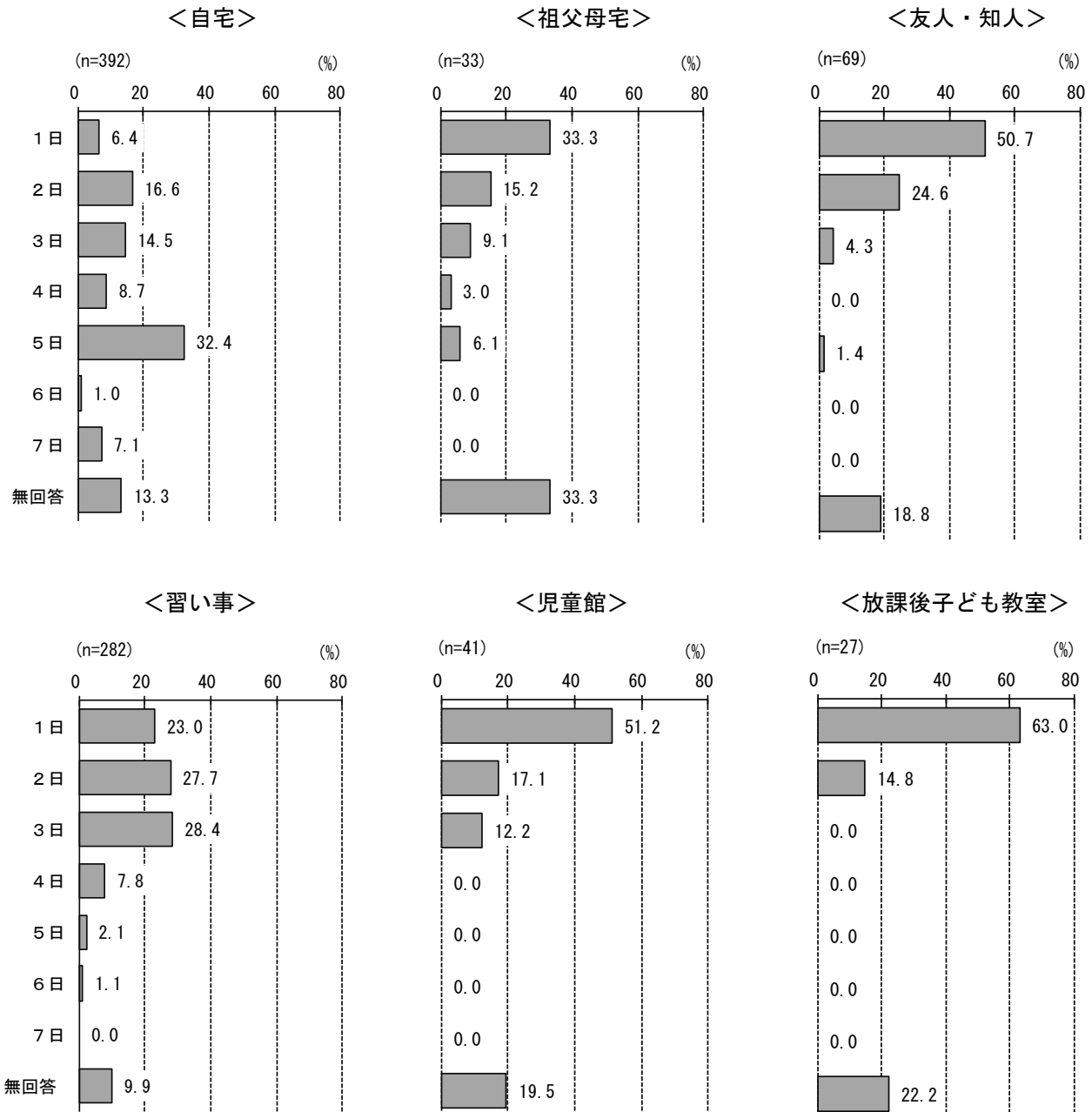
【図 今後の放課後の過ごし方】

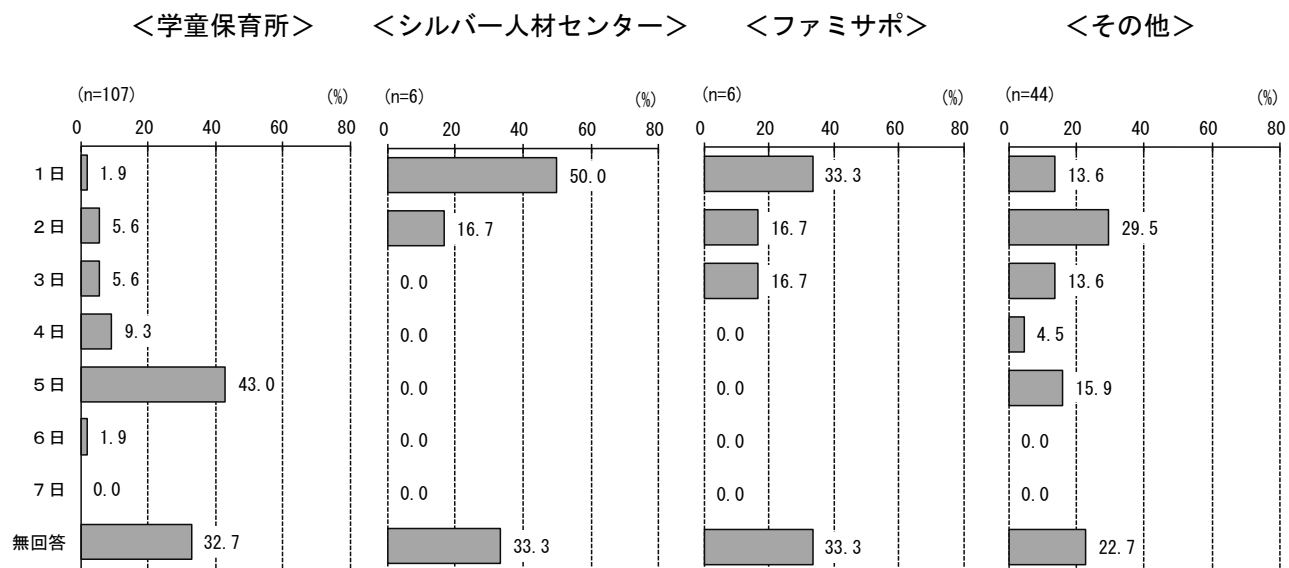


【表 母親の就労タイプ別 今後の放課後の過ごし方】

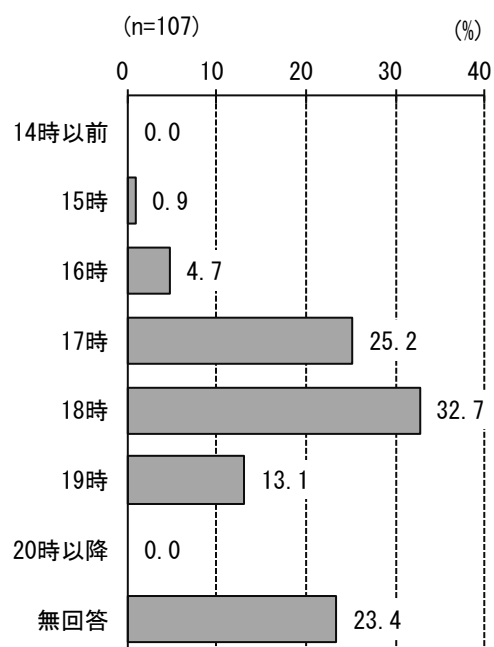
			自宅	祖 父 母 宅	友 人 ・ 知 人 宅	習い事（ピアノ教 室、サッカークラ ブ、学習塾など）	児 童 館	放 課 後 子 ど も 教 室	学 童 保 育 所	支 援 サ ー ビ ス	シ ル バ ー 人 材 セ ン タ ー に よ る 子 育 て	フ ア ミ リ ー ・ サ ー セン タ ー	そ の 他	無 回 答
		合計												
全体		526	392	33	69	282	41	27	107	6	6	44	16	
上段/実数 下段/MA%		100.0	74.5	6.3	13.1	53.6	7.8	5.1	20.3	1.1	1.1	8.4	3.0	
母 親 の 就 労 タイプ	フルタイム	160	87	13	9	71	5	3	64	2	3	11	7	
	（休業中含む）	100.0	54.4	8.1	5.6	44.4	3.1	1.9	40.0	1.3	1.9	6.9	4.4	
	パート・アルバイト等	197	162	13	37	105	16	12	29	2	1	19	5	
	（休業中含む）	100.0	82.2	6.6	18.8	53.3	8.1	6.1	14.7	1.0	0.5	9.6	2.5	
就労していない		125	113	4	16	81	16	9	6	2	2	13	1	
		100.0	90.4	3.2	12.8	64.8	12.8	7.2	4.8	1.6	1.6	10.4	0.8	

【図 1週あたりの利用日数】





【図 学童保育所の利用時間帯】



(4) 学童保育所を利用したい学年

問16で「7. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。

問16-① 宛名のお子さんについて、何年生まで学童保育所を利用したいですか。(○はひとつ)

◆事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用料は運営事業者により異なります。

問16-② 宛名のお子さんについて、(1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日、(3) 長期の休暇期間(夏休み等)に、学童保育所の利用希望はありますか。(○はひとつずつ)

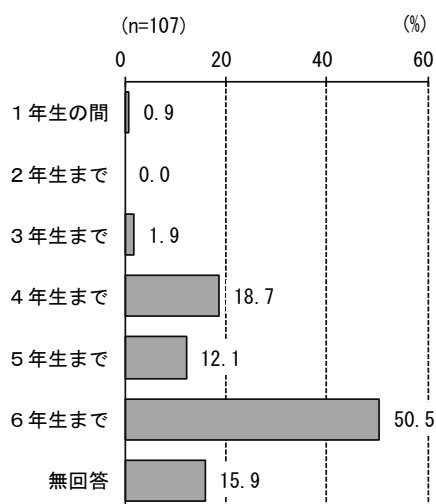
学童保育所を利用したい学年は、「6年生まで」が50.5%、「4年生まで」が18.7%、「5年生まで」が12.1%となっている。

学童保育所の利用希望は、土曜日では、「利用する必要はない」が68.2%、「利用したい」が24.3%となっている。日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が77.6%、「利用したい」が12.1%となっている。長期の休暇では、「利用したい」が89.7%、「利用する必要はない」が7.5%となっている。

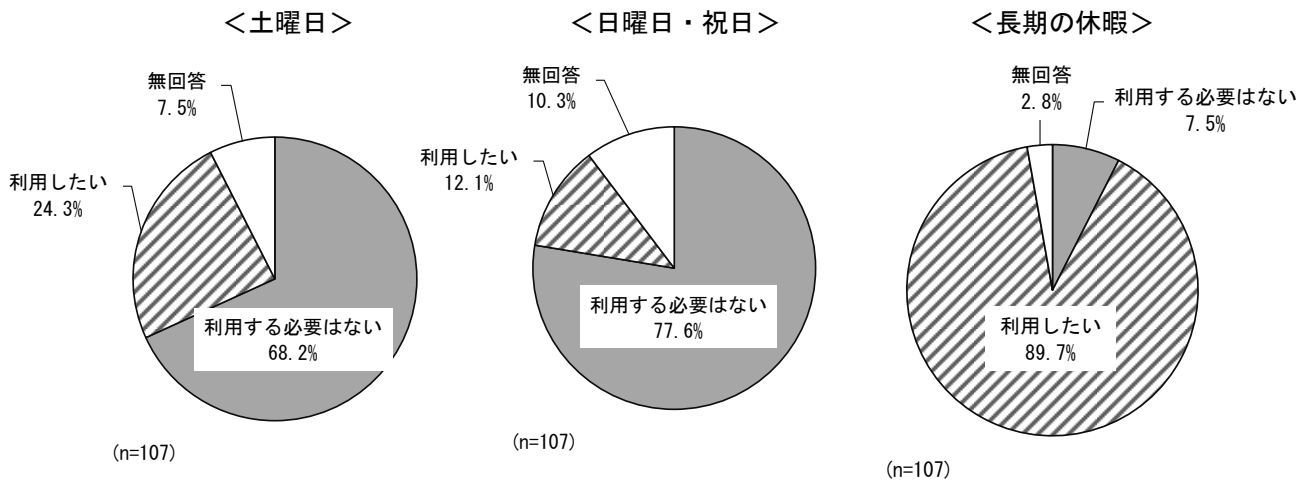
学童保育所の利用希望開始時間は、土曜日では、「8時」が57.7%、「7時以前」が23.1%となっている。日曜日・祝日では、「8時」が61.5%、「7時以前」、「9時」がそれぞれ15.4%となっている。長期の休暇では、「8時」が56.3%、「7時以前」が25.0%となっている。

学童保育所の利用希望終了時間は、土曜日では、「18時」が38.5%、「17時」が26.9%となっている。日曜日・祝日では、「18時」が38.5%、「17時」、「19時以降」がそれぞれ23.1%となっている。長期の休暇では、「18時」が40.6%、「17時」が30.2%となっている。

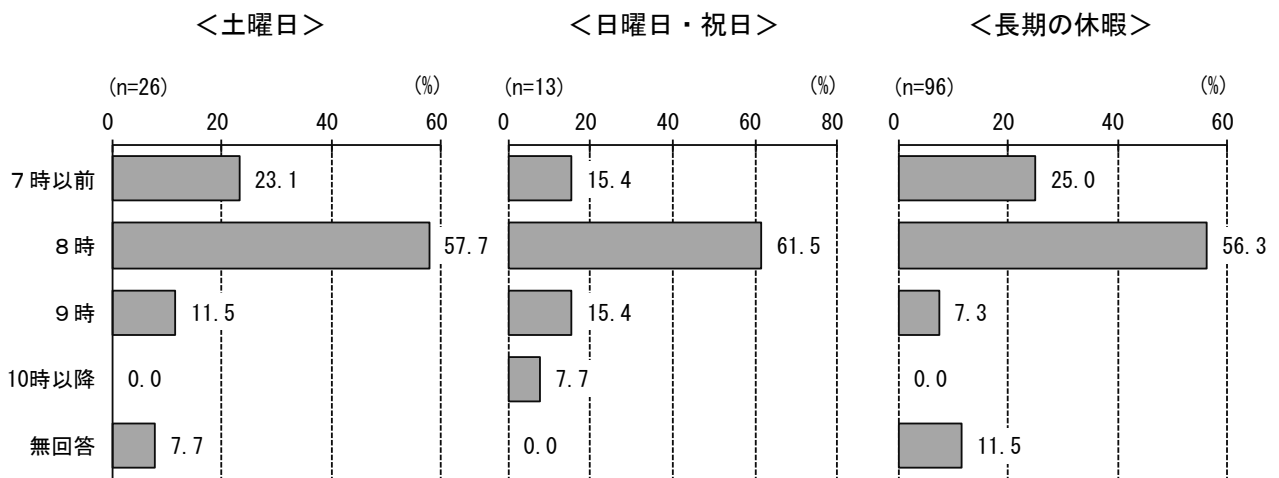
【図 学童保育所を利用したい学年】



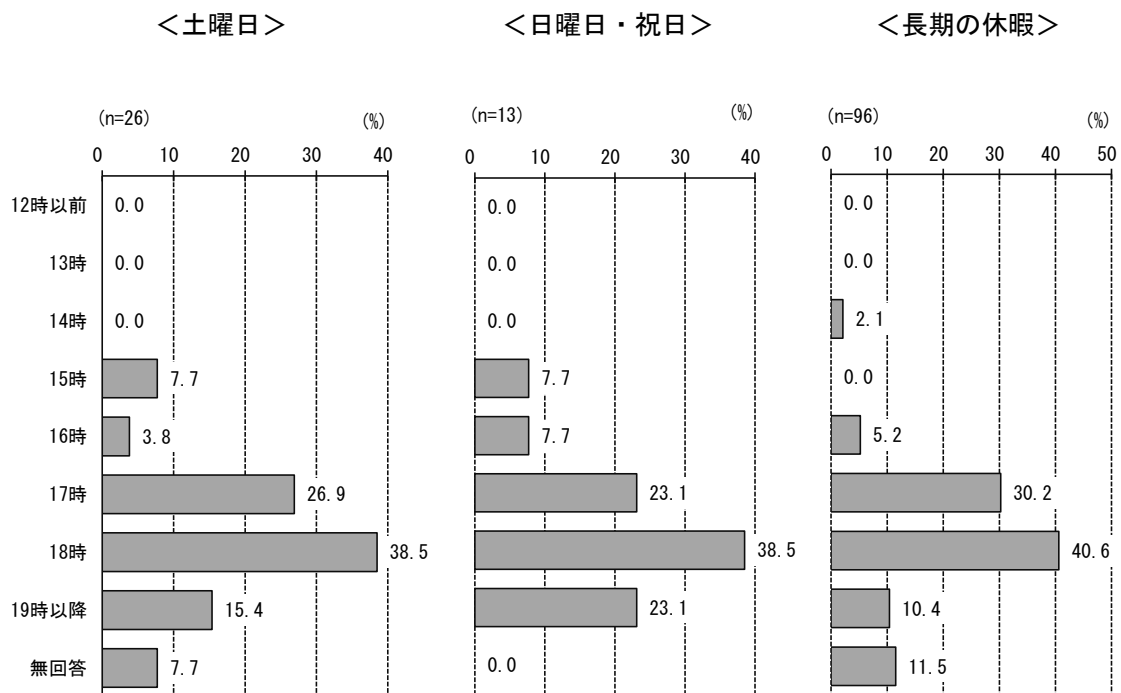
【図 学童保育所の利用希望】



【図 学童保育所の利用希望開始時間】



【図 学童保育所の利用希望終了時間】



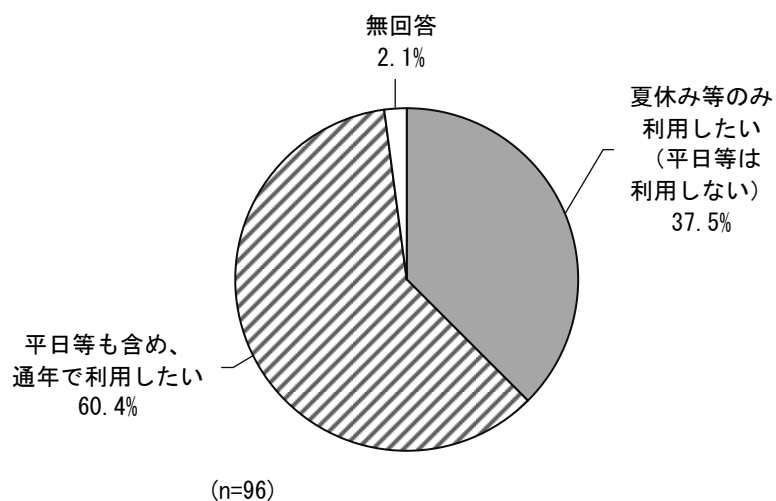
（５）利用を希望する期間

問16-②（３）で「２．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問16-③ 利用を希望する期間についてお答えください。（どちらかに○）

利用を希望する期間は、「平日等も含め、通年で利用したい」が 60.4%、「夏休み等のみ利用したい（平日等は利用しない）」が 37.5%となっている。

【図 利用を希望する期間】



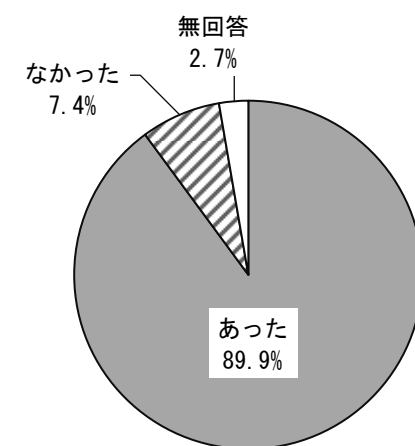
5. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

(1) 病気等で通学できなかったこと

問17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありましたか。(どちらかに○)

病気等で通学できなかったことは、「あった」が89.9%、「なかった」が7.4%となっている。
年齢別でみると、2年生～5年生でそれぞれ「あった」が90.0%以上となっている。

【図 病気等で通学できなかったこと】



(n=526)

【表 年齢別 病気等で通学できなかったこと】

			あ っ た	な か っ た	無 回 答
		合計			
全体		526	473	39	14
		100.0	89.9	7.4	2.7
年 齢	1年生	84	75	8	1
		100.0	89.3	9.5	1.2
	2年生	71	64	5	2
		100.0	90.1	7.0	2.8
	3年生	95	88	5	2
		100.0	92.6	5.3	2.1
	4年生	88	83	4	1
		100.0	94.3	4.5	1.1
	5年生	78	71	7	—
		100.0	91.0	9.0	—
	6年生	105	87	10	8
		100.0	82.9	9.5	7.6

(2) 病気等で通学できなかったときの対処方法、対処した際の日数（年間）

問17で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問18 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合のこの1年間の対処方法についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

◆それぞれの日数を□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウント）

病気等で通学できなかったときの対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が66.2%と最も多く、次いで、「母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた」が25.8%、「父親が仕事を休んだ」が23.7%となっている。

休んだ日数は、母親では、「年10日以上」が21.1%、「年2日」が17.3%、「年3日」が16.9%となっている。父親では、「年2日」が31.3%、「年1日」が21.4%、「年3日」が17.9%となっている。

（同居者を含む）親族、友人・知人に子どもをみてもらった日数は、「年2日」が24.3%、「年3日」、「年5日」がそれぞれ20.0%となっている。

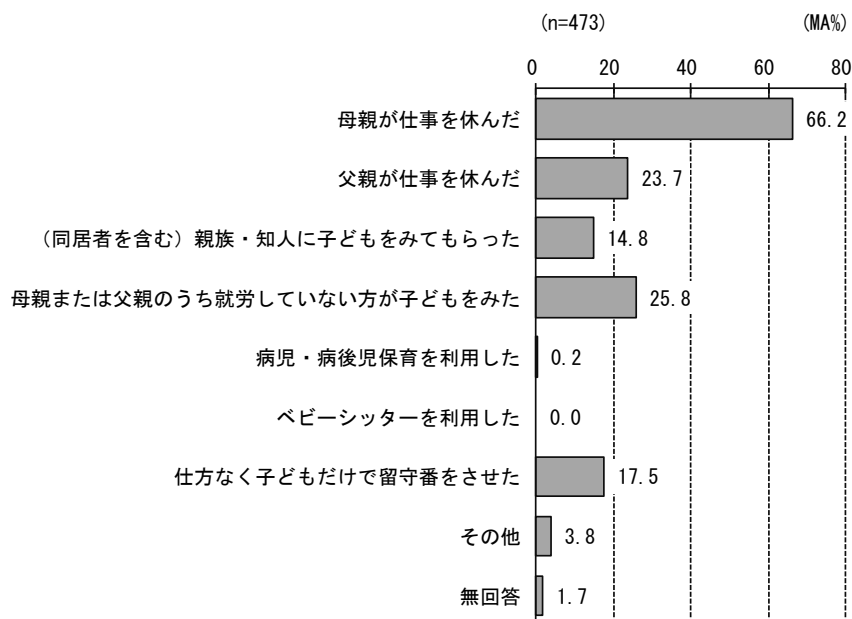
母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた日数は、「年10日以上」が41.8%、「年5日」が12.3%となっている。

病児・病後児保育を利用したでは、「年3日」が100.0%となっている。

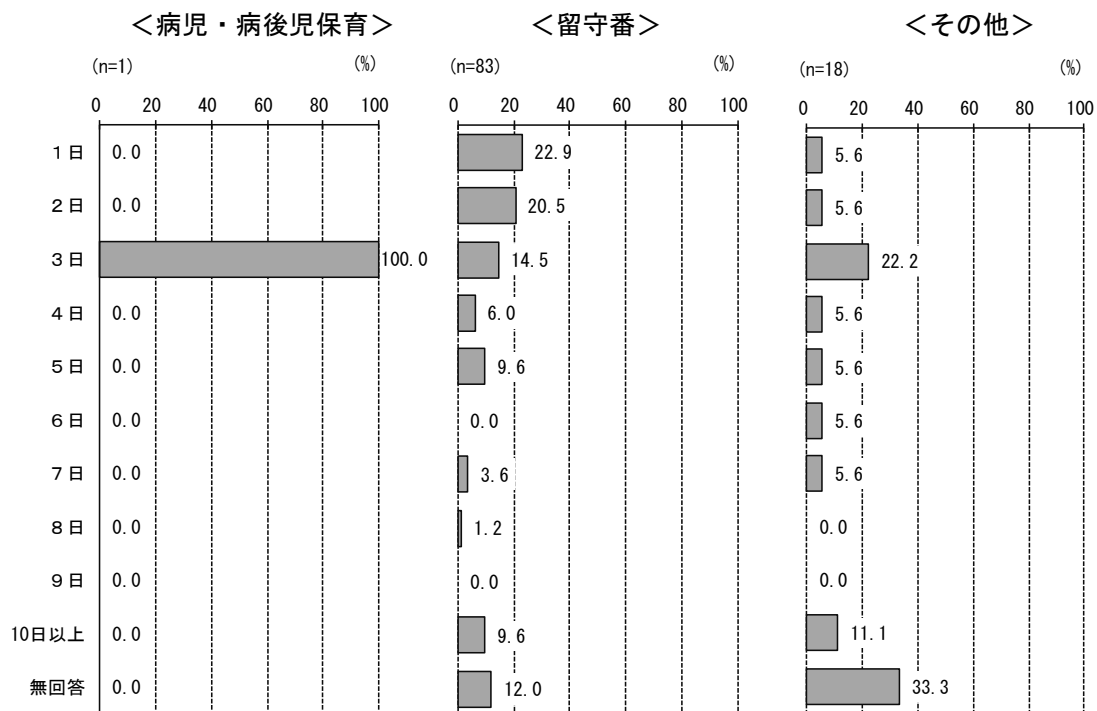
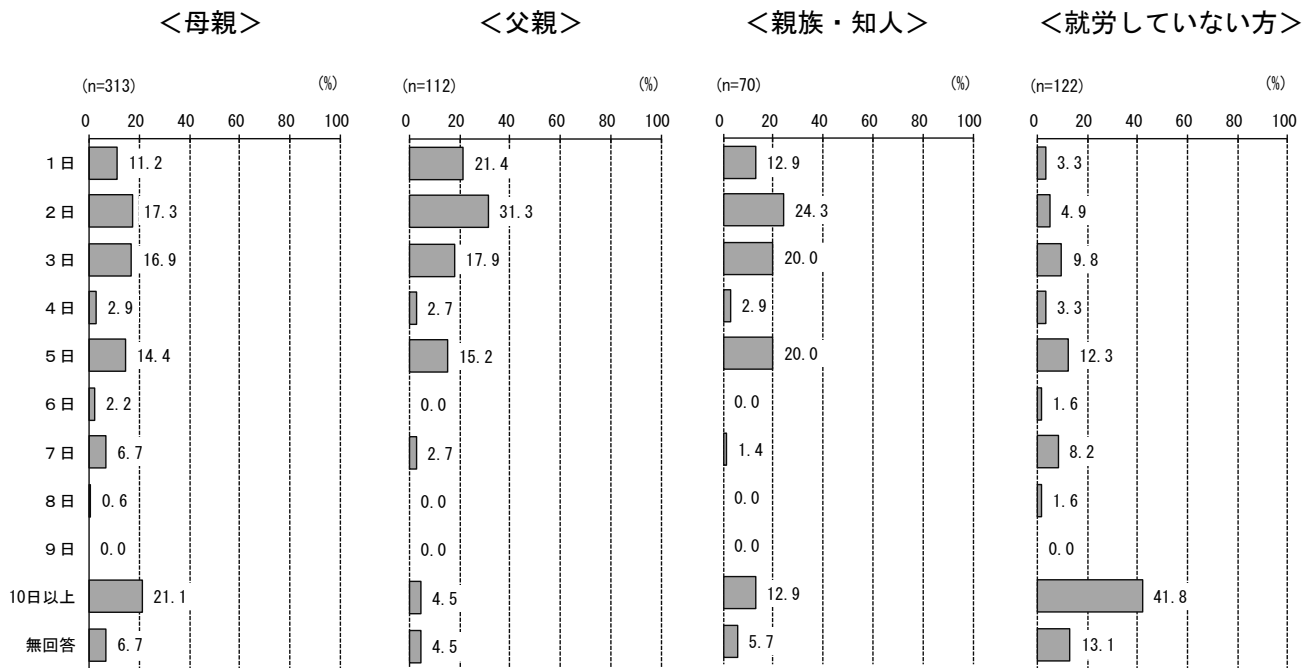
仕方なく子どもだけで留守番をさせたでは、「年1日」が22.9%、「年2日」が20.5%、「年3日」が14.5%となっている。

その他は、「年3日」は22.2%、「年10日以上」が11.1%となっている。

【図 病気等で通学できなかったときの対処方法】



【図 対処した日数】



【表 年齢別・母親の就労タイプ別 病気等で通学できなかったときの対処方法】

				母親が仕事を休んだ	父親が仕事を休んだ	ても・族（同居者を含む）知られた子どもを親み	どもをみた	就労したは父親のう	母親または父親のう	用した・病後児保育を利	病児・病後児保育を利	したベビーシッターを利用	留守番をさせた	仕方なく子どもだけで	その他	無回答
		合計														
全体		上段/実数 下段/MA%	473 100.0	313 66.2	112 23.7	70 14.8	122 25.8	1 0.2	- -	- -	- -	83 17.5	18 3.8	8 1.7		
年 齢	1年生		75 100.0	52 69.3	26 34.7	18 24.0	18 24.0	- -	- -	- -	- -	2 2.7	4 5.3	1 1.3		
	2年生		64 100.0	40 62.5	19 29.7	8 12.5	19 29.7	- -	- -	- -	- -	10 15.6	2 3.1	2 3.1		
	3年生		88 100.0	53 60.2	10 11.4	12 13.6	30 34.1	- -	- -	- -	- -	16 18.2	3 3.4	2 2.3		
	4年生		83 100.0	57 68.7	27 32.5	15 18.1	21 25.3	- -	- -	- -	- -	19 22.9	4 4.8	1 1.2		
	5年生		71 100.0	52 73.2	15 21.1	9 12.7	16 22.5	1 1.4	- -	- -	- -	11 15.5	3 4.2	- -		
	6年生		87 100.0	56 64.4	13 14.9	8 9.2	16 18.4	- -	- -	- -	- -	23 26.4	2 2.3	2 2.3		
	母 親 の 就 労 タイプ	フルタイム （休業中含む）		143 100.0	117 81.8	57 39.9	33 23.1	10 7.0	1 0.7	- -	- -	- -	31 21.7	7 4.9	1 0.7	
パート・アルバイト等 （休業中含む）			183 100.0	164 89.6	37 20.2	27 14.8	10 5.5	- -	- -	- -	- -	37 20.2	6 3.3	1 0.5		
就労していない			113 100.0	8 7.1	5 4.4	1 0.9	97 85.8	- -	- -	- -	- -	8 7.1	4 3.5	5 4.4		

(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望と利用したい日数

問18で「1. 母親が仕事を休んだ」「2. 父親が仕事を休んだ」に○をつけた方にうかがいます。

問18-① その際、病児・病後児のための保育施設等を利用したかったですか。(○はひとつ)

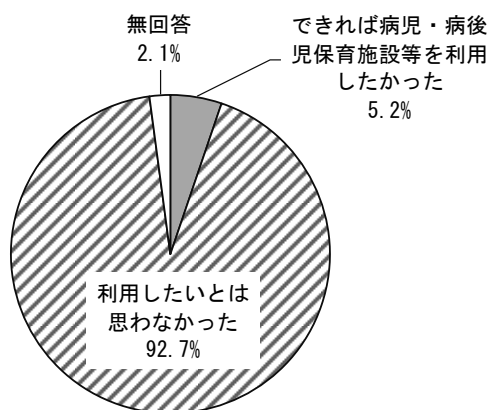
◆「1」を選んだ方は、 内に日数をご記入ください。

◆病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前に指定医療機関の受診が必要となります。(栗東市では病後児保育を実施)

病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わなかった」が 92.7%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が 5.2%となっている。

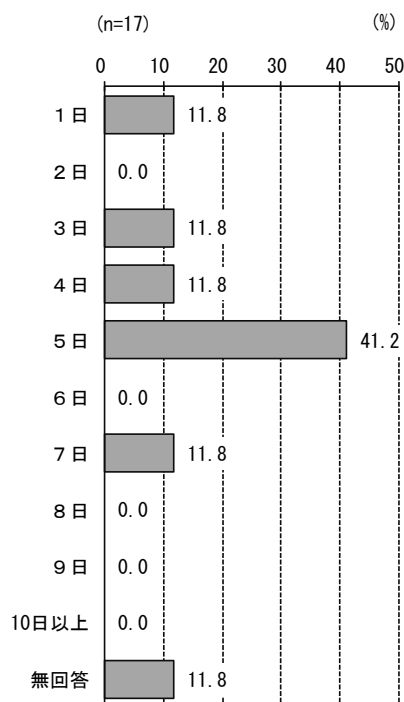
利用希望日数は、「年 5 日」が 41.2%と最も多く、次いで、「年 1 日」、「年 3 日」、「年 4 日」、「年 7 日」がそれぞれ 11.8%となっている。

【図 病児・病後児保育施設等の利用希望】



(n=328)

【図 病児・病後児保育施設等の利用希望日数】



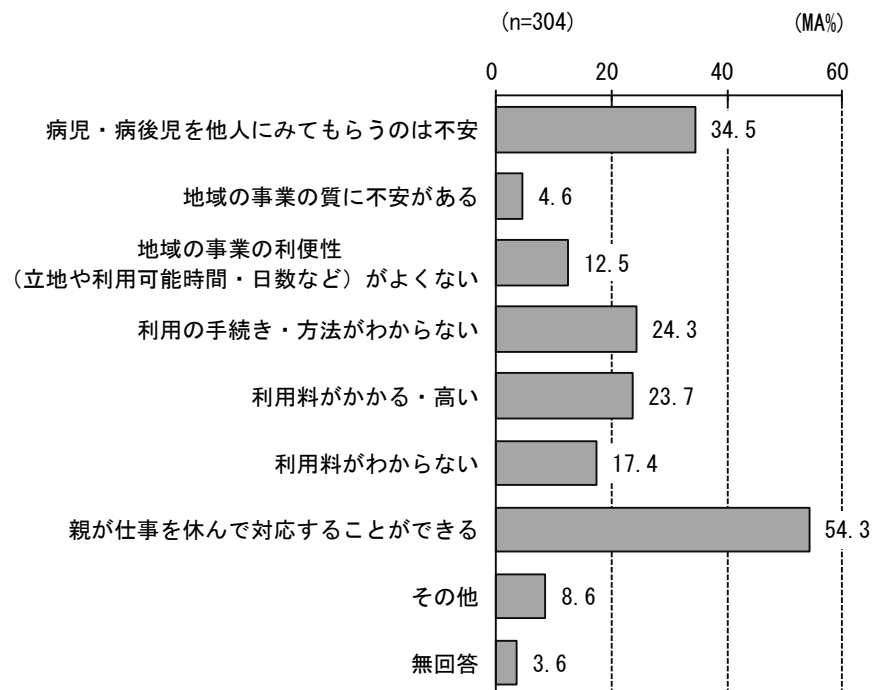
（４）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問18-①で「２．利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問18-② そう思われる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応することができる」が54.3%、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が34.5%となっている。

【図 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由】



（５）父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったか

問18で「3」～「8」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問18-③ その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。

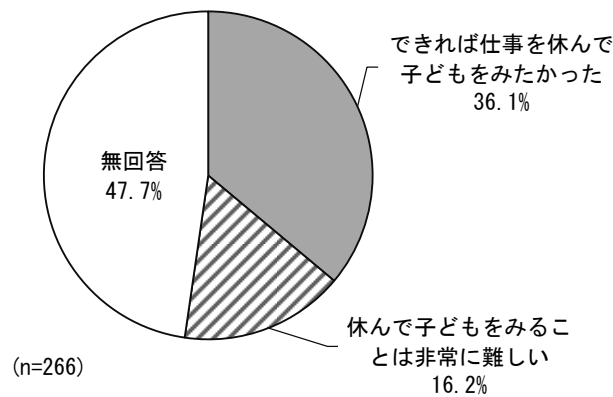
（○はひとつ）

◆「1」を選択した場合は 内に休んで子どもをみたかったおおよその日数をご記入ください。

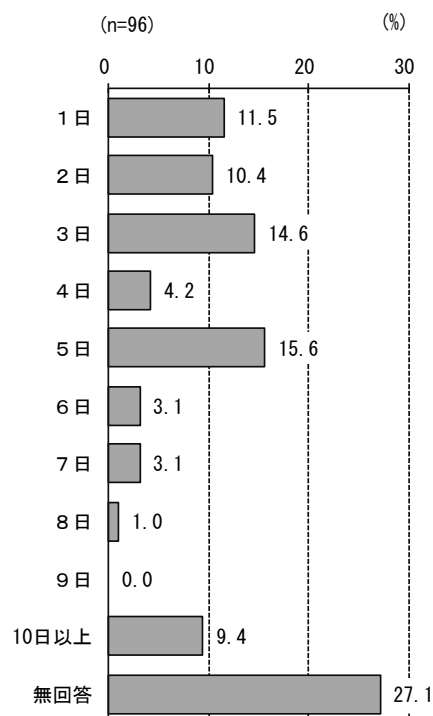
父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったかでは、「できれば仕事を休んで子どもをみたかった」が 36.1%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」が 16.2%となっている。

休んで子どもを見たいと思った日数では、「年 5 日」が 15.6%と最も多く、次いで、「年 3 日」が 14.6%、「年 1 日」が 11.5%となっている。

【図 父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったか】



【図 父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思った日数】



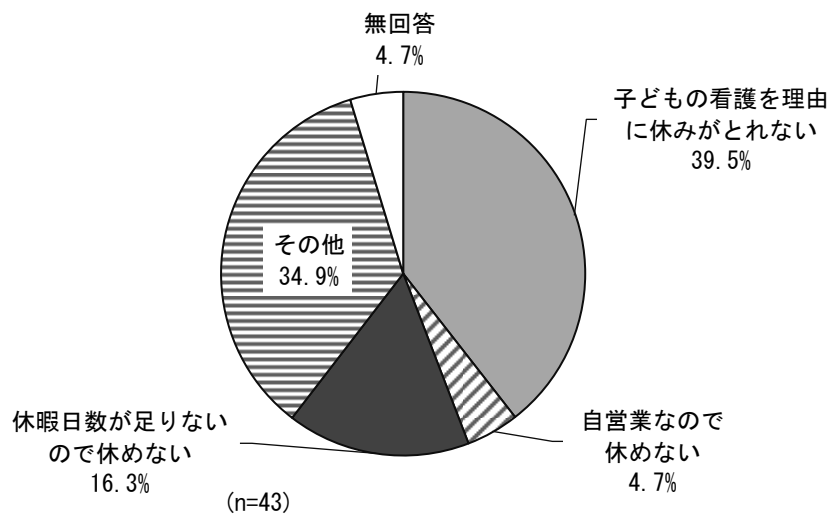
（６）休んで子どもをみることが難しい理由

問18-③で「２．休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問18-④ そう思われる理由は何ですか。（主なものに○はひとつ）

休んで子どもをみることが難しい理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 39.5%、「休暇日数が足りないので休めない」が 16.3%となっている。

【図 休んで子どもをみることが難しい理由】



6. 宛名のお子さんの不定期の一時預かり等事業の利用について

(1) 不定期の就労等の目的で利用している事業と日数（年間）

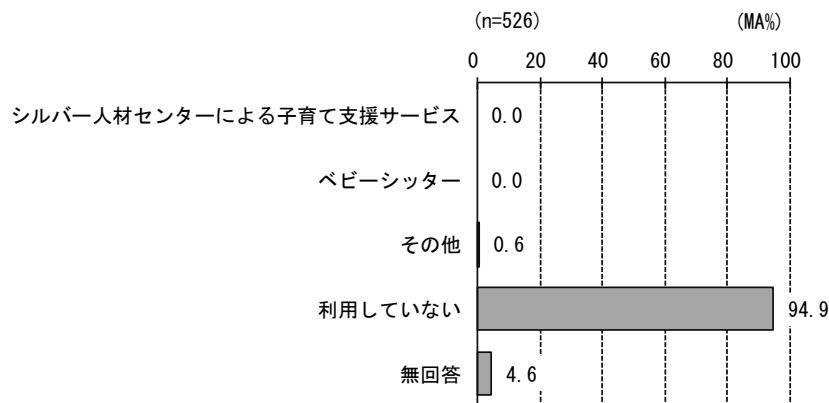
問19 宛名のお子さんについて、学童保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）

◆ 1年間の利用日数も 内に数字でご記入ください。

不定期の就労等の目的で利用している事業は、「利用していない」が94.9%となっている。

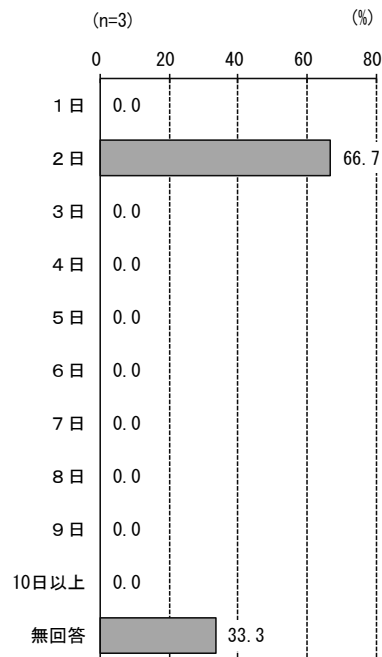
不定期の就労等の目的で利用している事業の日数は、その他では、「年2日」が66.7%となっている。

【図 不定期の就労等の目的で利用している事業】



【図 不定期に利用している事業の利用日数】

<その他>



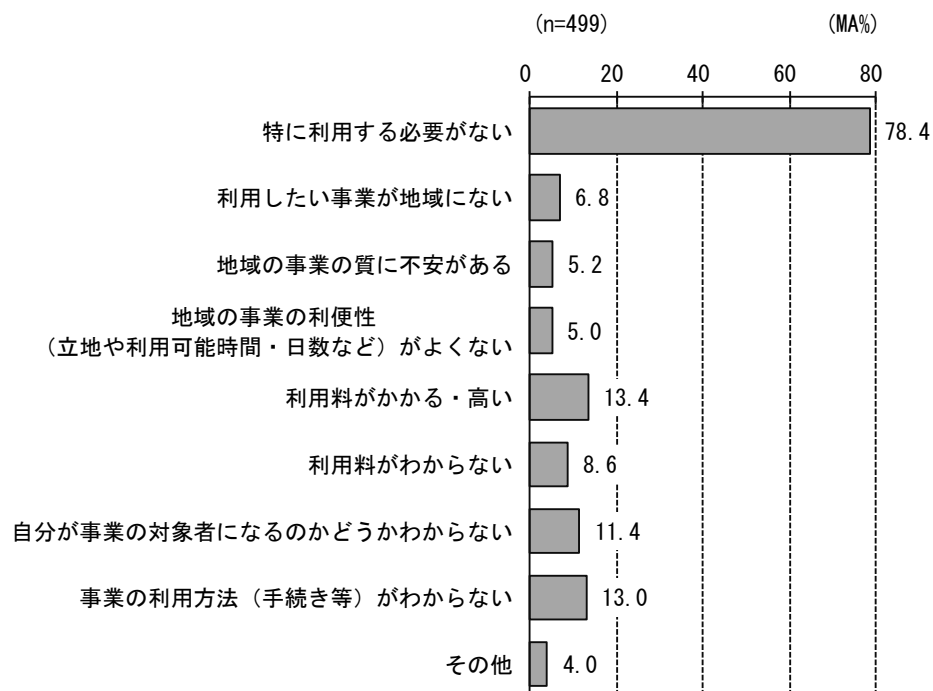
（２）現在利用していない理由

問19で「４．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問19-① 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

現在利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 78.4%、「利用料がかかる・高い」が 13.4%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 13.0%となっている。

【図 現在利用していない理由】



(3) 教育・保育事業の今後の利用希望

問20 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問19のような事業を今後利用したいと思いますか。(どちらかに○)

◆事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問20で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問20-① 利用したい理由は何ですか。また、それぞれ年間何日くらい利用したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

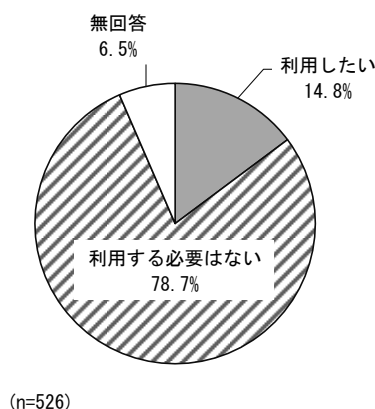
◆選択した目的別に 内に日数をご記入ください。

教育・保育事業の今後の利用希望は、「利用する必要はない」が 78.7%、「利用したい」が 14.8%となっている。

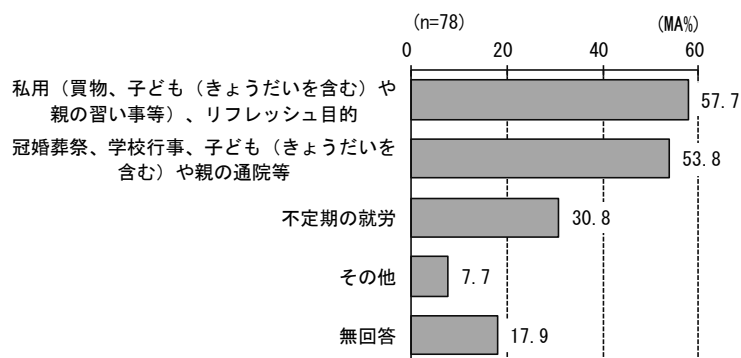
教育・保育事業の今後の利用希望理由は、「私用（買物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 57.7%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等」が 53.8%となっている。

教育・保育事業を利用する合計日数は、「年10日以上」が 50.0%、「年5日」が 9.0%となっている。

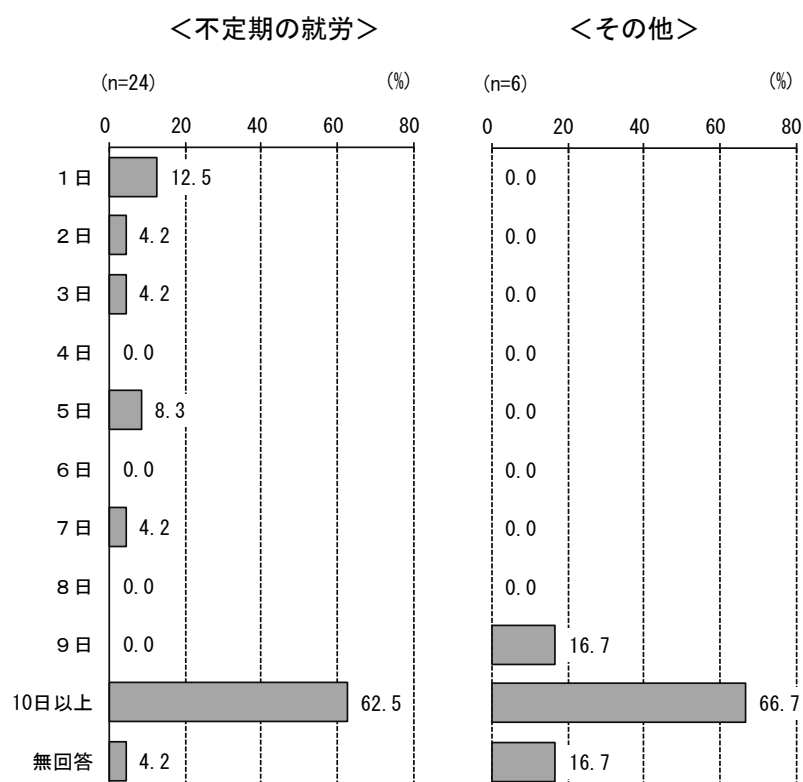
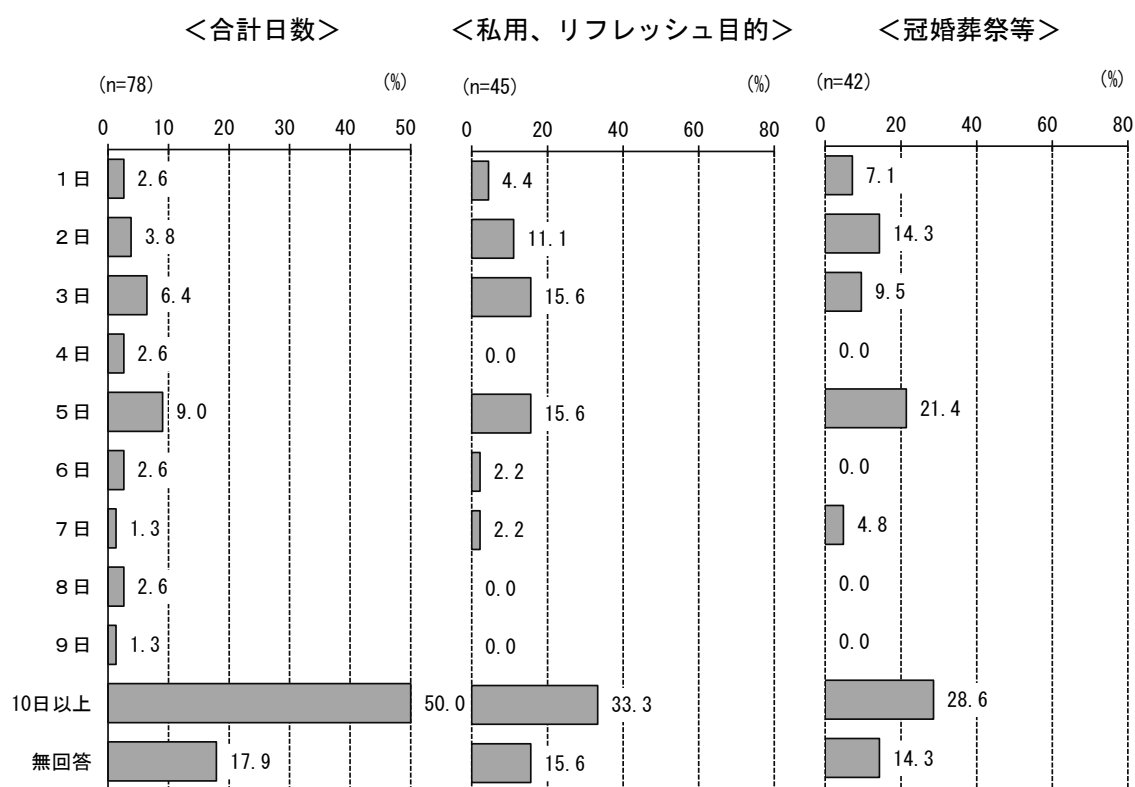
【図 教育・保育事業の今後の利用希望】



【図 教育・保育事業の今後の利用希望理由】



【図 不定期の預かり等事業を利用する日数】



(4) 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと

問21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか。（どちらかに○）

◆預け先が見つからなかった場合も含みます。

問21で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問21-① この1年間の対処方法についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

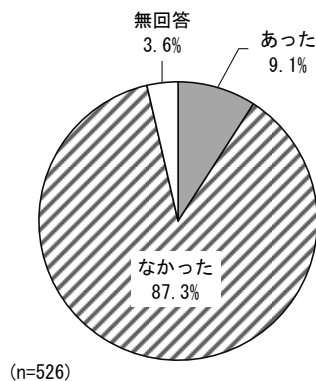
◆それぞれの泊数も 内に数字でご記入ください。

子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことは、「なかった」が87.3%、「あった」が9.1%となっている。

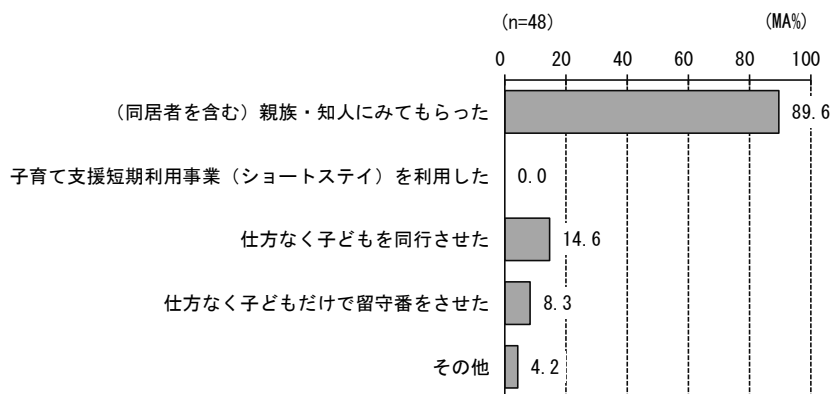
泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が89.6%、「仕方なく子どもを同行させた」が14.6%となっている。

（同居者を含む）親族・知人にみてもらった泊数は、「年1泊」、「年2泊」がそれぞれ20.9%、「年3泊」が16.3%となっている。仕方なく子どもを同行させた泊数は、「年1泊」が28.6%、「年5泊」、「年7泊」、「年10泊以上」がそれぞれ14.3%となっている。仕方なく子どもだけで留守番をさせたでは、「年2泊」、「年5泊」、「年10泊以上」がそれぞれ25.0%となっている。

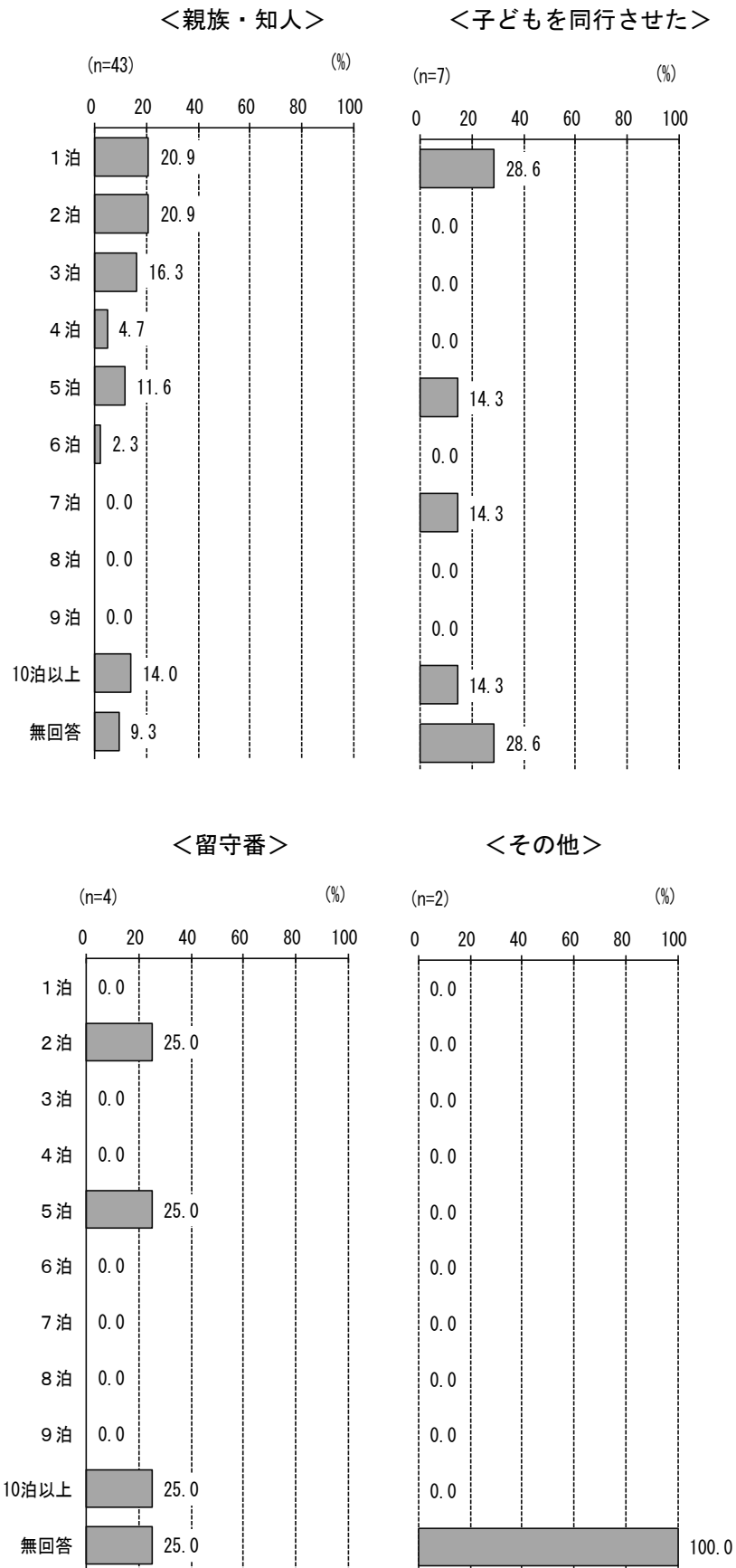
【図 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと】



【図 泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対処方法】



【図 泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった泊数】



(5) ファミリー・サポート・センターの利用希望

問22 ファミリー・サポート・センター事業は、子育てを援助してほしい人（依頼会員）と、子育てを援助したい人（提供会員）がお互いに信頼関係を築きながら、子どもを預けたり、預かったりする子育て援助活動です。

ファミリー・サポート・センターがあれば利用したいですか。（どちらかに○）

問22（1）で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-① 利用したい理由は何ですか。また、それぞれ年間何日くらい利用したいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

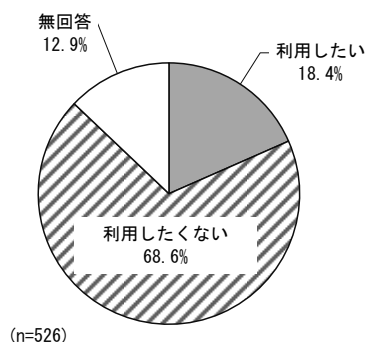
◆選択した目的別に 内に日数をご記入ください。

ファミリー・サポート・センターを依頼会員として利用したいかは、「利用したくない」が68.6%、「利用したい」が18.4%となっている。提供会員として登録したいかは、「登録したくない」が67.1%、「登録したい」が7.4%となっている。

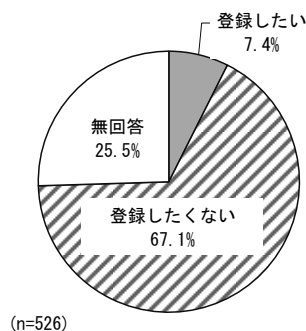
利用したい理由は、「子どもの急病」が41.2%、「定期的な教育・保育事業、習い事の送迎」が36.1%、「親の通院・急病」が33.0%となっている。

利用希望日数は、産後のサポートでは、「年10日以上」が60.0%、定期的な教育・保育事業、習い事等の送迎では、「年10日以上」が71.4%、残業や休日出勤時では、「年10日以上」が57.1%、子どもの急病では、「年10日以上」が30.0%、親の通院・急病では、「年3日」、「年5日」がそれぞれ28.1%、母親・父親の休息では、「年10日以上」が44.4%となっている。

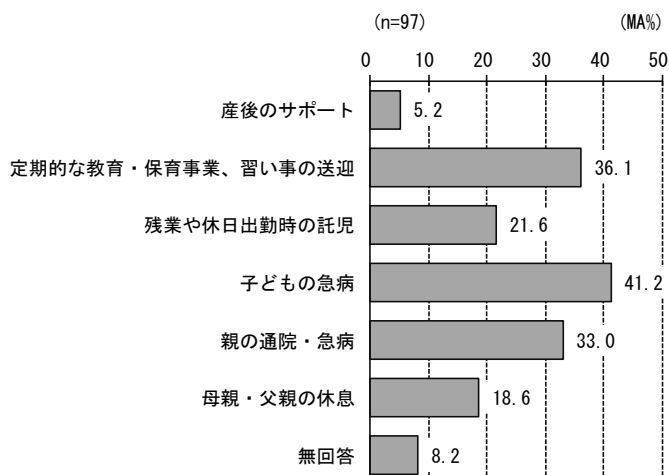
【図 依頼会員としてファミリー・サポート・センターの利用希望】



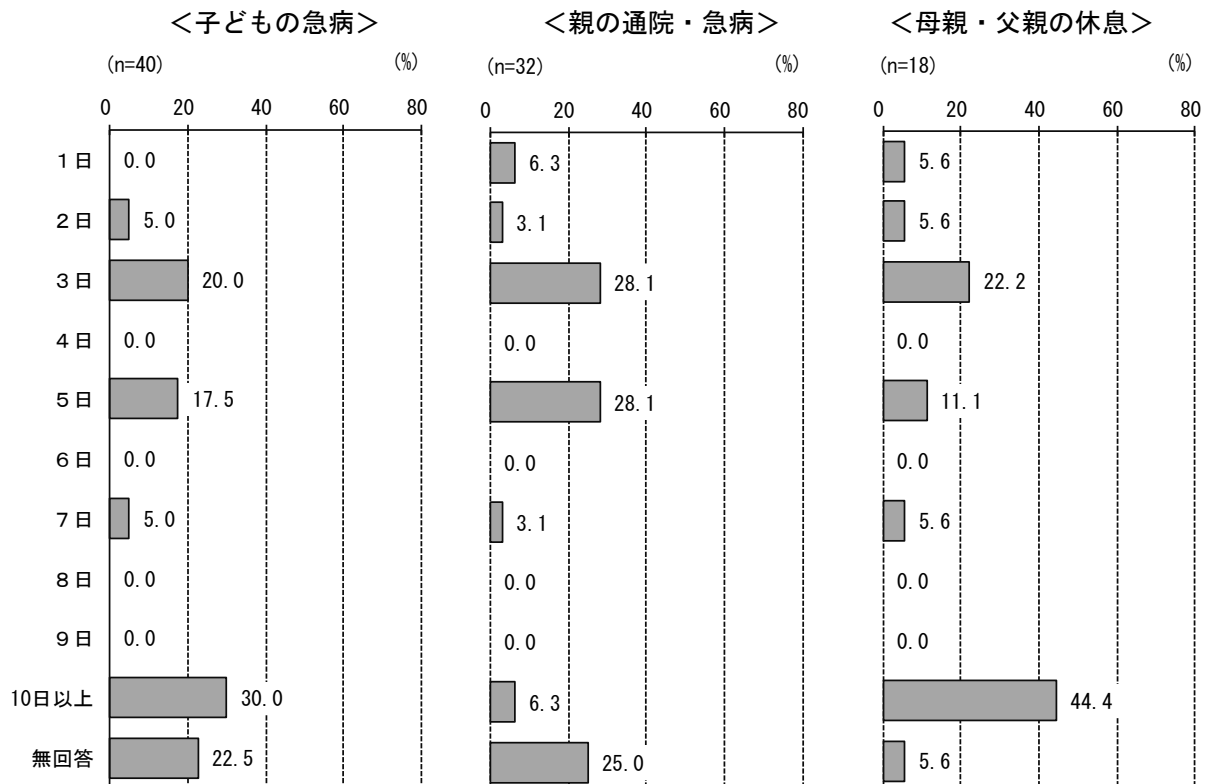
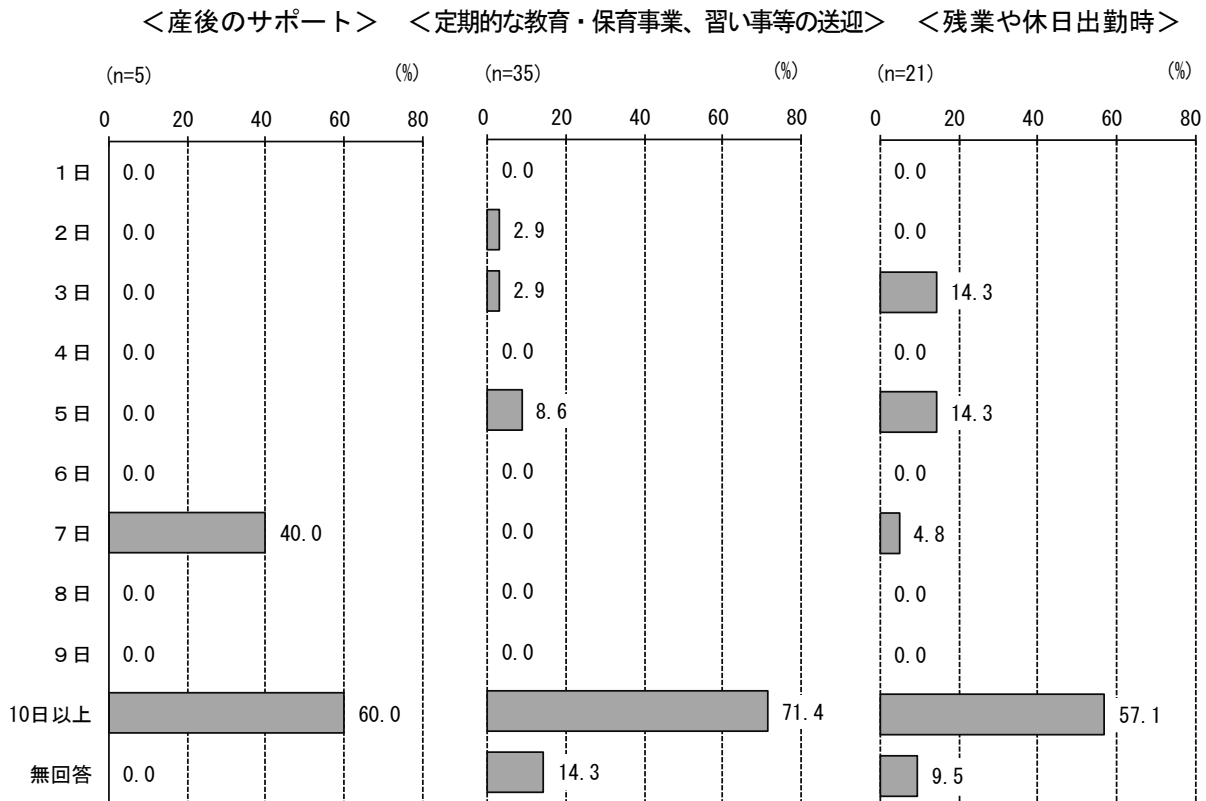
【図 提供会員としてファミリー・サポート・センターの登録希望】



【図 利用したい理由】



【図 目的別の利用希望日数】



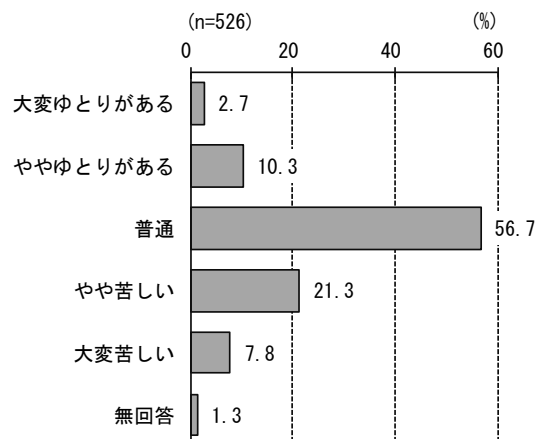
7. 市の子育て支援全般について

(1) 世帯の暮らし向き

問23 あなたの世帯の現在の暮らし向きについてお尋ねします。(〇はひとつ)

世帯の暮らし向きは、「普通」が 56.7%、「やや苦しい」が 21.3%、「ややゆとりがある」が 10.3%となっている。

【図 世帯の暮らし向き】

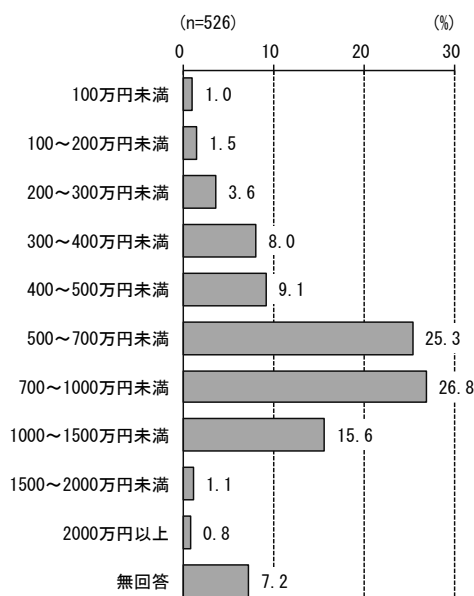


(2) 全世帯員の収入の合計

問24 全世帯員の前年（令和5年1月～12月）の収入の合計額（税込）は、おおよそいくらでしたか。
(〇はひとつ)

全世帯員の収入の合計は、「700～1000万円未満」が 26.8%、「500～700万円未満」が 25.3%、「1000～1500万円未満」が 15.6%となっている。

【図 全世帯員の収入の合計】

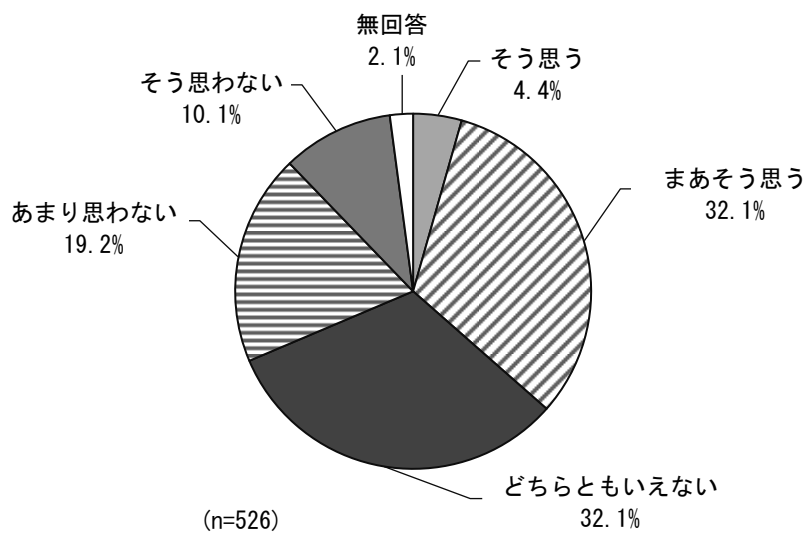


(3) 子育てしやすいまちだと思うか

問25 栗東市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇はひとつ)

子育てしやすいまちだと思うかは、「まあそう思う」、「どちらともいえない」がそれぞれ32.1%、「あまり思わない」が19.2%となっている。

【図 子育てしやすいまちだと思うか】

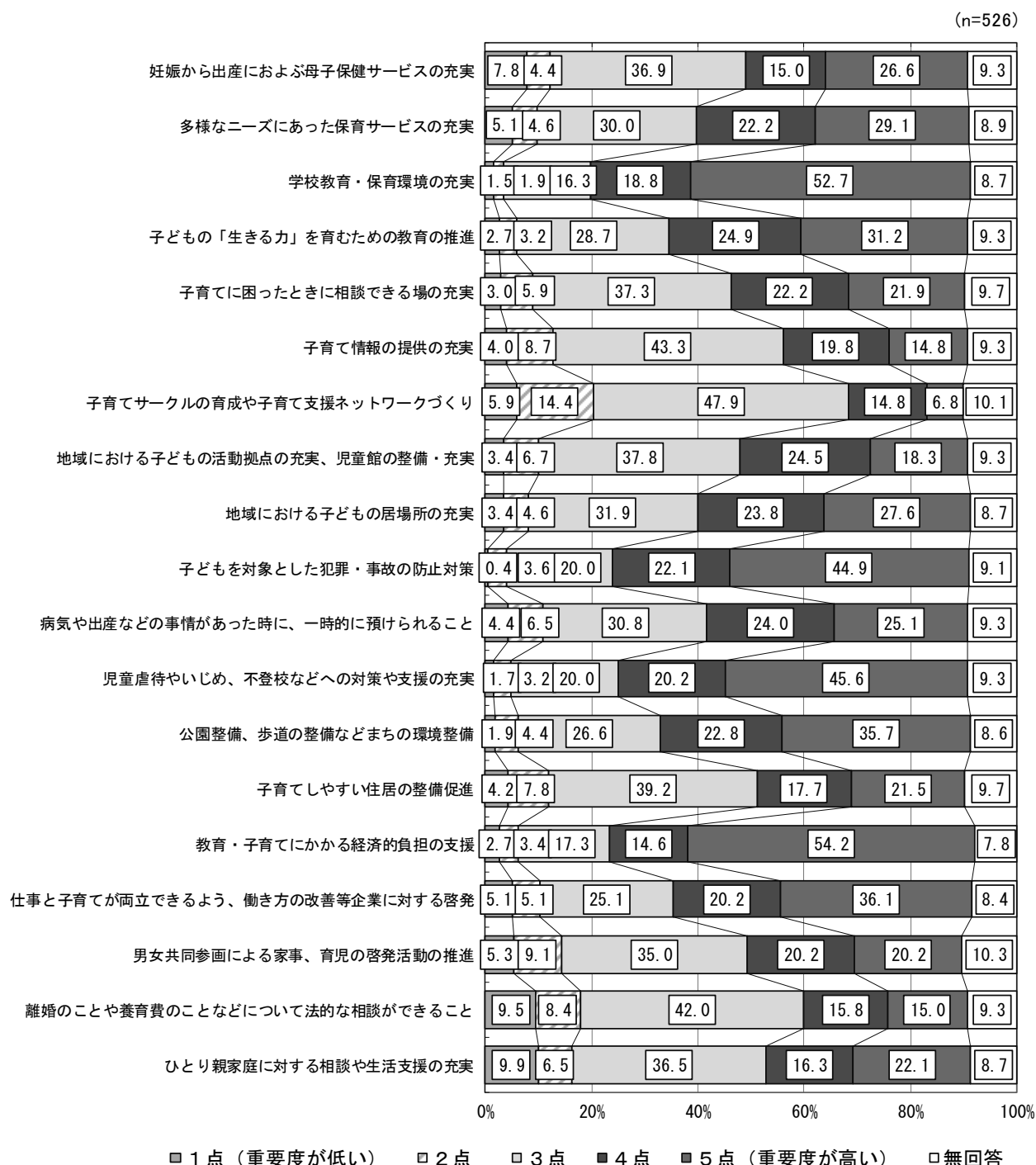


(4) 栗東市に対して望む子育て支援策

問26 栗東市に対して、あなたが望む子育て支援策は何ですか。望む支援策についてそれぞれ1～5段階でお答えください。

栗東市に対して望む子育て支援策は、最も重要度の高い5点の割合が高い順に「教育・子育てにかかる経済的負担の支援」(54.2%)、「学校教育・保育環境の充実」(52.7%)、「児童虐待やいじめ、不登校などへの対策や支援の充実」(45.6%)となっている。

【図 栗東市に対して望む子育て支援策】



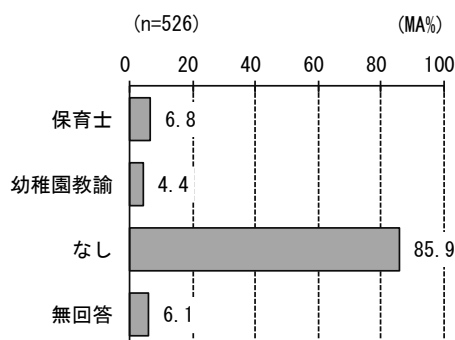
8. 潜在保育士の就労ニーズに関する調査

(1) 資格の所持

問28 この調査票にご回答いただいている方およびご家族は以下の資格を所持していますか。(あてはまるものすべてに○)

資格の所持は、「なし」が85.9%、「保育士」が6.8%、「幼稚園教諭」が4.4%となっている。

【図 資格の所持】



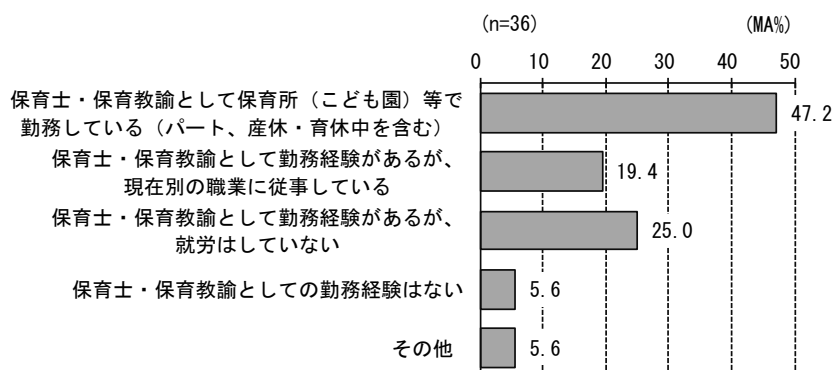
(2) 保育士資格所持者の勤務経験

問28で「1. 保育士」に○をつけた方にうかがいます。

問28-① この調査にご回答いただいている方およびご家族で保育士資格をお持ちの方の勤務経験についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

保育士資格所持者の勤務経験は、「保育士・保育教諭として保育所（こども園）等で勤務している（パート、産休・育休中を含む）」が47.2%、「保育士・保育教諭として勤務経験があるが、就労はしていない」が25.0%、「保育士・保育教諭として勤務経験があるが、現在別の職業に従事している」が19.4%となっている。

【図 保育士資格所持者の勤務経験】



(3) 保育士・保育教諭として勤務していない理由

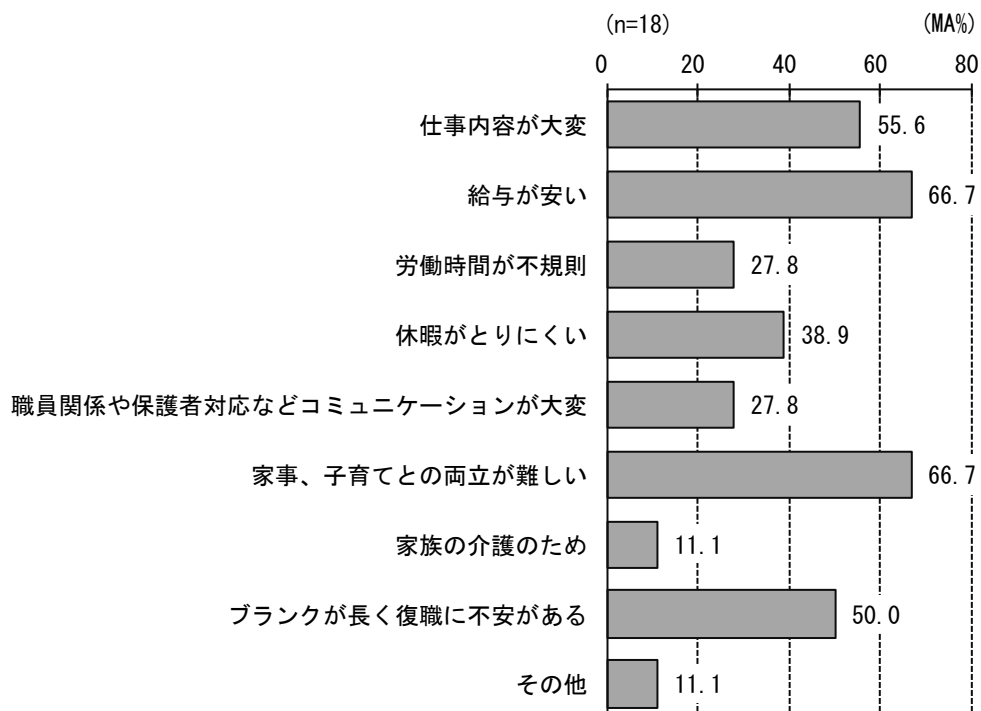
問28-①で「2」「3」「4」に○をつけた方にうかがいます。

問28-② 保育士・保育教諭として勤務していない理由についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

保育士・保育教諭として勤務していない理由は、「給与が安い」、「家事、子育てとの両立が難しい」がそれぞれ66.7%、「仕事内容が大変」が55.6%、「ブランクが長く復職に不安がある」が50.0%となっている。

【図 保育士・保育教諭として勤務していない理由】



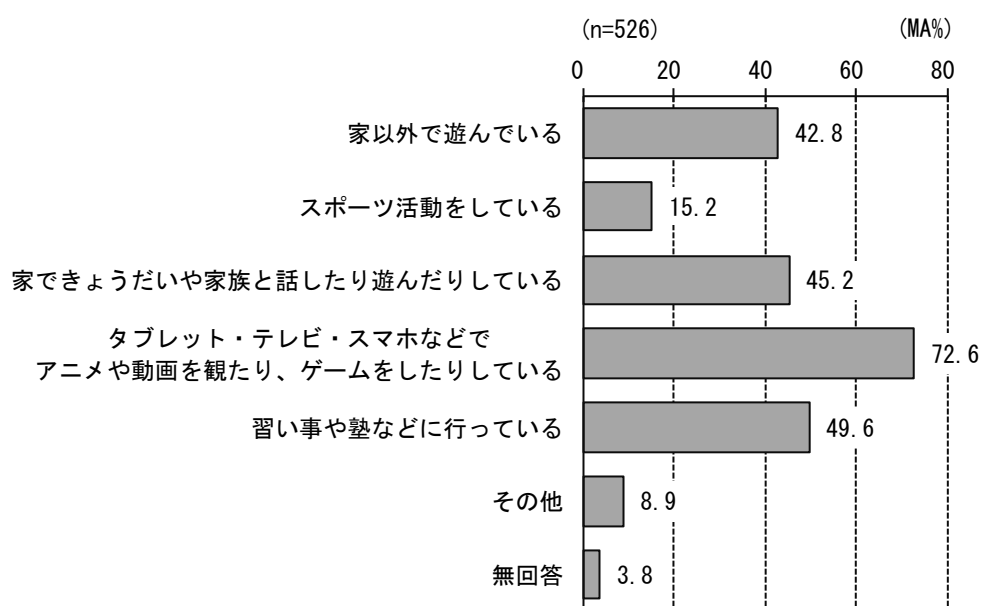
9. 小学生のお子さんにお聞きします

(1) 学校が終わった後の過ごし方

問29 学校が終わった後、何をして過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

学校が終わった後の過ごし方は、「タブレット・テレビ・スマホなどでアニメや動画を観たり、ゲームをしたりしている」が72.6%、「習い事や塾などに行っている」が49.6%、「家できょうだいや家族と話したり遊んだりしている」が45.2%となっている。

【図 学校が終わった後の過ごし方】

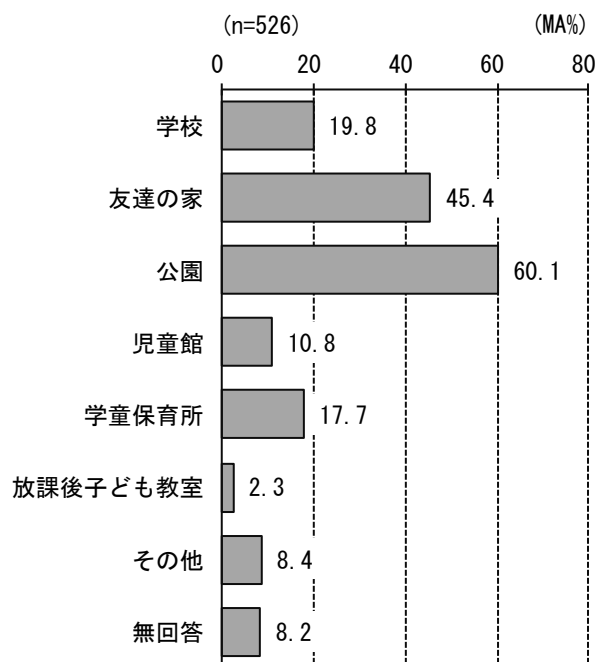


(2) 家以外の遊ぶ場所

問30 家以外で遊ぶ場合、どこで遊んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

家以外の遊ぶ場所は、「公園」が 60.1%、「友達の家」が 45.4%、「学校」が 19.8%、「学童保育所」が 17.7%となっている。

【図 家以外の遊ぶ場所】

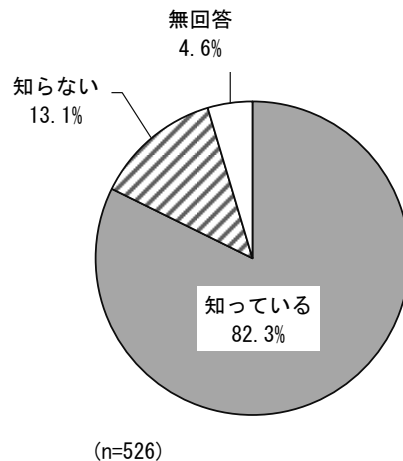


(3) 児童館を知っているか

問31 あなたは児童館を知っていますか。(○はひとつ)

児童館を知っているかでは、「知っている」が82.3%、「知らない」が13.1%となっている。

【図 児童館を知っているか】

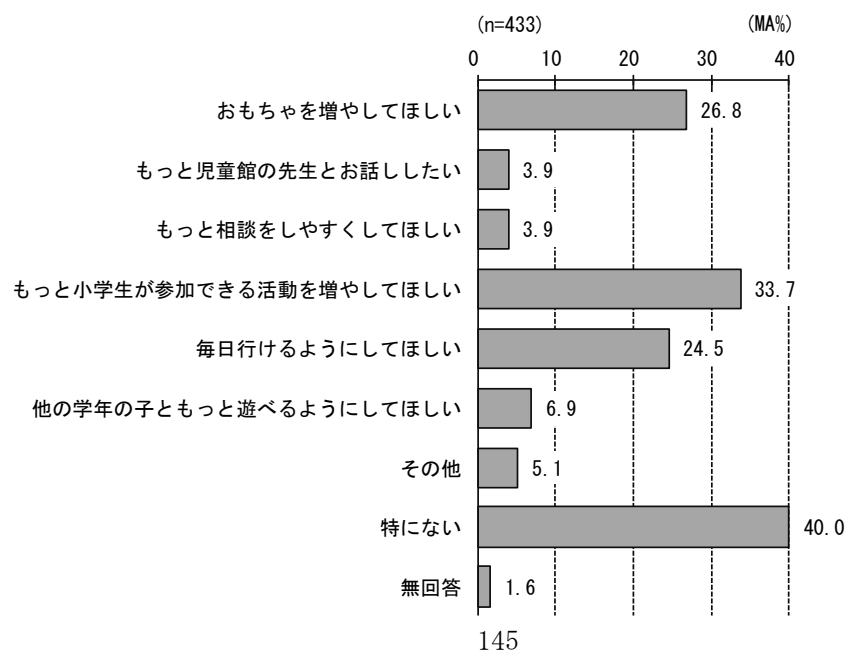


(4) 児童館を使いやすくするためにしてほしいこと

問32 児童館をもっと使いやすくするために、どんなことをしてほしいですか。
(あてはまるものすべてに○)

児童館を使いやすくするためにしてほしいことは、「特にない」が40.0%、「もっと小学生が参加できる活動を増やしてほしい」が33.7%、「おもちゃを増やしてほしい」が26.8%、「毎日行けるようにしてほしい」が24.5%となっている。

【図 児童館を使いやすくするためにしてほしいこと】

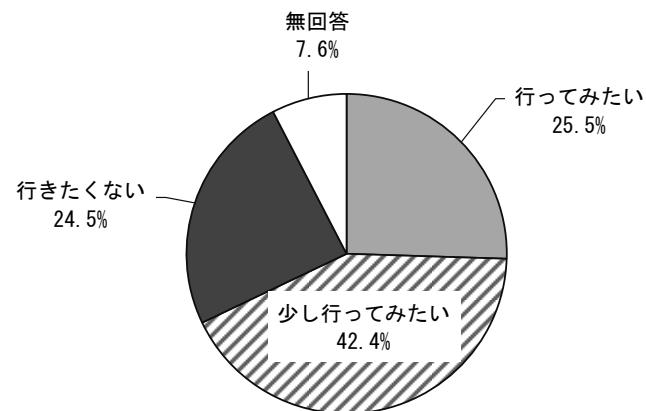


(5) 放課後地域の人が集まって体を動かしたりできる場所等に行ってみたいか

問33 放課後に地域の人が集まって、みんなで体を動かしたり、学習をしたりできる場所が近くにあったら、行ってみたいですか。(○はひとつ)

放課後地域の人が集まって体を動かしたりできる場所等に行ってみたいかでは、「少し行ってみたい」が42.4%、「行ってみたい」が25.5%、「行きたくない」が24.5%となっている。

【図 放課後地域の人が集まって体を動かしたりできる場所等に行ってみたいか】



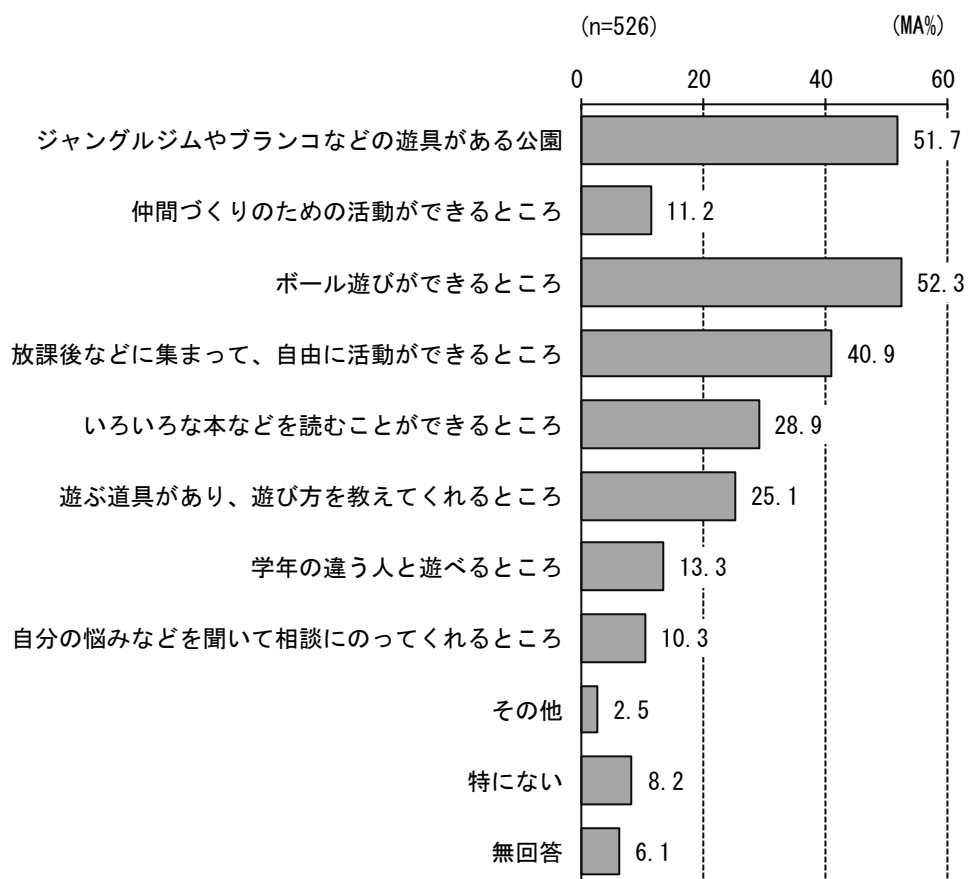
(n=526)

（６）家の近くにあれば行きたいと思う遊び場

問34 家の近くにあったら行きたいと思う遊び場などがありますか。（あてはまるものすべてに○）

家の近くにあれば行きたいと思う遊び場は、「ボール遊びができるところ」が 52.3%、「ジャングルジムやブランコなどの遊具がある公園」が 51.7%、「放課後などに集まって、自由に活動ができるところ」が 40.9%、「いろいろな本などを読むことができるところ」が 28.9%、「遊ぶ道具があり、遊び方を教えてくれるところ」が 25.1%となっている。

【図 家の近くにあれば行きたいと思う遊び場】



(7) 自由意見

問27 子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

●放課後児童クラブについて

内容	件数
長期休暇期間中も利用したい	24 件
利用料金の見直し	6 件
通年ではなく 1 日単位で利用したい	2 件
希望者は全員入れるようにしてほしい	2 件

●遊び環境・公共施設等について

内容	件数
公園の整備	17 件
子どもが遊べる施設を増やしてほしい	6 件
自習室を作してほしい	3 件
分団ごとに、自治会館などを放課後に開放してほしい	2 件
その他	2 件

●保健・医療について

内容	件数
子どもの医療費の見直し	15 件

●小学校について

内容	件数
通学路が危険	9 件
放課後の子どもの居場所が欲しい	9 件
教師の質の向上	5 件
学力低下が心配	4 件
教師の負担軽減・待遇改善	3 件
不登校児向けの学習環境の整備	3 件
学校の役員等の負担軽減	2 件
トイレを改装してほしい	2 件
その他	8 件

●子育て支援について ①子育て支援事業内容の改善

内容	件数
子育て世帯に平等に金銭的支援をしてほしい	15 件
他市に比べて支援が手薄	9 件
ファミサポの導入	3 件
ひとり親家庭への支援が不十分	2 件
障害児・病児育児への支援が欲しい	2 件
緊急時に子どもを預けられる施設が欲しい	2 件
大家族や多子世帯への支援を手厚くしてほしい	2 件
第3子以降への支援をしてほしい	2 件
その他	12 件

●子育て支援について ②情報提供・相談支援

内容	件数
必要な支援につながるよう情報発信してほしい	8 件
その他	3 件

●まちづくりについて

内容	件数
車通りの多い所でパトロールしてほしい	3 件
その他	5 件

●中学校について

内容	件数
トイレを改装してほしい	1 件
環境が良くないと聞き不安、対策してほしい	1 件
陸上競技場などの整備	1 件

●その他

内容	件数
アンケートの質問がわかりづらい、数が多い	4 件
ゴミ袋が高い	2 件
児童館がとても良い	2 件
市民の声を聞いてくれて有難い、今後に期待	1 件
その他	8 件

栗東市子育て支援に関するアンケート調査結果報告書

令和6年5月

編集・発行：栗東市役所 こども家庭局 子育て支援課
住所：〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
TEL：077-551-0138 FAX：077-552-9320